



School of Global Studies
802 Engyo, Fujisawa, Kanagawa, 252-0805 Japan
Tel +81-(0)466-21-7738 Fax +81-(0)466-82-5070



TAMA UNIVERSITY
School of Global Studies

Course Syllabi

2021-2022

多摩大学グローバルスタディーズ学部

TAMA UNIVERSITY School of Global Studies

2021-2022 Course Syllabi

目 次

1	2021 年度カリキュラム表	2
2	進級要件・卒業要件	4
3	実務経験のある教員による担当科目一覧	5
4	2021 年度カリキュラム表兼シラバスページ目次 . .	7
5	2021 年度カリキュラムマトリックス	11
6	シラバス	15

多摩大学グローバルスタディーズ学部 2021年度カリキュラム表

科 目 群			1 年		2 年	
区 分			春学期	秋学期	春学期	秋学期
基礎 教育 科目 群	語 学	必 修	Grammar and Writing I Listening and Pronunciation I Reading I Speaking I	Grammar and Writing II Listening and Pronunciation II Reading II Speaking II	TOEIC演習 Grammar and Writing II-Retake Listening and Pronunciation II-Retake Reading II-Retake Speaking II-Retake	TOEIC演習
		選択必修	環境保全入門 グローバルスタディーズ入門 経済学入門 国際理解入門 情報化社会とグローバル化 心理学入門 哲学入門 日本学入門 文化グローバル化セッション入門 (非開講) 文化人類学入門 メディア学入門	環境保全入門 グローバルスタディーズ入門 経済学入門 国際理解入門 情報化社会とグローバル化 心理学入門 哲学入門 日本学入門 文化人類学入門 メディア学入門		
	共 通 科 目	選択必修 (上級英語) (留学)			Business Communication in English I Communicative English for Global Citizenship I Global Issues: Wealth and Poverty I Studies In Environmentalism I Studies in Global Events: World-views and Policy I (非開講) Volunteerism: A History Survey of NGOs I (非開講) 英語試験対策講座 I 英語試験対策講座 III (非開講)	Business Communication in English II Communicative English for Global Citizenship II English Media and Culture I English Media and Culture II (非開講) Global Issues: Wealth and Poverty II Studies In Environmentalism II Studies in Global Events: World-views and Policy II (非開講) Volunteerism: A History Survey of NGOs II (非開講) 英語試験対策講座 I 英語試験対策講座 II
			Study Abroad I - V Study Abroad VI - VIII	Study Abroad I - V Study Abroad VI - VIII		
		選択 (共通一般)	英語学基礎 (非開講) 科学の歴史 (非開講) 学習心理学 (非開講) キャリア形成論 共通科目特別講義 I (非開講) 共通科目特別講義 II (非開講) 共通科目特別講義 III 共通科目特別講義 V 共通科目特別講義 VI (非開講) 共通科目特別講義 VII (非開講) 共通科目特別講義 VIII (非開講) 共通科目特別講義 IX グローバルスタディーズのための数学入門 国際関係論入門 コンピューター入門 職業理解とキャリア (未定) 体育 統計学入門 日本語文章表現法 日本の法律 日本の歴史	キャリア形成論 教育心理学 共通科目特別講義 IV 共通科目特別講義 V グローバル・ヒストリー (非開講) グローバルスタディーズのための数学入門 経営学入門 こころの科学 コンピューター入門 湘南の文学 体育 中国文学 日本語文章表現法 日本の法律 日本の歴史 日本文学 文化心理学	ヴィジュアルコミュニケーション入門 英文会計基礎 共通科目特別講義 II 国内インターンシップ概論 国内インターンシップ実習 I 国内インターンシップ実習 II (非開講) ジェンダー論 社会科学のための統計学	記号論入門 国内インターンシップ概論 国内インターンシップ実習 I 国内インターンシップ実習 II (非開講)
		選択 (外国語)			韓国語 I 中国語 I	韓国語 II 中国語 I 中国語 II 中国語 III (非開講)
		選択 (日本語)	日本語中級	日本語初級 日本語中級 日本語上級		
専 門 教 育 科 目 群	ホ ス ピ タ リ テ ィ ・ マ ネ ジ メ ン ト	選択必修			Travel and Tourism Workplace English I Travel and Tourism Workplace English II 癒しの文化論 観光 I 観光 II キリスト教の世界観 現代観光研究 I (非開講) 現代観光研究 II (非開講) 身体とアイデンティティ (非開講) 質的調査方法論 地球社会とアジア I 地球社会とアジア II 地球社会とアメリカ 地球社会とオーストラリア 地球社会と中東 地球社会と日本 地球社会とヨーロッパ I ホスピタリティ・マネジメント I ホスピタリティ・マネジメント II ホスピタリティ・マネジメント III ホスピタリティ・マネジメント IV ホスピタリティ・マネジメント特別講義 I ホスピタリティ・マネジメント特別講義 II (非開講) ホスピタリティ・マネジメント特別講義 IV (非開講) ホスピタリティ・マネジメント特別講義 V ホスピタリティ・マネジメント特別講義 VI ホスピタリティ・マネジメント特別講義 VII 翻訳概論	Travel and Tourism Workplace English I Travel and Tourism Workplace English II 癒しの文化論 観光 I 観光 II キリスト教の世界観 言語心理学 地球社会とアジア I 地球社会とアジア II 地球社会とアメリカ 地球社会とオーストラリア 地球社会と日本 地球社会とヨーロッパ I 通訳概論 ホスピタリティ・マネジメント I ホスピタリティ・マネジメント II ホスピタリティ・マネジメント III ホスピタリティ・マネジメント IV ホスピタリティ・マネジメント特別講義 III ホスピタリティ・マネジメント特別講義 V ホスピタリティ・マネジメント特別講義 VI ホスピタリティ・マネジメント特別講義 VII ホスピタリティ・マネジメント特別講義 VIII
	国 際 教 養	選択必修			Webデザイン (非開講) 英語学 I 英米文学 I 金融論 国際関係論：中央アジア (非開講) 国際教養特別講義 I (非開講) 国際教養特別講義 II 国際教養特別講義 III (非開講) 国際教養特別講義 IV (非開講) 国際法と国際機関 情報処理 I 情報処理 II 多国籍企業会計 人間安全保障 簿記 ポストモダニズムと社会 マクロ経済学 ミクロ経済学 (非開講)	英語学 II 英米文学 II 環境政策 (非開講) 国際会計論 国際関係論：南・東南アジア 国際教養特別講義 II 国際法と国際機関 情報処理 II
	ゼ ミ ナ ー ル 科 目	選 択			プロジェクト・ゼミナール II プロジェクト・ゼミナール III プロジェクト・ゼミナール IV プロジェクト・ゼミナール VI	プロジェクト・ゼミナール II プロジェクト・ゼミナール III プロジェクト・ゼミナール V プロジェクト・ゼミナール VI プロジェクト・ゼミナール VII
教職専門科目群			教職概論	生徒指導・進路指導論 教育原理	教育課程概論 特別活動 教育方法	教育制度論

※ホスピタリティ・マネジメント専門科目の「選択必修科目」は国際教養専門科目の「選択科目」、国際教養専門科目の「選択必修科目」はホスピタリティ・マネジメント専門科目の「選択科目」となります。

3 年		4 年	
春学期	秋学期	春学期	秋学期
Internship Abroad			
	共通科目特別講義 VIII (集中)		
観光 III 観光 IV (非開講) コミュニケーション 仕事と若者論 消費主義の比較文化論 地球社会とアフリカ I 地球社会とヨーロッパ II 日本の宗教 美術論 (集中)	アジアの宗教 コミュニケーション 消費社会と日本の大衆文化 地球社会とアジア III 地球社会とアフリカ II 日本人と他者		
アフリカの時事問題 国際協力 (非開講) 資源と環境 マーケティング論 リーダーシップ論 (未定)	経営戦略論 エネルギーと環境 国際経営論 (未定) 国際経済学 多文化共生論 日本近代史 比較経営論		
ゼミナール I プロジェクト・ゼミナール I プロジェクト・ゼミナール VIII プロジェクト・ゼミナール X	ゼミナール II プロジェクト・ゼミナール I プロジェクト・ゼミナール IX プロジェクト・ゼミナール XI	ゼミナール III	ゼミナール IV 卒業研究
英語科教育法 I 介護等体験実習事前事後指導 総合的な学習の時間の指導法 特別支援	英語科教育法 II 教育相談 道徳教育論	教育実習 I 教育実習 II	教職実践演習 (中・高)

【進級要件】

2 年次への進級

要件なし。

3 年次への進級

要件なし。

4 年次への進級

要件なし。

【卒業要件】

科目群	科目区分		必修	選択必修	選択	その他
基礎教育 科目	語学	英語集中教育	16			
		TOEIC 演習	2			
	共通科目	選択必修		8		10
		選択			32※1※2	
	計		58			
専門教育 科目	所属区分				56※3	
	所属しない区分					
	計		56			
	合計		124			

※1 指定された科目を他学部履修した場合、24 単位を限度に基礎教育科目共通科目選択区分の単位として認めることができる。

※2 「上級英語」または「留学科目」から最低限 4 単位修得しなければならない。

※3 所属区分から最低限 36 単位修得しなければならない。

◎一定の認定基準を満たしている英語能力の高い学生は、英語集中教育 (AEP) 及び TOEIC 演習の必修単位数 (18 単位) の一部を、卒業要件単位数として算入することができる。

【2021年度 実務経験のある教員による担当科目一覧】

教員	科目分野	科目名	単位数	授業への実務経験の活用内容
張 琪	基礎教育	情報化社会とグローバル化	2	海外企業も含めた企業での、ヒューマンインターフェースや人間の三次元視覚システム、脳科学等の研究経験を活かし、グローバル社会に対応するための実践的な情報通信技術の基礎を学ぶ。
	国際教養	情報処理Ⅰ	4	海外企業も含めた企業での、ヒューマンインターフェースや人間の三次元視覚システム、脳科学等の研究経験を活かし、グローバル社会に対応するためのスキルを実践的な観点で学ぶ。
	国際教養	情報処理Ⅱ	4	
エリック ホノベ	基礎教育	英文会計基礎	4	企業におけるビジネスアナリスト経験を活かし、実践的な会計論を指導。
	国際教養	金融論	4	
	国際教養	国際会計論	4	
	国際教養	多国籍企業会計	4	
竹内 一真	基礎教育	キャリア形成論	4	複数大学でのキャリア指導経験を活かし、実践的・効果的な授業を行う。
新美 潤	国際教養	国際教養特別講義Ⅱ (国際政治)	4	1979年外務省に入省。外交官として、海外では英国、スイス、ケニア、フランス、イラン、ロシア、タイ、米国(在ロサンゼルス総領事)、ポルトガル(特命全権大使)の各国に勤務。本邦では外務本省にて総括審議官等様々なポストを経験すると共に、警察庁、経済産業省、衆議院事務局にても勤務。豊富な海外駐在経験と行政における実務経験を活かし、国際政治や国際法、国際機関等の仕組みや動向について講義を行う。
	国際教養	国際法と国際機関	4	
橋詰 博樹	基礎教育	環境保全入門	2	厚生労働省・環境省・世界保健機関WHO等において廃棄物・リサイクル、水質管理・大気保全、地球温暖化対策等の環境保全・行政、また途上国協力に従事した経験を活かし、国際的な視点も含め様々な環境問題に実践的なアプローチを行う。
	国際教養	環境政策	4	
	国際教養	国際協力	4	
芦田 尚道	基礎教育	経営学入門	4	企業における勤務経験や具体的な営業経験を生かし、現代企業における業務の進め方や組織における人間の関係性のあり方、リーダー・フォロワー双方の立場からのより良い協働関係の構築の仕方、および実際の販売活動における企業と顧客との関係の前提的な仕組みや良好な協力関係の構築の仕方を、実例に即して紹介している。
	国際教養	マーケティング論	4	
金井 憲一郎	基礎教育	日本の法律	4	企業における法務を中心とした総務・人事等総務全般の実務経験を活かし、日本社会のいかなる場面でどのような法律が解釈・適用され、実社会における諸問題が法的にどのように解決されているのか、反面において解決されない問題点としてどのような諸問題が残されているかにつき、それぞれの具体例も説示する。
浅原 房夫	基礎教育	コンピューター入門	4	IT企業において、ITコンサルタント、企業のホームページ制作業務を担当してきた経験を生かして、実践的なコンピューターリテラシーを伝授する。
萩原 浩一	ホスピタリティ・マネジメント	コミュニケーション	4	ラジオ番組でのDJ&パーソナリティ&テレビ番組キャスター&MC、各企業・団体のPR大使、タレント等としての経験を活かし、実践的なコミュニケーションのスキルについて学ぶ。
張 陽子	ホスピタリティ・マネジメント	ホスピタリティ・マネジメントⅠ	2	航空会社でのキャビンアテンダントの経験を活かし、現場に即したおもてなしやマナーを学ぶ。

教員	科目分野	科目名	単位数	授業への実務経験の活用内容
藤本 正俊	ホスピタリティ・マネジメント	ホスピタリティ・マネジメントⅡ	2	大手旅行会社JTBのシンクタンクJTB総合研究所から講師を招き旅行業を含む観光事業全般の事業内容・特性について実際の現場の状況を通して理解することを目指す。
森 紀人	ホスピタリティ・マネジメント	ホスピタリティ・マネジメントⅢ	2	日本最大手の航空会社ANAで豊富な経験を持つ講師を招き、航空産業をベースにマネジメントやサービスの実際を学ぶ。
齋藤 享子	ホスピタリティ・マネジメント	ホスピタリティ・マネジメントⅣ	2	ホテル産業、外食サービス産業に強いNKSから講師を招き、上記産業のトータルイメージ、産業構造・特性について具体的に学ぶ。
根本 潤子	ホスピタリティ・マネジメント	ホスピタリティ・マネジメント特別講義Ⅴ (世界遺産検定3級対策講座)	2	国際企業での勤務を経験した後、多くの世界遺産を訪問した経験のある講師を世界遺産アカデミーから招き、多文化理解や地球環境保護も視野に入れた世界遺産検定対策を行う。
	ホスピタリティ・マネジメント	ホスピタリティ・マネジメント特別講義Ⅵ (世界遺産検定2級対策講座)	2	
林 雄一郎	国際教養	簿記	4	公認会計士及び税理士の資格を持ち、監査法人、税理士事務所、公認会計士事務所等において実務に従事した経験を活かし、実務につながる実践的な内容を学ぶ。
長田 祥男	ゼミナール	プロジェクト・ゼミナールⅥ (日本伝統文化:いけばな理論と実践)	2	池坊鳳秀流家元として、数多くの華道展開催やいけばな教室等の伝統文化普及を行ってきた経験から、初心者にもわかりやすく日本の伝統文化を伝える。

CONTENTS / 目次 - Curriculum 2014 - 2021

2014 - 2021 Entrants / 2014 - 2021年度入学生

Level 科目群	Division 科目区分	Page ページ	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名 (英字)	Year 年次	Instructor 担当教員名	Semester 学期	Required 必修	Restricted Elective 選択必修	Elective 選択	Note 備考
Foundational Courses / 基礎教育科目	English Program / 語学	p. 15	Grammar and Writing I	Grammar and Writing I	1+	See timetable	Spring	2			
		p. 17	Grammar and Writing II	Grammar and Writing II	1+	See timetable	Spring・Fall	2			
		p. 19	Listening and Pronunciation I	Listening and Pronunciation I	1+	See timetable	Spring	2			
		p. 21	Listening and Pronunciation II	Listening and Pronunciation II	1+	See timetable	Spring・Fall	2			教職必修
		p. 23	Reading I	Reading I	1+	See timetable	Spring	2			
		p. 25	Reading II	Reading II	1+	See timetable	Spring・Fall	2			教職必修
		p. 27	Speaking I	Speaking I	1+	See timetable	Spring	2			教職必修
		p. 29	Speaking II	Speaking II	1+	See timetable	Spring・Fall	2			教職必修
		p. 31	TOEIC演習	TOEIC Preparation	2+	See timetable	Spring・Fall	2			
	Core / 選択必修	p. 32	環境保全入門	Introduction to Environmental Protection	1+	橋詰	Spring・Fall		2		8単位以上修得(卒業要件)
		p. 33	グローバルスタディーズ入門	Introduction to Global Studies	1+	クルナザロバ	Spring・Fall		2		
		p. 37	経済学入門	Introduction to Economics	1+	渡邊(泰)	Spring・Fall		2		
		p. 38	国際理解入門	Introduction to Global Understanding	1+	安田	Spring・Fall		2		
		p. 39	情報化社会とグローバル化	Informatization and Globalization Society	1+	張 琪	Spring・Fall		2		
		p. 40	心理学入門	Introduction to Psychology	1+	ジョイス	Spring・Fall		2		
		p. 42	哲学入門	Introduction to Philosophy	1+	立田	Spring・Fall		2		
		p. 43	日本学入門	Japanese Culture and Society	1+	太田	Spring・Fall		2		
		非開講	文化グローバリゼーション入門	Introduction to Cultural Globalization	1+	-	-		2		
		p. 44	文化人類学入門	Introduction to Anthropology	1+	杉下	Spring・Fall		2		
		p. 45	メディア学入門	Introduction to Media Studies	1+	マーサー	Spring・Fall		2		
	Advanced English / 上級英語	非開講	英語試験対策講座Ⅲ	Test Preparation III	1+	-	-			2	「上級英語」または「留学科目」から4単位以上修得(卒業要件)
		p. 46	Business Communication in English I	Business Communication in English I	2+	イングリッシュ	Spring			2	
		p. 47	Business Communication in English II	Business Communication in English II	2+	イングリッシュ	Fall			2	
		p. 48	Communicative English for Global Citizenship I	Communicative English for Global Citizenship I	2+	ケニー	Spring			2	
		p. 49	Communicative English for Global Citizenship II	Communicative English for Global Citizenship II	2+	ケニー	Fall			2	
		p. 50	English Media and Culture I	English Media and Culture I	2+	マーサー	Fall			2	
		非開講	English Media and Culture II	English Media and Culture II	2+	-	-			2	
		p. 51	Global Issues: Wealth and Poverty I	Global Issues: Wealth and Poverty I	2+	イングリッシュ	Spring			2	
		p. 52	Global Issues: Wealth and Poverty II	Global Issues: Wealth and Poverty II	2+	イングリッシュ	Fall			2	
		p. 53	Studies In Environmentalism I	Studies In Environmentalism I	2+	橋詰	Spring			2	
		p. 54	Studies In Environmentalism II	Studies In Environmentalism II	2+	橋詰	Fall			2	
		p. 55	英語試験対策講座Ⅰ	Test Preparation I	2+	西井・伊藤	Spring・Fall			2	
		p. 57	英語試験対策講座Ⅱ	Test Preparation II	2+	西井	Fall			2	
		非開講	Studies in Global Events: World-views and Policy II	Studies in Global Events: World-views and Policy II	2+	-	-				
		非開講	Studies in Global Events: World-views and Policy I	Studies in Global Events: World-views and Policy I	2+	-	-			2	
		非開講	Volunteerism: A Historical Survey of NGOs I	Volunteerism: A Historical Survey of NGOs I	2+	-	-			2	
		非開講	Volunteerism: A Historical Survey of NGOs II	Volunteerism: A Historical Survey of NGOs II	2+	-	-			2	
	Study Abroad / 留学科目	p. 58	Study Abroad I - V	Study Abroad I - V	1+	新美	Spring・Fall			2	
		p. 59	Study Abroad VI - VIII	Study Abroad VI - VIII	1+	新美	Spring・Fall			4	
		p. 60	Internship Abroad	Internship Abroad	3+	新美	Spring			4	
	General Elective / 共通一般		職業理解とキャリア	Career Design	1	未定	未定			2	
		p. 61	共通科目特別講義Ⅲ	Special Lectures for Foundational Courses III	1	渡邊(浩)	Spring			2	志スタートアップ
		p. 62	共通科目特別講義Ⅳ	Special Lectures for Foundational Courses IV	1	渡邊(浩)	Fall			2	志スタートアップ
		非開講	英語学基礎	English Linguistics Basic	1+	-	-			2	
		非開講	科学の歴史	History of Science	1+	-	-			4	
		非開講	学習心理学	Psychology of Learning	1+	-	-			2	
		p. 63	キャリア形成論	Career Development	1+	竹内	Spring・Fall			4	
		p. 64	教育心理学	Educational Psychology	1+	竹内	Fall			2	教職必修
		非開講	共通科目特別講義Ⅰ	Special Lectures for Foundational Courses I	1+	-	-			4	
		非開講	グローバル・ヒストリー	Global History	1+	-	-			4	

Level 科目群	Division 科目区分	Page ページ	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名 (英字)	Year 年次	Instructor 担当教員名	Semester 学期	Required 必修	Restricted Elective 選択必修	Elective 選択	Note 備考
Foundational Courses / 基礎教育科目	General Lectures / 共通科目	General Elective / 共通一般	p. 65 グローバルスタディーズのための数学入門	Introduction to Mathematics for Global Studies	1+	渡邊(泰)	Spring・Fall			2	
			p. 66 経営学入門	Introduction to Management	1+	芦田	Fall			4	
			p. 67 国際関係論入門	International Relations	1+	クルナザロバ	Spring			4	
			p. 69 こころの科学	Science of Mind	1+	新屋	Fall			2	
			p. 70 コンピューター入門	Introduction to Computers	1+	浅原	Spring・Fall			4	教職必修
			p. 72 湘南の文学	Shonan Literature	1+	中澤(弥)	Fall			4	
			p. 73 体育	Physical Education	1+	TBA	Spring・Fall			2	教職必修
			p. 75 中国文学	Chinese Literature	1+	ホノベ	Fall			4	
			p. 76 統計学入門	Introduction to Statistics	1+	渡邊(泰)	Spring			4	
			p. 77 日本語文章表現法	Japanese Sentence Expression	1+	廣田、安西、浅井	Spring・Fall			4	
			p. 78 日本の法律	Japanese Law	1+	金井	Spring・Fall			4	教職必修
			p. 80 日本の歴史	Japanese History	1+	藤田	Spring・Fall			4	
			p. 81 日本文学	Japanese Literature	1+	バルマー	Fall			4	
			p. 82 文化心理学	Cultural Psychology	1+	ジョイス	Fall			4	
			p. 84 共通科目特別講義 V	Special Lectures for Foundational Courses V	1+	バルマー	Spring・Fall			4	グローバル時事問題
			共通科目特別講義 IX	Special Lectures for General Courses IX	1+	渡邊(泰)	未定			2	Webシラバスを確認
			非開講 共通科目特別講義 VI	Special Lectures for Foundational Courses VI	1+	-	-			2	
			非開講 共通科目特別講義 VII	Special Lectures for Foundational Courses VII	1+	-	-			2	
			p. 85 ヴィジュアルコミュニケーション入門	Introduction to Visual Communication	2+	マーサー	Spring			4	
			p. 86 英文会計基礎	Fundamental Accounting in English	2+	ホノベ	Spring			4	
			p. 87 記号論入門	Introduction to Semiotics	2+	マーサー	Fall			4	
			p. 89 ジェンダー論	Gender Studies	2+	小松	Spring			4	
			p. 90 社会科学のための統計学	Social Science Statistics	2+	ジョイス	Spring			4	
			p. 92 共通科目特別講義 II	Special Lectures for Foundational Courses II	2+	マリノフ	Spring			4	グローバル企業とキャリアデザイン
			p. 93 国内インターンシップ概論	Introduction to Domestic Internship	2, 3	中澤(文)	Spring・Fall			2	
			p. 94 国内インターンシップ実習 I	Domestic Internship : Practice I	2, 3	中澤(文)	Spring・Fall			2	
			非開講 国内インターンシップ実習 II	Domestic Internship : Practice II	2, 3	-	-			2	
			p. 95 共通科目特別講義 VIII	Special Lectures for Foundational Courses VIII	3	堂下	Spring Break Intensive			2	進路のための学カアップ講座
		Foreign Language / 外国語	p. 96 中国語 I	Chinese I	2+	呉 燕	Spring・Fall			2	
			p. 98 中国語 II	Chinese II	2+	呉 燕	Fall			2	
			非開講 中国語 III	Chinese III	2+	-	-			2	
			p. 99 韓国語 I	Korean I	2+	朴	Spring			2	
			p. 100 韓国語 II	Korean II	2+	朴	Fall			2	
		Japanese / 日本 語科目	p. 101 日本語初級	Japanese Language Beginners Course	1+	山口	Fall			2	
			p. 102 日本語中級	Japanese Language Intermediate Course	1+	佐久間	Spring・Fall			2	
			p. 103 日本語上級	Japanese Language Upper Course	1+	佐久間	Fall			2	
Major Related Courses / 専門教育科目	Hospitality Management / ホスピタリティ・マネジメント		p. 104 Travel and Tourism Workplace English I	Travel and Tourism Workplace English I	2+	油木田	Spring・Fall			2	教職選択
			p. 105 Travel and Tourism Workplace English II	Travel and Tourism Workplace English II	2+	油木田	Spring・Fall			2	教職選択
			p. 107 癒しの文化論	Healing and Culture	2+	韓	Spring・Fall			4	
			p. 108 観光 I	Tourism I	2+	李 崗	Spring・Fall			4	
			p. 109 観光 II	Tourism II	2+	韓、李 崗	Spring・Fall			4	
			p. 110 キリスト教の世界観	Christian Views on the World	2+	小松	Spring・Fall			4	
			p. 111 言語心理学	Psycholinguistics	2+	ジョイス	Fall			4	
			非開講 現代観光研究 I	Current Issues in Tourism I	2+	-	-			4	
			p. 113 質的調査方法論	Qualitative Research Methods	2+	堂下	Spring			4	
			非開講 身体とアイデンティティ	Body and Identity	2+	-	-			4	
			p. 114 地球社会とアジア I	Global Community and Asia I	2+	横田	Spring・Fall			4	
			p. 115 地球社会とアジア II	Global Community and Asia II	2+	韓	Spring・Fall			4	
			p. 116 地球社会とアメリカ	Global Community and America	2+	三吉	Spring・Fall			4	教職必修
			p. 117 地球社会とオーストラリア	Global Community and Australia	2+	竹峰・コンラッド	Spring・Fall			4	教職必修

Level 科目群	Division 科目区分	Page ページ	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名 (英字)	Year 年次	Instructor 担当教員名	Semester 学期	Required 必修	Restricted Elective 選択必修	Elective 選択	Note 備考
Major Related Courses / 専門教育科目	Hospitality Management / ホスピタリティ・マネジメント	p. 119	地球社会と日本	Global Community and Japan	2+	堂下	Spring・Fall			4	
		p. 120	地球社会とヨーロッパ I	Global Community and Europe I	2+	木村	Spring・Fall			4	
		p. 121	通訳概論	Introduction to Interpretation	2+	小松原	Fall			4	
		p. 122	認知心理学	Cognitive Psychology	2+	ジョイス	Spring			4	
		p. 124	ホスピタリティ・マネジメント I	Hospitality Management I	2+	張(陽)	Spring・Fall			2	
		p. 125	ホスピタリティ・マネジメント II	Hospitality Management II	2+	藤本	Spring・Fall			2	JTB
		p. 126	ホスピタリティ・マネジメント III	Hospitality Management III	2+	森	Spring・Fall			2	ANA
		p. 127	ホスピタリティ・マネジメント IV	Hospitality Management IV	2+	齋藤	Spring・Fall			2	NKS
		p. 129	ホスピタリティ・マネジメント特別講義 I	Special Lectures for Hospitality Management I	2+	李 崗	Spring			4	観光地域の管理と運営
		非開講	ホスピタリティ・マネジメント特別講義 II	Special Lectures for Hospitality Management II	2+	-	-			4	
		p. 130	ホスピタリティ・マネジメント特別講義 III	Special Lectures for Hospitality Management III	2+	堂下	Fall			2	接客・おもてなし英語
		非開講	ホスピタリティ・マネジメント特別講義 IV	Special Lectures for Hospitality Management IV	2+	-	-			2	
		p. 131	ホスピタリティ・マネジメント特別講義 V	Special Lectures for Hospitality Management V	2+	根本	Spring・Fall			2	世界遺産検定3級対策講座
		p. 132	ホスピタリティ・マネジメント特別講義 VI	Special Lectures for Hospitality Management VI	2+	根本	Spring・Fall			2	世界遺産検定2級対策講座
		p. 133	ホスピタリティ・マネジメント特別講義 VII	Special Lectures for Hospitality Management VII	2+	桐谷	Spring・Fall			2	ヒロシマ・ナガサキと観光
		p. 134	ホスピタリティ・マネジメント特別講義 VIII	Special Lectures for Hospitality Management VIII	2+	竹峰	Spring Break Intensive			2	地球社会と環境・開発・平和——観光を 見据えて
		p. 135	翻訳概論	Introduction to Translation	2+	小松原	Spring			4	
		非開講	現代観光研究 II	Current Issues in Tourism II	2+	-	-			4	
		p. 136	地球社会と中東	Global Community and Middle East	2+	佐藤	Spring			4	
		p. 137	アジアの宗教	Religions in Asia	3+	小松	Fall			4	
		p. 138	観光 III	Tourism III	3+	古川	Spring			4	
		非開講	観光 IV	Tourism IV	3+	-	-			4	
		p. 139	コミュニケーション	Communication	3+	萩原	Spring・Fall			4	
		p. 141	消費社会と日本の大衆文化	Japanese Society through Its Popular Culture	3+	太田	Fall			4	
		p. 142	消費主義の比較文化論	Consumption in Cross-cultural Perspective	3+	太田	Spring			4	
		p. 143	地球社会とヨーロッパ II	Global Community and Europe II	3+	木村	Spring			4	
		p. 144	日本人と他者	Japanese and Others	3+	杉下	Fall			4	
		p. 145	日本の宗教	Religions in Japan	3+	小松	Spring			4	
		p. 146	美術論	Theory of Arts	3+	深松	Summer Break Intensive			4	
		p. 147	仕事と若者論	Japanese Work Environment and Young People	3+	太田	Spring			4	
		p. 148	地球社会とアジア III	Global Community and Asia III	3+	太田	Fall			4	
		p. 149	地球社会とアフリカ I	Global Community and Africa I	3+	杉下	Spring			4	
		p. 150	地球社会とアフリカ II	Global Community and Africa II	3+	杉下	Fall			4	
	International Studies / 国際教養	非開講	Web デザイン	Web Design	2+	-	-			4	
		p. 151	英語学 I	English Linguistics I	2+	山田(大)	Spring			4	教職必修
		p. 152	英語学 II	English Linguistics II	2+	山田(大)	Fall			4	教職必修
		p. 153	英米文学 I	English and American Literature I	2+	田中(ち)	Spring			4	教職必修
		p. 154	英米文学 II	English and American Literature II	2+	田中(ち)	Fall			4	教職必修
		非開講	環境政策	Environmental Policy	2+	-	-			4	
		p. 155	金融論	Theory of Finance	2+	ホノベ	Spring			4	
		p. 156	国際会計論	International Accounting	2+	ホノベ	Fall			4	
		非開講	国際関係論: 中央アジア	International Relations of Central Asia	2+	-	-			4	
		p. 157	国際関係論: 南・東南アジア	International Relations of South and Southeast Asia	2+	クルナザロバ	Fall			4	
		非開講	国際教養特別講義 I	Special Lectures for International Studies I	2+	-	-			4	
		p. 159	国際教養特別講義 II	Special Lectures for International Studies II	2+	新美	Spring・Fall			4	国際政治
		非開講	国際教養特別講義 III	Special Lectures for International Studies III	-	-	-	-	-	-	
		非開講	国際教養特別講義 IV	Special Lectures for International Studies IV	-	-	-	-	-	-	
		p. 160	国際法と国際機関	International Law and Organizations	2+	新美	Spring・Fall			4	
		p. 161	情報処理 I	Information Processing I	2+	張 琪	Spring			4	
		p. 162	情報処理 II	Information Processing II	2+	張 琪	Spring・Fall			4	

Level 科目群	Division 科目区分	Page ページ	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名 (英字)	Year 年次	Instructor 担当教員名	Semester 学期	Required 必修	Restricted Elective 選択必修	Elective 選択	Note 備考
Major Related Courses / 専門教育科目	International Studies / 国際教養	p. 163	多国籍企業会計	Accounting for Multinational Firms	2+	ホノベ	Spring			4	
		p. 164	人間安全保障	International Protection of Human Rights	2+	クルナザロバ	Spring			4	
		p. 166	簿記	Bookkeeping	2+	林	Spring			4	
		p. 167	ポストモダニズムと社会	Postmodernism and Society	2+	マーサー	Spring			4	
		p. 168	マクロ経済学	Macroeconomics	2+	西井	Spring			4	
		非開講	ミクロ経済学	Microeconomics	2+	-	-			4	
		p. 169	アフリカの時事問題	Current Issues in Africa	3+	杉下	Spring			4	
		p. 170	エネルギーと環境	Energy and Environment	3+	橋詰	Fall			4	
		p. 172	経営戦略論	Strategic Management	3+	東	Fall			4	
		非開講	国際協力	International Cooperation	3+	-	-			4	
			国際経営論	International Management	3+	未定	未定			4	
		p. 173	国際経済学	International Economics	3+	渡邊(泰)	Fall			4	
		p. 174	資源と環境	Resource and Environment	3+	橋詰	Spring			4	
		p. 176	多文化共生論	Multiculturalism	3+	杉下	Fall			4	
		p. 177	日本近代史	History of Modern Japan	3+	藤田	Fall			4	
		p. 178	比較経営論	Comparative Management	3+	マリノフ	Fall			4	
		p. 179	マーケティング論	Theory of Marketing	3+	芦田	Spring			4	
			リーダーシップ論	Leadership	3+	未定	未定			4	
	Seminar / ゼミナール	p. 180	プロジェクト・ゼミナール II	Project Seminar II	2+	安田・橋詰・太田	Spring・Fall			2	
		p. 181	プロジェクト・ゼミナール III	Project Seminar III	2+	藤田	Spring・Fall			2	藤沢湘南の戦争とその遺産
		p. 183	プロジェクト・ゼミナール IV	Project Seminar IV	2+	西井	Spring			2	寺島実郎学長監修リレー講座
		p. 183	プロジェクト・ゼミナール V	Project Seminar V	2+	西井	Fall			2	寺島実郎学長監修リレー講座
		p. 184	プロジェクト・ゼミナール VI	Project Seminar VI	2+	長田	Spring・Fall			2	日本伝統文化・いけばな理論と実践
		p. 185	プロジェクト・ゼミナール VII	Project Seminar VII	2+	堂下	Fall			2	藤沢ストーリー
		p. 186	プロジェクト・ゼミナール I	Project Seminar I	3+	廣田	Spring			2	教師力向上講座
			プロジェクト・ゼミナール VIII	Project Seminar VIII	3+	安田	Spring			2	Webシラバスを確認
			プロジェクト・ゼミナール IX	Project Seminar IX	3+	安田	Fall			2	Webシラバスを確認
		p. 187	プロジェクト・ゼミナール X	Project Seminar X	3+	桐谷	Spring			2	被爆都市と観光を多面的に考える I 広島
		p. 188	プロジェクト・ゼミナール XI	Project Seminar XI	3+	桐谷	Fall			2	被爆都市と観光を多面的に考える II 長崎
		p. 189	ゼミナール I	Seminar I	3+	See timetable	Spring			2	
		~	ゼミナール II	Seminar II	3+	See timetable	Fall			2	
		p. 205	ゼミナール III	Seminar III	4	See timetable	Spring			2	
			ゼミナール IV	Seminar IV	4	See timetable	Fall			2	
		p. 206	卒業研究	Graduation Research	4	See timetable	Fall			4	
Teacher's License Program / 教職に関する科目		p. 207	教育原理	Educational Principles	1+	山田(知)	Spring Break Intensive			2	卒業要件外
		p. 208	教職概論	Teaching Profession	1+	廣田	Spring			2	卒業要件外
		p. 209	生徒指導・進路指導論	Student and Career Guidance	1+	関根	Fall			2	卒業要件外
		p. 210	教育課程総論	The Study of Curriculum	2+	岡田	Spring			2	卒業要件外
		p. 212	教育制度論	Educational System	2+	廣田	Fall			2	卒業要件外
		p. 213	教育方法	Educational Methods	2+	竹内	Spring			2	卒業要件外
		p. 214	特別活動	Extra-curricular Activities	2+	関根	Spring			2	卒業要件外
		p. 215	英語科教育法 I	Teaching Method on Teaching English I	3+	大場	Spring			4	卒業要件外
		p. 216	英語科教育法 II	Teaching Method on Teaching English II	3+	大場	Fall			4	卒業要件外
		p. 217	介護等体験実習事前事後指導	The pre/post guidance for experience training / practicing	3+	廣田	Spring			1	卒業要件外
		p. 218	教育相談	Educational Counseling	3+	石島	Fall			2	卒業要件外
		p. 220	総合的な学習の時間の指導法	Teaching Method on Periods of Integrated Studies	3+	北村	Fall			1	卒業要件外・2019年度以降入学生適応
		p. 221	道徳教育論	Study of Ethics Education	3+	廣田	Fall			2	卒業要件外
		p. 222	特別支援	Special Needs Education	3+	三尾	Summer Break Intensive			2	卒業要件外・2019年度以降入学生適応
		p. 223	教育実習 I	Student Teaching I	4	廣田・山田(大)	Spring・Fall			3	卒業要件外
		p. 224	教育実習 II	Student Teaching II	4	廣田・山田(大)	Spring・Fall			2	卒業要件外
		p. 225	教職実践演習(中・高)	Teaching Practice	4	廣田	Fall			2	卒業要件外

ハイフン(-) Not Offered in 2021 / 2021年度開講しない。
「特別講義」とは各科目区分においてグローバルスタディーズ学部にあふわしいテーマで開講される。

Curriculum Matrix / カリキュラムマトリックス2014 - 2021

Level 科目群	Division 科目区分	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名 (英字)	Year 年次	(1) 知識と理解 【グローバル社会 に対する理解】	(2) 思考と判断 【考え抜く力】	(3) 関心と意欲 【社会の発展に 貢献する力】	(4) 表現と技能 【役割分担により 組織目標の達成 に貢献する力】	(5) 高い志 【環境対応能力 と先進性】	Note 備考
Foundational Courses / 基礎教育科目	English Program / 語学	Grammar and Writing I	Grammar and Writing I	1+	○	—	—	◎	—	
		Grammar and Writing II	Grammar and Writing II	1+	○	—	—	◎	—	
		Listening and Pronunciation I	Listening and Pronunciation I	1+	○	—	—	◎	—	
		Listening and Pronunciation II	Listening and Pronunciation II	1+	○	—	—	◎	—	教職必修
		Reading I	Reading I	1+	○	—	—	◎	—	
		Reading II	Reading II	1+	○	—	—	◎	—	教職必修
		Speaking I	Speaking I	1+	○	—	—	◎	—	教職必修
		Speaking II	Speaking II	1+	○	—	—	◎	—	教職必修
		TOEIC演習	TOEIC Preparation	2+	○	—	—	◎	—	
	General Lectures / 共通科目	Core / 選択必修	環境保全入門	1+	—	◎	—	—	○	
			グローバルスタディーズ入門	1+	◎	○	—	—	—	
			経済学入門	1+	—	◎	—	—	○	
			国際理解入門	1+	◎	—	○	—	—	
			情報化社会とグローバル化	1+	—	◎	—	—	○	
			心理学入門	1+	○	◎	—	—	—	
			哲学入門	1+	—	○	—	◎	—	
			日本学入門	1+	◎	—	—	○	—	
			文化グローバリゼーション入門	1+						非開講
			文化人類学入門	1+	◎	—	—	—	○	
			メディア学入門	1+	○	—	—	◎	—	
		Advanced English / 上級英語	英語試験対策講座Ⅲ	1+						非開講
			Business Communication in English I	2+	○	—	—	◎	—	
			Business Communication in English II	2+	○	—	—	◎	—	
			Communicative English for Global Citizenship I	2+	○	—	—	◎	—	
			Communicative English for Global Citizenship II	2+	○	—	—	◎	—	
			English Media and Culture I	2+	○	—	—	◎	—	教職選択
			English Media and Culture II	2+						非開講
			Global Issues: Wealth and Poverty I	2+	—	◎	—	—	○	教職選択
			Global Issues: Wealth and Poverty II	2+	—	◎	—	—	○	教職選択
			Studies In Environmentalism I	2+	○	◎	—	—	—	
			Studies In Environmentalism II	2+	○	◎	—	—	—	
			英語試験対策講座Ⅰ(A)	2+	—	—	—	◎	○	
			英語試験対策講座Ⅰ(B)	2+	○	◎	—	—	—	
			英語試験対策講座Ⅱ	2+	—	—	—	◎	○	
			Studies in Global Events: World-views and Policy II	2+						非開講
			Studies in Global Events: World-views and Policy I	2+						非開講
			Volunteerism: A Historical Survey of NGOs I	2+						非開講
			Volunteerism: A Historical Survey of NGOs II	2+						非開講
	Study Abroad / 留学科目	Study Abroad I - V	Study Abroad I - V	1+	—	—	◎	○	—	
		Study Abroad VI - VIII	Study Abroad VI - VIII	1+	—	—	◎	○	—	
		Internship Abroad	Internship Abroad	3+	—	—	◎	○	—	
		General Elective / 共通一般	職業理解とキャリア	1						未定
			共通科目特別講義Ⅲ	1	—	—	○	—	◎	志スタートアップ
			共通科目特別講義Ⅳ	1	—	—	○	—	◎	志スタートアップ
			英語学基礎	1+						非開講
			科学の歴史	1+						非開講
			学習心理学	1+						非開講
			キャリア形成論	1+	—	—	◎	—	○	
			教育心理学	1+	—	◎	—	—	○	教職課程
			共通科目特別講義Ⅰ	1+						非開講

Level 科目群	Division 科目区分		Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名(英字)	Year 年次	(1) 知識と理解 【グローバル社会 に対する理解】	(2) 思考と判断 【考え抜く力】	(3) 関心と意欲 【社会の発展に 貢献する力】	(4) 表現と技能 【役割分担により 組織目標の達成 に貢献する力】	(5) 高い志 【環境対応能力 と先進性】	Note 備考
Foundational Courses / 基礎教育科目	General Lectures / 共通科目	General Elective / 共通一般	グローバル・ヒストリー	Global History	1+						非開講
			グローバルスタディーズのための数学入門	Introduction to Mathematics for Global Studies	1+	○	◎	—	—	—	
			経営学入門	Introduction to Management	1+	◎	○	—	—	—	
			国際関係論入門	International Relations	1+	◎	○	—	—	—	
			こころの科学	Science of Mind	1+	○	◎	—	—	—	
			コンピューター入門	Introduction to Computers	1+	—	◎	—	—	○	教職必修
			湘南の文学	Shonan Literature	1+	◎	—	—	—	○	
			体育	Physical Education	1+	—	—	—	○	◎	教職必修
			中国文学	Chinese Literature	1+	—	—	—	◎	○	
			統計学入門	Introduction to Statistics	1+	—	◎	—	—	○	
			日本語文章表現法	Japanese Sentence Expression	1+	○	—	—	◎	—	
			日本の法律	Japanese Law	1+	◎	○	—	—	—	教職必修
			日本の歴史	Japanese History	1+	◎	○	—	—	—	
			日本文学	Japanese Literature	1+	◎	—	—	○	—	
			文化心理学	Cultural Psychology	1+	○	◎	—	—	—	
			共通科目特別講義 V	Special Lectures for Foundational Courses V	1+	◎	○	—	—	—	グローバル時事問題
			共通科目特別講義 IX	Special Lectures for General CoursesIX	1+						
			共通科目特別講義 VI	Special Lectures for Foundational Courses VI	1+						非開講
			共通科目特別講義 VII	Special Lectures for Foundational Courses VII	1+						非開講
			ヴィジュアルコミュニケーション入門	Introduction to Visual Communication	2+	—	◎	—	—	○	
			英文会計基礎	Fundamental Accounting in English	2+	—	◎	—	○	—	
			記号論入門	Introduction to Semiotics	2+	—	◎	—	○	—	
			ジェンダー論	Gender Studies	2+	◎	○	—	—	—	
			社会科学のための統計学	Social Science Statistics	2+	○	◎	—	—	—	
			共通科目特別講義 II	Special Lectures for Foundational Courses II	2+	—	—	◎	—	○	グローバル企業とキャリアデザイン
			国内インターンシップ概論	Introduction to Domestic Internship	2, 3	—	◎	○	—	—	
			国内インターンシップ実習 I	Domestic Internship : Practice I	2, 3	—	—	◎	—	○	
			国内インターンシップ実習 II	Domestic Internship : Practice II	2, 3						非開講
			共通科目特別講義 VIII	Special Lectures for Foundational Courses VIII	3	—	◎	○	—	—	進路のための学力アップ講座
	Foreign Language / 外国語	中国語 I	Chinese I	2+	○	—	—	◎	—		
		中国語 II	Chinese II	2+	○	—	—	◎	—		
		中国語 III	Chinese III	2+						非開講	
		韓国語 I	Korean I	2+	◎	—	—	○	—		
		韓国語 II	Korean II	2+	◎	—	—	○	—		
	Japanese / 日本語 科目	日本語初級	Japanese Language Beginners Course	1+	—	—	—	◎	○		
		日本語中級	Japanese Language Intermediate Course	1+	—	—	—	◎	○		
		日本語上級	Japanese Language Upper Course	1+	—	—	—	◎	○		
Major Related Courses / 専門教育科目	Hospitality Management / ホスピタリティ・マネジメント	Travel and Tourism Workplace English I	Travel and Tourism Workplace English I	2+	—	—	—	◎	○	教職選択	
		Travel and Tourism Workplace English II	Travel and Tourism Workplace English II	2+	—	—	—	◎	○	教職選択	
		癒しの文化論	Healing and Culture	2+	◎	○	—	—	—		
		観光 I	Tourism I	2+	◎	○	—	—	—		
		観光 II	Tourism II	2+	◎	○	—	—	—		
		キリスト教の世界観	Christian Views on the World	2+	◎	○	—	—	—		
		言語心理学	Psycholinguistics	2+	○	◎	—	—	—		
		現代観光研究 I	Current Issues in Tourism I	2+						非開講	
		質的調査方法論	Qualitative Research Methods	2+	—	◎	—	—	○		
		身体とアイデンティティ	Body and Identity	2+						非開講	
		地球社会とアジア I	Global Community and Asia I	2+	◎	○	—	—	—		
		地球社会とアジア II	Global Community and Asia II	2+	◎	○	—	—	—		
		地球社会とアメリカ	Global Community and America	2+	◎	○	—	—	—	教職必修	

Level 科目群	Division 科目区分	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名(英字)	Year 年次	(1) 知識と理解 【グローバル社会 に対する理解】	(2) 思考と判断 【考え抜く力】	(3) 関心と意欲 【社会の発展に 貢献する力】	(4) 表現と技能 【役割分担により 組織目標の達成 に貢献する力】	(5) 高い志 【環境対応能力 と先進性】	Note 備考
Major-Related Courses / 専門教育科目	Hospitality Management / ホスピタリティ・マネジメント	地球社会とオーストラリア	Global Community and Australia	2+	◎	—	—	○	—	教職必修
		地球社会と日本	Global Community and Japan	2+	◎	—	—	—	○	
		地球社会とヨーロッパ I	Global Community and Europe I	2+	◎	○	—	—	—	
		通訳概論	Introduction to Interpretation	2+	—	—	○	◎	—	
		認知心理学	Cognitive Psychology	2+	○	◎	—	—	—	
		ホスピタリティ・マネジメント I	Hospitality Management I	2+	—	○	◎	—	—	
		ホスピタリティ・マネジメント II	Hospitality Management II	2+	—	○	◎	—	—	JTB
		ホスピタリティ・マネジメント III	Hospitality Management III	2+	—	○	◎	—	—	ANA
		ホスピタリティ・マネジメント IV	Hospitality Management IV	2+	—	○	◎	—	—	NKS
		ホスピタリティ・マネジメント特別講義 I	Special Lectures for Hospitality Management I	2+	—	◎	—	○	—	観光地域の管理と運営
		ホスピタリティ・マネジメント特別講義 II	Special Lectures for Hospitality Management II	2+						非開講
		ホスピタリティ・マネジメント特別講義 III	Special Lectures for Hospitality Management III	2+	—	—	—	◎	○	接客・おもてなし英語
		ホスピタリティ・マネジメント特別講義 IV	Special Lectures for Hospitality Management IV	2+						非開講
		ホスピタリティ・マネジメント特別講義 V	Special Lectures for Hospitality Management V	2+	◎	—	○	—	—	世界遺産検定3級対策講座
		ホスピタリティ・マネジメント特別講義 VI	Special Lectures for Hospitality Management VI	2+	◎	—	○	—	—	世界遺産検定2級対策講座
		ホスピタリティ・マネジメント特別講義 VII	Special Lectures for Hospitality Management VII	2+	○	◎	—	—	—	ヒロシマ・ナガサキと観光
		ホスピタリティ・マネジメント特別講義 VIII	Special Lectures for Hospitality Management VIII	2+	◎	—	—	○	—	地球社会と環境・開発・平和 ——観光を見据えて
		翻訳概論	Introduction to Translation	2+	○	—	—	◎	—	
		現代観光研究 II	Current Issues in Tourism II	2+						非開講
		地球社会と中東	Global Community and Middle East	2+	○	—	◎	—	—	
		アジアの宗教	Religions in Asia	3+	◎	○	—	—	—	
		観光 III	Tourism III	3+	◎	○	—	—	—	
		観光 IV	Tourism IV	3+						非開講
		コミュニケーション	Communication	3+	—	—	◎	—	○	
		消費社会と日本の大衆文化	Japanese Society through Its Popular Culture	3+	◎	○	—	—	—	
		消費主義の比較文化論	Consumption in Cross-cultural Perspective	3+	◎	○	—	—	—	
		地球社会とヨーロッパ II	Global Community and Europe II	3+	◎	○	—	—	—	
		日本人と他者	Japanese and Others	3+	◎	—	—	—	○	
		日本の宗教	Religions in Japan	3+	◎	—	—	—	○	
		美術論	Theory of Arts	3+	◎	—	—	—	○	
		仕事と若者論	Japanese Work Environment and Young People	3+	—	○	—	—	◎	
		地球社会とアジア III	Global Community and Asia III	3+	◎	—	—	○	—	教職必修
		地球社会とアフリカ I	Global Community and Africa I	3+	◎	—	—	—	○	教職必修
		地球社会とアフリカ II	Global Community and Africa II	3+	◎	—	—	—	○	
	International Studies / 国際教養	Web デザイン	Web Design	2+						非開講
		英語学 I	English Linguistics I	2+	○	—	—	◎	—	教職必修
		英語学 II	English Linguistics II	2+	○	—	—	◎	—	教職必修
		英米文学 I	English and American Literature I	2+	◎	—	—	○	—	教職必修
		英米文学 II	English and American Literature II	2+	◎	—	—	○	—	教職必修
		環境政策	Environmental Policy	2+						非開講
		金融論	Theory of Finance	2+	—	◎	○	—	—	
		国際会計論	International Accounting	2+	—	◎	—	○	—	
		国際関係論: 中央アジア	International Relations of Central Asia	2+						非開講
		国際関係論: 南・東南アジア	International Relations of South and Southeast Asia	2+	◎	○	—	—	—	
		国際教養特別講義 I	Special Lectures for International Studies I	2+						非開講
		国際教養特別講義 II	Special Lectures for International Studies II	2+	◎	—	○	—	—	国際政治
		国際教養特別講義 III	Special Lectures for International Studies III	—						非開講
		国際教養特別講義 IV	Special Lectures for International Studies IV	—						非開講
		国際法と国際機関	International Law and Organizations	2+	◎	○	—	—	—	
		情報処理 I	Information Processing I	2+	—	—	—	◎	○	

Level 科目群	Division 科目区分	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名(英字)	Year 年次	(1) 知識と理解 【グローバル社会 に対する理解】	(2) 思考と判断 【考え抜く力】	(3) 関心と意欲 【社会の発展に 貢献する力】	(4) 表現と技能 【役割分担により 組織目標の達成 に貢献する力】	(5) 高い志 【環境対応能力 と先進性】	Note 備考
Major Related Courses / 専門教育科目	International Studies / 国際教養	情報処理Ⅱ	Information Processing II	2+	—	—	—	◎	○	
		多国籍企業会計	Accounting for Multinational Firms	2+	—	◎	—	○	—	
		人間安全保障	International Protection of Human Rights	2+	◎	○	—	—	—	
		簿記	Bookkeeping	2+	○	◎	—	—	—	
		ポストモダニズムと社会	Postmodernism and Society	2+	◎	○	—	—	—	
		マクロ経済学	Macroeconomics	2+	—	◎	○	—	—	
		ミクロ経済学	Microeconomics	2+						非開講
		アフリカの時事問題	Current Issues in Africa	3+	◎	—	—	—	○	
		エネルギーと環境	Energy and Environment	3+	—	—	◎	○	—	
		経営戦略論	Strategic Management	3+	—	◎	○	—	—	
		国際協力	International Cooperation	3+						非開講
		国際経営論	International Management	3+						未定
		国際経済学	International Economics	3+	◎	○	—	—	—	
		資源と環境	Resource and Environment	3+	—	—	◎	○	—	
		多文化共生論	Multiculturalism	3+	◎	—	—	—	○	
		日本近代史	History of Modern Japan	3+	◎	○	—	—	—	
		比較経営論	Comparative Management	3+	◎	○	—	—	—	
		マーケティング論	Theory of Marketing	3+	◎	○	—	—	—	
		リーダーシップ論	Leadership	3+						未定
	Seminar / ゼミナール	プロジェクト・ゼミナールⅡ	Project Seminar II	2+	—	—	◎	—	○	
		プロジェクト・ゼミナールⅢ	Project Seminar III	2+	◎	—	○	—	—	藤沢湘南の戦争とその遺産
		プロジェクト・ゼミナールⅣ	Project Seminar IV	2+	○	—	◎	—	—	寺島実郎学長監修リレー講座
		プロジェクト・ゼミナールⅤ	Project Seminar V	2+	○	—	◎	—	—	寺島実郎学長監修リレー講座
		プロジェクト・ゼミナールⅥ	Project Seminar VI	2+	—	—	○	◎	—	日本伝統文化：いけばな理論と実践
		プロジェクト・ゼミナールⅦ	Project Seminar VII	2+	◎	—	○	—	—	藤沢ストーリー
		プロジェクト・ゼミナールⅠ	Project Seminar I	3+	◎	—	○	—	—	教師力向上講座
		プロジェクト・ゼミナールⅧ	Project Seminar VIII	3+	—	—	—	—	—	
		プロジェクト・ゼミナールⅨ	Project Seminar IX	3+	—	—	—	—	—	
		プロジェクト・ゼミナールⅩ	Project Seminar X	3+	—	—	◎	○	—	被爆都市と観光を多面的に考えるⅠ 広島
		プロジェクト・ゼミナールⅪ	Project Seminar XI	3+	—	—	◎	○	—	被爆都市と観光を多面的に考えるⅡ 長崎
		ゼミナールⅠ	Seminar I	3+						See syllabus
		ゼミナールⅡ	Seminar II	3+						See syllabus
		ゼミナールⅢ	Seminar III	4						See syllabus
		ゼミナールⅣ	Seminar IV	4						See syllabus
		卒業研究	Graduation Research	4						
	Teacher's License Program / 教職に関する科目	教育原理	Educational Principles	1+	—	○	◎	—	—	卒業要件外
		教職概論	Teaching Profession	1+	—	○	◎	—	—	卒業要件外
		生徒指導・進路指導論	Student and Career Guidance	1+	—	○	◎	—	—	卒業要件外
		教育課程総論	The Study of Curriculum	2+	◎	○	—	—	—	卒業要件外
		教育制度論	Educational System	2+	—	○	◎	—	—	卒業要件外
		教育方法	Educational Methods	2+	○	—	◎	—	—	卒業要件外
		特別活動	Extra-curricular Activities	2+	—	○	◎	—	—	卒業要件外
		英語科教育法Ⅰ	Teaching Method on Teaching English I	3+	○	—	◎	—	—	卒業要件外
		英語科教育法Ⅱ	Teaching Method on Teaching English II	3+	—	—	◎	○	—	卒業要件外
		介護等体験実習事前事後指導	The pre/post guidance for experience training / practicing	3+	—	○	◎	—	—	卒業要件外
		教育相談	Educational Counseling	3+	—	◎	—	○	—	卒業要件外
		総合的な学習の時間の指導法	Teaching Method on Periods of Integrated Studies	3+	—	◎	○	—	—	卒業要件外 2019年度以降入学生適応
		道徳教育論	Study of Ethics Education	3+	—	○	◎	—	—	卒業要件外
		特別支援	Special Needs Education	3+	○	—	◎	—	—	卒業要件外 2019年度以降入学生適応
		教育実習Ⅰ	Student Teaching I	4	○	—	◎	—	—	卒業要件外
		教育実習Ⅱ	Student Teaching II	4	○	—	◎	—	—	卒業要件外
		教職実践演習(中・高)	Teaching Practice	4	—	○	◎	—	—	卒業要件外

★「特別講義」とは各科目区分においてグローバルスタディーズ学部にあわしいテーマで開講される。

科目名 : Grammar and Writing I (A) (B)

Course Title : Grammar and Writing I (A) (B)

教員 / Instructor : 時間割参照 (See timetable)

Division / 分野	English Program / 語学	Semester / 開講学期	Spring
Grade / 配当年次	1年以上	Credits / 単位	2単位
Office / 研究室		E-mail	
Work Experiences / 実務経験			

■ Course Goals / 到達目標

Students will :

- learn academic writing styles.
- expand their use of English vocabulary and knowledge of grammatical structures.
- learn to cite information from sources.
- learn and practice macro-revision and micro-revision techniques.
- acquire critical thinking skills.
- ・アカデミックライティングのスタイルについて学習
- ・使える語彙力の増強
- ・情報引用の仕方
- ・マクロ的、ミクロ的な修正方法の習得
- ・批判的な考え方の習得

■ Course Description / 講義の概要

This course is designed to provide 1st year students an opportunity to develop their academic writing skills. The course will address organization, writing style, revision techniques, rhetorical modes and cross-cultural issues. Instructors will incorporate both inductive and deductive approaches to teaching syntax. Combining these approaches will help raise students' awareness of grammatical challenges in their writing. Since this is a process-writing course, students will write three drafts of each essay and keep all drafts in a writing portfolio.

このコースはアカデミックライティングスキル向上を目的とした1年次向けのコースである。構成、スタイル、修正方法、修辭的模式、そして異文化問題なども取り上げる。講師は帰納的、演繹的アプローチにて指導する。こうした指導方法の中で、学生は自らの文法上の課題について認識することができる。一連のライティングスキル向上コースであるため、学生は各エッセーのドラフトを書き、それをライティングポートフォリオに保管しておくこと。

■ Preparation study time Specific content / 準備学習時間・具体的内容

- ・教科書やプリント等を事前に読んでおくこと (1時間を要する) Students are required to read the given course materials in advance (for 1 hour)
- ・毎週出された課題を行うこと (1時間を要する) Required to work for assignments given in class (for 1 hour)
- ・小テスト等の予習を行うこと (1時間を要する) Prepare for quizzes or tests (for 1 hour)

■ Textbook / 教科書

Curtis Kelly and Arlen Gargagliano (2011) "Writing from Within 2", 2nd Edition, Cambridge University Press.

■ Method of Evaluation / 評価方法

- Active participation / 積極的な授業参加 : 10%
- Long Assignment #1 / 長文エッセイ : 20%
- Long Assignment #2 / 長文エッセイ : 20%
- Long Assignment #3 / 長文エッセイ : 20%
- 3 Grammar Quizzes / 小テスト : 30%

■ Prerequisite / 事前履修科目等

特になし N/A

■ Additional Information / 留意点

この授業は、TOEIC 及びブレースメントテストをもとにクラス分けを行い、1クラス20名以下とする。Having taken TOEIC test on entering SGS, students are allocated in class according to their level of English. There are no more than 20 students in a class.

科目名：Grammar and Writing I (C)

Course Title：Grammar and Writing I (C)

教員／Instructor：時間割参照（See timetable）

Division／分野	English Program／語学	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

Students will：

- learn academic writing styles.
- expand their use of English vocabulary and knowledge of grammatical structures.
- learn to cite information from sources.
- learn and practice macro-revision and micro-revision techniques.
- acquire critical thinking skills.
- ・アカデミックライティングのスタイルについて学習
- ・使える語彙力の増強
- ・情報引用の仕方
- ・マクロ的、ミクロ的な修正方法の習得
- ・批判的な考え方の習得

■ Course Description／講義の概要

This course is designed to provide 1st year students an opportunity to develop their academic writing skills. The course will address organization, writing style, revision techniques, rhetorical modes and cross-cultural issues. Instructors will incorporate both inductive and deductive approaches to teaching syntax. Combining these approaches will help raise students' awareness of grammatical challenges in their writing. Since this is a process-writing course, students will write three drafts of each essay and keep all drafts in a writing portfolio.

このコースはアカデミックライティングスキル向上を目的とした1年次向けのコースである。構成、スタイル、修正方法、修辭的模式、そして異文化問題なども取り上げる。講師は帰納的、演繹的アプローチにて指導する。こうした指導方法の中で、学生は自らの文法上の課題について認識することができる。一連のライティングスキル向上コースであるため、学生は各エッセーのドラフトを書き、それをライティングポートフォリオに保管しておくこと。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・教科書やプリント等を事前に読んでおくこと（1時間を要する）Students are required to read the given course materials in advance (for 1 hour)
- ・毎週出された課題を行うこと（1時間を要する）Required to work for assignments given in class (for 1 hour)
- ・小テスト等の予習を行うこと（1時間を要する）Prepare for quizzes or tests (for 1 hour)

■ Textbook／教科書

Curtis Kelly and Arlen Gargagliano (2011) "Writing from Within I", 2nd Edition, Cambridge University Press.

■ Method of Evaluation／評価方法

Active participation／積極的な授業参加：10%
 Long Assignment #1／長文エッセイ：15%
 Long Assignment #2／長文エッセイ：15%
 Long Assignment #3／長文エッセイ：15%
 Long Assignment #4／長文エッセイ：15%
 3 Grammar Quizzes／小テスト：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし N/A

■ Additional Information／留意点

この授業は、TOEIC 及びブレースメントテストをもとにクラス分けを行い、1クラス20名以下とする。Having taken TOEIC test on entering SGS, students are allocated in class according to their level of English. There are no more than 20 students in a class.

科目名 : Grammar and Writing II (A) (B)

Course Title : Grammar and Writing II (A) (B)

教員 / Instructor : 時間割参照 (See timetable)

Division / 分野	English Program / 語学	Semester / 開講学期	Fall
Grade / 配当年次	1年以上	Credits / 単位	2単位
Office / 研究室		E-mail	
Work Experiences / 実務経験			

■ Course Goals / 到達目標

Students will :

- learn academic writing styles.
- expand their use of English vocabulary and knowledge of grammatical structures.
- learn to cite information from sources.
- learn and practice macro-revision and micro-revision techniques.
- acquire critical thinking skills.
- ・アカデミックライティングのスタイルについて学習
- ・使える語彙力の増強
- ・情報引用の仕方
- ・マクロ的、ミクロ的な修正方法の習得
- ・批判的な考え方の習得

■ Course Description / 講義の概要

This course is designed to provide 1st year students an opportunity to develop their academic writing skills. The course will address organization, writing style, revision techniques, rhetorical modes and cross-cultural issues. Instructors will incorporate both inductive and deductive approaches to teaching syntax. Combining these approaches will help raise students' awareness of grammatical challenges in their writing. Since this is a process-writing course, students will write three drafts of each essay and keep all drafts in a writing portfolio.

このコースはアカデミックライティングスキル向上を目的とした1年次向けのコースである。構成、スタイル、修正方法、修辭的模式、そして異文化問題なども取り上げる。講師は帰納的、演繹的アプローチにて指導する。こうした指導方法の中で、学生は自らの文法上の課題について認識することができる。一連のライティングスキル向上コースであるため、学生は各エッセーのドラフトを書き、それをライティングポートフォリオに保管しておくこと。

■ Preparation study time Specific content / 準備学習時間・具体的内容

- ・教科書やプリント等を事前に読んでおくこと (1時間を要する) Students are required to read the given course materials in advance (for 1 hour)
- ・毎週出された課題を行うこと (1時間を要する) Required to work for assignments given in class (for 1 hour)
- ・小テスト等の予習を行うこと (1時間を要する) Prepare for quizzes or tests (for 1 hour)

■ Textbook / 教科書

Curtis Kelly and Arlen Gargagliano (2011) "Writing from Within 2", 2nd Edition, Cambridge University Press.

■ Method of Evaluation / 評価方法

- Active participation / 積極的な授業参加 : 10%
- Short Assignment 1 & 2 / 短文エッセイ : 15%
- Long Assignment #1 / 長文エッセイ : 15%
- Long Assignment #2 / 長文エッセイ : 15%
- Long Assignment #3 / 長文エッセイ : 15%
- 3 Grammar Quizzes / 小テスト : 30%

■ Prerequisite / 事前履修科目等

特になし N/A

■ Additional Information / 留意点

この授業は、TOEIC 及びブレースメントテストをもとにクラス分けを行い、1クラス20名以下とする。Having taken TOEIC test on entering SGS, students are allocated in class according to their level of English. There are no more than 20 students in a class.

科目名：Grammar and Writing II (C) (Retake)

Course Title：Grammar and Writing II (C)

教員／Instructor：時間割参照（See timetable）

Division／分野	English Program／語学	Semester／開講学期	(Group C) Fall (Retake) Spring
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

Students will：

- learn academic writing styles.
- expand their use of English vocabulary and knowledge of grammatical structures.
- learn to cite information from sources.
- learn and practice macro-revision and micro-revision techniques.
- acquire critical thinking skills.
- ・アカデミックライティングのスタイルについて学習
- ・使える語彙力の増強
- ・情報引用の仕方
- ・マクロ的、ミクロ的な修正方法の習得
- ・批判的な考え方の習得

■ Course Description／講義の概要

This course is designed to provide 1st year students an opportunity to develop their academic writing skills. The course will address organization, writing style, revision techniques, rhetorical modes and cross-cultural issues. Instructors will incorporate both inductive and deductive approaches to teaching syntax. Combining these approaches will help raise students' awareness of grammatical challenges in their writing. Since this is a process-writing course, students will write three drafts of each essay and keep all drafts in a writing portfolio.

このコースはアカデミックライティングスキル向上を目的とした1年次向けのコースである。構成、スタイル、修正方法、修辭的模式、そして異文化問題なども取り上げる。講師は帰納的、演繹的アプローチにて指導する。こうした指導方法の中で、学生は自らの文法上の課題について認識することができる。一連のライティングスキル向上コースであるため、学生は各エッセーのドラフトを書き、それをライティングポートフォリオに保管しておくこと。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・教科書やプリント等を事前に読んでおくこと（1時間を要する）Students are required to read the given course materials in advance (for 1 hour)
- ・毎週出された課題を行うこと（1時間を要する）Required to work for assignments given in class (for 1 hour)
- ・小テスト等の予習を行うこと（1時間を要する）Prepare for quizzes or tests (for 1 hour)

■ Textbook／教科書

Curtis Kelly and Arlen Gargagliano (2011) "Writing from Within 1", 2nd Edition, Cambridge University Press.

■ Method of Evaluation／評価方法

- Active participation／積極的な授業参加：10%
- 2 Short Assignments／短文エッセイ 2本：15%
- Long Assignment #1／長文エッセイ：15%
- Long Assignment #2／長文エッセイ：15%
- Long Assignment #3／長文エッセイ：15%
- 3 Grammar Quizzes／小テスト：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし N/A

■ Additional Information／留意点

この授業は、TOEIC 及びブレースメントテストをもとにクラス分けを行い、1クラス 20 名以下とする。Having taken TOEIC test on entering SGS, students are allocated in class according to their level of English. There are no more than 20 students in a class.

科目名 : Listening and Pronunciation I (A) (B)

Course Title : Listening and Pronunciation I (A) (B)

教員 / Instructor : 時間割参照 (See timetable)

Division / 分野	English Program / 語学	Semester / 開講学期	Spring
Grade / 配当年次	1年以上	Credits / 単位	2単位
Office / 研究室		E-mail	
Work Experiences / 実務経験			

■ Course Goals / 到達目標

To further improve general listening comprehension skills
 To become confident in listening to English passages spoken at natural speed
 To be able to listen for the main ideas and specific details
 To better understand sound features of English
 To increase listening vocabulary
 To become fluent in listening to passages of a certain length
 Listening vocabulary は「聞いて意味が分かる語彙」
 更なる全体的なリスニング力の底上げ
 ナチュラルスピードの英語に自信をもつこと
 趣旨と枝葉の詳細部分のリスニング力の養成
 英語の音声的特長の更なる理解
 聞いて意味が分かる語彙の増強
 ある程度の長さを持った英語のリスニング力習得

■ Course Description / 講義の概要

This course aims to further develop listening comprehension skills to help students understand various types of discourse spoken at natural speed. The topics will cover a wide range from everyday situations to global and cultural issues depending on the classes. Students will be exposed to longer listening pieces taken from the textbook, audio/visual segments from the internet and other medias, TOEIC practice materials and many others, and they are required to engage in listening exercises both in and outside of class. Activities include such activities as dictation, repetition, comprehension questions, reading scripts while listening, role-play, and discussion. Through these exercises, students are expected to increase their vocabulary and listening fluency and to become active listeners.

このコースでは、ナチュラルスピードのさまざまな英語を理解するため、更なるリスニング力向上を図ることを目的としている。クラスに応じて、グローバルな問題や文化的問題などさまざまな日常生活の状況をトピックとする。教科書、インターネットの音声、動画教材、その他メディアから、より長めの教材で練習し、授業内外においてリスニング練習をすることが求められる。リスニング、ロールプレイ、ディスカッションなどに加えて、ディクテーション、反復練習、内容理解の確認、スクリプト音読なども行う。これらを通して、語彙力やリスニング力を高め、アクティブリスナーとなることを目指す。

■ Preparation study time Specific content / 準備学習時間・具体的内容

- ・教科書やプリント等を事前に読んでおくこと (1 時間を要する) Students are required to read the given course materials in advance (for 1 hour)
- ・毎週出された課題を行うこと (1 時間を要する) Required to work for assignments given in class (for 1 hour)
- ・小テスト等の予習を行うこと (1 時間を要する) Prepare for quizzes or tests (for 1 hour)

■ Textbook / 教科書

David Bohlke and Bruce Rogers (2011) "Listening Power 2", Pearson Longman

■ Method of Evaluation / 評価方法

Active participation / 積極的な授業参加 : 10%
 Weekly listening assignments / Reports / Quizzes / Tests / 週ごとの宿題・レポート・小テスト・定期テスト : 90%

■ Prerequisite / 事前履修科目等

特になし N/A

■ Additional Information / 留意点

この授業は、TOEIC 及びブレースメントテストをもとにクラス分けを行い、1 クラス 20 名以下とする。Having taken TOEIC test on entering SGS, students are allocated in class according to their level of English. There are no more than 20 students in a class.

科目名：Listening and Pronunciation I (C)

Course Title：Listening and Pronunciation I (C)

教員／Instructor：時間割参照（See timetable）

Division／分野	English Program／語学	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

To further improve general listening comprehension skills
 To become confident in listening to English passages spoken at natural speed
 To be able to listen for the main ideas and specific details
 To better understand sound features of English
 To increase listening vocabulary
 To become fluent in listening to passages of a certain length
 Listening vocabulary は「聞いて意味が分かる語彙」
 更なる全体的なリスニング力の底上げ
 ナチュラルスピードの英語に自信をもつこと
 趣旨と枝葉の詳細部分のリスニング力の養成
 英語の音声的特長の更なる理解
 聞いて意味が分かる語彙の増強
 ある程度の長さを持った英語のリスニング力習得

■Course Description／講義の概要

This course aims to further develop listening comprehension skills to help students understand various types of discourse spoken at natural speed. The topics will cover a wide range from everyday situations to global and cultural issues depending on the classes. Students will be exposed to longer listening pieces taken from the textbook, audio/visual segments from the internet and other medias, TOEIC practice materials and many others, and they are required to engage in listening exercises both in and outside of class. Activities include such activities as dictation, repetition, comprehension questions, reading scripts while listening, role-play, and discussion. Through these exercises, students are expected to increase their vocabulary and listening fluency and to become active listeners.
 このコースでは、ナチュラルスピードのさまざまな英語を理解するため、更なるリスニング力向上を図ることを目的としている。クラスに応じて、グローバルな問題や文化的問題などさまざまな日常生活の状況をトピックとする。教科書、インターネットの音声、動画教材、その他メディアから、より長めの教材で練習し、授業内外においてリスニング練習をすることが求められる。リスニング、ロールプレイ、ディスカッションなどに加えて、ディクテーション、反復練習、内容理解の確認、スクリプト音読なども行う。これらを通して、語彙力やリスニング力を高め、アクティブリスナーとなることを目指す。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

・教科書やプリント等を事前に読んでおくこと（1時間を要する）Students are required to read the given course materials in advance (for 1 hour)
 ・毎週出された課題を行うこと（1時間を要する）Required to work for assignments given in class (for 1 hour)
 ・小テスト等の予習を行うこと（1時間を要する）Prepare for quizzes or tests (for 1 hour)

■Textbook／教科書

「TOEIC L & R テスト書き込みドリル（リスニング編）」（桐原書店）
 「公式 TOEIC 問題集 7」（IIBC）

■Method of Evaluation／評価方法

Active participation／積極的な授業参加：10%
 Assignments／課題：10%
 Quezzes／小テスト：30%
 Tests／定期テスト：50%

■Prerequisite／事前履修科目等

特になし N/A

■Additional Information／留意点

この授業は、TOEIC 及びブレースメントテストをもとにクラス分けを行い、1クラス 20 名以下とする。Having taken TOEIC test on entering SGS, students are allocated in class according to their level of English. There are no more than 20 students in a class.

科目名 : Listening and Pronunciation II (A)(B)

Course Title : Listening and Pronunciation II (A)(B)

教員 / Instructor : 時間割参照 (See timetable)

Division / 分野	English Program / 語学	Semester / 開講学期	Fall
Grade / 配当年次	1年以上	Credits / 単位	2単位
Office / 研究室		E-mail	
Work Experiences / 実務経験			

■ Course Goals / 到達目標

To further improve general listening comprehension skills
 To become confident in listening to English passages spoken at natural speed
 To be able to listen for the main ideas and specific details
 To better understand sound features of English
 To increase listening vocabulary
 To become fluent in listening to passages of a certain length
 Listening vocabulary は「聞いて意味が分かる語彙」
 更なる全体的なリスニング力の底上げ
 ナチュラルスピードの英語に自信をもつこと
 趣旨と枝葉の詳細部分のリスニング力の養成
 英語の音声的特長の更なる理解
 聞いて意味が分かる語彙の増強
 ある程度の長さを持った英語のリスニング力習得

■ Course Description / 講義の概要

This course aims to further develop listening comprehension skills to help students understand various types of discourse spoken at natural speed. The topics will cover a wide range from everyday situations to global and cultural issues depending on the classes. Students will be exposed to longer listening pieces taken from the textbook, audio/visual segments from the internet and other medias, TOEIC practice materials and many others, and they are required to engage in listening exercises both in and outside of class. Activities include such activities as dictation, repetition, comprehension questions, reading scripts while listening, role-play, and discussion. Through these exercises, students are expected to increase their vocabulary and listening fluency and to become active listeners.

このコースでは、ナチュラルスピードのさまざまな英語を理解するため、更なるリスニング力向上を図ることを目的としている。クラスに応じて、グローバルな問題や文化的問題などさまざまな日常生活の状況をトピックとする。教科書、インターネットの音声、動画教材、その他メディアから、より長めの教材で練習し、授業内外においてリスニング練習をすることが求められる。リスニング、ロールプレイ、ディスカッションなどに加えて、ディクテーション、反復練習、内容理解の確認、スクリプト音読なども行う。これらを通して、語彙力やリスニング力を高め、アクティブリスナーとなることを目指す。

■ Preparation study time Specific content / 準備学習時間・具体的内容

- ・教科書やプリント等を事前に読んでおくこと (1 時間を要する) Students are required to read the given course materials in advance (for 1 hour)
- ・毎週出された課題を行うこと (1 時間を要する) Required to work for assignments given in class (for 1 hour)
- ・小テスト等の予習を行うこと (1 時間を要する) Prepare for quizzes or tests (for 1 hour)

■ Textbook / 教科書

David Bohlke and Bruce Rogers (2011) "Listening Power 2", Pearson Longman

■ Method of Evaluation / 評価方法

Active participation / 積極的な授業参加 : 10%
 Weekly listening assignments / Reports / Quizzes / Tests / 週ごとの宿題・レポート・小テスト・定期テスト : 90%

■ Prerequisite / 事前履修科目等

特になし N/A

■ Additional Information / 留意点

この授業は、TOEIC 及びブレースメントテストをもとにクラス分けを行い、1 クラス 20 名以下とする。Having taken TOEIC test on entering SGS, students are allocated in class according to their level of English. There are no more than 20 students in a class.

科目名：Listening and Pronunciation II (C) (Retake)

Course Title：Listening and Pronunciation II (C)

教員／Instructor：時間割参照（See timetable）

Division／分野	English Program／語学	Semester／開講学期	(Group C) Fall (Retake) Spring
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

To further improve general listening comprehension skills
 To become confident in listening to English passages spoken at natural speed
 To be able to listen for the main ideas and specific details
 To better understand sound features of English
 To increase listening vocabulary
 To become fluent in listening to passages of a certain length
 Listening vocabulary は「聞いて意味が分かる語彙」
 更なる全体的なリスニング力の底上げ
 ナチュラルスピードの英語に自信をもつこと
 趣旨と枝葉の詳細部分のリスニング力の養成
 英語の音声的特長の更なる理解
 聞いて意味が分かる語彙の増強
 ある程度の長さを持った英語のリスニング力習得

■Course Description／講義の概要

This course aims to further develop listening comprehension skills to help students understand various types of discourse spoken at natural speed. The topics will cover a wide range from everyday situations to global and cultural issues depending on the classes. Students will be exposed to longer listening pieces taken from the textbook, audio/visual segments from the internet and other medias, TOEIC practice materials and many others, and they are required to engage in listening exercises both in and outside of class. Activities include such activities as dictation, repetition, comprehension questions, reading scripts while listening, role-play, and discussion. Through these exercises, students are expected to increase their vocabulary and listening fluency and to become active listeners.
 このコースでは、ナチュラルスピードのさまざまな英語を理解するため、更なるリスニング力向上を図ることを目的としている。クラスに応じて、グローバルな問題や文化的問題などさまざまな日常生活の状況をトピックとする。教科書、インターネットの音声、動画教材、その他メディアから、より長めの教材で練習し、授業内外においてリスニング練習をすることが求められる。リスニング、ロールプレイ、ディスカッションなどに加えて、ディクテーション、反復練習、内容理解の確認、スクリプト音読なども行う。これらを通して、語彙力やリスニング力を高め、アクティブリスナーとなることを目指す。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

・教科書やプリント等を事前に読んでおくこと（1時間を要する）Students are required to read the given course materials in advance (for 1 hour)
 ・毎週出された課題を行うこと（1時間を要する）Required to work for assignments given in class (for 1 hour)
 ・小テスト等の予習を行うこと（1時間を要する）Prepare for quizzes or tests (for 1 hour)

■Textbook／教科書

「公式 TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編」(IIBC)
 (Group C) 「公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 7」(IIBC)
 (Retake) 「公式 TOEIC Listening&Reading 問題集 4」(IIBC)

■Method of Evaluation／評価方法

Active participation／積極的な授業参加：10%
 Assignments／課題：10%
 Quezzes／小テスト：30%
 Tests／定期テスト：50%

■Prerequisite／事前履修科目等

特になし N/A

■Additional Information／留意点

この授業は、TOEIC 及びブレースメントテストをもとにクラス分けを行い、1クラス 20 名以下とする。Having taken TOEIC test on entering SGS, students are allocated in class according to their level of English. There are no more than 20 students in a class.

科目名：Reading I (A) (B)

Course Title：Reading I (A) (B)

教員／Instructor：時間割参照 (See timetable)

Division／分野	English Program／語学	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

To help students to become practical readers in English, and to be able to read for information.

To have students read a variety of texts and understand their social environments.

英文から情報を的確に読み取る力を育成すること

社会問題も含めた様々なジャンルの文章に慣れること

■ Course Description／講義の概要

This course encourages students to read more in English. The textbook contains readings on a variety of topics that should hold students' interests. Reading should be fun! The textbook topics are from National Geographic Learning and it includes topics on animals, travel and science. In addition to the textbook, instructors will use supplemental materials. There is large focus on vocabulary building. Instructors will also help students to develop reading strategies that can increase comprehension ability.

この授業はできる限り多くの英文を読むことを目的としている。使用するテキストはリーディングの本来の楽しみが感じられるよう、幅広いジャンルを取り上げている。具体的には National Geographic Learning から選ばれた動物、旅行および科学に関する文章を教科書で読み、補助教材も使用の予定。受講者は語彙の学習に加え、読解力を向上させるためのスキル学習も行う。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

・教科書やプリント等を事前に読んでおくこと (1 時間を要する) Students are required to read the given course materials in advance (for 1 hour)

・毎週出された課題を行うこと (1 時間を要する) Required to work for assignments given in class (for 1 hour)

・小テスト等の予習を行うこと (1 時間を要する) Prepare for quizzes or tests (for 1 hour)

■ Textbook／教科書

Paul MacIntyre and David Bohlke (2020) "Reading Explorer 2" Third Edition, National Geographic Learning, Cengage Learning, Inc.

(for A and B Level Students)

■ Method of Evaluation／評価方法

Active participation／積極的な授業参加：10%

Vocabulary Quizzes／小テスト：10%

Vocabulary Notebook／ボキャブラリーノート：10%

Book Reports／ブックレポート：30%

Tests／定期テスト：30%

Assignments／課題：10%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし N/A

■ Additional Information／留意点

この授業は、TOEIC 及びブレースメントテストをもとにクラス分けを行い、1 クラス 20 名以下とする。Having taken TOEIC test on entering SGS, students are allocated in class according to their level of English. There are no more than 20 students in a class.

科目名：Reading I (C)

Course Title：Reading I (C)

教員／Instructor：時間割参照（See timetable）

Division／分野	English Program／語学	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

To help students become practical readers in English, able to read for information.

To prepare students for encounters with a variety of texts.

英文から情報を的確に読み取る力を育成すること

様々なジャンルの文章に慣れること

■Course Description／講義の概要

This course encourages students to read more in English. The textbook contains readings on a variety of topics that should hold students' interest. Reading should be fun! The textbook topics are from TOEIC. In addition to the textbook, instructors will use supplemental materials. There is large focus on vocabulary building. Instructors will also help students develop reading strategies that can increase comprehension ability.

この授業はできる限り多くの英文を読むことを目的としている。使用するテキストはリーディングの本来の楽しみが感じられるよう、幅広いジャンルを取り上げている。具体的には TOEIC の文章を読み、補助教材も使用の予定。受講者は語彙の学習に加え、読解力を向上させるためのスキル学習も行う。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

・教科書やプリント等を事前に読んでおくこと（1 時間を要する）Students are required to read the given course materials in advance (for 1 hour)

・毎週出された課題を行うこと（1 時間を要する）Required to work for assignments given in class (for 1 hour)

・小テスト等の予習を行うこと（1 時間を要する）Prepare for quizzes or tests (for 1 hour)

■Textbook／教科書

「英文法授業ノート」（神田外語大学出版局）

「TOEIC (R) L & R テスト 英文法 ゼロからスコアが稼げるドリル」（アルク）

「TOEIC L/R TEST 出る単特急 銀のフレーズ」（朝日新聞出版社）

「公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 7」（IIBC）

■Method of Evaluation／評価方法

Active participation／積極的な授業参加：10%

Assignments／課題：10%

Quizzes／小テスト：30%

Tests／定期テスト：50%

■Prerequisite／事前履修科目等

特になし N/A

■Additional Information／留意点

この授業は、TOEIC 及びブレースメントテストをもとにクラス分けを行い、1 クラス 20 名以下とする。Having taken TOEIC test on entering SGS, students are allocated in class according to their level of English. There are no more than 20 students in a class.

科目名 : Reading II (A) (B)

Course Title : Reading II (A) (B)

教員 / Instructor : 時間割参照 (See timetable)

Division / 分野	English Program / 語学	Semester / 開講学期	Fall
Grade / 配当年次	1年以上	Credits / 単位	2単位
Office / 研究室		E-mail	
Work Experiences / 実務経験			

■ Course Goals / 到達目標

To help students to become practical readers in English, and to be able to read for information.

To have students read a variety of texts and understand their social environments.

英文から情報を的確に読み取る力を育成すること

社会問題も含めた様々なジャンルの文章に慣れること

■ Course Description / 講義の概要

This course encourages students to read more in English. The textbook contains readings on a variety of topics that should hold students' interests. Reading should be fun! The textbook topics are from National Geographic Learning and it includes topics on animals, travel and science. In addition to the textbook, instructors will use supplemental materials. There is large focus on vocabulary building. Instructors will also help students to develop reading strategies that can increase comprehension ability.

この授業はできる限り多くの英文を読むことを目的としている。使用するテキストはリーディングの本来の楽しみが感じられるよう、幅広いジャンルを取り上げている。具体的には National Geographic Learning から選ばれた動物、旅行および科学に関する文章を教科書で読み、補助教材も使用の予定。受講者は語彙の学習に加え、読解力を向上させるためのスキル学習も行う。

■ Preparation study time Specific content / 準備学習時間・具体的内容

・教科書やプリント等を事前に読んでおくこと (1 時間を要する) Students are required to read the given course materials in advance (for 1 hour)

・毎週出された課題を行うこと (1 時間を要する) Required to work for assignments given in class (for 1 hour)

・小テスト等の予習を行うこと (1 時間を要する) Prepare for quizzes or tests (for 1 hour)

■ Textbook / 教科書

Paul MacIntyre and David Bohlke (2020) "Reading Explorer 2" Third Edition, National Geographic Learning, Cengage Learning, Inc.

(for A and B Level Students)

■ Method of Evaluation / 評価方法

Active participation / 積極的な授業参加 : 10%

Vocabulary Quizzes / 小テスト : 10%

Vocabulary Notebook / ボキャブラリーノート : 10%

Book Reports / ブックレポート : 30%

Tests / 定期テスト : 30%

Assignments / 課題 : 10%

■ Prerequisite / 事前履修科目等

特になし N/A

■ Additional Information / 留意点

この授業は、TOEIC 及びブレースメントテストをもとにクラス分けを行い、1 クラス 20 名以下とする。Having taken TOEIC test on entering SGS, students are allocated in class according to their level of English. There are no more than 20 students in a class.

科目名：Reading II (C) (Retake)

Course Title：Reading II (C)

教員／Instructor：時間割参照（See timetable）

Division／分野	English Program／語学	Semester／開講学期	(Group C) Fall (Retake) Spring
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

To help students become practical readers in English, able to read for information.

To prepare students for encounters with a variety of texts.

英文から情報を的確に読み取る力を育成すること

様々なジャンルの文章に慣れること

■Course Description／講義の概要

This course encourages students to read more in English. The textbook contains readings on a variety of topics that should hold students' interest. Reading should be fun! The textbook topics are from TOEIC. In addition to the textbook, instructors will use supplemental materials. There is large focus on vocabulary building. Instructors will also help students develop reading strategies that can increase comprehension ability.

この授業はできる限り多くの英文を読むことを目的としている。使用するテキストはリーディングの本来の楽しみが感じられるよう、幅広いジャンルを取り上げている。具体的には TOEIC の文章を読み、補助教材も使用の予定。受講者は語彙の学習に加え、読解力を向上させるためのスキル学習も行う。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

・教科書やプリント等を事前に読んでおくこと（1 時間を要する）Students are required to read the given course materials in advance (for 1 hour)

・毎週出された課題を行うこと（1 時間を要する）Required to work for assignments given in class (for 1 hour)

・小テスト等の予習を行うこと（1 時間を要する）Prepare for quizzes or tests (for 1 hour)

■Textbook／教科書

「英文法授業ノート」（神田外語大学出版局）

「TOEIC (R) L & R テスト 英文法 ゼロからスコアが稼げるドリル」（アルク）

「TOEIC L/R TEST 出る単特急 銀のフレーズ」（朝日新聞出版社）

「公式 TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編」（IIBC）

（Group C）「公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 7」（IIBC）

（Retake）「公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 4」（IIBC）

■Method of Evaluation／評価方法

Active participation／積極的な授業参加：10%

Assignments／課題：10%

Quizzes／小テスト：30%

Tests／定期テスト：50%

■Prerequisite／事前履修科目等

特になし N/A

■Additional Information／留意点

この授業は、TOEIC 及びブレースメントテストをもとにクラス分けを行い、1 クラス 20 名以下とする。Having taken TOEIC test on entering SGS, students are allocated in class according to their level of English. There are no more than 20 students in a class.

科目名 : Speaking I (A) (B)

Course Title : Speaking I (A) (B)

教員 / Instructor : 時間割参照 (See timetable)

Division / 分野	English Program / 語学	Semester / 開講学期	Spring
Grade / 配当年次	1年以上	Credits / 単位	2単位
Office / 研究室		E-mail	
Work Experiences / 実務経験			

■ Course Goals / 到達目標

Students will :

- Practice basic conversational skills to improve their communicative ability.
- Practice pronunciation and learn pronunciation strategies.
- Learn about cultural differences in conversation.
- Practice techniques for academic and business presentation.
- Develop professional presentation skills for using visual aids.
- To compare and contrast views of social issues.

この講義の目標は

- ・コミュニケーション能力を高めるため、基礎的な会話を練習する
- ・発音練習
- ・会話における文化的な差異について学ぶ
- ・アカデミック及びビジネスプレゼンテーションの技術を学ぶ
- ・視覚的な資料を使ったプレゼンテーションスキルを身につける
- ・社会的な事柄についてさまざまな視点を比較、対比させる

■ Course Description / 講義の概要

This course will focus on developing students' basic interpersonal communication skills while also devoting ample time to teaching students how to make professional presentations. Therefore, class time will be divided between conversation practice, pronunciation practice and presentation practice. This course is designed to provide students with English conversation skills that will help them communicate more effectively. Since the focus is on communication, there will be plenty of group work and pair work in class. This will give students the maximum opportunity to practice speaking in English about various topics. The course will also address organization, presentation style, pronunciation and cross-cultural issues. Each student will give a minimum of three presentations plus several impromptu speeches. Presentations will be developed through an outline process and practiced in class two or three times each.

この講義では、基礎的なコミュニケーションスキルおよびプレゼンテーションスキルを高めることを学ぶ。授業中は、会話、発音、プレゼンテーションの訓練を行い、より効果的にコミュニケーションできるように指導する。この授業では多くの時間をグループワークに費やし、様々なトピックで会話の訓練をする。また、会話の構成、プレゼンテーションの様式、発音、異文化的な事柄にも取り組む。学生は最低3回のプレゼンテーション、即興のスピーチが課せられる。

■ Preparation study time Specific content / 準備学習時間・具体的内容

- ・教科書やプリント等を事前に読んでおくこと (1時間を要する) Students are required to read the given course materials in advance (for 1 hour)
- ・毎週出された課題を行うこと (1時間を要する) Required to work for assignments given in class (for 1 hour)
- ・小テスト等の予習を行うこと (1時間を要する) Prepare for quizzes or tests (for 1 hour)

■ Textbook / 教科書

Sarah Morikawa and Luke Harrington (2015) "Global Connections", National Geographic Learning, Cengage Learning

■ Method of Evaluation / 評価方法

Active participation / 積極的な授業参加 : 10%
 4 Assignments / 課題 : 60%
 Speaking exercises / スピーキング練習 : 10%
 Quizzes / Tests / 小テスト・テスト : 20%

■ Prerequisite / 事前履修科目等

特になし N/A

■ Additional Information / 留意点

この授業は、TOEIC 及びブレースメントテストをもとにクラス分けを行い、1クラス20名以下とする。Having taken TOEIC test on entering SGS, students are allocated in class according to their level of English. There are no more than 20 students in a class.

科目名：Speaking I(C)

Course Title：Speaking I(C)

教員／Instructor：時間割参照（See timetable）

Division／分野	English Program／語学	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

Students will：

- Practice basic conversational skills to improve their communicative ability.
- Practice pronunciation and learn pronunciation strategies.
- Learn about cultural differences in conversation.
- Practice techniques for academic and business presentation.
- Develop professional presentation skills for using visual aids.
- To compare and contrast views of social issues.

この講義の目標は

- ・コミュニケーション能力を高めるため、基礎的な会話を練習する
- ・発音練習
- ・会話における文化的な差異について学ぶ
- ・アカデミック及びビジネスプレゼンテーションの技術を学ぶ
- ・視覚的な資料を使ったプレゼンテーションスキルを身につける
- ・社会的な事柄についてさまざまな視点を比較、対比させる

■Course Description／講義の概要

This course will focus on developing students' basic interpersonal communication skills while also devoting ample time to teaching students how to make professional presentations. Therefore, class time will be divided between conversation practice, pronunciation practice and presentation practice. This course is designed to provide students with English conversation skills that will help them communicate more effectively. Since the focus is on communication, there will be plenty of group work and pair work in class. This will give students the maximum opportunity to practice speaking in English about various topics. The course will also address organization, presentation style, pronunciation and cross-cultural issues. Each student will give a minimum of three presentations plus several impromptu speeches. Presentations will be developed through an outline process and practiced in class two or three times each.

この講義では、基礎的なコミュニケーションスキルおよびプレゼンテーションスキルを高めることを学ぶ。授業中は、会話、発音、プレゼンテーションの訓練を行い、より効果的にコミュニケーションできるように指導する。この授業では多くの時間をグループワークに費やし、様々なトピックで会話の訓練をする。また、会話の構成、プレゼンテーションの様式、発音、異文化的な事柄にも取り組む。学生は最低3回のプレゼンテーション、即興のスピーチが課せられる。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・教科書やプリント等を事前に読んでおくこと（1時間を要する）Students are required to read the given course materials in advance (for 1 hour)
- ・毎週出された課題を行うこと（1時間を要する）Required to work for assignments given in class (for 1 hour)
- ・小テスト等の予習を行うこと（1時間を要する）Prepare for quizzes or tests (for 1 hour)

■Textbook／教科書

Leo Jones (2008) "Let's Talk 1", Second Edition, Cambridge University Press

■Method of Evaluation／評価方法

Active participation／積極的な授業参加：10%

4 Assignments／課題：60%

Speaking exercises／スピーキング練習：10%

Quizzes / Tests／小テスト・テスト：20%

■Prerequisite／事前履修科目等

特になし N/A

■Additional Information／留意点

この授業は、TOEIC 及びブレースメントテストをもとにクラス分けを行い、1クラス20名以下とする。Having taken TOEIC test on entering SGS, students are allocated in class according to their level of English. There are no more than 20 students in a class.

科目名 : Speaking II (A) (B)

Course Title : Speaking II (A) (B)

教員 / Instructor : 時間割参照 (See timetable)

Division / 分野	English Program / 語学	Semester / 開講学期	Fall
Grade / 配当年次	1年以上	Credits / 単位	2単位
Office / 研究室		E-mail	
Work Experiences / 実務経験			

■ Course Goals / 到達目標

Students will :

- Practice basic conversational skills to improve their communicative ability.
- Practice pronunciation and learn pronunciation strategies.
- Learn about cultural differences in conversation.
- Practice techniques for academic and business presentation.
- Develop professional presentation skills for using visual aids.
- To compare and contrast views of social issues.

この講義の目標は

- ・コミュニケーション能力を高めるため、基礎的な会話を練習する
- ・発音練習
- ・会話における文化的な差異について学ぶ
- ・アカデミック及びビジネスプレゼンテーションの技術を学ぶ
- ・視覚的な資料を使ったプレゼンテーションスキルを身につける
- ・社会的な事柄についてさまざまな視点を比較、対比させる

■ Course Description / 講義の概要

This course will focus on developing students' basic interpersonal communication skills while also devoting ample time to teaching students how to make professional presentations. Therefore, class time will be divided between conversation practice, pronunciation practice and presentation practice. This course is designed to provide students with English conversation skills that will help them communicate more effectively. Since the focus is on communication, there will be plenty of group work and pair work in class. This will give students the maximum opportunity to practice speaking in English about various topics. The course will also address organization, presentation style, pronunciation and cross-cultural issues. Each student will give a minimum of three presentations plus several impromptu speeches. Presentations will be developed through an outline process and practiced in class two or three times each.

この講義では、基礎的なコミュニケーションスキルおよびプレゼンテーションスキルを高めることを学ぶ。授業中は、会話、発音、プレゼンテーションの訓練を行い、より効果的にコミュニケーションできるように指導する。この授業では多くの時間をグループワークに費やし、様々なトピックで会話の訓練をする。また、会話の構成、プレゼンテーションの様式、発音、異文化的な事柄にも取り組む。学生は最低3回のプレゼンテーション、即興のスピーチが課せられる。

■ Preparation study time Specific content / 準備学習時間・具体的内容

- ・教科書やプリント等を事前に読んでおくこと (1時間を要する) Students are required to read the given course materials in advance (for 1 hour)
- ・毎週出された課題を行うこと (1時間を要する) Required to work for assignments given in class (for 1 hour)
- ・小テスト等の予習を行うこと (1時間を要する) Prepare for quizzes or tests (for 1 hour)

■ Textbook / 教科書

Sarah Morikawa and Luke Harrington (2015) "Global Connections", National Geographic Learning, Cengage Learning

■ Method of Evaluation / 評価方法

Active participation / 積極的な授業参加 : 10%
 4 Assignments / 課題 : 60%
 Speaking exercises / スピーキング練習 : 10%
 Quizzes / Tests / 小テスト・テスト : 20%

■ Prerequisite / 事前履修科目等

特になし N/A

■ Additional Information / 留意点

この授業は、TOEIC 及びブレースメントテストをもとにクラス分けを行い、1クラス20名以下とする。Having taken TOEIC test on entering SGS, students are allocated in class according to their level of English. There are no more than 20 students in a class.

科目名：Speaking II (C) (Retake)

Course Title：Speaking II (C)

教員／Instructor：時間割参照（See timetable）

Division／分野	English Program／語学	Semester／開講学期	(Group C) Fall (Retake) Spring
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

Students will：

- Practice basic conversational skills to improve their communicative ability.
- Practice pronunciation and learn pronunciation strategies.
- Learn about cultural differences in conversation.
- Practice techniques for academic and business presentation.
- Develop professional presentation skills for using visual aids.
- To compare and contrast views of social issues.

この講義の目標は

- ・コミュニケーション能力を高めるため、基礎的な会話を練習する
- ・発音練習
- ・会話における文化的な差異について学ぶ
- ・アカデミック及びビジネスプレゼンテーションの技術を学ぶ
- ・視覚的な資料を使ったプレゼンテーションスキルを身につける
- ・社会的な事柄についてさまざまな視点を比較、対比させる

■Course Description／講義の概要

This course will focus on developing students' basic interpersonal communication skills while also devoting ample time to teaching students how to make professional presentations. Therefore, class time will be divided between conversation practice, pronunciation practice and presentation practice. This course is designed to provide students with English conversation skills that will help them communicate more effectively. Since the focus is on communication, there will be plenty of group work and pair work in class. This will give students the maximum opportunity to practice speaking in English about various topics. The course will also address organization, presentation style, pronunciation and cross-cultural issues. Each student will give a minimum of three presentations plus several impromptu speeches. Presentations will be developed through an outline process and practiced in class two or three times each.

この講義では、基礎的なコミュニケーションスキルおよびプレゼンテーションスキルを高めることを学ぶ。授業中は、会話、発音、プレゼンテーションの訓練を行い、より効果的にコミュニケーションできるように指導する。この授業では多くの時間をグループワークに費やし、様々なトピックで会話の訓練をする。また、会話の構成、プレゼンテーションの様式、発音、異文化的な事柄にも取り組む。学生は最低3回のプレゼンテーション、即興のスピーチが課せられる。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・教科書やプリント等を事前に読んでおくこと（1時間を要する）Students are required to read the given course materials in advance (for 1 hour)
- ・毎週出された課題を行うこと（1時間を要する）Required to work for assignments given in class (for 1 hour)
- ・小テスト等の予習を行うこと（1時間を要する）Prepare for quizzes or tests (for 1 hour)

■Textbook／教科書

Leo Jones (2008) "Let's Talk 1", Second Edition, Cambridge University Press

■Method of Evaluation／評価方法

Active participation／積極的な授業参加：10%
4 Assignments／課題：60%
Speaking exercises／スピーキング練習：10%
Quizzes / Tests／小テスト・テスト：20%

■Prerequisite／事前履修科目等

特になし N/A

■Additional Information／留意点

この授業は、TOEIC 及びブレースメントテストをもとにクラス分けを行い、1クラス20名以下とする。Having taken TOEIC test on entering SGS, students are allocated in class according to their level of English. There are no more than 20 students in a class.

科目名 : TOEIC 演習

Course Title : TOEIC Preparation

教員 / Instructor : 時間割参照 (See timetable)

Division / 分野	English Program / 語学	Semester / 開講学期	Spring・Fall
Grade / 配当年次	2年以上	Credits / 単位	2単位
Office / 研究室		E-mail	
Work Experiences / 実務経験			

■ Course Goals / 到達目標

To obtain a score of 450 or above on the TOEIC.

To improve English communication skills through preparation for the TOEIC.

- ・ TOEIC テストにおいて、450 点以上を目指し基礎学力を養う。
- ・ TOEIC のための準備を通じて、グローバルな共通語としての英語コミュニケーション能力を高める。

■ Course Description / 講義の概要

This course aims at helping students increase their scores on the TOEIC test. The students are placed into appropriate levels based upon their scores on the TOEIC. A wide range of exercises will be offered in the TOEIC format in class so that the students can familiarize themselves with the question types and eventually increase their listening and reading proficiency. There will also be quizzes on vocabulary or practice test simulations in each class. To pass the course, students MUST attend the class regularly, complete their coursework, and obtain a score of approximately 450 on either the TOEIC-IP test or the TOEIC-SP test conducted during the semester.

当科目は、履修者の TOEIC における得点向上の支援を目的とする。クラスは各自の TOEIC スコアに基づいて編成される。授業では、出題形式に慣れ、それぞれのパートで要求されるリスニング及びリーディングのスキルやコツを身につけることを目指し、TOEIC 形式による様々な問題演習を行う。また、各クラスで単語テストや模擬試験演習などが課される。単位取得のためには、出席、課題などの他に、その学期内に実施される TOEIC-IP または公開テスト（評価対象となるテスト、認定証提出期限については、留意点に記載）のいずれかで 450 点程度を取らなければならない。ただし、2021 年度において、大学が TOEIC IP テスト（オンライン）を案内した場合は、その結果も対象とする。

■ Preparation study time Specific content / 準備学習時間・具体的内容

- ・ 毎時間前に授業内容の確認や、小テストがある場合は指定された範囲の準備をしてくること（1-2 時間を要する）
- ・ 授業後には未消化の部分を実際に理解するために、反復練習を基本とした復習をすること（2-3 時間を要する）
- ・ 授業の性質上、授業の予習・復習以外にも、積極的にそして定期的に自学自習を行い、TOEIC 試験のスコアアップに努めること。

■ Textbook / 教科書

教科書販売目録を確認すること。

■ Method of Evaluation / 評価方法

Participation in coursework / 授業への参加度 : 30% Quizzes and assignments / 小テスト及び課題 : 20%

The scores on the TOEIC tests conducted during the semester / 学期内実施の TOEIC スコア : 50%

■ Prerequisite / 事前履修科目等

None

■ Additional Information / 留意点

Students MUST enroll in classes as allocated based upon the results of their previous TOEIC-IP score.

学生は、過去の TOEIC-IP テストの成績に基づいて決定されたクラスで当科目を履修しなければならない。

Lectures will be conducted in Japanese in all the classes.

すべてのクラスにおいて講義は日本語で行われる。

2nd-year students who already obtained a score of 450 or above on the TOEIC-IP conducted in their first year will be exempt from enrolling for this course.

1 年次に TOEIC-IP テストにおいて 450 点以上を取った 2 年生は、当科目の履修を免除する。

Students who failed this course in the spring semester MUST retake it in the fall semester, in classes as allocated based upon the results of their previous TOEIC-IP scores.

春学期不合格になった学生は、過去の TOEIC-IP テストの成績に基づいて決定されたクラスにおいて、秋学期に当科目を再履修しなければならない。

Students need to apply for the TOEIC-SP tests entirely on their own. (The Academic Affairs Section has absolutely no involvement with this.)

TOEIC 公開テストの申し込みは全て学生個人で行う必要がある（教務課は一切関知しない）。

評価対象テスト

【TOEIC IP テスト】（学内で実施したものに限る）

春学期：4 月、7 月実施

秋学期：10 月、12 月、1 月実施

【TOEIC 公開テスト】

以下の期限内に公式認定証（Official Score Certificate）を教務課に届け出た場合のみ、成績評価の対象とする。

春学期：7 月 16 日迄（4 月～6 月実施の公開テスト）

秋学期：1 月 21 日迄（9 月～12 月実施の公開テスト）

科目名：環境保全入門

Course Title : Introduction to Environmental Protection

教員／Instructor：橋詰 博樹（Hashizume, Hiroki）

Division／分野	Core／選択必修	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	204	E-mail	hashizume@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■Course Goals／到達目標

- 我が国と国際社会の基本的課題である環境問題の現状・科学的原因・社会的構造、環境保全の基本的考え方について、持続可能な成長の理念の下で理解すること。
- 自らのライフスタイルや社会構造等を批判的に見る能力、対策を考える基礎的能力を身に付けること。
 - 日本及び世界の環境汚染の原因・構造、現状と課題。
 - 環境保全、持続可能な成長の基本的考え方。
 - 政策の基本的枠組み（条約、法律、条令、自主取組等）。
 - 制度的対策、技術的対策の現状。
- 関連資格・ECO 検定（環境社会検定試験）東京商工会議所
 - To understand situation, causes and structure of current environmental problems and basic ideas of environmental protection under the idea of sustainable development.
 - To develop ability to critically review our own professional and personal life style as well as to formulate environmental policies.
 - Situation, scientific causes and social structure of current environmental problems, and countermeasures on them in Japan and in the world.
 - Basic approach to environmental protection and sustainable development
 - Framework of environmental policy (conventions, national laws, local regulations, voluntary initiatives, etc.)
 - Current institutional and technical measures of environmental protection
 - Related certificate
 - Eco Kentei (certification test for environmental specialists), provided by Tokyo Chamber of Commerce

■Course Description／講義の概要

本コースは、水資源、水質、大気質、自然環境、地球温暖化、廃棄物・リサイクル、化学物質、放射線を含め、現代社会の最重要課題の一つである環境問題を概説する。日本及び世界の環境の現状を紹介するとともに、環境保全の政策や各主体による取組み等について、わかり易い事例として日本におけるものを中心に論じる。配布資料・参考図書・スライド等を用いた講義を中心に実施し、クラス内で適宜議論を行う。なお、本コースは、以降の学期で行われる環境関連の他の3コースに繋がる入門編でもある。 This course outlines one of the most important issues in the contemporary society, "environment" including water resources, water quality, air quality, natural environment, climate change, waste management and recycling, chemical substances, and radiation. It introduces present pollution situations both in Japan and in the world. It also discusses governmental policies and various stakeholders' activities for environmental protection, particularly in Japan, which will be easier for students in Japan to understand. This is mostly a lecture course using handouts, reference materials, slides, etc. with occasional discussions in the class. This course is an introduction to three other courses related to environmental management in the following semesters.

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- 事前配布（又は T-next に掲載する配布予定）の handout 等を事前に読んでおくこと（0.5 時間を要する）。
- 講義後の振り返りシート reaction paper の作成と内容の復習（1 時間を要する）
 - Read handouts provided physically or electronically on T-next in advance (needs 0.5 hr)
 - Review the class using a reaction paper sheet provided (needs 1 hr)

■Textbook／教科書

なし（ハンドアウトを毎回用意する） Nothing (handouts are provided for each class)

■Method of Evaluation／評価方法

・学期末試験：60% Semester-end exam ・復習のための小テスト（毎週）：20% Quiz ・Discussion & debate：20%

■Prerequisite／事前履修科目等

なし None

■Additional Information／留意点

- 春学期の授業及び秋学期の授業 C は主に日本語で行う。秋学期の授業 D は全受講生が日本語での授業を希望しない限り、主に英語で行う。なお、いずれの学期においても英語での授業を希望する者は、担当教員に相談すること。英語での特別クラスの用意がある。履修言語を選択できるので、語学力要件を付さない。
- 春学期においては基本的に対面授業とし、一部 Zoom を用いた遠隔授業として実施する。（秋学期については未定）
- 受講人数に特段の制限を設けない。
- The two classes in spring semester (A and B) and a class in fall semester (C) are conducted mostly in Japanese. Another class in fall semester (D) will be mostly in English unless all students prefer class in Japanese. A student who wants a class in English in either semester, consult the instructor. A special class in English may be arranged.
- No language proficiency requirement.
- The class in spring semester will be conducted on-campus (if needed) with on-line remoted using Zoom system. Not decided as to the fall class.

科目名：グローバルスタディーズ入門 [English]

Course Title : Introduction to Global Studies [English]

教員 / Instructor : アイグル クルナザロバ (Kulnazarova, Aigul)

Division / 分野	Core / 選択必修	Semester / 開講学期	Spring・Fall
Grade / 配当年次	1年以上	Credits / 単位	2単位
Office / 研究室	208	E-mail	kulnazarova@tama.ac.jp
Work Experiences / 実務経験			

■ Course Goals / 到達目標

The course learning objectives include, but are not limited:

- ・ To study the currents of globalization, its forces and developments
 - ・ To explore the ways in which the local is global and the global is highly local
 - ・ To make connections between various disciplines, between the local and the global, and oneself and others
 - ・ To help students become globally-oriented people through understanding contemporary global issues and challenges
 - ・ To help students improve their academic skills through participation in class discussions and other activities
 - ・ To help students adopt a global perspective in their learning about the contemporary world
- コースの学習目標には以下が含まれますが、これらに限定されません：
- ・ グローバリゼーションの流れ、その力と発展を研究する
 - ・ ローカルがグローバルであり、グローバルが非常にローカルである方法を探求する
 - ・ さまざまな分野間、ローカルとグローバル間、および自分と他者の間の接続を確立する
 - ・ 現代のグローバルな問題と課題を理解することにより、学生がグローバル志向の人々になるのを支援する
 - ・ クラスディスカッションやその他の活動への参加を通じて、学生が学力を向上させることを支援する
 - ・ 学生が現代の世界について学ぶ際にグローバルな視点を採用することを助ける

■ Course Description / 講義の概要

Global studies is a new academic field that is expanding rapidly and becoming one of the major study areas in higher education since the end of the twentieth century. This new area in education is the result of a changing world that has become more interconnected and interdependent in all aspects of human life-political, social, economic, environmental, cultural and spiritual. This course is introductory and transdisciplinary in nature, with an emphasis on the phenomenon and consequences of globalization, which is the basic concept of global studies.

グローバルスタディーズは、急速に拡大し、20世紀の終わりから高等教育の主要な研究分野の1つになっている新しい学術分野です。この新しい教育分野は、政治、社会、経済、環境、文化、精神など、人間の生活のあらゆる面で相互に関連し、相互依存し合う世界の変化の結果です。このコースは本質的に入門的で学際的であり、グローバルスタディーズの基本的な概念であるグローバリゼーションの現象と結果に重点を置いています。

■ Preparation study time Specific content / 準備学習時間・具体的内容

This course meets once a week for 90 minutes. In addition, students MUST spend at least 2 hours on weekly self-study preparation to read designated chapters from the textbook, to watch and write film review papers, and to complete weekly assignments, midterm and final term projects, etc.

このコースは週に1回90分間開催されます。さらに、学生は、教科書から指定された章を読んだり、映画レビューペーパーを見たり書いたり、毎週の課題、中期および最終学期のプロジェクトなどを完了するために、毎週、自習での準備に少なくとも2時間を費やす必要があります。

■ Textbook / 教科書

Manfred B. Steger (2017). Globalization : A Very Short Introduction. [English edition, original]

■ Method of Evaluation / 評価方法

Attendance and Participation / 出席参加 : 30%

(Participation does not mean only attendance. Students must prepare and participate in class activities, group work, discussions, reading review, etc. 参加とは、出席のみを意味するものではありません。学生はクラス活動、グループワーク、ディスカッション、読書レビューなどを準備し、参加しなければなりません)

Midterm Project / 中間プロジェクト : 30%

Final Term Project / 学期末プロジェクト : 40%

■ Prerequisite / 事前履修科目等

There are no course prerequisites. However, because this course is conducted in English, students are expected to have at least a 350 TOEIC score, and motivation for improvement and learning. It is important for students to understand the content of lectures, participate in class activities and complete weekly assignments, midterm and final term projects in English.

コースの前提条件はありません。ただし、このコースは英語で行われるため、生徒は少なくとも 350 点の TOEIC スコアを取得し、改善と学習への動機付けを持っていることが期待されます。学生は講義の内容を理解し、クラス活動に参加し、毎週の課題、中間と学期末のプロジェクトを英語で完了することが重要です。

■Additional Information／留意点

English language requirements／英語の要件：

Since this course will be taught in English, students are required to have at least a 350 TOEIC score.

このコースは英語で行われるため、学生は少なくとも 350 点の TOEIC スコアを取得する必要があります。

Class attendance policy／授業出席ポリシー：

Students are required to attend all weekly classes. In total, a student may be absent up to two times, intended to cover sickness, family emergency, etc. With the documented proof of evidence, such as doctor's certificate, these absences will not be penalized.

But each subsequent absence will lead to make-up classes of all (obligatory, not subject to negotiation). Any absence (medical or family-related) must be reported to me in writing via e-mail before the missing class. 学生は毎週すべてのクラスに出席する必要があります。合計すると、病気、家族の緊急事態などをカバーするために、学生は最大 2 回欠席することが出来ます。

医師の証明書などの証拠書類があれば、これらの欠席は罰せられません。しかし、3 回もしくはそれ以上授業を欠席した場合は、欠席した分の課題を終わらせる必要があります（義務です。交渉の対象外）。欠席（医療または家族関連）をする場合は、欠席の前に、電子メールで報告する必要があります。

Rules of classroom conduct／授業のルール：

- No sleeping, napping and other disruptive activity is permitted during classes／授業中の睡眠、昼寝、その他の授業妨害行為は禁止されています。

- No phone calls, incoming or outgoing are allowed／電話を発・着信で使用することは許可されていません。

- No smart phone or other digital devices may be used during class unless you use them for study purposes／勉強目的で使わない限り、授業中にスマートフォンやその他のデジタル機器を使用することはできません。

- No late coming to class (points will be deducted otherwise)／遅刻してはいけません（遅刻した場合はポイントが差し引かれます）。

科目名：グローバルスタディーズ入門 [English / Japanese]

Course Title : Introduction to Global Studies [English / Japanese]

教員 / Instructor : アイグル クルナザロバ (Kulnazarova, Aigul)

Division / 分野	Core / 選択必修	Semester / 開講学期	Spring・Fall
Grade / 配当年次	1年以上	Credits / 単位	2単位
Office / 研究室	208	E-mail	kulnazarova@tama.ac.jp
Work Experiences / 実務経験			

■ Course Goals / 到達目標

The course learning objectives include, but are not limited:

- ・ To study the currents of globalization, its forces and developments
 - ・ To explore the ways in which the local is global and the global is highly local
 - ・ To make connections between various disciplines, between the local and the global, and oneself and others
 - ・ To help students become globally-oriented people through understanding contemporary global issues and challenges
 - ・ To help students improve their academic skills through participation in class discussions and other activities
 - ・ To help students adopt a global perspective in their learning about the contemporary world
- コースの学習目標には以下が含まれますが、これらに限定されません：
- ・ グローバリゼーションの流れ、その力と発展を研究する
 - ・ ローカルがグローバルであり、グローバルが非常にローカルである方法を探求する
 - ・ さまざまな分野間、ローカルとグローバル間、および自分と他者の間の接続を確立する
 - ・ 現代のグローバルな問題と課題を理解することにより、学生がグローバル志向の人々になるのを支援する
 - ・ クラスディスカッションやその他の活動への参加を通じて、学生が学力を向上させることを支援する
 - ・ 学生が現代の世界について学ぶ際にグローバルな視点を採用することを助ける

■ Course Description / 講義の概要

Global studies is a new academic field that is expanding rapidly and becoming one of the major study areas in higher education since the end of the twentieth century. This new area in education is the result of a changing world that has become more interconnected and interdependent in all aspects of human life-political, social, economic, environmental, cultural and spiritual. This course is introductory and transdisciplinary in nature, with an emphasis on the phenomenon and consequences of globalization, which is the basic concept of global studies.

グローバルスタディーズは、急速に拡大し、20世紀の終わりから高等教育の主要な研究分野の1つになっている新しい学術分野です。この新しい教育分野は、政治、社会、経済、環境、文化、精神など、人間の生活のあらゆる面で相互に関連し、相互依存し合う世界の変化の結果です。このコースは本質的に入門的で学際的であり、グローバルスタディーズの基本的な概念であるグローバリゼーションの現象と結果に重点を置いています。

■ Preparation study time Specific content / 準備学習時間・具体的内容

This course meets once a week for 90 minutes. In addition, students MUST spend at least 2 hours on weekly self-study preparation to read designated chapters from the textbook, to watch and write film review papers, and to complete weekly assignments, midterm and final term projects, etc.

このコースは週に1回90分間開催されます。さらに、学生は、教科書から指定された章を読んだり、映画レビューペーパーを見たり書いたり、毎週の課題、中期および最終学期のプロジェクトなどを完了するために、毎週、自習での準備に少なくとも2時間を費やす必要があります。

■ Textbook / 教科書

マンフレット・B・ステイガー (2009). 「グローバリゼーション」 [日本版]

■ Method of Evaluation / 評価方法

Attendance and Participation / 出席参加 : 30%

(Participation does not mean only attendance. Students must prepare and participate in class activities, group work, discussions, reading review, etc. 参加とは、出席のみを意味するものではありません。学生はクラス活動、グループワーク、ディスカッション、読書レビューなどを準備し、参加しなければなりません)

Midterm Project / 中間プロジェクト : 30%

Final Term Project / 学期末プロジェクト : 40%

■ Prerequisite / 事前履修科目等

There are no course prerequisites, however students should have enough English language skills, at least a 300 TOEIC score, and motivation for learning and improvement.

コースの前提条件はありませんが、学生は十分な英語スキル、少なくとも300点以上のTOEICスコア、および学習と

改善に対するモチベーションを持っている必要があります。

■Additional Information／留意点

English language requirements／英語の要件：

Although this class will be in a mixed language instruction (English and Japanese), students are still required to have at least a 300 TOEIC score.

このクラスは混合言語の授業（英語と日本語）になりますが、学生は少なくとも 300 点の TOEIC スコアが必要です。

Class attendance policy／授業出席ポリシー：

Students are required to attend all weekly classes. In total, a student may be absent up to two times, intended to cover sickness, family emergency, etc. With the documented proof of evidence, such as doctor's certificate, these absences will not be penalized.

But each subsequent absence will lead to make-up classes of all (obligatory, not subject to negotiation). Any absence (medical or family-related) must be reported to me in writing via e-mail before the missing class. 学生は毎週すべてのクラスに出席する必要があります。合計すると、病気、家族の緊急事態などをカバーするために、学生は最大 2 回欠席することが出来ます。

医師の証明書などの証拠書類があれば、これらの欠席は罰せられません。しかし、3 回もしくはそれ以上授業を欠席した場合は、欠席した分の課題を終わらせる必要があります（義務です。交渉の対象外）。欠席（医療または家族関連）をする場合は、欠席の前に、電子メールで報告する必要があります。

Rules of classroom conduct／授業のルール：

- No sleeping, napping and other disruptive activity is permitted during classes／授業中の睡眠、昼寝、その他の授業妨害行為は禁止されています。

- No phone calls, incoming or outgoing are allowed／電話を発・着信で使用することは許可されていません。

- No smart phone or other digital devices may be used during class unless you use them for study purposes／勉強目的で使わない限り、授業中にスマートフォンやその他のデジタル機器を使用することはできません。

- No late coming to class (points will be deducted otherwise)／遅刻してはいけません（遅刻した場合はポイントが差し引かれます）。

科目名：経済学入門

Course Title : Introduction to Economics

教員／Instructor：渡邊 泰典 (Watanabe, Yasunori)

Division／分野	Core／選択必修	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	201	E-mail	y-watanabe@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

- To know the range of topics treated in Economics
- To understand the concept of demand curve and supply curve, and how we can analyze markets with them
- To understand the fundamental relationship among GDP, price levels, and unemployment
- To acquire economical way of thinking
 - ・経済学が扱う問題の範囲を知る
 - ・需要曲線と供給曲線の考え方、およびこれらを用いた市場分析の仕方を理解する
 - ・GDP、物価、そして失業の間の基本的な関係を理解する
 - ・経済学的な考え方を身につける

■ Course Description／講義の概要

This course is designed to offer fundamental ideas and concepts in Economics. We will cover the field of both microeconomics and macroeconomics. Microeconomics treats how individual agents (e.g. households, firms, and governments) make their decisions and includes the concepts like opportunity cost, demand and supply, and market and governments. On the other hand, macroeconomics treats relationships between aggregated variables in the whole economy and includes the concepts like GDP, unemployment, and general prices.

In this course, students will be required to read assigned materials and submit prep notes in advance. In addition, students are required to submit book reports to deepen their understanding about economics.

この講義では、経済学の基本的な考え方や概念について学習する。講義で取り扱う題材はミクロ経済学、マクロ経済学の両分野にまたがる。ミクロ経済学は家計、企業などの個別の経済主体がどのような意思決定を行うかを扱う分野であり、機会費用、需要と供給、市場と政府、などが含まれる。もう一方のマクロ経済学は、経済全体で集計される変数間の関係を扱う分野であり、GDP、失業、物価、などが含まれる。

講義に参加する学生はあらかじめ指定の教材を読み、予習ノートを提出しておく必要がある。また、経済学に対する知識を深めるためのブックレポートの提出が要求される。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

To read the designated area of a textbook in advance before class and make preparation notes (takes three hours)
授業前に教科書の指定範囲をあらかじめ読み、予習ノートを作成すること（3時間を要する）

■ Textbook／教科書

Mankiw, G. (2019) 『マンキュー入門経済学 第3版』, 足立他訳, 東洋経済新報社

■ Method of Evaluation／評価方法

予習ノート／Preparation : 20%
講義参加／Class Participation : 40%
ブックレポート／Book reports : 20%
期末試験／Final exam : 20%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■ Additional Information／留意点

Students are encouraged to complete the following courses, "Introduction to Economics", "Macroeconomics" and "Microeconomics" to take "International Economics."

「国際経済学」の履修のためには「経済学入門」、「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」の修得を奨励する。

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：国際理解入門

Course Title : Introduction to Global Understanding

教員／Instructor：安田 震一（Yasuda, Shinichi）

Division／分野	Core／選択必修	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	Dean's Office	E-mail	bilshang@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

This is an introductory course on Global Understanding helping students to understand the geography, abridged history, development of Hong Kong and Macau and the Former Straits Settlements. In terms of Macau, understanding of Integrated Resorts will be included. Second half of the course will focus on history and race relations of the United States of America. For students planning to visit Singapore, Macau and Hong Kong, this course would be a simple introduction.

In the first half of the course, students will learn about the Friendship cities of Fujisawa-city and introduction of SGS exchange programs.

本科目は国際理解の初級であるため、香港、マカオ、旧海峽植民地の地理、歴史、発展などについて学ぶ。マカオの場合は統合型リゾートについても学習する。学期後半はアメリカ合衆国の人種問題について解説する。今後、シンガポール、マカオ、香港などの研修に参加する学生には基本的な科目となる。

講義の前半では、藤沢市の友好都市について学び、本学部の交換留学についても理解できるようにする。

■ Course Description／講義の概要

The course emphasizes active learning as questions will be frequently asked. So be prepared to answer.

講義はアクティブ・ラーニング、すなわち双方向で開講されることから、履修生は常に質問されることに慣れるようにすること。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

This is an introductory course on Global/International Understanding helping students to understand the geography, abridged history, development of Hong Kong and Macau and if time allows, the former Straits Settlements. In terms of Macau, understanding of Integrated Resorts will be included. Second half of the course will focus on history and race relations of the United States of America. For students planning to visit Singapore, Macau and Hong Kong, this course would be a simple introduction.

本科目は国際理解の初級であるため、香港、マカオ、時間が許すようであれば旧海峽植民地の地理、歴史、発展などについて学ぶ。マカオの場合は統合型リゾートについても学習する。学期後半はアメリカ合衆国の人種問題について解説する。今後、シンガポール、マカオ、香港などの研修に参加する学生には基礎情報、すなわち基本的な科目となる。

The course emphasizes active learning as questions will be frequently asked. So be prepared to answer. Depending on the theme of the week, students will need to go to the library or check related websites.

講義はアクティブ・ラーニング、よって双方向で開講される予定ですが、履修生が多い場合は、教員から質問することになる。そのため、履修者は常に質問されることを想定し、配布プリントを少なくとも1時間程度予習することを忘れないようにしてほしい。

講義内容によっては、基礎知識がないようであれば、図書館にて地図またはインターネットを活用して事前に検索・調べる必要がある（1時間程度）。

■ Textbook／教科書

None 指定なし

■ Method of Evaluation／評価方法

Class participation (10%), Mid-term exam (40%), Final exam (50%)

平常点（10%）、中間試験（40%）、期末試験（50%）などによって評価する。

■ Prerequisite／事前履修科目等

This is an introductory level course. Therefore, no prerequisite courses are necessary.

入門レベルの科目であるため、事前に履修する科目はない。

■ Additional Information／留意点

Class participation, take notes and review your notes.

出席、授業内容をノートに残す、ノートを予習・復習すること。

科目名：情報化社会とグローバル化

Course Title : Informatization and Globalization Society

教員／Instructor：張 琪 (Zhang, Qi)

Division／分野	Core／選択必修	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	212	E-mail	zhangq@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■ Course Goals／到達目標

This course aims to nurture global human resources who can respond quickly to the development of informatization and globalization society, with strong execution abilities and broad horizons based on the awareness of carrying Japan's future by playing a major role in the world. They will be able to strictly rule themselves and have high ethical standards. The goal of this course is to deepen the understanding of social and technical infrastructure of the globalized information society, and acquire the basic knowledge of information and communication technology required by the global society.

本科目はグローバル化、情報化社会の進展に即応して、世界の中で大きな役割を担うことで日本の将来を背負うという自覚に基づいた強い実行力と、それぞれの地域社会の可能性に対しての広い視野を持ち、自らを厳しく律することができる高い倫理観を備えた「志」の高いグローバル人材を育成することを目的としている。到達目標は、情報化社会の社会・技術基盤についての理解を深め、グローバル社会に適応する情報通信技術の基礎知識を身に付けることである。

■ Course Description／講義の概要

The realization of advanced information communication environment today is one of the most indispensable factors in social globalization. It is expected that further development of the information and communication technology, including ubiquitous technology, will accelerate the social globalization further in all the aspects of the human society. In this course, we will learn about the basic knowledge of information and communication technologies, and their social and technical infrastructure, as well as how our life, culture, and society are affected by the deployment of various information and communication technologies and diversified information media. We will also discuss the future development of globalization, and the related information technologies.

今日の高度な情報コミュニケーション環境の成立は、社会のグローバル化に不可欠な要因の一つといっても過言ではない。ユビキタス技術をはじめとする情報通信技術のさらなる発達は、人間社会のあらゆるレベルでのグローバル化をさらに加速させていくものと予想される。本講義では、情報通信技術の基礎知識を学び、その社会基盤や技術基盤、及び私たちの生活や文化、社会などのグローバル化にどのような形で貢献し、影響を及ぼしてきたかを学ぶとともに、グローバル化の発展や、それに対応する情報技術や倫理について論ずる。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Before class, make sure you fully understand the contents of the previous lecture. It takes at least 1.5 hours to review the lecture contents, complete the assignments, and prepare for the next lecture.

授業前には、前回の講義内容について十分に理解をしておくこと。講義内容の復習、課題の完成及び次回講義の準備には、1.5時間以上の取組が必要。

■ Textbook／教科書

The course materials are available on T-NEXT, or delivered during the class.

授業資料は T-NEXT または授業中にて配布する。

■ Method of Evaluation／評価方法

Class Participation／授業参加：20% Assignments and presentations／課題及び発表：20%

Review tests／復習テスト：30% Final Exam／学期末試験：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■ Additional Information／留意点

- Students who would like to register for this course must attend the class in Week 1.
履修希望者が多い場合は抽選を行うため、必ず第1週の授業に出席すること。
- The score of each review test and the final exam should be more than the passing score.
単位を取得するには、復習テストと学期末試験ですべて合格点以上を取ること。
- The presentation during the classes are compulsoly.
授業中のプレゼンは単位取得に必須である。

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
テ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：心理学入門

Course Title : Introduction to Psychology

教員／Instructor：テレンス ジョイス (Joyce, Terence)

Division／分野	Core／選択必修	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	209	E-mail	terry@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

Awareness of broad areas of psychology and important theoretical perspectives.

Through lectures on biological basis and learning, we understand the basic question of human action, namely, why do we act as we do? Through lectures on perception, memory, and language, we understand the basic question of cognition, namely, how do we know what we know? Through lectures on social cognition and social interaction, we understand the basic question of social behavior, namely, how do we interact with each other? Through lectures on cognitive and social development, we understand the basic question of development, namely, how do we develop throughout the lifespan? And, through lectures on intelligence + personality, and mental well-being, we understand the basic question of individual differences, namely, how do we differ from others?

Reflecting the importance of psychology for understanding all human behaviour, this course has relevance for all of the academic objectives of SGS's diploma policy, particularly, the objectives of (1) knowledge and understanding and (2) critical thinking and judgment.

心理学の主要分野及び主要な理論的視点について知る。

「人間の行動」分野に関する、生物学的基盤と学習の授業で、なぜ人間はそうふるまうのかという基本問題を理解する。「認知」分野に関する、知覚、記憶と言語の授業で、いかにして知識は獲得されるかという基本問題を理解する。「社会行動」分野に関する、社会的行動と社会的認知の授業で、人はいかに影響しあうかという基本問題を理解する。「発達」分野に関する、認知的発達と社会的発達の授業で、生涯を通じ、人はどのように発達していくかという基本問題を理解する。さらに、「個人差」分野に関する、性格・知能と精神的健康の授業で、個人はどのように異なっているかという基本問題を理解する。

人間行動の全ての側面を理解するために、心理学は重要な領域である。このコースは本学のディプロマポリシーの全てに関連しているが、特に、(1) 知識と理解及び (2) 思考と判断に焦点をあてる。

■ Course Description／講義の概要

Psychology studies all aspects of human behaviour and mental processes, and so the discipline is of particular relevance to everyone. This introduction to psychology course attempts to survey some of the more interesting findings from psychological research which provide valuable insights into human nature. Covering five broad areas of psychology, the course also highlights the influences of a number of theoretical perspectives, such as biological, evolutionary, psychoanalytical, cognitive, and cross-cultural approaches.

このコースは、心理学とは何かを学ぶ入門コースである。心理学は、人間の行動および精神過程のあらゆる側面を研究する学問であり、誰にとっても学ぶ価値がある。この授業では、心理学のさまざまな分野から、人間の本質について新しい理解と発見をもたらしてきた学者たちの考え、及び、彼らの心理学への貢献を共に論じた後、生理学、行動主義、認知、精神分析学、異文化の視点から、人間理解と社会関係への貢献についても、更に考察する。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

・ Weekly preparation : Depending on student English proficiency, recommend reading lecture materials (lecture text + presentation slides) in advance (approx. 1 hour).

・ 週ごとの準備：個人の英語能力レベルに従って、予め講義の教材（講義のテキストとパワーポイントスライドのPDF ファイル）を読んだ方が望ましい（約1時間を要する）。

・ Weekly review : Read the lecture materials and complete weekly assignment (WA) quizzes on Sakai (approx. 1.5 hours).

・ 週ごとの復習：講義の教材（講義のテキストとパワーポイントスライドのPDF ファイル）を読んで、サカイ上の「週ごとの課題」をする（約1.5時間を要する）。

・ Report assignments : After Lecture 6, students should decide on which of the three candidate questions (related to lectures 4-6 respectively) they will tackle in their report assignment 1, and steadily work on drafting and revising their reports to submit by the submission deadline (usually Sunday of week 10) (approx. 10 hours spread over 3 weeks). After Lecture 11, students should decide on which of the three candidate questions (related to lectures 9-11 respectively) they will tackle in their report assignment 2, and steadily work on drafting and revising their reports to submit by the submission deadline (usually Sunday of week 14) (approx. 10 hours spread over 3 weeks).

・ レポート課題：6回目の講義後に、候補のレポート課題がある講義（4-6）から、レポート1で取り組む課題を選んで、提出締切日（第10週の日曜日）に間に合うように、レポート1を下書きして、修正して終える（3週間に渡って約10

時間を要する)。11 回目の講義後に、候補のレポート課題がある講義 (9-11) から、レポート 2 で取り組む課題を選んで、提出締切日 (第 14 週の日曜日) に間に合うように、レポート 2 を下書きして、修正して終える (3 週間に渡って約 10 時間を要する)。

- ・ Examination preparation : Students are expected to revise all course materials in preparation for the end of semester examination (approx. 5 hours).
- ・ 期末試験の準備 : 講義教材の全部を復習する (約 5 時間を要する)。

■Textbook／教科書

See Course readings 指定図書参照 (Web シラバス参照)

■Method of Evaluation／評価方法

Active participation (key concept reviews, discussion)／主体的な授業参加 : 10%
 Weekly assignments (read materials and do weekly assignment on Sakai)／教材を読んだ上で週ごとの課題 : 20%
 Reports (write two reports that appropriately answer assigned questions)／レポート : 30%
 Final examination (multiple-choice format examination of course material)／学期末試験 : 40%

■Prerequisite／事前履修科目等

Although course materials include Japanese summaries and translations of terms, please note that this course is conducted in English. Accordingly, students with TOEIC scores below 350 may find the course challenging.
 講義は英語で行うが、日本語のまとめ及び用語の翻訳は提供する。なお、TOEIC が 350 点以下の学生にとっては、本講義は難しいことが予想されるので留意すること。

■Additional Information／留意点

No addition information なし

語 E

学 P

選
択
必
須
C
o
r
r
e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：哲学入門

Course Title : Introduction to Philosophy

教員／Instructor：立田 由紀恵 (Tatta, Yukie)

Division／分野	Core／選択必修	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	tatta@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

The goals of this course are:

- To understand the major philosophical thoughts
- To broaden our understanding of the world and of human beings
- To learn to clarify our thoughts and express them in words
 - ・ 主な哲学思想を理解する
 - ・ 世界や人間についての私たちの理解を広げる
 - ・ 自分の考えをまとめ言葉で表現できるようになる

■ Course Description／講義の概要

Do you think philosophy belongs only to intellectuals? In fact, our way of thinking is based a log on the works of philosophers through history. In this course, we learn thoughts of a wide range of philosophers on various topics concerning such issues as human nature or the truth of the world and broaden our understanding of the world.

哲学とは遠い世界のものではなく、私たちのものの見方に深く影響している。この授業では歴史上の主な哲学者たちが出した「人間とは何か、世界とは何か」といった根本的な質問への答えを通して、私たち自身のものの考え方や世界のとらえ方を見直してみる。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- Read the handout and short readings, watch the lecture video, and prepare an answer to the discussion questions. (1.5 h)
 - ・ 授業前週に配布するハンドアウトとショート・リーディングを読み、講義動画を視聴し、ディスカッション・クエスチョンへの答えを考えてくる (1.5 時間)

■ Textbook／教科書

N/A／なし

■ Method of Evaluation／評価方法

Class Discussion／ディスカッション：20%

Reaction Paper／リアクションペーパー（毎回授業の最後に記述）：40%

Final Exam／学期末試験：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

N/A／なし

■ Additional Information／留意点

- Class is conducted in English (EIKEN grade 4 level). If you have trouble with English, you can receive personal study support by the instructor.
- Handout, list of English words on the handout and reading materials are uploaded on T-NEXT one week in advance.
- You will fail if you miss 3 classes without a valid reasons (e.g. job hunting or sickness) and a proper document.
 - ・ 授業は平易な英語（英検 4 級程度）で行われる。英語が難しい場合は教員による個人的なサポートを受けられる。
 - ・ ハンドアウトと主要単語の和訳がリーディング教材と一緒に授業 1 週間前に T-NEXT 上で配布される。
 - ・ 正当な理由（就職活動、病気等）と書類がなく 3 回欠席した場合は不可となる。

科目名：日本学入門

Course Title : Japanese Culture and Society

教員／Instructor：太田 哲 (Ota, Satoshi)

Division／分野	Core／選択必修	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	306	E-mail	ota@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

1. Students will gain adequate knowledge concerning Japanese studies
 2. Students will be able to discuss the features of Japanese society critically in English.
 3. This course will also enhance students' cultural sensitivity and recognition of Japan and other countries.
- この科目を履修することによって、
1. 学生は日本学についての知識を得ることができる。
 2. 日本社会について（シンプルな）英語で説明できるようになる。
 3. 日本と諸外国における文化的差異や異文化理解力を高めることができる。

■ Course Description／講義の概要

This course offers a basic understanding of Japanese culture and society. Specifically, with reference to diverse research outcomes in the disciplines of anthropology and folklore, the basic understanding of current Japanese society will be introduced first, and various key issues concerning Japanese society, such as religions, minorities and popular culture, are explained.

この科目では、履修者は日本の文化・社会の概要を学ぶ。具体的には、文化人類学や民俗学の研究成果を踏まえて、日本社会の現況を紹介した後、血縁・地縁・社縁などの人間関係、宗教、マイノリティー、大衆文化等、日本学の主要な項目を取り上げる。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ This course requires a presentation about Japanese culture and society in English. The presentation requires at least 6 to 7 hours for preparation, and for those who are not confident in English proficiency need more than 10 hours for preparation.
- ・ Students are requested to write 1000 word essay based on the presentation. It requires at least 14 to 15 hours or more to complete the essay especially for those whose first language is not English.
- ・ In addition, students are expected to read course readings and it will take around 4 to 5 hours for those whose first language is not English.
- ・ 本講座の受講生は日本社会・文化についての英語でプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションの準備には最低でも6、7時間は必要とし、英語力が高くない者であれば10時間以上は必要とする。
- ・ プレゼンテーションを基に英文1000 word レポートを提出してもらうが、英語が第一言語ではない者にとっては14、5時間は必要である。
- ・ その他、課題図書が適宜あり、課題図書を読むには4、5時間、英語が得意ではない者はそれ以上の時間を必要とする。

■ Textbook／教科書

No specific text book is required, but reading materials will be provided in the class.／特になし。しかしながら課題図書等は必要に応じて適宜授業中に配られる。

■ Method of Evaluation／評価方法

- Presentation／発表：30%
 Essay／エッセー：40%
 Class Participation／授業への参加度：10%
 Reaction Paper／授業後のリアクションペーパー：15%
 Other／その他：5%

■ Prerequisite／事前履修科目等

This course does not require prerequisite courses.
 本科目の履修に際して事前に履修しなければならない科目は設けていない。

■ Additional Information／留意点

The class will be conducted basically in English, but there is no minimum requirement of TOEIC score.
 授業は基本的に英語で行うがTOEICのスコアは特に要求しない。ただし、英語文献を多く読むので英語力は必要とする。必要に応じて日本語で補助する。
 The attendance rule of this class follows the rule of SGS attendance rule.
 出欠に関してはSGSの出欠ルールに従う。

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：文化人類学入門

Course Title : Introduction to Anthropology

教員／Instructor：杉下 かり (Sugishita, Kaori)

Division／分野	Core／選択必修	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	307	E-mail	kaori@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

Learn the basics of socio-cultural anthropology, broaden your interest, and gain new perspectives on the world.
文化人類学の基礎を学び、関心の幅を広げ、世界に対する新たな視点を獲得して下さい。

■ Course Description／講義の概要

This course offers an introduction to socio-cultural anthropology, an academic discipline geared to understand different cultures and societies in the world. We explore the discipline with regard to its history and methodology, as well as its classic and contemporary concerns. The course also looks at current affairs related to such anthropological concerns, so as to enhance your interest in the present world and other people's lives, which is essential in studying socio-cultural anthropology.

Lectures are given bilingually in English and Japanese. You may use either English or Japanese in completing coursework and a final exam. For a successful completion of the course, you are required to submit a weekly reaction paper, to give a group presentation at a reading seminar, and to sit for the final, written exam. Those who fail to attend the class three times or more will be disqualified from taking the exam.

文化人類学とは、世界に存在する様々な文化と社会を理解することを目的とする学問分野です。入門編である本コースでは、文化人類学の歴史と方法論について概説する他、この分野における古典的および現代的な研究テーマを紹介します。また、それらのテーマに関わる時事問題を逐次取り上げ、世界と他者の生活に対する関心を高めます。それこそが、文化人類学を学ぶ上で最も大切なことなのです。

講義は英語と日本語のバイリンガルで行います。コースワークと期末試験に用いる言語は、英語か日本語を選択できます。成績評価は、論述式の期末試験の他、週毎のリアクション・ペーパーや、リーディング・セミナーでのグループ発表によって行います。授業を3回以上欠席した場合は、期末試験の受験を認めません。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

各回授業の復習とリアクション・ペーパーの作成のほか、発表の準備（グループワーク）と最終試験に備えた学習のため、毎週平均1.5時間程度が必要。

Students are expected to spend an average of 1.5 hours a week to review a class, to write a reaction paper, to prepare a group presentation, and to study for the final exam.

■ Textbook／教科書

使用しません。 n/a

■ Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude／学修態度：10%

Reaction Paper／リアクション・ペーパー：20%

Presentation／発表：20%

Final Exam／学期末試験：50%

■ Prerequisite／事前履修科目等

ありません。 n/a

■ Additional Information／留意点

Students wishing to take this course MUST attend the first class.

本コースの履修を希望する学生は、一回目の授業に必ず出席して下さい。

科目名：メディア学入門

Course Title : Introduction to Media Studies

教員／Instructor：ポール マーサー (Mercer, Paul)

Division／分野	Core／選択必修	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	203	E-mail	mercerc@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

To provide an understanding of important aspects of the subject of media studies. To give students information and knowledge to begin a critical evaluation of media products and to appreciate the context in which they are produced in terms of the cultural environment and the commercial/business environment. To encourage students to adopt a new way of consuming media products that can identify political and emotional messages they otherwise may have missed.

メディア研究の主題の重要な側面を理解する。メディア製品の批判的評価を開始するため、文化的環境や商業／ビジネス環境の観点からメディア製品が生産されている文脈を理解するための情報と知識を与える。学生が見落としていたかもしれない政治的、感情的なメッセージを見極めることができる新しいメディア製品の消費方法を採用することを奨励する。

■Course Description／講義の概要

This is an introductory course in the subject of Media Studies. It will cover conventional approaches to the way traditional media and new internet media have been analysed in a number of specific areas at an introductory level. There will be general descriptions of concepts and frameworks with attention paid to keywords in English that students will need to understand the course.

これは、メディア研究の主題の入門コースです。伝統的なメディアと新しいインターネットメディアの分析方法への従来のアプローチを、入門レベルでいくつかの特定の分野でカバーします。概念やフレームワークの一般的な説明を学生がコースを理解するために必要な英語のキーワードに注意を払いながら行います。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Week 1: Watch : https://www.youtube.com/watch?v=M89_wjcwzfY

Week 2: Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=DvSTlxJsKzE>

Week 3: Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=qvgURfZMGoQ>

Week 4 : Watch : <https://youtu.be/u5OdIElQyZw>

Read: <https://www.campaignlive.com/article/seven-inspiring-ads-smash-female-stereo-types/1578127>

Week 5 : Read: <https://haenfler.sites.grinnell.edu/subcultural-theory-and-theorists/what-is-a-subculture/>

Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=r8bMLcCxxAA>

Week 6 : Read : <https://opentextbc.ca/mediastudies101/chapter/audiences-and-audience-research/>

Week 7 Read : https://saylordotorg.github.io/text_understanding-media-and-culture-an-introduction-to-mass-communication/s16-05-globalization-of-media.html

Week 8 Watch : <https://www.bbc.com/news/av/entertainment-arts-15224054/top-iconic-images-of-the-world>

Read : <https://www.theguardian.com/news/series/ten-best-photographs-of-the-day>

Week 9 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=R41fR2o8BkY>

Week 10 Read : [https://en.wikipedia.org/wiki/Drama_\(film_and_television\)](https://en.wikipedia.org/wiki/Drama_(film_and_television))

Week 11 Look at : <https://www.realitytvworld.com>

Week 12 Read : <https://www.thebalancecareers.com/a-look-at-tv-news-history-over-the-past-50-years-2315217>

Week 13 Read : <https://www.bbvaopenmind.com/en/articles/the-new-media-s-role-in-politics/>

Week 14 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=XnkFYKTDCvU>

watch: https://www.youtube.com/watch?time_continue=127&v=6RBq_j5NMn4&feature=emb_logo

※それぞれ、約3時間の予習復習を要する。

■Textbook／教科書

None

■Method of Evaluation／評価方法

Class participation (10%) will be assessed along with two written assignments (90%) on issues that are relevant to the course.

授業への参加度（10％）は、コースに関連する問題について2つの筆記課題（90％）とともに評価されます。

■Prerequisite／事前履修科目等

None

■Additional Information／留意点

None

科目名：Business Communication in English I

Course Title：Business Communication in English I

教員／Instructor：ブライアン イングリッシュ (English, Brian)

Division／分野	General／共通（上級英語）	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	103	E-mail	english@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

The course aims to prepare university students for the business world in a variety of business situations, both social and work related. このコースは、社会および仕事に関連するさまざまなビジネス状況におけるビジネスの世界に向けて、学生に準備させることを目的としています。

■Course Description／講義の概要

This is a multi-skills English course for intermediate level English language students. This course is designed to help students improve their English communication ability so that they will be better prepared for work situations that require cross-cultural communication. Students will develop their language proficiency through role playing, completing conversation exercises, and engaging in group activities. Students will learn through actively participating in classroom discussion and activities. Students will improve their ability to converse about a variety of topics that arise frequently in business situations. The course textbook exposes students to a variety of accents in the listening exercises and focuses on developing their listening skills for global communication. Students will learn how to write emails in a typical business style and acquire new business vocabulary important for working in a global company. In addition, each unit comes with a mini TOEIC practice test based on the unit vocabulary and theme.

これは、中級レベルの英語の学生のためのマルチスキル英語コースです。このコースは、学生が異文化コミュニケーションを必要とする仕事の状況に備えることができるように、英語のコミュニケーション能力を向上させることを目的としています。学生は言語能力を伸ばし、学生はビジネスの状況で頻繁に発生するさまざまなトピックについて会話する能力を向上させます。ロールプレイング、会話演習の完了、グループ活動への参加を通じて、学生は教室でのディスカッションや活動に積極的に参加することで学びます。コースの教科書は、リスニング演習のさまざまなアクセントに、グローバルコミュニケーションのためのリスニングスキルの開発に焦点を当てています。学生は、典型的なビジネススタイルで電子メールを書く方法を学び、グローバル企業で働くために重要な新しいビジネス語彙を習得します。また、各ユニットには、ユニットの語彙やテーマに基づいたミニ TOEIC 模擬テストがあります。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Review material cover in previous class (30 minutes).

Study the business English vocabulary from the book and additional words provided by the instructor (30 minutes).

Complete the reading and writing sections in the textbook for the following week (45 minutes).

前回クラスの資料をもとに復習をします（30分）。

本とインストラクターから提供された追加の単語からビジネス英語の語彙を学びます（30分）。

次の週の教科書の読み書きのセクションを完了します（45分）。

■Textbook／教科書

Business Plus Level 2 (Cambridge University Press)

ビジネスプラスレベル2（ケンブリッジ大学出版局）

■Method of Evaluation／評価方法

Class participation／授業参加：20%

Writing Assignments／課題：20%

Unit review (vocabulary) tests／ユニットテスト：20%

Presentation (s)／発表：30%

Learning attitude／修学態度：10%

■Prerequisite／事前履修科目等

TOEIC 300 or above or the approval of the instructor.

TOEIC 300 点以上またはインストラクターの許可。

■Additional Information／留意点

なし

科目名：Business Communication in English II

Course Title：Business Communication in English II

教員／Instructor：ブライアン イングリッシュ (English, Brian)

Division／分野	General／共通（上級英語）	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	103	E-mail	english@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

The course aims to prepare university students for the business world in a variety of business situations, both social and work related. このコースは、社会および仕事も関連するさまざまなビジネス状況で、ビジネスの世界に向けて、学生に準備させることを目的としています。

■Course Description／講義の概要

This is a multi-skills English course for intermediate level English language students. This course is designed to help students improve their English communication ability so that they will be better prepared for work situations that require cross-cultural communication. Students will develop their language proficiency through role playing, completing conversation exercises, and engaging in group activities. Students will learn through actively participating in classroom discussion and activities. Students will improve their ability to converse about a variety of topics that arise frequently in business situations. The course textbook exposes students to a variety of accents in the listening exercises and focuses on developing their listening skills for global communication. Students will learn how to write emails in a typical business style and acquire new business vocabulary important for working in a global company. In addition, each unit comes with a mini TOEIC practice test based on the unit vocabulary and theme.

これは、中級レベルの英語の学生のためのマルチスキル英語コースです。このコースは、学生が異文化コミュニケーションを必要とする仕事の状況に備えることができるように、英語のコミュニケーション能力を向上させることを目的としています。学生は言語能力を伸ばし、学生はビジネスの状況で頻繁に発生するさまざまなトピックについて会話する能力を向上させます。ロールプレイング、会話演習の完了、グループ活動への参加を通じて、学生は教室でのディスカッションや活動に積極的に参加することで学びます。コースの教科書は、リスニング演習のさまざまなアクセント、グローバルコミュニケーションのためのリスニングスキルの開発に焦点を当てています。学生は、典型的なビジネススタイルで電子メールを書く方法を学び、グローバル企業で働くために重要な新しいビジネス語彙を習得します。また、各ユニットには、ユニットの語彙やテーマに基づいたミニ TOEIC 模擬テストがあります。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Review material cover in previous class (30 minutes).

Study the Global Issues English vocabulary from the lesson material and additional words provided by the instructor (30 minutes).

Complete the reading and writing assignments for the following week (45 minutes).

前回クラスの資料をもとに復習をします（30分）。

本とインストラクターから提供された追加の単語からビジネス英語の語彙を学びます（30分）。

次の週の教科書の読み書きのセクションを完了します（45分）。

■Textbook／教科書

Business Plus Level 3 (Cambridge University Press)

ビジネスプラスレベル3（ケンブリッジ大学出版局）

■Method of Evaluation／評価方法

Class participation／授業参加：20%

Writing Assignments/ 課題：20%

Unit review (vocabulary) tests／ユニットテスト：20%

Presentation (s)／発表：30%

Learning attitude／修学態度：10%

■Prerequisite／事前履修科目等

TOEIC 300 or above or the approval of the instructor.

TOEIC 300 以上またはインストラクターの許可。

■Additional Information／留意点

なし

語 E

学 P

選
択
必
須

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：Communicative English for Global Citizenship I

Course Title：Communicative English for Global Citizenship I

教員／Instructor：ジェスロ ケニー（Kenney, Jethro）

Division／分野	General／共通（上級英語）	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	jethro@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

This course aims to help intermediate level students improve communication in all four English language skills：reading, writing, speaking and listening. By the end of this course, students will be able to 1) read about various global and domestic issues, 2) write short paragraphs about global and domestic issues, 3) discuss and present on global and domestic issues, and 4) find solutions from a global point of view.

このコースは、中級レベルの学生が、読む、書く、話す、聞くという4つの英語スキルすべてのコミュニケーションを向上させることを目的としています。このコースの終わりまでに、学生は1) さまざまなグローバルおよび国内の問題について読み、2) グローバルおよび国内の問題について短い段落を書き、3) グローバルおよび国内の問題について話し合い、発表し、4) グローバルな視点から解決策を見つけることができるようになります。

■Course Description／講義の概要

This is an integrated English skills course (reading, writing, speaking, listening) focused on developing communication skills on a variety of global and cultural topics. The course is designed to get students to discuss and express cultural phenomena think critically on selected global issues and to apply that knowledge creatively through discussion and writing. This course is highly active and requires that students be engaged and reflective. Through discussion and writing this course offers students an opportunity to develop and refine communication strategies and fluency.

これは、さまざまなグローバルおよび文化的トピックに関するコミュニケーションスキルの開発に焦点を当てた統合英語スキルコース（リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング）です。このコースは、選択された地球規模の問題について批判的に考える文化的現象について学生が話し合い、表現し、その知識をディスカッションと執筆を通じて創造的に適用できるように設計されています。このコースは非常に活発であり、学生が関与し、熟考する必要があります。このコースは、ディスカッションとライティングを通じて、コミュニケーション戦略と流暢さを開発および改善する機会を学生に提供します。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Read and review materials covered in previous class (30 min.)

Review vocabulary from textbook unit (20 min.)

Write two half-page journal entries on selected topic. (30 min.)

Proofread and edit journal and prepare to present journal writings to the class (10+ min.)

前のクラスで取り上げた資料を読んで確認します（30分）。

教科書ユニットから語彙を復習する（20分）

選択したトピックについて2つの半ページのジャーナルエントリを書き込みます。（30分）

ジャーナルを校正して編集し、ジャーナルの文章をクラスに提示する準備をします（10分以上）

■Textbook／教科書

Let's Chat (EFL Press)

■Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude：10% Vocabulary tests：15% Discussion：25%

Unit Reviews and presentations：25% Weekly journals：25%

学習態度：10% 語彙テスト：15% ディスカッション：25%

ユニットのレビューとプレゼンテーション：25% ウィークリージャーナル：25%

■Prerequisite／事前履修科目等

NA

■Additional Information／留意点

The course is taught in English. 授業は英語で行われる。

Students need to have TOEIC of 400 points or more. TOEIC 400 点以上が望ましい。

Maximum enrollment：20 students 定員 20 名

科目名：Communicative English for Global Citizenship II

Course Title：Communicative English for Global Citizenship II

教員／Instructor：ジェスロ ケニー (Kenney, Jethro)

Division／分野	General／共通（上級英語）	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	jethro@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

This course aims to help intermediate level students improve communication in all four English language skills：reading, writing, speaking and listening. By the end of this course, students will be able to 1) read about various global and domestic issues, 2) write short paragraphs about global and domestic issues, 3) discuss and present on global and domestic issues, and 4) find solutions from a global point of view.

このコースは、中級レベルの学生が、読む、書く、話す、聞くという4つの英語スキルすべてのコミュニケーションを向上させることを目的としています。このコースの終わりまでに、学生は1) さまざまなグローバルおよび国内の問題について読み、2) グローバルおよび国内の問題について短い段落を書き、3) グローバルおよび国内の問題について話し合い、発表し、4) グローバルな視点から解決策を見つけることができるようになります。

■Course Description／講義の概要

This is an integrated English skills course (reading, writing, speaking, listening) focused on developing communication skills on a variety of global and cultural topics. The course is designed to get students to discuss and express cultural phenomena think critically on selected global issues and to apply that knowledge creatively through discussion and writing. This course is highly active and requires that students be engaged and reflective. Through discussion and writing this course offers students an opportunity to develop and refine communication strategies and fluency.

これは、さまざまなグローバルおよび文化的トピックに関するコミュニケーションスキルの開発に焦点を当てた統合英語スキルコース（リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング）です。このコースは、選択された地球規模の問題について批判的に考える文化的現象について学生が話し合い、表現し、その知識をディスカッションと執筆を通じて創造的に適用できるように設計されています。このコースは非常に活発であり、学生が関与し、熟考する必要があります。このコースは、ディスカッションとライティングを通じて、コミュニケーション戦略と流暢さを開発および改善する機会を学生に提供します。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Read and review materials covered in previous class (30 min.)

Review vocabulary from textbook unit (20 min.)

Write two half-page journal entries on selected topic. (30 min.)

Proofread and edit journal and prepare to present journal writings to the class (10+ min.)

前のクラスで取り上げた資料を読んで確認します（30分）。

教科書ユニットから語彙を復習する（20分）

選択したトピックについて2つの半ページのジャーナルエントリを書き込みます。（30分）

ジャーナルを校正して編集し、ジャーナルの文章をクラスに提示する準備をします（10分以上）

■Textbook／教科書

Let's Talk 2 Second Edition (Cambridge University Press)

■Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude：10% Vocabulary Reviews：15% Unit Expansion Test：25%

Unit Reviews：25% Weekly journals：25%

学習態度：10% 語彙レビュー：15% ユニット拡張テスト：25%

ユニットレビュー：25% ウィークリージャーナル：25%

■Prerequisite／事前履修科目等

NA

■Additional Information／留意点

The course is taught in English. 授業は英語で行われる。

Students need to have TOEIC of 400 points or more. TOEIC 400 点以上が望ましい。

Maximum enrolment：20 students 定員 20 名

科目名：English Media and Culture I

Course Title：English Media and Culture I

教員／Instructor：ポール マーサー (Mercer, Paul)

Division／分野	General／共通（上級英語）	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	203	E-mail	mercerc@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

Students will improve their written and spoken English.

- Students will gain the skills of analyzing media and cultural texts and understanding the process of communication.
- Students will be encouraged to use media and cultural texts as materials in their own learning.
- 英語ライティングとスピーキング力を伸ばす。
- メディア媒体の文化的な背景を分析しやコミュニケーションの過程を理解することができるようになる。
- 有効なメディア媒体の使い方を学ぶ。

■ Course Description／講義の概要

This is a multi-skills English language course that will use a variety of media as authentic texts to broaden students' perspectives of culture. The instructor will use movie clips, internet sites, blogs, newspaper articles, magazine articles, radio shows and television broadcasts to present a comprehensive overview of how modern media shapes people's views and influences trends in the 21st century. The class is designed to help students improve their English communication ability. All teaching is conducted in English and assignments must be completed in English.

この授業は画像、インターネット、新聞、雑誌記事などさまざまなメディア媒体を使って多角的に英語コミュニケーション力を伸ばすことを目的とする。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Read : https://www.myenglishpages.com/site_php_files/vocabulary-lesson-mass-media.php

Week 1 Read Chapter One, Media and Culture: https://saylordotorg.github.io/text_understanding-media-and-culture-an-introduction-to-mass-communication/index.html

Week 2 Read Chapter Nine, Television: https://saylordotorg.github.io/text_understanding-media-and-culture-an-introduction-to-mass-communication/index.html

Week 3 Read Chapter Four, Newspapers: https://saylordotorg.github.io/text_understanding-media-and-culture-an-introduction-to-mass-communication/index.html

Week 4 Read Chapter Eight, Movies: https://saylordotorg.github.io/text_understanding-media-and-culture-an-introduction-to-mass-communication/index.html

Week 5 Read : <https://www.socialmediatoday.com/content/understanding-world-wide-web-brief-primer>

Week 6 Read : <https://gsdrc.org/topic-guides/gender/gender-and-media/>

Week 7 Read : <https://prezi.com/-vcrkleryunz/media-representations-of-social-class/>

Week 8 Watch : <https://www.pbs.org/video/race-jifirc/>

Week 9 Read : <https://www.medialit.org/reading-room/language-media-literacy-glossary-terms>

Week 10 Read : <https://www.medialit.org/reading-room/power-images-creating-myths-our-time>

Week 11 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=z-11zoVnHSQ>

Week 12 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=cH3I8nFyp6g>

Watch: https://www.stltoday.com/online/video-how-social-media-is-fueling-the-rise-of-nationalism/video_1a90604b-bdf9-54c3-a10b-e812f434cc0a.html

Week 13 Read: https://teaching.shu.ac.uk/hwb/sport/techandinnov/showcase0809/paula_price/sportandthemedi2.html

Read: <https://www.forbes.com/sites/anthonydimoro/2015/07/02/the-growing-impact-of-social-media-on-todays-sports-culture/#5bc6fb3831a2>

Week 14 Read : <https://www.bbvaopenmind.com/en/articles/the-new-media-s-role-in-politics/>

Watch : <https://www.khanacademy.org/humanities/us-government-and-civics/us-gov-political-participation/us-gov-changing-media/v/impact-of-media-evolution-on-politics>

※それぞれ、約3時間の予習復習を要する。

■ Textbook／教科書

None

■ Method of Evaluation／評価方法

Class participation (10%) will be assessed along with 2 written assignments (90%) to complete during the course.

授業への参加度（10%）は、コース中に完了する2つの筆記課題（90%）とともに評価されます。

■ Prerequisite／事前履修科目等

None

■ Additional Information／留意点

None

科目名：Global Issues：Wealth and Poverty I

Course Title：Global Issues：Wealth and Poverty I

教員／Instructor：ブライアン イングリッシュ (English, Brian)

Division／分野	General／共通（上級英語）	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	103	E-mail	english@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

- 1) To develop academic English skills while learning about global issues.
 - 2) To increase students' vocabulary in English and raise their TOEIC scores.
 - 3) To help students become more confident in communicating in English so that they can discuss global issues while voicing opinions, agreeing and disagreeing
 - 4) To develop students' critical thinking skills and broaden their perspective of the world in the era of globalization.
 - 5) To foster a sense of global citizenship among students.
- 1) グローバルな問題を学びながらアカデミック英語スキルを伸ばす。
 - 2) 英語での生徒の語彙を増やし、TOEIC スコアを上げる。
 - 3) 学生が英語でのコミュニケーションに自信を持ち、意見を表明したり、賛成したり反対したりしながら、グローバルな問題について話し合うことができるようにする。
 - 4) グローバル化の時代において、学生の批判的思考スキルを開発し、世界の視野を広げること。
 - 5) 学生の地球市民意識を育む。

■Course Description／講義の概要

This is a content-based English course that aims at developing student's academic English skills. The course will cover a wide spectrum of global issues such as human rights, access to natural resources, sustainable development, environmental degradation, refugees, child labor, food safety, water scarcity and more. The course will compare and contrast how these issues affect people living in wealth and people living in poverty.

Since the course has a primary goal of developing students' English ability there will be a major focus on learning vocabulary related to global issues. Lessons will include short readings, comprehension questions, pair-work language practice and group-work activities. There will also be 2 writing assignments and 2 presentations. The first presentation will be a group presentation and the final presentation will be an individual presentation.

The course will also include some TOEIC practice and preparation.

これは、学生のアカデミック英語スキルの開発を目的としたコンテンツベースの英語コースです。このコースでは、人権、天然資源へのアクセス、持続可能な開発、環境悪化、難民、児童労働、食品の安全性、水不足など、幅広い世界的な問題を取り上げます。このコースでは、これらの問題が富に住む人々と貧困に住む人々にどのように影響するかを比較対照します。

このコースは学生の英語力を伸ばすことを主な目的としているため、グローバルな問題に関連する語彙の学習に重点が置かれます。レッスンには、短い読解、理解の質問、ペアワーク言語の練習、グループワーク活動が含まれます。また、2つのライティング課題と2つのプレゼンテーションがあります。最初のプレゼンテーションはグループプレゼンテーションで、最後のプレゼンテーションは個人プレゼンテーションです。

このコースには、TOEIC の練習と準備も含まれます。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Review material cover in previous class (30 minutes). Study the Global Issues English vocabulary from the lesson material and additional words provided by the instructor (30 minutes). Complete the reading and writing assignments for the following week (45 minutes).

前回クラスの資料をもとに復習をします（30分）。レッスン資料とインストラクターから提供された追加の単語から、グローバルイシューの英語の語彙を学習します（30分）。次の週の読み書きの課題を完了します（45分）。

■Textbook／教科書

The instructor will provide all course materials. インストラクターがすべてのコース資料を提供します。

■Method of Evaluation／評価方法

Class participation／授業参加：20% Writing Assignments／課題：20%

Unit review (vocabulary) tests／ユニットテスト：20% Presentation(s)／発表：30% Learning Attitude／修学態度：10%

■Prerequisite／事前履修科目等

TOEIC 300 minimum or permission from the instructor.

TOEIC300 点以上またはインストラクターの許可。

■Additional Information／留意点

なし

科目名：Global Issues：Wealth and Poverty II

Course Title：Global Issues：Wealth and Poverty II

教員／Instructor：ブライアン イングリッシュ (English, Brian)

Division／分野	General／共通（上級英語）	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	103	E-mail	english@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

- 1) To develop academic English skills while learning about global issues.
 - 2) To increase students' vocabulary in English and raise their TOEIC scores.
 - 3) To help students become more confident in communicating in English so that they can discuss global issues while voicing opinions, agreeing and disagreeing
 - 4) To develop students' critical thinking skills and broaden their perspective of the world in the era of globalization.
 - 5) To foster a sense of global citizenship among students.
- 1) グローバルな問題を学びながらアカデミック英語スキルを伸ばす。
 - 2) 英語での生徒の語彙を増やし、TOEIC スコアを上げる。
 - 3) 学生が英語でのコミュニケーションに自信を持ち、意見を表明したり、賛成したり反対したりしながら、グローバルな問題について話し合うことができるようにする。
 - 4) グローバル化の時代において、学生の批判的思考スキルを開発し、世界の視野を広げること。
 - 5) 学生の地球市民意識を育む。

■Course Description／講義の概要

This is a content-based English course that aims at developing student's academic English skills. The course will cover a wide spectrum of global issues such as human rights, access to natural resources, sustainable development, environmental degradation, refugees, child labor, food safety, water scarcity and more. The course will compare and contrast how these issues affect people living in wealth and people living in poverty.

Since the course has a primary goal of developing students' English ability there will be a major focus on learning vocabulary related to global issues. Lessons will include short readings, comprehension questions, pair-work language practice and group-work activities. There will also be 2 writing assignments and 2 presentations. The first presentation will be a group presentation and the final presentation will be an individual presentation.

The course will also include some TOEIC practice and preparation.

これは、学生のアカデミック英語スキルの開発を目的としたコンテンツベースの英語コースです。このコースでは、人権、天然資源へのアクセス、持続可能な開発、環境悪化、難民、児童労働、食品の安全性、水不足など、幅広い世界的な問題を取り上げます。このコースでは、これらの問題が富に住む人々と貧困に住む人々にどのように影響するかを比較対照します。

このコースは学生の英語力を伸ばすことを主な目的としているため、グローバルな問題に関連する語彙の学習に重点が置かれます。レッスンには、短い読解、理解の質問、ペアワーク言語の練習、グループワーク活動が含まれます。また、2つのライティング課題と2つのプレゼンテーションがあります。最初のプレゼンテーションはグループプレゼンテーションで、最後のプレゼンテーションは個人プレゼンテーションです。

このコースには、TOEIC の練習と準備も含まれます。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Review material cover in previous class (30 minutes). Study the Global Issues English vocabulary from the lesson material and additional words provided by the instructor (30 minutes). Complete the reading and writing assignments for the following week (45 minutes).

前回クラスの資料をもとに復習をします（30分）。レッスン資料とインストラクターから提供された追加の単語から、グローバルイシューの英語の語彙を学習します（30分）。次の週の読み書きの課題を完了します（45分）。

■Textbook／教科書

The instructor will provide all course materials. インストラクターがすべてのコース資料を提供します。

■Method of Evaluation／評価方法

Class participation／授業参加：20% Writing Assignments／課題：20%

Unit review (vocabulary) tests／ユニットテスト：20% Presentation (s)／発表：30% Learning Attitude／修学態度：10%

■Prerequisite／事前履修科目等

TOEIC 300 minimum or permission from the instructor.

TOEIC 300 点以上またはインストラクターの許可。

■Additional Information／留意点

なし

科目名：Studies In Environmentalism I

Course Title：Studies In Environmentalism I

教員／Instructor：橋詰 博樹（Hashizume, Hiroki）

Division／分野	General／共通（上級英語）	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	204	E-mail	hashizume@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■Course Goals／到達目標

1) 環境保護政策の国際的発展を概観する。2) 基本的な環境政策の文献を英文で精読する。3) 学生は英文読解（特に文法）に集中し、その能力を高める。

Objectives：1) to offer an overview of international development of environmental protection policies; 2) to closely read basic environmental policy literatures in English; 3) to have students engage deeply in reading English study, grammar in particular.

■Course Description／講義の概要

英語力が十分ではない学生（TOEIC300 点以上）を対象とする語学コース。教材として今日の世界的課題である環境政策の基本的文献を用いる。Environmentalism 1、2 で用いる教材には、ストックホルム宣言（国連、1972 年 6 月 17 日）、我ら共有の未来（国連、1987 年 12 月 11 日）、リオ宣言（環境と開発に関する国連会議、1992 年 6 月）、アジェンダ 2030（国連、2015 年 9 月 25 日）、沈黙の春（レイチェル・カーソン、1962 年）、成長の限界（ドネラ・メドウズ他、1972 年）等がある。受講生は、事前に教材を丁寧に読むとともに、他の学生にも理解できるように教室でその説明を行う。その際、意味だけではなく、文の構造、文法に特に留意する。必要に応じ基礎的な語学事項を扱うことがある。

This is a weekly English language course for students with low proficiency (TOEIC 300+) to fully understand basic English grammar and acquire reading skills while reading basic literatures on environmental policy, one of the most important current global issues. Literatures to be used in Environmentalism 1 and 2 include; Stockholm Declarations (United Nations, Jun. 17, 1972), Our Common Future (United Nations, Dec. 11, 1987), Rio Declaration (UNCED, Jun. 1992), Agenda 2030 (United Nations, Sep. 25, 2015), Silent Spring (Rachel Carson, 1962) and the Limit to Growth (Donella H. Meadows, et al. 1972). Students are requested to closely read the course materials in advance. They have to explain the texts grammatically carefully in the class so that all students can fully understand them with particular attention to the structure and grammar as well as the content. The class may go back to very basic linguistic issues as needed.

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

前回の講義内容について十分に理解をしておくとともに、指定図書等を事前に読み、クラスで発表・説明できるようにしておくこと（3 時間を要する）

Fully understand the issues of the previous class, read designated materials in advance to prepare for presenting/explaining main points of the next class (needs 3 hours).

■Textbook／教科書

教員が準備する To be provided by the instructor

- Stockholm Declarations (United Nations, Jun. 17, 1972) スtockホルム宣言（国連 1972 年 6 月）
- The Limit to Growth (Donella H. Meadows, et al. 1972) 成長の限界（ドネラ・メドウズ他、1972 年）

■Method of Evaluation／評価方法

試験又は期末課題／Exam or semester-end assignment：50%

授業中の取組み／Performance in the class：25%

予習・復習のための課題（毎週）／Review and study in advance at home (every week)：25%

■Prerequisite／事前履修科目等

特になし None

■Additional Information／留意点

TOEIC の最高点が 300 点以上の者を対象とする

履修登録生は、学期中に TOEIC を受験すること

春学期（Studies In Environmentalism I）においては基本的に対面授業とするが、一部に Zoom を用いた遠隔授業も併用する。秋学期（Studies In Environmentalism II）については未定。

Only for students whose highest TOEIC score is 300 or higher.

Registered students are requested to take TOEIC IP during the semesters.

The class in spring semester will be conducted on-campus (if needed) with on-line remoted using Zoom system. Not decided as to the fall class.

科目名：Studies In Environmentalism II

Course Title：Studies In Environmentalism II

教員／Instructor：橋詰 博樹（Hashizume, Hiroki）

Division／分野	General／共通（上級英語）	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	204	E-mail	hashizume@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■Course Goals／到達目標

1) 環境保護政策の国際的発展を概観する。2) 基本的な環境政策の文献を英文で精読する。3) 学生は英文読解（特に文法）に集中し、その能力を高める。

Objectives：1) to offer an overview of international development of environmental protection policies; 2) to closely read basic environmental policy literatures in English; 3) to have students engage deeply in reading English study, grammar in particular.

■Course Description／講義の概要

英語力が十分ではない学生（TOEIC300 点以上）を対象とする語学コース。教材として今日の世界的課題である環境政策の基本的文献を用いる。Environmentalism 1、2 で用いる教材には、ストックホルム宣言（国連、1972 年 6 月 17 日）、我ら共有の未来（国連、1987 年 12 月 11 日）、リオ宣言（環境と開発に関する国連会議、1992 年 6 月）、アジェンダ 2030（国連、2015 年 9 月 25 日）、沈黙の春（レイチェル・カーソン、1962 年）、成長の限界（ドネラ・メドウズ他、1972 年）等がある。受講生は、事前に教材を丁寧に読むとともに、他の学生にも理解できるように教室でその説明を行う。その際、意味だけではなく、文の構造、文法に特に留意する。必要に応じ基礎的な語学事項を扱うことがある。

This is a weekly English language course for students with low proficiency (TOEIC 300+) to fully understand basic English grammar and acquire reading skills while reading basic literatures on environmental policy, one of the most important current global issues. Literatures to be used in Environmentalism 1 and 2 include; Stockholm Declarations (United Nations, Jun. 17, 1972), Our Common Future (United Nations, Dec. 11, 1987), Rio Declaration (UNCED, Jun. 1992), Agenda 2030 (United Nations, Sep. 25, 2015), Silent Spring (Rachel Carson, 1962) and the Limit to Growth (Donella H. Meadows, et al. 1972). Students are requested to closely read the course materials in advance. They have to explain the texts grammatically carefully in the class so that all students can fully understand them with particular attention to the structure and grammar as well as the content. The class may go back to very basic linguistic issues as needed.

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

前回の講義内容について十分に理解をしておくとともに、指定図書等を事前に読み、クラスで発表・説明できるようにしておくこと（3 時間を要する）

Fully understand the issues of the previous class, read designated materials in advance to prepare for presenting/explaining main points of the next class (needs 3 hours).

■Textbook／教科書

教員が準備する To be provided by the instructor

- 我ら共有の未来（国連、1987 年 12 月 11 日）Our Common Future (United Nations, Dec. 11, 1987)

- 沈黙の春（レイチェル・カーソン、1962 年）Silent Spring (Rachel Carson, 1962)

■Method of Evaluation／評価方法

試験又は期末課題／Exam or semester-end assignment：50%

授業中の取組み／Performance in the class：25%

予習・復習のための課題（毎週）／Review and study in advance at home (every week)：25%

■Prerequisite／事前履修科目等

特になし None

■Additional Information／留意点

TOEIC の最高点が 300 点以上の者を対象とする

履修登録生は、学期中に TOEIC を受験すること

春学期（Studies In Environmentalism I）においては基本的に対面授業とするが、一部に Zoom を用いた遠隔授業も併用する。秋学期（Studies In Environmentalism II）については未定。

Only for students whose highest TOEIC score is 300 or higher.

Registered students are requested to take TOEIC IP during the semesters.

The class in spring semester will be conducted on-campus (if needed) with on-line remoted using Zoom system. Not decided as to the fall class.

科目名：英語試験対策講座 I 伊藤 礼子 (Ito, Reiko)

Course Title : Test Preparation I

教員／Instructor：伊藤 礼子 (Ito, Reiko)

Division／分野	General／共通（上級英語）	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	ito-r@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

To obtain a score of 600 or above on the TOEIC. TOEIC テストにおいて、600 点以上を取得すること。

To improve English communication skills through preparation for the TOEIC. TOEIC に向けた準備を通して、英語コミュニケーション能力を高める。

■ Course Description／講義の概要

This course aims at helping students achieve a score of 600 or above on the TOEIC. Students are expected to increase vocabulary, grammar and other skills through a variety of exercises using textbooks. There will also be quizzes in every class. To pass the course, student MUST attend the class regularly, complete their homework and take either the TOEIC IP tests or the TOEIC-SP tests at least once during the semester.

当科目は履修者の TOEIC600 点以上の取得を支援することを目的とします。履修者は様々な演習を通して、語彙や文法またそのほかのスキルを伸ばすことが求められます。単位取得のためには、出席や課題提出の他に、当該学期内に実施される TOEIC-IP テストまたは TOEIC 公開テストに最低一回の受験が必須です。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Students will be given a quiz in each class and need to be fully prepared for that.

・毎回フリーズテストを行うので、指定された範囲を準備する。(1 時間)

Students are required to complete all the assignments given in class.

・授業で与えられた課題を完全に行う。(1 時間)

Students are expected to take all the TOEIC-IP tests held during the semester.

・学内で行われる TOEIC-IP テストは全て受験することが望ましい。

■ Textbook／教科書

「TOEIC L & R テスト直前の技術」アルク

「TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ」朝日新聞出版

「公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 6」(IIBC)

■ Method of Evaluation／評価方法

Class participation, learning attitude and assignments／40% (授業参加, 授業態度及び課題提出)

Scores on the TOEIC tests conducted during the semester／60% (学期中の TOEIC のスコア)

To pass the course, students MUST obtain a score of 450 or above either on the TOEIC-IP tests or the TOEIC-SP tests by the end of January 2022.

・このコースの履修条件は本学入学後 TOEIC450 点以上取得済の学生となっていることから、学期中に受験する TOEIC-IP 及び TOEIC 公開テストのスコアが 450 点を下回る生徒は評価の対象とならないので充分注意すること。

■ Prerequisite／事前履修科目等

当科目履修者は、本学入学後 TOEIC450 点以上取得済の学生に限ります。

Please note that students must have already obtained a score of 450 or above on the previous TOEIC tests in order to register for this course.

■ Additional Information／留意点

Lectures will be conducted in Japanese. (講義は日本語で行われます。)

Students are required to attend all classes. A student may be absent up to two times because of sickness or family emergency etc. Any absence must be reported either to me or the academic affairs section via e-mail or by phone before the missing class. (欠席は 2 回までといたします。やむを得ず欠席の場合は、事前に講師または教務課に何らかの手段で連絡すること。)

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：英語試験対策講座Ⅰ 西井 賢太郎 (Nishii, Kentaro)

Course Title : Test Preparation I

教員／Instructor : 西井 賢太郎 (Nishii, Kentaro)

Division／分野	General／共通（上級英語）	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	303	E-mail	nishii@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

To obtain a score of 600 or above on the TOEIC. TOEIC テストにおいて、600 点以上を取得する。

To improve English communication skills through preparation for the TOEIC. TOEIC のための準備を通じて、英語コミュニケーション能力を高める。

■ Course Description／講義の概要

This course aims at helping students achieve a score of 600 or above on the TOEIC. Students are expected to increase vocabulary, grammar and other skills through a variety of exercises in the TOEIC format. There will also be quizzes or practice test simulations in class. To pass the course, students MUST attend the class regularly, complete their homework, and take either the TOEIC-IP tests (conducted in April and July) or the TOEIC-SP tests (conducted in April, May and June) once at least during the semester.

当科目は、履修者の TOEIC600 点以上取得を支援することを目的とする。履修者は、様々な TOEIC 形式の問題演習などを通して、語彙や文法、その他のスキルを十分身に付けることが求められる。また授業では、小テストや模擬試験演習などが課される。単位取得のためには、出席や課題などの他に、当該学期内に実施される TOEIC-IP テストまたは TOEIC 公開テスト（例：春学期～4月、7月実施の IP テストか、4月、5月、6月実施の公開テスト）の最低1回の受験は必須である。※2020年度、本学部はすべての IP テストをオンライン形式にて実施したが、2021年については未定。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- Students MUST complete all the assignments given in class. (Over one hour)
- Students are required to prepare for the Phrase Test to be held in each lecture. Lecturer informs students of the phrases they should revise before each lecture.
- Based upon lecturer's advice, students are required to find their most efficient way of preparing for English tests and to study by themselves out of lecture. (One hour)
- Students are advised to take all the TOEIC-IP tests held on campus. (Five tests an academic year)
- Students are advised to take as many TOEIC-SP tests held off campus as possible.
- ・授業で出た課題を完全に行うこと。（1時間以上を要する）
- ・毎回フレーズテストを行うので、指定された範囲を準備しておくこと（1時間を要する）
- ・特に英語テスト対策に関しては、担当教員が出したヒントを元に、いかに自己学習を進めるかが重要である。自分に合った学習方法を見つけ、実行してほしい。
- ・年5回大学内で実施される TOEIC-IP テストは全て受験することが望ましい。
- ・学外で実施される TOEIC 公開テストをできるだけ多く受験することが望ましい。

■ Textbook／教科書

『TOEIC L & R テスト 直前の技術（新形式対応）』（アルク）

『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』（朝日新聞出版）

公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 6

■ Method of Evaluation／評価方法

Class Participation／平常点：30% Quizzes and coursework／小テスト及び課題：20%

Scores on the TOEIC tests conducted during the semester／当該学期内に実施される TOEIC でのスコア：50%

※2021年度は上記変更の可能性あり。

■ Prerequisite／事前履修科目等

当科目の履修者は、本学入学後 TOEIC450 点以上取得済みの学生に限るので注意すること。Please note that, to register for this course, students must have already obtained a score of 450 or above on the previous TOEIC tests as a prerequisite.

■ Additional Information／留意点

Lectures will be conducted in Japanese. 講義は日本語で行われる。

Students are encouraged to take the TOEIC-SP tests conducted off-campus as well as the TOEIC-IP conducted on campus. 履修者は学内実施の TOEIC-IP テスト同様、学外実施の TOEIC 公開テストも積極的に受験することを勧める。

Students need to apply for the TOEIC-SP tests entirely on their own. (The Academic Affairs Section has absolutely no involvement with this.) TOEIC 公開テストの申し込みは全て学生個人で行う必要がある（教務課は一切関知しない）。

科目名：英語試験対策講座Ⅱ

Course Title : Test Preparation II

教員／Instructor：西井 賢太郎 (Nishii, Kentaro)

Division／分野	General／共通（上級英語）	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	303	E-mail	nishii@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

To obtain a score of 730 or above on the TOEIC L&R. TOEIC L&R テストにおいて、730 点以上を取得する。
To improve English communication skills through preparation for the TOEIC L&R. TOEIC L&R テストのための準備を通じて、英語コミュニケーション能力を高める。

■Course Description／講義の概要

This course aims at helping students achieve a score of 730 or above on the TOEIC L&R. Students are expected to increase vocabulary, grammar and other skills through a variety of exercises in the TOEIC format. There will also be quizzes or practice test simulations in class. To pass the course, students MUST attend the class regularly, complete their homework, and take either the TOEIC-IP tests (conducted in October, December, and January) or the TOEIC-SP tests (conducted in September, October, November, and December) once at least during the semester.

当科目は、履修者の TOEIC L&R730 点以上取得を支援することを目的とする。履修者は、様々な TOEIC 形式の問題演習などを通して、語彙や文法、その他のスキルを十分身に付けることが求められる。また授業では、小テストや模擬試験演習などが課される。単位取得のためには、出席や課題などの他に、当該学期内に実施される TOEIC-IP テストまたは TOEIC 公開テスト（例：秋学期～10 月、12 月、1 月実施の IP テストか、9 月、10 月、11 月、12 月実施の公開テスト）の最低 1 回の受験は必須である。

※ 2020 年度、本学部では IP テストを全てオンライン方式で実施した。2021 年度については未定。

※※ 2020 年 12 月現在、公開テストは受験会場数が少ないため、抽選に当たらないと受験できない。従来通りマークシート方式で実施されている。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- Students MUST complete all the assignments. (Over one hour)
- Students are required to prepare for the Phrase Test to be held in each lecture. Lecturer informs students of the phrases they should revise before each lecture.
- Based upon lecturer's advice, students are required to find their most efficient way of preparing for English tests and to study by themselves out of lecture. (One hour)
- Students are advised to take all the TOEIC-IP tests held on campus. (Five tests an academic year)
- Students are advised to take as many TOEIC-SP tests held off campus as possible.
 - ・授業で出た課題を完全に行うこと。（1 時間以上を要する）
 - ・毎回フレーズテストを行うので、指定された範囲を準備しておくこと（1 時間を要する）
 - ・特に英語テスト対策に関しては、担当教員が出したヒントを元に、いかに自己学習を進めるかが重要である。自分に合った学習方法を見つけ、実行してほしい。
 - ・年 5 回大学内で実施される TOEIC-IP テストは全て受験することが望ましい。
 - ・学外で実施される TOEIC 公開テストをできるだけ多く受験することが望ましい。

■Textbook／教科書

「TOEIC L & R テスト 究極のゼミ Part 3 & 4 【新形式問題対応】」アルク
「TOEIC L & R テスト 文法問題 1000 問」アスク出版
「公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 7」国際ビジネスコミュニケーション協会

■Method of Evaluation／評価方法

Class Participation／平常点：30% Quizzes and coursework／小テスト及び課題：20%
Scores on the TOEIC L&R tests conducted during the semester／当該学期内に実施される TOEIC スコア：50%

■Prerequisite／事前履修科目等

当科目の履修者は、本学入学後 TOEIC500 点以上取得済みの学生に限るので注意すること。Please note that, to register for this course, students must have already obtained a score of 500 or above on the previous TOEIC tests as a prerequisite.

■Additional Information／留意点

Lectures will be conducted in Japanese.

講義は日本語で行われる。

To be enrolled in this course, having completed the "Test Preparation I" course is mandatory.

当科目履修にあたっては、『英語試験対策講座Ⅰ』を修了していることが履修条件である。

Students need to apply for the TOEIC-SP tests entirely on their own. (The Academic Affairs Section has absolutely no involvement with this.)

TOEIC 公開テストの申し込みは全て学生個人で行う必要がある（教務課は一切関知しない）。

科目名：Study Abroad I - V

Course Title：Study Abroad I - V

教員／Instructor：新美 潤 (Niimi, Jun)

Division／分野	General／共通（留学）	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	学科長室	E-mail	niimi@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

By participating in programs with different foci such as abroad experiencing, language learning, academic lectures, etc., students are expected to:

- experience foreign cultures and expand their horizons,
- become able to accept different cultures with a flexible attitude, and
- build skills to survive in a foreign country.

このコースは、海外研修を始めとし、語学留学、専門分野に関連した学習活動などに参加することにより、海外留学を通して視野を広げ、異なる文化を柔軟に受け止める態度を身に付け、日本語の通じない環境で生き抜く経験を積むことを目標とする。

■Course Description／講義の概要

There is a wide variety of programs offered as Study Abroad I, II, III, IV, and V: programs for abroad experiencing and language learning, and programs that focus on specializations such as hospitality management. Activities vary accordingly and specific information will be provided at the information session held at the beginning of each semester.

海外留学生生活を体験する海外研修や、英語の習得を目指した語学プログラムや、ホスピタリティー・マネジメントなどの専門性を帯びた内容を含むものなど、多彩なプログラムが用意されている。具体的な活動内容はプログラムによって異なるので、学期最初に行われる説明会に参加して情報を得ること。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

海外での単位認定を伴う活動のため、担当教員との面接、説明会や出発前オリエンテーションへの参加、事前学習・復習が必須。また、短期留学の場合は、出発する前に、留学先の国・地域に関する専門書（ガイドブックを除く）を1冊以上学習しておくこと。留学中に自分の関心テーマについて調査すること。

上記の準備学習に要する時間は最低10時間とする。

Minimum 10 hours are required for preparation including meeting with the advisor teacher, participation to orientation, reading books on the destination country and so on.

■Textbook／教科書

Subject to each program's content／各プログラムの内容に従う

■Method of Evaluation／評価方法

Study Tour Abroad／海外研修

- ・ Preliminary learning & On-site studying (Attendance, Participation)／事前研修&現地研修中の状況(出席率・参加態度)：40%
- ・ Presentation at the host institution abroad／海外の研修先でのプレゼンテーション：30%
- ・ Submission of designated material／指定された提出物：30%

Short-term Study Abroad／短期留学

- ・ Grade transcript from host institution／留学先での成績評価：40%
- ・ Presentation for reporting on the activity／報告会でのプレゼンテーション：30%
- ・ Submission of designated material／指定された提出物：30%

■Prerequisite／事前履修科目等

Subject to each program's content／各プログラムの内容に従う

■Additional Information／留意点

Study Tour Abroad／海外研修

・ Credits are given based on joining the Preliminary learning & On-site studying and submitting all designated material.／事前研修&現地研修に参加のうえ、指定された提出物をすべて提出することによって単位が付与される。

Short-term Study Abroad／短期留学

・ Credits are given based on joining the Orientation prior to departure & Report after the activity and submitting the grade transcript from the host institution and all designated material.／出発前オリエンテーション&事後報告会に参加のうえ、留学先での成績表及び指定された提出物をすべて提出することによって単位が付与される。

・ Students joining the short-term Study Abroad must take the TOEIC exam, or the TOEFL iBT or IELTS, prior to and after the study abroad, and must submit a copy of the results to the International Affairs Section.／短期留学に参加する学生は、留学前及び留学後にTOEIC若しくは、TOEFL iBTやIELTSを受験し、成績表のコピーを国際交流事務課に提出すること。

科目名：Study Abroad VI - VIII

Course Title：Study Abroad VI - VIII

教員／Instructor：新美 潤 (Niimi, Jun)

Division／分野	General／共通（留学）	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	学科長室	E-mail	niimi@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

Study Abroad VI, VII, VIII will help students to:

- gain additional knowledge in the chosen academic field through interaction with foreign faculty and students;
- improve foreign language skills;
- better understand the world at large as well as one's own culture through experience living abroad .
- ・海外の教員や学生との交流を通じて、専門分野の知識を深める。
- ・外国語の能力を高める。
- ・自国の文化に加え、世界の文化を体験を通して学ぶ。

■Course Description／講義の概要

Study Abroad VI, VII, VIII offer students with opportunities to study abroad at universities and research institutes in specific academic area of study such as hospitality management, tourism, international business, international development, cross-cultural studies and leadership for one semester or one year. The content varies depending on programs. このプログラムは、語学や、ホスピタリティ・マネジメント、観光学、国際ビジネス、国際開発、異文化研究、リーダーシップなどの専門分野を海外の大学や研究機関で一学期、または一年間学ぶ留学プログラムである。講義内容はそれぞれのプログラムによって異なる。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

海外での単位認定を伴う活動のため、担当教員との面接、説明会や出発前オリエンテーションへの参加、事前学習・復習が必須。

出発する前に、留学先の国・地域に関する専門書（ガイドブックを除く）を1冊以上学習しておくこと。留学中に自分の関心テーマについて調査すること。

上記の準備学習に要する時間は最低10時間とする。

Minimum 10 hours are required for preparation including meetings with advisor teacher, participation to orientation, reading books on the destination country and so on.

■Textbook／教科書

Subject to each program's content／各プログラムの内容に従う

■Method of Evaluation／評価方法

- ・ Grade transcript from the host institution abroad／留学先での成績評価：40%
- ・ Presentation for reporting on the activity／報告会でのプレゼンテーション：30%
- ・ Submission of designated material／指定された提出物：30%

■Prerequisite／事前履修科目等

Subject to each program's content／各プログラムの内容に従う

■Additional Information／留意点

- ・ Credits are given based on joining the Orientation prior to departure and submitting the grade transcript from the host institution and all designated material.／出発前オリエンテーションに参加のうえ、留学先での成績表及び指定された提出物をすべて提出することによって単位が付与される。
- ・ Based on the period of studying abroad, students may obtain 4 credits or 6 credits.／留学期間により修得単位数が4単位若しくは6単位となる。
- ・ Students must take the TOEIC exam, or the TOEFL iBT or IELTS, prior to and after the study abroad, and must submit a copy of the results.／留学前及び留学後にTOEIC若しくは、TOEFL iBTやIELTSを受験し、成績表のコピーを提出すること。
- ・ Credits obtained from enrolling in regular courses at the host institution can potentially be converted to SGS credits.／留学先の大学で正規の授業科目を履修・単位取得した場合、単位互換が可能な場合がある。

科目名：Internship Abroad

Course Title：Internship Abroad

教員／Instructor：新美 潤（Niimi, Jun）

Division／分野	General／共通（留学）	Semester／開講学期	未定
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	学科長室	E-mail	niimi@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

With support from the course instructor, the students should take the initiative in deciding on an overseas organization at which to intern. Submission of an internship application is the responsibility of the students. A successful internship will be the main focus of the course evaluation. Throughout the course, the students will learn various aspects of effective business communication in English, challenges and opportunities in working with people having different business and cultural backgrounds in order to develop their aptitude and mindset for business professionals. 担当教員の指導のもとに、各自が主体的に応募先企業の絞込みを行う。海外企業への願書は受講学生の責任で提出する。本講座の受講目的の中心は、海外企業での有意義な実習経験を得ることを第一義とする。十分な事前準備と積極果敢な海外企業体験を通して、さまざまな角度から英語によるビジネス・コミュニケーションの効果的な進め方を習得すると共に、職業経験や生活文化の背景が異なる海外企業の人たちとの出会いと協働経験を生かして、ビジネスのプロとしての適性や心構えを身につけることが期待される。

■ Course Description／講義の概要

This course is intended to provide students with insights into why and how they should prepare for a corporate internship abroad. Class activities will lead the students to define their internship objectives and identify candidate corporations to achieve the intended results from their overseas exposure. Major objectives of this course are : ① To build business communication skills and cross-cultural understanding ; ② to experience on-the-job learning through the internship program abroad ; ③ to make a presentation on the individual internship program.

この科目は、海外での企業インターンシップの意義と事前準備の方法論について理解を深めることを目的としている。授業では、海外インターンシップを希望する学生の志望動機を検証し、期待通りの成果をあげるために最適の企業を選び、受入先企業への依頼書の書き方などについて指導する。主な学習分野は、①ビジネス・コミュニケーション・スキルと異文化対応力の習得、②海外企業における実習経験、③海外インターンシップ終了後の成果報告のプレゼンテーションの4つを予定している。受講学生は、夏季休暇中に海外インターンシップを行い、帰国後に実習経験の成果についてクラスで発表すると共に、実習成果レポートを担当教員に提出する。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

授業前に、前回講義の振り返りを行い、指定の講義資料を読んでおくこと（3時間を要する）

3 hours are required to review the previous lecture and read materials related the upcoming class.

■ Textbook／教科書

Subject to each program's content. 各プログラムの内容に従う。

■ Method of Evaluation／評価方法

Preparation for the internship／事前準備における各種手続き：20%

Evaluation by host company／受け入れ先の評価：50%

Final presentation and report／最終報告・発表：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

Subject to each program's content. 各プログラムの内容に従う。

■ Additional Information／留意点

Subject to each program's content. 各プログラムの内容に従う。

科目名：共通科目特別講義Ⅲ（志スタートアップ）

Course Title : Special Lectures for General Courses III

教員／Instructor：渡邊 浩史（Watanabe, Hirofumi）

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	1年のみ	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	watanabe-h@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

- ・ To acquire the communication skills necessary for living as a member of society and to develop the ability to take yourself positively.
- ・ Acquire the ability to think multilaterally about yourself, the relationship between people and yourself, and the relationship between social events and yourself.
- ・ 社会人として生きていく上で必要となるコミュニケーション能力を身につけ、自らを肯定的に捉える力を養う
- ・ 自分自身のこと、人と自分との関わり、社会の出来事と自分との関わりについて多角的に考える力を身につける

■Course Description／講義の概要

We will consider the abilities required to start student life at university. In the process of growth, people are influenced by various human relationships, local and social environments, and daily changing social events. In order to survive the changes of the times, you must make the most of your individuality, acquire various knowledge, and survive. In this lecture, I would like to think about communication skills to live better. From there, you will deepen your thoughts and learn about your future life.

大学での学生生活のスタートに当たり、必要となる能力について考えていきます。人は成長過程で様々な人間関係や地域・社会の環境、日々変化していく社会の出来事に影響を受けています。時代の変化を生き抜くには、自分の個性を生かし、様々な知識を身に付けて生き抜かなければなりません。本講義ではより良く生きるためのコミュニケーション能力について考えていきたいと思います。そこから自らの考えを深め、自分の将来の生き方について学びます。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ Perform self-analysis (1.5 hours) to improve self-introduction ability.
- ・ Develop a reading habit (1.5 hours) to improve the ability to present in the lecture.
- ・ 自己紹介能力を高めるために、各自で自己分析を行っておくこと（1.5時間）。
- ・ 講義内でのプレゼン能力を高めるために読書の習慣をつけること（1.5時間）。

■Textbook／教科書

特になし

■Method of Evaluation／評価方法

Active class participation／積極的な授業参加度：50%

Every comment paper／毎回のコメントペーパー：50%

■Prerequisite／事前履修科目等

None／特になし

■Additional Information／留意点

None／特になし

語 E

学 P

選 C
択 O
必 R
須 E

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：共通科目特別講義Ⅳ（志スタートアップ）

Course Title : Special Lectures for Foundational Courses IV

教員／Instructor：渡邊 浩史（Watanabe, Hirofumi）

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	1年のみ	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	watanabe-h@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

- ・ To acquire the communication skills necessary for living as a member of society and to develop the ability to take yourself positively.
- ・ Acquire the ability to think multilaterally about yourself, the relationship between people and yourself, and the relationship between social events and yourself.
- ・ 社会人として生きていく上で必要となるコミュニケーション能力を身につけ、自らを肯定的に捉える力を養う
- ・ 自分自身のこと、人と自分との関わり、社会の出来事と自分との関わりについて多角的に考える力を身につける

■Course Description／講義の概要

We will consider the abilities required to start student life at university. In the process of growth, people are influenced by various human relationships, local and social environments, and daily changing social events. In order to survive the changes of the times, you must make the most of your individuality, acquire various knowledge, and survive. In this lecture, I would like to think about communication skills to live better. From there, you will deepen your thoughts and learn about your future life.

大学での学生生活のスタートに当たり、必要となる能力について考えていきます。人は成長過程で様々な人間関係や地域・社会の環境、日々変化していく社会の出来事に影響を受けています。時代の変化を生き抜くには、自分の個性を生かし、様々な知識を身に付けて生き抜かなければなりません。本講義ではより良く生きるためのコミュニケーション能力について考えていきたいと思います。そこから自らの考えを深め、自分の将来の生き方について学びます。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ Get in the habit of reading newspapers at the library or at home (1.5 hours).
- ・ Please review the current affairs dealt with in the lecture by yourself (1.5 hours).
- ・ 図書館や自宅等で新聞を読む習慣をつけるように（1.5時間）。
- ・ 講義で扱った時事問題に関しては、各自でしっかり復習しておくように（1.5時間）。

■Textbook／教科書

特になし

■Method of Evaluation／評価方法

Active class participation／積極的な授業参加度：50%
Every comment paper／毎回のコメントペーパー：50%

■Prerequisite／事前履修科目等

None／特になし

■Additional Information／留意点

None／特になし

科目名：キャリア形成論

Course Title : Career Development

教員／Instructor：竹内 一真 (Takeuchi, Kazuma)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	304	E-mail	takeuchi-k@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■ Course Goals／到達目標

- To learn key skills for taking control of current and future career development.
- To develop self-awareness and discover personal strengths through feedback from group work.
- To get acquainted with the essential competencies of : hope, self-reflection, self-clarity, visioning, goal setting and planning, implementing and adapting. These are described in detail.
 - ・キャリア形成に必要な鍵となるスキルを学び、社会の発展に貢献する力を育成する。
 - ・グループワークを通して自己認識や個人の強みを探り、高い志の育成を図る
 - ・キャリア形成に必要な考え抜く力を身につける。

■ Course Description／講義の概要

When you consider about your future career, it is based on a way of your thinking for working and living in your life. In order for you to build and improve your career, you have to understand yourself as a first step : What are you good at? What do you want to do? What do you think is worth doing? In this course, you will be asking yourself these questions, with the assistance of a personality test and other means, so as to know what you want to be in future. Further, you will work out what you need to do in order to become what you want to be, connecting your study at this university with your pursuit of a career. The course consists of fairly interactive lectures, workshops and group work.

自分にとってのキャリアを考える時、そのベースとなるのは、働くことや生きることについての考え方である。キャリアを積み、キャリアアップするためには、何が得意で、何をしたいのか、何をする事に価値を見いだすのかなど、まず自分について良く知ることである。この授業では、性格テストや様々な方法を使って、将来自分がなりたい自分を探す。さらに、自分が望む自分になるためにすべき事やキャリア形成のために SGS で学ぶべき事などを学習する。授業は、各自が授業課題準備をしてきた上で、講義、実習、グループワークを通じて行う。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Each class has a prep assignment to fill out a sheet to think about your career (takes 3 hours).

毎回の授業でキャリアを考えるためのシートを記入する予習課題がある (3 時間を要する)

■ Textbook／教科書

None in particular 特になし

■ Method of Evaluation／評価方法

Class Performance／授業内活動：20%

Reflection Paper／授業のリフレクション：40%

Career Design Sheet／キャリアデザインシート：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None in particular 特になし

■ Additional Information／留意点

None in particular 特になし

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：教育心理学

Course Title : Educational Psychology

教員／Instructor：竹内 一真 (Takeuchi, Kazuma)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	304	E-mail	takeuchi-k@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

The objectives of this course are:

- To understand the psychological aspects of developmental changes in students and issues in education,
- To discuss educational issues in schools and society based on the findings of psychological research.

教育・発達について、心理学的な観点から科学的に理解し思考力と判断力を養う。また、一般社会における教育的課題においても本講義で学んだ知見を応用できるような視座を身につけ、高い志のもとで教育に携われる能力を育成する。

■ Course Description／講義の概要

Educational psychology is the scientific study of human teaching/learning. The purpose of educational psychology is to promote the efficient and effective education in our society by applying the findings of psychological research.

教育心理学とは、人間の「教える」「学ぶ」という営為について、心理学の観点から科学的に理解・考察する学問である。この学問の目的は、心理学の研究から得られた知見や技術を教育活動の場に応用することによって、教育という活動を社会において効率的・効果的に行えるようにすることである。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Prior study on the lecture topic (1.5 hours)

講義テーマに関する事前学習 (1.5 時間)

■ Textbook／教科書

None in particular 特になし

■ Method of Evaluation／評価方法

Class Performance／授業内活動：10%

Report／レポート：10%

Weekly exam／週間テスト：80%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None in particular 特になし

■ Additional Information／留意点

This subject is also a compulsory part of the teacher license program.

この科目は、教職課程の必修科目でもある。

科目名：グローバルスタディーズのための数学入門

Course Title : Introduction to Mathematics for Global Studies

教員／Instructor：渡邊 泰典 (Watanabe, Yasunori)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	201	E-mail	y-watanabe@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

- To improve fundamental arithmetic skills
- to be familiar with mathematical graphs and symbols
- to acquire mathematical thinking
 - ・ 基礎的な計算スキルの向上
 - ・ グラフや記号の使い方に慣れる
 - ・ 数学的思考方法の習得

■ Course Description／講義の概要

This lecture helps students to acquire the fundamental mathematical thinking required in university courses. Mathematical thinking is required not only in the field of mathematics, but also in any field which needs logical and/or abstract thinking.

Students are required to work on assigned chapters before each class, and also required to work on exercises during the class. In addition, students have to submit book reports on designated books during the semester.

この講義では、大学での学びに必要とされる基礎的な数学的思考方法の習得を目的とする。数学的思考方法は、数学分野においてのみ必要とされるものではなく、論理的・抽象的な思考を必要とするあらゆる分野で活用されるスキルである。

受講者はあらかじめ指定されたテキストを読み、講義内では演習問題に取り組むことが要求される。加えて、学期中に数学に関連する書籍を読んでブックレポートを提出する必要がある。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- To read the designated area of a textbook in advance before class. (takes two hours)
- To review the preparation and work on web questionnaires. (takes 0.5 hour)
- To review the whole activity in the class after each lecture. (takes 0.5 hour)
 - ・ 授業前に、教科書の指定範囲を読むこと（2時間を要する）
 - ・ 予習内容を振り返り、指定の Web アンケートに回答すること（0.5時間を要する）
 - ・ 授業後に、当日の講義内容を振り返り、指定の Web アンケートに回答すること（0.5時間を要する）

■ Textbook／教科書

小杉拓也（2012）『小中学校 9 年分の算数・数学がわかる本』，ダイヤモンド社
 Devlin, K.（2018）『数学的に考える』，富永星訳，ちくま学芸文庫

■ Method of Evaluation／評価方法

予習／Preparation：10%
 講義参加／Class Participation：40%
 ブックレポート／Book reports：30%
 期末試験／Final exam：20%

■ Prerequisite／事前履修科目等

なし

■ Additional Information／留意点

なし

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：経営学入門

Course Title : Introduction to Management

教員／Instructor：芦田 尚道 (Ashida, Hisamichi)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	ashida@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■ Course Goals／到達目標

To know the range of topics treated in management.

To know the fundamental ideas and theories in management.

To understand strategy and organization in management.

To know how management can help you to understand familiar problems.

- ・経営学が扱う問題の範囲を知ること。
- ・経営学の基本的な考え方や理論を知ること。
- ・経営における「戦略」と「組織」を理解すること。
- ・経営学によってどのように身近な問題を分析することができるかを知ること。

■ Course Description／講義の概要

In this course, students learn basics of management. We aim to acquire knowledge about basic concepts to be able to abstract innumerable, variable, complex, and individual phenomena about enterprises and other organizations. And this course introduces actual cases of organizations. And students make reports with logicity and concreteness supported by deep commitment to this course, and get overall comments about reports.

このコースでは、経営学の基礎を学ぶ。現代の企業やそれ以外の組織にまつわる無数、多様、複雑、個別具体的な現象を、抽象化して理解できるようになるために、経営学の基本的な概念についての知識修得を目指す。また、企業などの組織の活動の具体的な事例についても紹介する。なお受講生には授業期間内にレポートを作成していただく。レポートでは論理性と具体性、及び本講義へのコミットメントの深さが問われる。レポートには最後に全体講評を行う。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

In this course, members need enough understanding about points of the last class on every class, and need more than 3 hours of review and preparation each week.

授業には、前回の講義内容について十分に理解をしたうえで臨んで下さい。講義内容の復習と次回講義の準備には、3時間以上の取組が必要となります。

■ Textbook／教科書

伊丹敬之・加護野忠男『ゼミナール経営学入門（第3版）』日本経済新聞社，2003年

■ Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude／学修態度：5%

Report／レポート：20%

Final-examination／学期末試験：75%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None 特になし

■ Additional Information／留意点

None 特になし

科目名：国際関係論入門

Course Title : International Relations

教員／Instructor：アイグル クルナザロバ (Kulnazarova, Aigul)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	208	E-mail	kulnazarova@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

By the end of the course, successful students will be able to:

- Describe and contrast theoretical schools of international relations, such as realism/ neorealism, liberalism/ neoliberalism, constructivism, Marxism, peace studies, feminism and others
- Understand and review the contents of assigned readings
- Explain specific challenges and opportunities associated with international relations
- Identify unprecedented changes the world politics has been currently undergoing
- Think critically about historical and contemporary international relations
- Develop critical reading, thinking and writing skills through various course assignments
- Analyze and use core concepts of the discipline power, cooperation, security, sovereignty, balance of power, prisoners' dilemma, international law, human rights, etc.

コースの終わりまでに、成功した学生は次のことができるようになります：

- リアリズム／ネオリアリズム、リベラリズム／ネオリベラリズム、構成主義、マルクス主義、平和学、フェミニズムなどの国際関係の理論的學校を説明し、対比する
- 割り当てられたテキストの内容を理解する
- 国際問題に関連する特定の課題と機会を説明する
- 世界の政治が現在受けている前例のない変化を特定する
- 歴史的および現代的な国際問題について批判的に考える
- さまざまなコースの課題を通じて、重要なリーディング、思考、ライティングのスキルを習得します
- 規律のコアコンセプト（権力、協力、安全保障、主権、勢力均衡、囚人のジレンマ、国際法、人権など）を分析して使用します。

■ Course Description／講義の概要

This course is intended to introduce students to basic concepts and theories in the field of international relations (IR), which is also referred to as the world politics. The primary focus will be on interstate relations and international organizations, as well as other actors on the global stage (e.g. IGOs, NGOs, MNCs, civil society, individuals, etc.). The course is divided into 15 weekly classes, followed by "key term" and "critical discussion questions" assignments after each new theme. The following key concepts — balance of power, collective goods theory (or the tragedy of commons or prisoners dilemma), conflict resolution, collective security, human security, humanitarian intervention, state sovereignty, human rights, the UN System — will be at the core of class activities, discussions, group debates, game simulations, etc. Such integrated approach will help students apply these concepts to the major issues of changing world politics that we are witnessing in the realm of contemporary security, economics, and diplomacy.

このコースは、世界政治とも呼ばれる国際関係（IR）の分野における基本的な概念と理論を学生に紹介することを目的としています。主な焦点は、州間関係と国際機関、およびグローバルな舞台での他の関係者（IGO、NGO、多国籍企業、市民社会、個人など）にあります。コースは15週の授業に分かれており、新しいテーマごとに「重要な用語」と「重要なディスカッションの質問」が割り当てられます。次の重要な概念 - 勢力均衡、集団商品理論（またはコモンズまたは囚人のジレンマの悲劇）、紛争解決、集団安全保障、人間の安全保障、人道的介入、国家主権、人権、国連システム - が核となるこのような統合されたアプローチは、現代の安全保障、経済、外交の分野で私たちが目撃している世界政治の変化の主要な問題に学生がこれらの概念を適用するのに役立ちます。クラス活動、ディスカッション、グループ討論、ゲームシミュレーションなど。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

This course will meet 3 hours per week. In addition, students MUST spend at least 3-5 hours on weekly self-study preparation to read and review assigned texts, to watch, analyze and write essays on the compulsory movies in connection to core IR concepts, to answer critical and discussion questions that accompany weekly readings, to complete weekly assignments, midterm and final term projects.

このコースは週に3時間の授業を開講します。学生は割り当てられたテキストを読んで理解し、コア IR の概念に関連する必須の映画を分析し、エッセイを書くため、自習が必要です。読書、課題、中間および学期末のプロジェクトを完了するために、毎週、準備に少なくとも3～5時間を費やす必要があります。

【General Lectures／共通科目】

■Textbook／教科書

None

■Method of Evaluation／評価方法

- Attendance and Participation／出席と参加：30%

(Participation does not mean only attendance. Students must prepare and actively participate in all class activities, group work/group chat, individual presentations, discussions, reading review, etc.)

(参加は出席だけを意味するものではありません。学生は、すべてのクラス、グループワーク／グループチャット、個別のプレゼンテーション、ディスカッション、読書レビューなどを準備し、積極的に参加する必要があります)

- Two problem and case-based exams／2つの問題とケースベースの試験：30% (deadlines：Week 7 and Week 11／締め切り：7週目と11週目)

- Final Term Project／学期末プロジェクト：40% (deadline：Week 15／締め切り：第15週)

■Prerequisite／事前履修科目等

There are no course prerequisites. However, because this course is conducted in English, students are expected to have at least a 350 TOEIC score and motivation for improvement and learning. It is important for students to understand the content of lectures, participate in class activities and complete weekly assignments, quizzes and final term project in English.

コースの前提条件はありません。ただし、このコースは英語で行われるため、生徒は少なくとも350点のTOEICスコアと改善と学習への動機付けを持っていることが期待されます。学生は講義の内容を理解し、クラス活動に参加し、毎週の課題、クイズ、学期末のプロジェクトを英語で完了することが重要です。

■Additional Information／留意点

English language requirements／英語の要件：

Since this course will be taught in English, students are required to have at least a 350 TOEIC score.

このコースは英語で行われるため、学生は少なくとも350点のTOEICスコアを取得している必要があります。

Class attendance policy／クラス出席ポリシー：

Students are required to attend all weekly classes. In total, a student may be absent up to two times, intended to cover sickness, family emergency, etc. With the documented proof of evidence, such as doctor's certificate, these absences will not be penalized.

But each subsequent absence will lead to make-up classes of all (obligatory, not subject to negotiation). Any absence (medical or family-related) must be reported to me in writing via e-mail before the missing class. 学生は毎週すべてのクラスに出席する必要があります。合計すると、病気、家族の緊急事態などをカバーするために、学生は最大2回欠席することが出来ます。医師の証明書などの証拠書類があれば、これらの欠席は罰せられません。しかし、3回もしくはそれ以上授業を欠席した場合は、欠席した分の課題を終わらせる必要があります（義務です。交渉の対象外）。欠席（医療または家族関連）する場合は、欠席の前に、電子メールで報告する必要があります。

Rules of classroom conduct／授業のルール：

- No sleeping, napping and other disruptive activity is permitted during classes／授業中の睡眠、昼寝、その他の授業妨害行為は禁止されています。

- No phone calls, incoming or outgoing are allowed／電話を発・着信で使用することは許可されていません。

- No smart phone or other digital devices may be used during class unless you use them for study purposes／勉強目的で使わない限り、授業中にスマートフォンやその他のデジタル機器を使用することはできません。

- No late coming to class (points will be deducted otherwise)／遅刻してはいけません（遅刻した場合はポイントが差し引かれます）。

科目名：こころの科学

Course Title : Science of Mind

教員／Instructor：新屋 裕太（Shinya, Yuta）

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	shinya@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

The objectives of this course are:

- To understand and explain our mind's function and mechanism, and factors affecting individual difference in our mind scientifically.
- To develop abilities to improve problem-solving in one's own life and education by making questions about daily mental and behavioral activities and deepening them scientifically.

「こころ」の働きや仕組み、多様性を形成する要因について、科学的な観点から理解し、それらを説明、議論する力を身につける。また、私達の日々の精神・行動現象に対して問いを立て、科学的な理解を深めることを通して、自身の生活や教育活動における問題解決に繋げる力を身につける。

■ Course Description／講義の概要

We have understood our mind through philosophy, religion, and literature for a long period; however, the history of science of mind (i.e. psychology) is a little over one hundred years. How have psychology contributed to understanding our mind, which are never seen? In this course, students will learn the mechanism underlying our mind such as cognition, emotion, and memory, and the developmental process and environmental factors shaping our mind. Through the course, students will also learn several approaches for understanding our mind scientifically. The course will basically be conducted in a lecture format, but will also include interactive formats such as group discussions and presentations, depending on the situation.

私たちの「こころ」は、長年にわたり哲学や宗教、文学などを通して理解されてきたが、科学の対象となったのは、この100年余りのことである。目に見えない私達の「こころ」の理解を、科学はどのようにして進めてきたのかだろうか。本講義では、私たちの認識や感情、記憶などの背後にあるメカニズムや、私たちの心を形成する発達過程や環境要因（教育や社会、文化など）についての学習を通して、「こころ」を科学的に理解するためのアプローチを学ぶ。授業は、講義形式で基本的には行うが、状況に応じてグループディスカッションやプレゼンテーションなど、インタラクティブな形式でもおこなう予定である。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

各回の授業テーマに関して、教科書や指定図書該当箇所を事前に読み、自身の問いや疑問点を整理しておくこと。授業後には、前回の授業内容について復習した上で、次回の授業に臨むこと（授業内容に関する課題提出を求める場合がある）。授業前の準備と授業内容の復習にかかる時間は、2時間程度が目安である。

To read the textbooks and handouts, and organize your own questions about the theme before the class. After the class, review the contents of the previous class before coming to the next class (You may be required to submit assignments related to class content). It takes about two hours to prepare before the class and to review the class content.

■ Textbook／教科書

心理学・入門—心理学はこんなに面白い 改訂版

■ Method of Evaluation／評価方法

Active Participation／主体的（積極的）な授業参加度：60%

Final Report／最終レポート：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

なし

■ Additional Information／留意点

本授業は基本的には日本語で行うが、レポート課題については、英語文献（論文）の参照・読解を求める場合がある。This course is basically conducted in Japanese, but students are occasionally expected to refer to and read English literature (articles) for report assignments.

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：コンピューター入門

Course Title : Introduction to Computers

教員／Instructor：浅原 房夫（Asahara, Fusao）

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	asahara-f@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■Course Goals／到達目標

In this course, students will practice the basic computer operations, and receive lectures on basic IT knowledge. Both parts of the course aim to equip students with the basic computer skills and knowledge necessary for the curriculums of this university, and after graduation when they are employed. For the skills learning, students will begin with the basic operations of the computer and then move on to basic operations on Windows and Microsoft Office. The goal is to reach the level where students can write essays and give seminar presentations without difficulty. The aim of this lecture is that, by the end of the semester, students not only become knowledgeable of how to use a computer without any problems for submitting future reports and making presentations in their 2nd year, but also to have sufficient IT skills to help people around them.

この授業ではパソコン基本操作の演習とITの基礎知識を解説します。本学のエデュケーション（2年次以降）と卒業後の社会人生活に必要なパソコン操作の能力と知識を獲得することを目標とします。

PCスキル獲得のため、パソコン、まずWindowsおよびMicrosoft Officeの基本操作を学び、レポート作成、ゼミ等での発表（プレゼンテーション）を自由にできるレベルを目指します。

2年次以降のレポート提出や発表、あるいはビジネスでのパソコン使用の際に、前段階にあたるパソコンの操作で困ることがなく、むしろ周囲を支援できるITスキルを持った学生となっていることを、授業終了時の到達目標とします。

■Course Description／講義の概要

Computer Skills : Operation of the keyboard, essay and business document writing using Microsoft Word, creating and editing charts on Microsoft Excel, processing data and creating graphs on Excel, presentation using Microsoft PowerPoint, using emails both on Google Chrome - students will learn these practical computer skills by working on the actual computer.

正確で早いキーボード操作（タッチタイプ）、Wordを使ったビジネス文書作成、Excelの表作成・編集、データ処理、グラフ作成、PowerPointによるスライド資料作成およびそのスライドを使ったプレゼンテーション、Google Chromeを使ったメールの活用、メールマナー、メール活用術などのスキルを実際にパソコン操作しながら身につけます。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Your first preparation will be practicing touch typing and input in Japanese. You will learn the basic skills during the first class, so there is nothing you need to do by then. Afterwards, you will learn 15 hours in average for 5 weeks. You will also learn how to convert to Japanese.

From the 3rd class, you will follow the learning cycle below. First, during class, you will learn how to use a computer correctly. You will listen to the explanations on the textbook your teacher will provide you with, then practice during class, in other words, you will acquire the computer skill that is the theme of the class of that day. You shall submit the results of your practice by email. If you could not finish within the required time, you shall finish it at home or the seminar room by the next class. This will be your preparation for the next class. You will need to study by yourself for about 10 hours by the end of the term.

Learning further with the textbook, you will see a task called "practice" at the end of each chapter, which is your assignment that will help you learn the next chapter in a smooth manner. This learning will require about 20 hours. That way, you will follow the learning cycle that is practicing in class - revision (preparation) - next class, to achieve the goal of this class.

学期前（初回授業前）の準備学習はありません。最初の授業で勉強のコツをいろいろ教えます。

最初の5週の準備学習は、タッチタイプや日本語入力の練習です。平均15時間くらいが必要です。

タッチタイプとはキーボードを見ないで、画面だけを見て、早く正確に文字入力をするパソコン・テクニックです。うまくなるために無料のウェブサイトを活用して、タッチタイプの練習をします。最初の2回の授業ではこのタッチタイプのコツを学びます。その後、日本語変換のコツも学び直します。

3回目からは以下の学習サイクルで学びます。

まず授業で、その日の授業テーマのパソコン操作の正しいやりかたを学びます。講師から教科書の説明を聞いて、授業内で実習をおこない、つまりその日の授業テーマのパソコンスキルを身につけます。実習の結果（ファイル）はメールで提出します。時間内で完成できない場合は、次回までに自宅あるいは演習室で完成させて提出します。これがそのまま次の準備学習になります。6回目以降の授業はだんだん難しくなるので、学期末までに10時間程度の自習が必要です。

そして教科書が進むと章末に「実習」という課題があり、次の章の学習をスムーズにおこなうための宿題となります。この学習には20時間くらいが必要です。これにより、授業での実習～復習（予習）～次の授業という学習サイクルが確立し、この授業の到達目標が達成されます。

■Textbook／教科書

『30 時間でマスター Word & Excel 2019』実教出版, 2019 年

■Method of Evaluation／評価方法

Usual scores account for 40% *Scores obtained from submissions and not from attending class

Tasks : 20% *The "Practice" at the end of the textbook chapters.

Mid-term exam : 20%

Final exam : 20%

平常点 : 40% ※出席点ではなく、毎回の授業での作成物の提出点です。

課題 : 20% ※教科書の章末の「実習」です。全部、自宅をするのではなく、授業時間内でコツを学び、できるだけ進めますが、残ったところが宿題になります。

中間試験 (Word) : 20%

期末試験 (Excel) : 20%

■Prerequisite／事前履修科目等

なし

■Additional Information／留意点

- This course is the prerequisite for many other IT courses. It is highly recommended to take this course at the first year.

・本授業は他のコンピューター関連科目を履修する際の必須要件で、1 年次での履修が必要です。

語 E

学 P

選 C
択 o
必 r
須 e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：湘南の文学

Course Title : Shonan Literature

教員／Instructor：中澤 弥 (Nakazawa, Wataru)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	nakazawa@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

小説の中に描かれた湘南を題材として、湘南地域の文化・歴史を学んでいきます。文学テキスト内の空間がどのような意味を持ち、どのような表現を用いて描かれているのかを、歴史や地理などの資料を参照しながらとらえ、湘南地域の持つ問題点を探っていくのが目標です。

This course will learn about the culture and history of the Shonan area, using the novel depicting the Shonan. The goal of this course are understand what the space in the literary text means and what kind of expression is used to describe it by referring to materials such as history and geography.

■ Course Description／講義の概要

湘南地域を扱った明治以降の小説を読みとぎながら、文学における空間の問題を探究して行きます。湘南地域は、都市近郊の別荘地・リゾート地として知られるようになり、やがて住宅地へと変貌していきます。その姿は、小説作品の中でもしばしば取り上げられ、重要な舞台としての役割を果たしてきました。この授業では、文学に描かれた湘南を取り上げて、湘南という地域の文化的なひろがりを理解することが目的です。同様に湘南地域を舞台とした映画作品にも光を当てます。エリアとしては、藤沢を中心に東側は鎌倉や逗子、西側は茅ヶ崎まで広がる海岸地域を対象とします。作品としては、明治期から現代の小説やライトノベルまで幅広く扱います。

In this course, we will explore the problems of space in literature by reading novels from the Meiji era. The Shonan area became known as a villa/resort area near the city, and eventually transformed into a residential area. Its appearance is often featured in novel works and has played an important role as a stage. The purpose of this class is to take up Shonan depicted in literature and understand the cultural expanse of the Shonan area.

We also focus on movie works

Shonan covers the coastal area centered on Fujisawa, which extends to Kamakura and Zushi on the east side and Chigasaki on the west side.

The target novels cover a wide range from the Meiji era to modern novels and light novels.

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

講義で取り上げる作品を事前に読んでおく。講義テーマに対する事前学習。(3時間を要する)

Read the novels to be taken up in the lecture in advance. Pre-learning for lecture themes. (It takes 3 hours)

■ Textbook／教科書

なし

■ Method of Evaluation／評価方法

平常点：10%

課題：30%

レポート：60%

■ Prerequisite／事前履修科目等

なし

■ Additional Information／留意点

なし

科目名：体育

Course Title : Physical Education

教員／Instructor : TBA

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	hattori@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

The aim of this lecture is to learn and understand the significance of physical activity through performing various sports, and is to maintain and ensure physical, mental and social "well-being". In addition, by learning basic skill or rules of sports, each student is expected to develop the ability of communication with others and to get good manner to others and even to improve the ability for solution to the problem.

本講義は、スポーツの実践を通じて身体活動の重要性を理解、学習し、身体的・精神的および社会的な“健康”の獲得と増進を意図している。加えて、スポーツの基本的な技能・ルールを習得することで学生のコミュニケーション能力やマナー、問題解決能力の向上につなげる。

■Course Description／講義の概要

The sport events will be swayed in the case that participants who join this class are majority or by man/female ratio.

However, in the present condition, three kinds of sport events (Volleyball/ Table tennis/ Recreation) intend to be chosen.

Furthermore, in social condition of Covid19, we need physical distances. In such case, to avoid body contacts, yoga, body exercise, and karate intend to be chosen. In this case, ball games will not be done.

受講者数や男女比などによって変更の可能性はある。

実施種目は現状では、バレーボール・卓球・レクリエーションの3種目程度を予定。

なお、コロナ禍においては3密を避ける為、ヨガ、自重トレーニング、空手を実施する予定。その場合、球技は行わないので注意すること。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・本講義では毎週90分の自学自習が必要となります。
- ・ヨガ、自重トレーニング、空手について簡単に調べておくこと。
- ・ストレッチについて調べておくこと。
- ・健康について調べておくこと。
- ・ストレスについて調べておくこと。
- ・自律神経について調べておくこと。
- ・授業に学修したことを、簡潔にまとめておくことが望ましい。
- ・授業において、出来たこと、出来なかったことを確認し、出来なかったことはどのようにすれば出来るようになるかを考えるようにする。
- ・授業において学修したことを上手くできる者は、出来なかったものにどのようにすれば伝えられるかを考えるようにする。
- ・スポーツの役割を身体的、精神的、社会的に検討する。
- ・体育の重要性を説明出来るようにする。
- ・授業後にレポートを課すが、作成には概ね90分掛かります。
- ・90 minutes study without class will be needed in every week.
- ・Study about yoga, body exercise, and karate.
- ・Study about stretch.
- ・Study about health and stress.
- ・Study about autonomous nerve.
- ・Note your studies or lessons in classes.
- ・In classes, you check what you can do and what you can't do. And try to be able to do what you can't do.
- ・We want one who can do any exercise well to teach one who can't do some exercise well.
- ・Think about roles of sports and exercise in physicality, mentality and sociality.
- ・You should be able to explain the importance of physical education.
- ・After class, report must be make. 90 minutes will be needed for making report.

■Textbook／教科書

None／なし

語 E

学 P

選 C
択 o
必 r
須 e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

【General Lectures／共通科目】

語 E

学 P

選
択
必
須
e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

■ Method of Evaluation／評価方法

Active Participation／主体的な授業参加度：10%

Reports／レポート：40%

Activity contents during the class／授業中の活動内容：50%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■ Additional Information／留意点

1. The guidance is going to be conducted by Week 1, and it is necessary to prepare for carrying out light exercise after guidance. In order to participate in activities fully, each student must prepare a change of clothes to proper attire during physical education classes. If students do not have proper outfit, they will not be able to participate in the classes (except classroom lecture). Jeans cannot be allowed.

2. Bring gymnasium shoes because this lecture is almost carried out in a gymnasium.

3. Bring water respectively, and each student may drink appropriately.

4. The report is assigned instead of the class concerned, if each student cannot participate in the lecture for poor physical condition or an injury.

5. This course is conducted in Japanese.

1. 初回はガイダンスを予定しているが、ガイダンス終了後に軽い運動予定もあるので各自準備をすること。必ず運動ができる服装に着替えること。着替えていない場合には授業に参加できない。(ただし、座学は除く) またジーンズなど運動用途に不向きな衣類の着用は不可。

2. 基本的に体育館を使用するので体育館履きを必ず用意すること。

3. 水分は各自で用意し、必要に応じて飲むこと。

4. 実技をとまなう科目なので体調不良・怪我などで参加できない場合は、見学の上、当該授業内でレポートを課す。

5. この科目は日本語で行われる。

科目名：中国文学

Course Title : Chinese Literature

教員／Instructor：エリック ホノベ (Honobe, Erik)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	202	E-mail	honobe@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

The goal of this course is to study Chinese literature through what is considered the oldest piece of Chinese literature, the Zuozhuan and through renowned historical tale Chronicles of the Eastern Zhou Kingdoms. We also learn about Sun Tzu, military strategist who lived in that historical context, and his Art of War. Through famous episodes, concepts and thoughts from ancient China, we deepen our understanding of not only Chinese literature, but also Chinese culture and modern China.

中国文学の最も古い文献とされる「左伝」と著名な歴史物語「東周列国志」を通じて中国文学を学ぶ。また、その歴史背景に生きていた兵法者の孫子及び「孫子兵法」を学ぶ。古代中国における有名なエピソード、概念及び思想を通じて中国文学のみならず中国文化及び現代中国の理解も深める。

■ Course Description／講義の概要

Throughout the semester, students read important passages from the Zuozhuan and Chronicles of the Eastern Zhou Kingdoms. Students' understanding of the terms and concepts in the text is verified periodically. The concepts are discussed in the framework of Chinese thought and culture. Also, episodes and concepts the Zuozhuan and Chronicles are discussed from a global point of view through student presentations and class discussions.

学期を通して「左伝」と「東周列国志」の重要な部分を読む。文中にある語彙と概念の理解を定期的に確認する。中国思想や文化の枠組みでその概念を論じる。また、学生発表とディスカッションを通じて「左伝」と「東周列国志」におけるエピソードと概念をグローバルな視点で議論する。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Before each class, students are to read the textbook, assigned readings and others (3 hours needed).
・教科書や指定図書、等を事前に読んでおくこと（3時間を要する）

■ Textbook／教科書

水沢 利忠（著）、佐川 繭子（編集）『史記 列伝』（新書漢文大系 14）明治書院；〔新〕版 2002 ISBN 978-4625663239

■ Method of Evaluation／評価方法

Participation／授業参加：20%
Assignments／課題：20%
Midterm Exam／中間試験：30%
Final Exam／期末試験：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None in particular. 特になし

■ Additional Information／留意点

None in particular. 特になし

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
テ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：統計学入門

Course Title : Introduction to Statistics

教員／Instructor：渡邊 泰典 (Watanabe, Yasunori)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	201	E-mail	y-watanabe@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

- To be familiar with summarizing and analysis of univariate and bivariate data.
- To understand the introductory theory of probability.
- To understand the property of time series data.
- To acquire ability to make decisions with statistical data
 - ・ 1変数および2変数のデータの集計と分析ができる。
 - ・ 確率論の初歩を理解する。
 - ・ 時系列データの性質を理解する。
 - ・ 統計データを用いて意思決定ができるようになる

■ Course Description／講義の概要

This lecture is intended to give you the knowledge about univariate statistics, bivariate statistics, and introductory theory of probability. Statistics is often used to make objective decisions based on data, and in order to make such decisions, we need to be familiar with the both aspects of theory and practice.

In this lecture, students are encouraged to improve understandings about introductory statistics thorough computation exercise using calculators. To help the exercise, students will study about a free and open software named R. They will be divided into groups and work on computations based on weekly assignments.

During the semester, students have to work on book reports and the final report. The final report will be evaluated depending on the performances of collecting, classifying, analyzing data, and presentations.

この講義では1変数および2変数のデータを分析する方法や、確率論の初歩について学習する。統計学はデータに基づいた客観的な意思決定を行うために必要とされるものであり、理論と計算方法の両面に関する理解が要求される。

この講義では、特に電卓を用いた計算演習を通じて、初歩的な統計学に対する理解を高めることを目的とする。その補助として、Rというフリーソフトの利用方法についても触れる。参加者はグループごとに分かれ、毎週の予習課題をもとに計算演習に取り組むことになる。

学期中には統計学とその周辺の話題に対する理解を深めるためのブックレポートと、実際にデータを用いての統計分析を行う期末レポートが課される。期末レポートでは、各自でのデータ収集、整理、分析、発表という一連の作業の達成度を評価する。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

To read the designated area of a textbook in advance before class and make preparation notes (takes three hours)
授業前に教科書の指定範囲をあらかじめ読み、予習ノートを作成すること（3時間を要する）

■ Textbook／教科書

Will be distributed in the class. 講義中に配布する。

■ Method of Evaluation／評価方法

Prep notes／予習ノート：20%
Group work／グループワーク：30%
Book Report／ブックレポート：30%
Final Report／学期末レポート：20%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■ Additional Information／留意点

Prepare calculators with square root keys.
平方根（ $\sqrt{\quad}$ ）キーのある電卓を用意すること。

科目名：日本語文章表現法

Course Title : Japanese Sentence Expression

教員／Instructor：廣田 敬則 (Hirota, Takanori)、安西 晋二 (Anzai, Shinji)、浅井 幸子 (Asai, Yukiko)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	305	E-mail	hirota@tama.ac.jp, anzai@tama.ac.jp, asai-y@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

The goal of this course is to acquire the Japanese language skills required as a member of society and for lectures and student life at the university. Students will learn the basics of writing legible sentences, from short reports in lectures to essays based on material research. In addition, students will deepen their understanding of Japanese culture, such as how to write letters and e-mails, and the customs of weddings, funerals, and ceremonies.

社会人として要求される、また大学での講義や学生生活を送る上で必要となる、日本語の能力を身につけるのが目標です。講義における短いレポートから資料調査に基づく小論文まで、読みやすい文章を書くための基本的な事項を学びます。また、手紙やメールの書き方、冠婚葬祭のしきたりなど、日本文化への理解を深めます。

■ Course Description／講義の概要

Students will learn the essentials of writing, and will be asked to write sentences according to the assignment. Students will learn how to use manuscript paper, symbols, and vertical and horizontal writing styles. They will also learn how to compose persuasive reports and essays for the various lectures, and the rules for citing literature. Students will also learn how to write documents and letters necessary for social life.

文章作成に必要な事項を学び、課題に沿って文章を書いてもらいます。原稿用紙の使い方、記号などの使用法、縦書き・横書きそれぞれのスタイルを学びます。また各種の講義において作成するレポート・小論文に対して、説得力を持った構成法や使用する文献資料の引用のルールなどを具体的に示していきます。社会生活に必要な書類・手紙の書き方なども学びます。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Students need 3 hours to review each quiz and lecture content and to prepare for the next lecture.

毎回の小テスト並びに講義内容の復習と次回講義の準備には、3時間の取組が必要。

■ Textbook／教科書

庄司達也他『日本語表現法（新訂版）』翰林書房，2019年

■ Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude／学習態度：10%

Quizzes／小テスト：20%

Composition／作文構成：20%

Writing assignment／作文課題：50%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None 特になし

■ Additional Information／留意点

None 特になし

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：日本の法律

Course Title : Japanese Law

教員／Instructor：金井 憲一郎 (Kanai, Kenichiro)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	kanai@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■ Course Goals／到達目標

- To help students recognize accurately the issues of Japanese society.
- To help students recognize accurately what is legally problematic as to the issue.
- To help students understand what legal thoughts are
- To encourage students to consider the issues of Japanese society and work on legal solution.
- To give students the opportunities to share their conclusions with others and seek to convince them.

この授業の目的は、

- ・日本の社会が抱える問題を適切に認識すること、
- ・この問題のどこが法的に問題かを的確に把握すること、
- ・法的にものを考えること（法的な思考）とは何かを理解すること、
- ・日本の社会が抱える問題を自らの思考を通じて法的に解決を試みること、
- ・自らが得られた結論を他者に示し、納得を得ること、

である。

日本における法律問題を法的に解決することの重要性を認識し、将来にわたって、より複雑化する現代日本社会における法的諸問題を解決していくために「考える、考え抜く」とはどのようなことであり、それらを考え続けるという強固かつ持続的な思考力を体得することを目指す。グローバルな視点は、「日本の法律」という切り口から、更により強いものになるだろう。「日本の法律」を知ることは、グローバルな社会における日本で生活するために必要不可欠でもある。

■ Course Description／講義の概要

This course will study Japanese law as one of the solutions to the issues after recognizing the problems of Japanese society. It is not sufficient to 'know' or 'learn' written laws as apparently written laws can not cover all the incidents and events which can occur in Japanese society. Written laws are merely clues to solution to the problems occurring in Japanese society and therefore 'interpretation of laws' is needed as the solution to the problems. The laws are interpreted and applied for the concrete problems, and through the process of 'application of laws' new and unwritten laws will be created. 'Interpretation and application of laws' will require 'legal thoughts'.

This course will introduce students to 'unwritten laws' created through solution of problems, as well as 'legal thoughts' in addition to 'written laws'.

この授業では、日本の社会が抱える問題を適切に把握し、その問題解決の手法の一つとして法律を学ぶ。「法律を学ぶ」といっても、単に「書かれている」法律を「知っている」あるいは「覚えている」だけでは不十分であり、問題解決にはおぼつかない。「書かれている」法律が社会の全ての事象を描き尽くすことができないことを考えてみれば、それは当然であろう。法律に書かれているのは、社会に存在する問題の解決の緒（いとぐち）に過ぎず、その解答は読めば分かるというものではない。そこで、問題解決の手法としての法律の「解釈」が必要となる。事実としての具体的問題に、法律を「解釈」し、そして「適用」する。この「適用」の過程を通じて新しい見えない法律がつくり出される。ただ、この「解釈」・「適用」は無原則になされるのではない。この背景には「法的思考」なるものが存在する。この授業を通じて、「書かれている」法律を知るだけでなく、問題解決を通じて導き出されてきた「書かれていない」法律やその背景となっている「法的思考」の一端にぜひ触れてもらいたい。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

いかなる新聞、いかなるテレビ、いかなるラジオ、いかなるネットニュースでもかまわないが（できるだけ新聞であることが望ましい。ネット情報についてはその信頼性の疑わしいものも見受けられるので、あまり推奨できない。）、毎日 30 分（授業から授業までの一週間で計 210 分）日本の法律に関連する報道（とりわけ、政治の動き、社会的出来事の掲載される社会面）にアクセスし、次の授業までにその情報を開陳できるようにすること（それを発言していただくことを出席確認を兼ねて行う）。

2021 年 1 月 27 日の本シラバス修正時点においても、世界中において新型コロナウイルスによる感染症がパンデミックとなっている。現在生存している人類の誰一人経験したことのない危機的状況下にある。世界史を紐解けば、ペスト、スペイン風邪、最近もエボラ出血熱等人間の生命を脅かす疫病と人類は向き合ってきた。このようなピンチをチャンスに変える絶好の機会と前向きに考えつつ、法をめぐる問題を考える必要がある。新型コロナウイルス感染症対応等のための特別措置法に基づく、2020 年 4 月 7 日、2021 年 1 月 8 日に発令された緊急事態宣言やその効果は、法律問題、

とりわけ憲法のそれに他ならない。今学期も、この点をも掘り下げながら、具体的に考えていきたい。

It can be any newspaper, any television, any radio, any net news (preferably newspapers as much as possible, and we do not recommend it as much as the reliability of online information is questionable), but 30 minutes daily (A total of 210 minutes per week from class to class) You can access news reports related to Japanese law (especially political movements, social aspects where social events are posted) and disclose the information by the next class. (Do not have them say it as a confirmation of attendance). Even at the time of this syllabus revision on January 27, 2021, infectious diseases caused by the new coronavirus are pandemics all over the world. It is in a crisis situation that no one living human beings has ever experienced. Looking at world history, humankind has faced life-threatening plagues such as plague, the Spanish flu, and recently Ebola. It is necessary to think positively about the issue of law while thinking positively that it is a great opportunity to turn such a pinch into an opportunity. The state of emergency issued on April 7, 2020 and January 7, 2021 based on the Act on Special Measures for Coronavirus Infectious Diseases and its effects are nothing but legal issues, especially those of the Constitution. .. In this semester as well, I would like to delve into this point and think concretely.

■Textbook／教科書

山田卓生『法学入門 社会生活と法』信山社, 2013 年
渋谷秀樹『憲法への招待 (新版)』岩波新書, 2014 年

■Method of Evaluation／評価方法

Class participation／平常点：10%（本学の 6 回ルールによる。原則として、診断書を繰り返し出すことで、例えば、診断書を 7 回出した場合、単位を認めるかは、それまでの授業参加態度やレポート評価等総合的に判断するので、ケースバイケースと理解されたい。毎週 2 時限続きの授業であるので、一週間欠席すると相当程度授業が展開し、毎学期、レポート提出期限後に授業に出席されなくなる方がいるが、非常に残念である。）

Class performance and Report／授業参加態度：レポート：40%（授業参加態度とは、具体的には発言内容による。）

Final examination／学期末試験：50%

2020 年 12 月 22 日現在の本シラバス作成時点では、新型コロナウイルスの終息が見通せず、場合によっては学期末試験が実施できない可能性もあり、その場合は上記レポートとオンライン授業における平常点（発言）、その他小テスト等行うことも検討している旨留意されたい。新型コロナウイルスによる感染症パンデミックの状況次第では、それぞれの評価の割合も多少変化させざるを得ない場合もあることから、レポート、平常点、小テスト、発言他授業に真剣に取り組むことをお願いしたい（学期末試験が実施できない場合は、レポート 50%、授業での発言・コメント・質問・小テスト他 50% で評価する）。

■Prerequisite／事前履修科目等

本学 1 年生必履修科目である、「日本語文章表現法」の講義を事前あるいは同時並行に履修することが望ましい。日本語の表現方法の知識がないと、法律用語等技術的なタームを用いた条文、裁判例、教科書等を理解することに加え、論理的な文章を書くことが難しいからである。

日本史、世界史、文学等幅広い教養科目を履修することは、法という抽象的な世界（特に、どのように法がど生成されてきたか）を知るために必要な知識の源ともいえるべきものであり、それらに対する関心を持つことも求められる。

It is desirable to take a lecture on "Japanese Sentence Expression", which is a compulsory subject of this university, in advance or in parallel. This is because without knowledge of how to express Japanese, it is difficult to write logical sentences in addition to understanding articles, judicial precedents, textbooks, etc. that use technical terms such as legal terms. Taking a wide range of liberal arts subjects such as Japanese history, world history, and literature is a source of knowledge necessary to know the abstract world of law (especially how law was generated). And it is also required to have an interest in them.

■Additional Information／留意点

In this course, we intend to regularly touch upon up-to-date information on the current state of the law and its enforcement (and, in particular, the constitution and its proposed revisions, which have been subject to abundant discussion over the past few years). While taking this course, and even after having taken it, it will be crucial for students to pay attention to news on a daily basis, be it through the television, the radio, the internet, the newspapers or any other media.

実際の法運用状況（特に、近時、憲法改正等憲法に関する議論が盛んに行われています）については、その都度アップ・ツー・デイトな情報を講義において触れることに意を用いたいと考えている。本講義受講中、そして受講後においても、テレビ・ラジオ・インターネット・新聞如何なる媒体でもかまわないので、日々の政治関連のニュース等に注意を払うことが重要である。

科目名：日本の歴史

Course Title : Japanese History

教員／Instructor：藤田 賀久 (Fujita, Norihisa)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	fujita-n@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

History is not only the past events. Past events are the components of the present time. To learn Japanese history is, therefore, to understand the contemporary Japan. The goal of this class is for students to appreciate the importance of learning history to understand the present time in which we live. Also, to be able to explain the characters of Japanese cultures, and to understand the richness of the relationship between Japan and her neighbors, and much wider world, are also emphasized in the class.

歴史とは過去に発生した出来事に留まらない。現在は過去によって作られている。つまり、日本の歴史を学ぶことは、現在の日本を知ることである。この点を学生が実感することを本クラスの目標としたい。本講義では、歴史の中で形成されてきた日本文化の特徴や、日本という国が歴史を通じて豊富な国際交流によって形成されてきたことを理解することも目指す。日本の歴史を学ぶことで「世界の中の日本」を考えるヒントを得ることが本講義の到達目標である。

■ Course Description／講義の概要

This course gives an overview of an introductory Japanese history from its origins up to today. Japan's historical interactions with neighboring countries, especially China and Korea is emphasized. Furthermore, discussion on "what is history?" will be addressed. 本クラスは日本の歴史を通史として学ぶ入門である。対象の時代は古代から近代までを中心とする。特に中国や韓国をはじめとする近隣諸国との関係を重要視する。政治史にとどまらず、文化、宗教、文学、といった側面も特に強調する。また、「歴史とは何か」という問いに常に向き合いたい。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ Read the chapters of the text designated in this course schedule prior to the class. Please read the powerpoints that will be available on the T-next every week. (1 hour)
- ・ "After class report" is required every week to show your attendance and understanding of the class discussion. (2 hours)
- ・ 教科書の該当部分や、教員が提示した資料を読んで予習すること。また、事前に配布するパワーポイント資料に目を通すこと。(1 時間)
- ・ 毎回、「講義後レポート」を出題するので、決められた期日までに提出できるように準備すること。(2 時間)

■ Textbook／教科書

五味文彦、鳥海靖『もういちど読む山川日本史』山川出版社、2009 年
本シラバスの授業計画で指示している「予習・復習のポイント」は、本テキストを利用しているが、学生は新たに購入する必要はない。高校時代に使用していた教科書を適宜参照されたい。

■ Method of Evaluation／評価方法

- Class participation／平常点：10%
- In-class activities／授業中の課題：30%
- Mid-term Examination／中間試験：30%
- Final-examination／学期末試験：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■ Additional Information／留意点

The Instructor will emphasize on influences of the past on our contemporary world. Students are required to keep an keen eye on current issues by, for example, reading newspapers every day.

授業では常に過去と現在の対話を重視する。そのため学生諸君は新聞やニュースに常に目を通して現在の出来事について常に知っておいてほしい。

科目名：日本文学

Course Title : Japanese Literature

教員／Instructor：セーラ パルマー (Palmer, Sera)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	palmer@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

当科目では、近代・現代文学を理解し分析するための本質的な知識・スキルを身につける。学生は担当教員が講義中に提供する作家や歴史的背景に関する情報を念頭に置きながら、作品の意味について考え、自分の意見を述べる。

This course aims to provide students with the knowledge and skills necessary to interpret works of modern Japanese literature. Students will use information provided in class about the author, historical background and traditional readings of each work, and use this information to form and voice their own opinions.

■Course Description／講義の概要

当科目では、毎週代表的な作家・小説を取り上げる。担当教員による講義やグループ活動、ディスカッションを通じて、作品が執筆された時代背景と作家の理念を理解し、作品の意味について考える。

Each week will focus on a short story by a representative Japanese author of the post war period. Students are required to read each work before class every week. Each week, basic information will be provided about the author of each work, as well as the historical background by which it was influenced. Students will then work in groups on a number of activities, including but not limited to discussion, independent research, presentation, or creative interpretations of the works.

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

授業の前に、その週に取り上げる作品を読んでおくこと。(60分を要する)

毎回小テストを実施するので、指定された範囲を勉強しておくこと(60分を要する)

週ごとの話題について、授業で習った事実と自らの意見を述べるエッセイを書くこと(60分を要する)

Students are required to read each short story before the beginning of every week's class. (60 mins)

A quiz will be conducted at the beginning of class every week covering basic information about the previous week's work(s) and author(s). (60 mins)

An essay will also be assigned as homework each week. (60 mins)

■Textbook／教科書

None／なし

■Method of Evaluation／評価方法

Active Participation／主体的(積極的)な授業参加度：20%

Weekly Quizzes／小テスト：20%

Essays and homework／エッセイ・課題：20%

Presentation／発表：20%

Group Work／グループ活動：20%

■Prerequisite／事前履修科目等

None／特になし

■Additional Information／留意点

None／特になし

語 E

学 P

選
択
必
須

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
イ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：文化心理学

Course Title : Cultural Psychology

教員／Instructor：テレンス ジョイス (Joyce, Terence)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	209	E-mail	terry@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

Foster appreciation for the mutual constitution of culture and mind. Illustrate the mutual constitution of culture and mind by reconsidering some of the fundamental concepts of psychology. Re-examine in greater detail some central theories of psychology, such as self and personality, emotions and motivation, thinking and language, and social interactions. Demonstrate how behaviour and mental processes must be examined within the cultural context. Develop deeper appreciation for the diversity within cultures. Encourage students to reflect on how their behaviour and mental processes are culturally-bound.

Of the academic objectives of SGS's diploma policy, this course is particularly related to the objectives of (1) knowledge and understanding and (2) critical thinking and judgment.

文化と心理がお互いに創られていることを理解する。心理学の基礎概念を再考慮して、文化と心理の相互効用を示す。自己・性格、感情・動機、思考・言語、社会的な側面をより詳しく考察する。行動と心的過程を、文化の中で検討する必要があることを強調する。文化の多様性に対して知識を深める。自分の行動と心的過程がどのように文化の影響を受けているかということについて、学生各自が考察することを求める。

本学のディプロマポリシーに関しては、このコースは、特に（１）知識と理解及び（２）思考と判断に関連している。

■ Course Description／講義の概要

Psychology is the scientific study of behaviour and mental processes. Cultural psychology is the recently emerging discipline that investigates to what extent are human behaviour and mental processes universals and to what extent are they shaped by culture. Retackling many of the basic psychological concepts introduced in the introduction to psychology core course, the cultural psychology course seeks to highlight the important contribution of cultural psychology to psychology in general by challenging psychologists to strive for more complete and richer explanations of the complexities of human behaviour and mental processes, not just as they may function within one culture, but as they function within all cultures.

心理学は、行動と精神過程に関する科学的な研究である。文化心理学は、人間の行動と精神過程が、どの程度普遍的なものか、あるいは、どの程度文化によって影響を受けたものであるかを検討している、比較的新しい心理学の分野である。この「文化心理学」の講義では、「心理学入門」というコア・コースで紹介された心理学の基礎概念を再び扱いながら、行動と精神過程が全ての文化の中でどのように機能しているのかについてのより総合的な理解のために、文化心理学が心理学全般に対してもたらしている貢献について焦点を当てる。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ Weekly preparation : Depending on student English proficiency, recommend reading lecture materials (lecture text + presentation slides) in advance (approx. 1 hour).
- ・ 毎週の準備：個人の英語能力レベルに従って、予め講義の教材（講義のテキストとパワーポイントスライドの PDF ファイル）を読んだ方が望ましい（約 1 時間を要する）。
- ・ Weekly review : Read the lecture materials and complete weekly assignment (WA) quizzes on Sakai (approx. 3 hours).
- ・ 毎週の復習：講義の教材（講義のテキストとパワーポイントスライドの PDF ファイル）を読んで、サカイ上の「週ごとの課題」をする（約 3 時間を要する）。
- ・ Key concept review : Most lectures conclude with a list of key concepts that student will be expected to explain at the start of following class (approx. 1 hour).
- ・ キーコンセプトレビュー：ほとんどの講義にはキーコンセプトのリストがあるので、次回の授業の始まりには、そのキーコンセプトを説明する（約 1 時間を要する）。
- ・ Report assignments : After Lecture 5, students should steadily work on drafting and revising their report assignment 1 to submit by the submission deadline (Sunday of week 10) (approx. 10 hours spread over 3 weeks). After Lecture 11, students should steadily work on drafting and revising their report assignment 2 to submit by the submission deadline (Sunday of week 14) (approx. 10 hours spread over 3 weeks).
- ・ レポート課題：5 週目の講義後に、提出締切日（第 10 週の日曜日）に間に合うように、レポート課題 1 を下書きして、修正して終える（3 週間に渡って約 10 時間を要する）。11 週目の講義後に、提出締切日（第 14 週の日曜日）に間に合うように、レポート課題 2 を下書きして、修正して終える（3 週間に渡って約 10 時間を要する）。
- ・ Examination preparation : Students are expected to revise all course materials in preparation for the end of semester examination (approx. 5 hours).
- ・ 期末試験の準備：講義教材の全部を復習する（約 5 時間を要する）。

■Textbook／教科書

See Course readings 指定図書を参照（Web シラバス参照）

■Method of Evaluation／評価方法

Active participation (key concept reviews, discussion)／主体的な授業参加：10%

Weekly assignments (read materials and do weekly assignment on Sakai)／教材を読んだ上で週ごとの課題：20%

Reports (write two reports that appropriately answer assigned questions)／レポート：30%

Final examination (multiple-choice format examination of course material)／学期末試験：40%

■Prerequisite／事前履修科目等

Students are recommended to Introduction to Psychology Core Course prior to taking this course.

Moreover, because the course is conducted in English, students with TOEIC scores below 350 may find it challenging.

「心理学入門」というコア・コースを履修済みであることを推奨する。

さらに、この講義は英語で行うので、TOEIC が 350 点以下の学生にとっては、本講義は難しいことが予想されるので留意すること。

■Additional Information／留意点

No addition information なし

語 E

学 P

選 C
択 o
必 r
須 e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：共通科目特別講義Ⅴ（グローバル時事問題）

Course Title : Special Lectures for General Courses V

教員／Instructor：セーラ パルマー（Palmer, Sera）

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	palmer@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

This course aims to provide students with the knowledge and skills necessary to analyze current global events. Students will be encouraged to absorb information provided by the lecturer and form their own opinions about global issues. This course will also help students understand how global issues relate to their own lives. Through class discussions and group work, participants will learn to 1) form an argument based on real information 2) give a successful presentation, and 3) work efficiently with peers.

当科目ではグローバル時代の時事問題を理解・分析するための本質的な知識・スキルを身につける。指導者が講義中に提供する情報を念頭に置きながら、自らの意見をまとめ、グローバルな状況が我々の生活にどのように関連しているかについて考える。ディスカッションやグループワークを通じて、1) 収集した情報からの論点の構築 2) プレゼンテーション 3) グループメンバーとの協調の3点のスキルを養成することを目的とする。

■ Course Description／講義の概要

This course will be split into two components; a lecture component on current events and their historical backgrounds, and a group study component in which students will research and present about current events. Participants will conduct two group projects : a traditional presentation using PowerPoint, and a short video discussing a current event or social problem. The contents of lectures will be decided by the instructor. Group topics will be decided by participants.

当科目では、教室での活動（講義・ディスカッションなど）と学生同士のプロジェクトベースのグループワークを組み合わせて授業を行う。毎週の授業前半では、時事問題とそれらの歴史的背景についての講義と活動を行い、後半ではあるテーマについて調べるグループワークを行う。授業の参加者は、パワーポイントを使ったグループ発表と時事問題または社会問題を取り上げる短いビデオ作成、という2つのグループ・プロジェクトを行う。講義の内容は教員が決めるが、グループ発表のテーマは参加者が各自で決める。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

毎回小テストを実施するので、指定された範囲を勉強しておくこと（30分を要する）
週ごとの話題について、授業で習った事実と自らの意見を述べるエッセイを書くこと（30分を要する）
グループプロジェクトで担当している課題について各自で調べること（30分を要する）
（*随意課題*）毎週、その授業の内容を取り上げている映画・ドキュメンタリーを見て、感想文を書くこと（2時間を要する）

A quiz will be conducted at the beginning of every class, covering the last week's content. (30 mins)

An essay of approximately one paragraph will also be assigned as homework each week. (30 mins)

Students will be expected to research their individual group topics each week. (30 mins)

(*Optional*) Students are also welcomed to complete an optional assignment every week for bonus points. This assignment entails watching a movie, drama or documentary on the week's topic and writing a short response paper. (2 hours)

■ Textbook／教科書

None／なし

■ Method of Evaluation／評価方法

Active Participation／主体的（積極的）な授業参加度：10%

Weekly Quizzes／小テスト：15%

Essays and homework／エッセイ・課題：15%

Mid-term Presentation／中間発表：15%

Mid-term Exam／中間試験：15%

Video Presentation／ビデオ発表：15%

Final Exam／期末テスト：15%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None／特になし

■ Additional Information／留意点

None／特になし

科目名：ヴィジュアルコミュニケーション入門

Course Title : Introduction to Visual Communication

教員／Instructor：ポール マーサー (Mercer, Paul)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	203	E-mail	mercerc@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

To familiarize students with basic aspects of Film Studies, such as the “rules” of editing. To encourage students to look beyond the ostensible “content” of visual texts and consider their “form” as meaningful. To encourage students to watch a wider variety of films and television programs in English.

編集の「ルール」など、映画研究の基本的事項を理解する。ヴィジュアル・テキストの表面的な「コンテンツ」だけでなく深層部分にも目を向け、その「フォーム」を有意義なものとして考えるよう奨励する。多様な英語の映画作品とテレビ番組を鑑賞するよう奨励する。

■ Course Description／講義の概要

This course involves the appreciation of Films and television programs through the understanding of the visual resources that are used to create them. The class considers in detail the way that visual communication is undertaken through the use of a camera and the ways in which this produces a meaningful text that communicates with the audience or “reader”. The resources considered in the course include the point of view of the camera, lighting, focus, colour and editing. How resources are used in combination is linked to the kinds of texts that are made, and how the texts relate to our understanding of everyday life. For example that we see Documentaries and the News as representing real events, while Dramatic films do not. Films for the class are drawn from the history of cinema and from Directors based around the world. The course does not involve looking at dialogue or music in film and television. All teaching is conducted in English and assignments must be completed in English.

このコースでは、映画とテレビ番組の制作で使用するヴィジュアル・リソースの理解を通じて、映画とテレビ番組について検討する。講義では、カメラの使用により、どのようにヴィジュアルコミュニケーションが行われるか、また、視聴者や「読者」とコミュニケーションする有意義なテキストを生成する方法を詳細に検討していく。本コースで取り上げるリソースには、カメラ、照明、焦点、色彩、編集の観点が含まれる。リソースの併用方法は、生成されるテキストの種類、またテキストと日常生活の理解の関連性に関係している。具体的に述べると、ドキュメンタリーとニュースは、現実の出来事を描写していると考えられるのに対して、劇映画はこれらとは異なる点である。講義で使用する映画は、映画史全体および世界各国の映画監督の作品から選ぶ。尚、本コースでは、映画とテレビにおける対話や音楽については分析しない。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Week 2 Read : <https://learnaboutfilm.com/film-language/picture/camera-position/>
 Week 3 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=KDC8DiGfxrs>
 Week 4 Read : http://filmschoolonline.com/sample_lessons/sample_lesson_cinematography.hlm
 Week 5 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=HbPgJidesEI>
 Read : <https://digitalsynopsis.com/design/film-movies-color-psychology/>
 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=tILeNjbHIE>
 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=bQtkbQkURCI>
 Week 6 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=aS7EHDwIzPc>
 Week 7 Read : <https://www.slideshare.net/osamamuneer333/the-history-of-drama-44169946>
 Week 8 Read : <https://www.premiumbeat.com/blog/6-types-of-documentary-film/>
 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=I7MhOghI4u8>
 Week 9 Watch : <https://filmglossary.ccnmtl.columbia.edu/term/handheld-shot/>
 Week 10 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=s7iIYMqjJA>
 Week 11 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=pxuK4NQ2NHk>
 Week 12 Watch : <https://www.tvovermind.com/beginners-guide-art-house-cinema/>
 Week 13 Watch : <http://www.openculture.com/2017/06/what-is-german-expressionism.html>
 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=K77aPil7btM>
 ※それぞれ、約3時間の予習復習を要する。

■ Textbook／教科書

特になし

■ Method of Evaluation／評価方法

Class participation (10%) will be part of the assessment and there are 2 written assignments (90%) to complete during the course.
 授業への参加度 (10%) コースに関連する2つの筆記課題 (90%)

■ Prerequisite／事前履修科目等

None

■ Additional Information／留意点

None

科目名：英文会計基礎

Course Title : Fundamental Accounting in English

教員／Instructor：エリック ホノベ (Honobe, Erik)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	202	E-mail	honobe@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■ Course Goals／到達目標

The goals of this course are to acquire skills for analyzing and understanding financial statements in English, to become familiar with fundamentals of management accounting and accounting value calculations in English, and to learn how to translate basic accounting concepts from Japanese to English.

本講義の目標は英文財務諸表を理解し分析できる能力を取得し、管理会計および原価計算の基本を英語で理解出来るように成り、基本の会計概念の英訳ができるようになることである。

■ Course Description／講義の概要

Corporate accounting is a system for representing the economic activities of a firm in monetary terms. For example, one can understand the operating activities of a firm by looking at its financial statements. In this course, we learn how to analyze basic principles of the financial statements of a firm and how to read financial statements in English. Also, to further our understanding of these concepts, examples of the accounting transactions of a firm are simulated during the lectures.

企業会計は、企業の経済活動を貨幣価値で表現するための仕組みである。企業の財務諸表を見ることで、企業がどのような事業活動を行っているかを理解することができる。本講義では、企業における財務会計の基本的な考え方と英文財務諸表の見方・分析方法を学ぶ。また、授業の中で企業における取引の設例による演習を行うことで理解を深める。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Before each class, students are to read the textbook, assigned readings and others (3 hours needed).

・教科書や指定図書等を事前に読んでおくこと（3時間を要する）

■ Textbook／教科書

会計学入門〈第5版〉桜井久勝（著）出版社：日本経済新聞出版第5版（2018）

■ Method of Evaluation／評価方法

Participation／授業参加：20%

Assignments／課題：20%

Midterm Exam／中間試験：30%

Final Exam／期末試験：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None in particular. 特になし

■ Additional Information／留意点

None in particular. 特になし

科目名：記号論入門

Course Title : Introduction to Semiotics

教員／Instructor：ポール マーサー (Mercer, Paul)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	203	E-mail	mercerc@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

Students will achieve a basic grounding in the subject of Semiotics.

Students will appreciate the use of Semiotics as a methodology for research purposes.

To understand how Semiotics has been used as a means of understanding communication and meaning.

記号論の基礎知識を習得する。

研究を目的とした方法論として記号論の使用を理解する。

コミュニケーションと意味を理解する手段として、記号論がどのように使用されてきたか理解する。

■ Course Description／講義の概要

Semiotics is the study of communication through the use of signs. It is a way of understanding the meaning of things. With Semiotics it is possible to provide a convincing and systematic explanation for how things come to mean what they do in a particular culture and society. It has been used extensively in the study of language but has also been extended into looking at the media (Film, television, advertisements), at images of all kinds and at fashion and music. The course will start with the founders of semiotics, Ferdinand De Saussure in France and C.S. Peirce in the USA as well as those who have significantly expanded its use. However the course will focus mostly on the use of Semiotics as a way of understanding how communication takes place in a wide variety of media by considering the semiotic “resources” that are used to produce media and other texts. All teaching is conducted in English and assignments must be completed in English.

記号論とは、記号を介したコミュニケーション理論で、物の意味を理解する一つの方法でもあり、特定の文化と社会における意味の生成過程を系統立てて説明した学問である。記号論は、言語研究において広範囲に応用されており、メディア（映画、テレビ、広告）、多種多様なイメージ、ファッションや音楽までその適用範囲を広げてきた。このコースでは、記号論の提唱者、フランスのフェルディナン・ド・ソシュール（Ferdinand De Saussure）と米国の C.S パース（C.S. Peirce）、またその適用範囲を広げた学者の理論から始めていく。講義では、媒体やその他のテキストを生み出すために利用される記号論の「リソース」を検討することで、多種多様な媒体においてどのようにコミュニケーションが起るか理解する方法の一つとして、記号論の使用を考察していく。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Week 1 Read “Semiotics for beginners” website (<http://visual-memory.co.uk/daniel/Documents/S4B/?LMCL=MDNrCU>) section 1.

Week 2 Read “Semiotics for beginners” website (<http://visual-memory.co.uk/daniel/Documents/S4B/?LMCL=MDNrCU>) section 2.

Week 3 Watch : “A brief introduction to Marxism” - (<https://www.youtube.com/watch?v=W0GFSUu5UzA>) and “What is Social Semiotics?” - <https://www.youtube.com/watch?v=gLod2EL-VTw>

Week 4 Watch : “What is Multimodality?” - (<https://www.youtube.com/watch?v=nt5wPIhhDDU>) and What is a Mode?” - (https://www.youtube.com/watch?v=kJ2gz_OQHhI)

Week 5 Watch : “Signs of Our Times : Semiotics in 2016 and Beyond” -(<https://www.youtube.com/watch?v=v1pqftCGxec>)

Week 6 Read Introduction and chapter 1 of “Reading Images”, language - https://books.google.co.jp/books/about/Reading_Images.html?id=vh07i06q-9AC&redir_esc=y)

Week 7 Read about “Information Value” - (<https://multimodalkeyterms.wordpress.com/87-2/>)

Week 8 Watch : “A (brief) history of Perspective in European art” - (https://www.youtube.com/watch?v=WQUi5Ue_fLY) and “How to draw in 1 point perspective” (<https://www.youtube.com/watch?v=0ICyLN6I2cY>)

Week 9 Watch : “Language Ideologies” - (<https://www.youtube.com/watch?v=ScJwEALNdi0>) and “How the languages we speak shape the way we think.” (<https://www.youtube.com/watch?v=VHulvUwgFWo>)

Week 10 Watch : “Role of music in culture” - (<https://www.youtube.com/watch?v=H-qyzFUf0uk>)

Week 11 Watch : “The fashion system explained” - (<https://www.youtube.com/watch?v=2FyIWGXiaZo>) and Read Chapter 1 of “The fashion System” - (https://books.google.co.jp/books?id=E7YwDwAAQBAJ&pg=PA3&hl=ja&source=gbs_to_c_r&cad=3#v=onepage&q&f=false)

Week 12 Read “How useful is Semiotics as a method for analysing works of art?” - (<http://artandperception.com/2007/02/how-useful-is-semiotics-as-a-method-for-analysing-works-of-art.html>). Watch : “The case for Impressionism” -https://www.youtube.com/watch?v=_tw51Eh9vcw)

Week 13 Watch : “Food and Culture in Ghana” - (https://www.youtube.com/watch?v=Fbs5KUz_pe0) and “Big Food : Health, Culture and the Evolution of Eating” - (<https://www.youtube.com/watch?v=7OP9qFD7tFU>)

【General Lectures／共通科目】

Week 14 Watch : “How to read Symbolism in Films” - (<https://www.youtube.com/watch?v=7yBz30jtEnc>) and “Symbolism in Film” - (<https://www.youtube.com/watch?v=Y-sFsZ1dJOw>)
※それぞれ、約 3 時間の予習復習を要する。

■Textbook／教科書

None

■Method of Evaluation／評価方法

Class participation／授業への参加度（10%）
2 written assignments／2 つの筆記課題（90%）

■Prerequisite／事前履修科目等

None

■Additional Information／留意点

None

語 E

学 P

選 c
択 o
必 r
須 e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：ジェンダー論

Course Title : Gender Studies

教員／Instructor：小松 加代子 (Komatsu, Kayoko)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	211	E-mail	komatsu@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

- To learn the concept of sex/gender, and LGBTI
- To know the structural, institutional, legal, and historical meanings of gender
- To obtain understanding of sexuality and the body
- To understand different types of families in Japan and around the world from the historical perspective
- To consider how gender would change in the future in Japan and the global world
 - ・ 性とジェンダー、そして LGBTI について基礎的概念を学ぶ
 - ・ ジェンダーについて構造的、法的、歴史的な意味を理解する
 - ・ セクシュアリティと身体について理解を深める
 - ・ 日本、および世界における親密な関係のさまざまな形態、また過去の形態を知る
 - ・ 日本と日本を取り巻くグローバル社会においてジェンダーが今後どのように変化するかを考える

■ Course Description／講義の概要

This course deals with the issue of gender from a comparative perspective. Our special interest is in changing roles of gender in the present societies. First, we will look at how gender and family relations have changed in the era of globalization, taking into account new socio-economic conditions. Second, starting with the Japanese case, we will compare the role of gender in different countries with regard to such themes as politics, production, consumption and care-giving. From the perspective of gender, we will look at the family and its future. In this course, group discussion will be introduced and students are requested to make a presentation.

ジェンダーの問題をグローバル時代における日本という視点から考察する。社会や文化によって、また時代の変化によって、ジェンダーはさまざまな形を取ってきている。また、現在においては、「ジェンダー」の役割や機能はいろいろな様相を持っており、多様なあり方を考慮に入れなければならない。具体的な事例を見ながら、「ジェンダー」とは何かを見直し、その変化や多様性に気づく機会としてほしい。ジェンダーの視点からの家族についても触れる。授業では、グループディスカッションや、発表が求められる。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

The 15 weeks will be a combination of the following elements.

Read the materials in advance about the content of the lecture

When conducting a quiz, prepare the specified range

When giving a presentation, read a book specified in advance, create materials collectively,

Make presentation materials.

It takes 3 hours each.

15週は次の要素の組み合わせで行われる。

講義内容について、資料を事前に読んでくる

小テストを実施する場合は、指定された範囲を準備しておく

プレゼンテーションを行う際には、事前に指定された本を読み、まとめて資料を作成し、発表材料を作る。

以上、それぞれ3時間を要する。

■ Textbook／教科書

None. 特になし

■ Method of Evaluation／評価方法

Class Participation／平常点：20% Assignments／課題：20%

Presentation／発表：30% Tests／小テスト：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None. 特になし

■ Additional Information／留意点

Classes will be conducted in Japanese. 授業は日本語で行います。

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
テ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：社会科学のための統計学

Course Title : Social Science Statistics

教員／Instructor：テレンス ジョイス (Joyce, Terence)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	209	E-mail	terry@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

Develop understanding of scientific and critical thinking. Appreciate the importance of the scientific method as a reliable method of acquiring knowledge about the world. Understand fundamental issues in conducting research, from observation and surveys, relational research and experiments. Understand the central importance of the hypothesis-testing process for the scientific method. Understand conceptual foundations of statistical procedures commonly employed in analyzing research results, such as z tests, correlation coefficient, chi-square test for independence, t test for dependent means, t test for independent means, and analysis of variance. Look at the presentation of research results in academic reports.

Of the academic objectives of SGS's diploma policy, this course is particularly related to the objectives of (1) knowledge and understanding and (2) critical thinking and judgment.

科学的・批判的な思考を養う。世界に関する知識を得る信頼できる方法として、科学的方法の重要性について知る。観察、調査、相関研究、および実験における基本的な問題点とその解決方法を理解する。科学的方法に関わる仮説検証の過程の重要性を理解する。z 検定、相関係数、カイ二乗検定、対応がある t 検定、対応がない t 検定、分散分析など、研究結果を分析するためによく使用される統計方法の概念的な基礎を理解する。学術論文における分析結果の記述方法について理解する。

本学のディプロマポリシーに関しては、このコースは、特に (1) 知識と理解及び (2) 思考と判断に関連している。

■ Course Description／講義の概要

In the modern world of mass media and globalization, we are constantly presented with information and research results. However, with this information explosion, it is increasingly more difficult to judge the value of the information available. This course introduces students to critical thinking and research methods to enable them to make reasoned judgments about research studies and their results. While course examples are drawn mainly from experimental psychology, the core set of research methods and statistical procedures are essential for all areas of social science.

マスコミとグローバル化の現代世界では、情報や研究結果が常に提供されている。しかしながら、このような急増する情報の中では、情報の価値について判断するのは、ますます難しくなる。本講義は、研究結果を評価する上で必要とされる、科学的・批判的な技能を紹介することである。例題は第一には心理学から取るが、研究方法と統計方法に関わる技能は、社会科学の全ての分野にとって非常に有用である。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ Weekly preparation : Depending on student English proficiency, recommend reading lecture materials (lecture text + presentation slides) in advance (approx. 1 hour).

- ・ 毎週の準備：個人の英語能力レベルに従って、予め講義の教材（講義のテキストとパワーポイントスライドの PDF ファイル）を読んだ方が望ましい（約 1 時間を要する）。

- ・ Weekly review : Read the lecture materials, complete weekly assignment (WA) quizzes on Sakai, and submit answers to practice problems (Lectures 4~7, 10~12, and 13) (approx. 3 hours).

- ・ 毎週の復習：講義の教材（講義のテキストとパワーポイントスライドの PDF ファイル）を読んで、サカイ上の「週ごとの課題」をして、練習問題（講義 4~7、10~12 及び 13）の答えを提出する（約 3 時間を要する）。

- ・ Key concept review : Most lectures conclude with a list of key concepts that student will be expected to explain at the start of following class (approx. 1 hour).

- ・ キーコンセプトレビュー：ほとんどの講義にはキーコンセプトのリストがあるので、次回の授業の始まりには、そのキーコンセプトを説明する（約 1 時間を要する）。

- ・ Report assignments : After Lecture 6, students should steadily work on drafting and revising their report assignment 1 to submit by the submission deadline (Sunday of week 10) (approx. 10 hours spread over 3 weeks). After Lecture 12, students should steadily work on drafting and revising their report assignment 2 to submit by the submission deadline (Sunday of week 14) (approx. 10 hours spread over 3 weeks).

- ・ レポート課題：6 週目の講義後に、提出締切日（第 10 週の日曜日）に間に合うように、レポート課題 1 を下書きして、修正して終える（3 週間に渡って約 10 時間を要する）。11 週目の講義後に、提出締切日（第 14 週の日曜日）に間に合うように、レポート課題 2 を下書きして、修正して終える（3 週間に渡って約 10 時間を要する）。

- ・ Examination preparation : Students are expected to revise all course materials in preparation for the end of semester examination (approx. 5 hours).

・ 期末試験の準備：講義教材の全部を復習する（約 5 時間を要する）。

■Textbook／教科書

See Course readings 指定図書参照（Web シラバス参照）

■Method of Evaluation／評価方法

Active participation (key concept reviews, discussion)／主体的な授業参加：10%

Weekly assignments (read materials and do weekly assignment on Sakai)／教材を読んだ上で週ごとの課題：20%

Reports (write two reports that appropriately answer assigned questions)／レポート：30%

Final examination (multiple-choice format examination of course material)／学期末試験：40%

■Prerequisite／事前履修科目等

Students are recommended to Introduction to Psychology Core Course prior to taking this course.

Moreover, because the course is conducted in English, students with TOEIC scores below 350 may find it challenging.

「心理学入門」というコア・コースを履修済みであることを推奨する。

さらに、この講義は英語で行うので、TOEIC が 350 点以下の学生にとっては、本講義は難しいことが予想されるので留意すること。

■Additional Information／留意点

No addition information なし

語 E

学 P

選
択
必
須
C
o
r
r
e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：共通科目特別講義Ⅱ（グローバル企業とキャリアデザイン）

Course Title : Special Lectures for General Courses II

教員／Instructor：ミハイル マリノフ（Marinov, Mihail）

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	mihail@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

- To learn the necessary skills and knowledge for designing careers in global firms
- To get acquainted with the required mindset for rapid business growth
- To learn how to communicate with overseas business partners
 - ・グローバル企業において自分自身のキャリアをデザインしていくという姿勢と基本的な知識を身につける
 - ・加速度的成長のための思考法を学び実践する
 - ・相手国の取引先とのコミュニケーションに必要なスキルを身につける

■ Course Description／講義の概要

Nowadays, the lifestyle of people and the values which govern human behavior have diversified significantly. In these circumstances, the social environment which determines how individuals design their own careers is constantly changing. In this course students will learn how the social environment is changing from the diverse perspectives of law, economy, business management, psychology and other social sciences, and how global firms influence this change. This course also teaches students how to design their own careers proactively and independently, and how to understand the cultural and linguistic differences in communication and common sense that differentiates communication in Japan from that of other nations.

ライフスタイルが多様化・多価値化する現代において、個人のキャリア開発を取り巻く社会環境は著しく変化している。本講義では、法学・経済学・経営学・社会学・心理学等の多面的側面から個人のキャリアを開発するうえで必要となる社会環境の変化を学ぶと同時に、主体的で自立したキャリア開発を実践するうえで必須のコミュニケーション能力の実習も行う。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

教科書や指定図書等を事前に読んでおくこと、及び毎回の授業で扱うテーマに関連する問題や事例などを分析し、それらの内容を整理しておくこと。（3時間を要する）

Prepare for this course by reading the assigned textbook chapters for each week before the class begins. Also, as part of your preparation, try to find cases that reflect the theory presented in previous classes. Recommended time for preparation : 3 hours a week.

■ Textbook／教科書

谷田部光一『キャリアマネジメント：人材マネジメントの視点から』晃洋書房、2010年

■ Method of Evaluation／評価方法

Learning attitude／学習態度：20%
 Presentation／プレゼンテーション：50%
 A 10-min test at the end of each class／小テスト：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■ Additional Information／留意点

特になし

科目名：国内インターンシップ概論

Course Title : Introduction to Domestic Internship

教員／Instructor：中澤 文彦 (Nakazawa, Fumihiko)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2、3年のみ	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	nakazawa-f@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

The course objectives are :

1. To experience part of the real world through this domestic internship program and to pave the way for students' future career.
2. To raise the students' motivation to work in society and to help them plan their career.
3. To learn about the importance of the basic business manners and to develop their ability to take actions.

授業の目的は次の通りである：

1. ビジネス現場での就業体験を通じ現実社会の一端に触れ、しっかりとした職業観、労働観を形成すること
2. 社会で働くための意識を高め、キャリアプランを描けるようにすること
3. 基本的なビジネスマナーの重要性を理解し、行動につなげる能力を養うこと

■Course Description／講義の概要

An internship is working experience at companies. It offers students opportunities to work temporarily at companies during summer, or spring vacation. This means the students will have a chance to think about their career choice and to raise their job adaptability after they actually joined companies. Therefore, the students are required to fully prepare in advance for this internship course so that they can have a valuable, fulfilling experience. This course consists of three parts and comes under Preparatory Class, supporting the students' career formation concerning Follow-up Class.

1. Preparatory Class : The students learn the basic business manners through role playing, and study how to handle basic assignments as a member of a real organization. The class includes lectures, small group discussions, and role playing.
2. Practice : The students attend a job training at a domestic company for at least two weeks or more during August and September, or February and March.
3. Follow-up Class : The students review their experience and write a report and give a presentation for other students on what they have learnt through the internship experience.

インターンシップとはどのようなものか。春休みや夏休みを利用し、将来の職業選択や就職後の職業への適応力を高めることを目的とした「就業体験」のことである。しっかりした事前準備と心構えを持ち、インターンシップに臨むことで貴重で得がたい体験となるであろう。本講義は事前授業、実習、事後授業の3部構成のうちの事前授業であるが、事後授業等においても受講生のキャリア支援を行っていく。

1. 事前授業：学生は、ロールプレイングを通じた基本的なビジネスマナーを修得し、かつ、実際の組織の一員として基本的な割り当てられた仕事をどのように扱うのかを学ぶ。本授業は、講義、小グループ討論、そして、ロールプレイングを含む。
2. 実習：学生は、8月と9月、若しくは、2月と3月の間で、最低でも2週間又はそれ以上、日本国内の企業において職業訓練に参加する。
3. 事後授業：学生は、経験を振り返り、かつ、インターンシップ先での経験を通じて学んだことをレポートとして仕上げ、また、他の学生の前で報告をする。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ Students should understand content of previous lesson before next class starts.
- ・ Students should prepare and review more than three hours before next class starts.
- ・ Students should read the documents which are distributed before next class starts.
- ・ 授業前には、前回の講義内容について十分に理解をしておくこと
- ・ 講義内容の復習と次回講義の準備には3時間以上の取組が必要
- ・ 授業前に配信される資料にはできる限り目を通してしておくこと

■Textbook／教科書

Unspecified 特に指定はしない

■Method of Evaluation／評価方法

Class Participation／平常点：10% Participation and assignments／授業参加及び課題：50%
Mock Interview／模擬面接：40%

■Prerequisite／事前履修科目等

Unspecified 特に指定はしない

■Additional Information／留意点

- ・ Students need to resister for "Domestic Internship : Practice I" as well, in the case of taking this class "Introduction to Domestic Internship".
- ・ Students who would like to register for this course must attend the class in Week 1.
- ・ 「国内インターンシップ概論」単独での履修はできない。必ず「国内インターンシップ実習Ⅰ」と併せて履修すること
- ・ 履修希望者は第1週の授業に必ず出席すること。第1週の授業に出席していない場合は履修を認めない

科目名：国内インターンシップ実習Ⅰ

Course Title : Domestic Internship : Practice I

教員／Instructor：中澤 文彦 (Nakazawa, Fumihiko)

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2、3年のみ	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	nakazawa-f@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

The course objectives are :

1. To experience part of the real world through this domestic internship program and to pave the way for students' future career.
2. To raise the students' motivation to work in society and to help them plan their career.
3. To learn about the importance of the basic business manners and to prepare for job hunting activities.

授業の目的は次の通りである：

1. ビジネス現場での就業体験を通じ、現実社会の一端に触れ、しっかりとした職業観、労働観を形成すること
2. 社会で働くための意識を高め、キャリアプランを描けるようにすること
3. 基本的なビジネスマナーの重要性を理解し、行動につなげる能力を養うこと

■ Course Description／講義の概要

An internship is to work experience at profit organizations or nonprofit organizations. Domestic Internship consists of three parts, Preparatory Class, Practice (On the Job Training) and Follow-up Class. This course includes Practice and Follow-up Class, supporting the students' career formation over a long span of about six months.

1. On the Job Training : The students attend on the job training at a domestic organization at least for two weeks or more during August and September, or February and March.

2. Follow-up Class : The students review their experience and write a report on what they have learnt through the internship experience. The students make the presentation on the job training in the debriefing meeting

インターンシップとは、将来の職業選択や就職後の職業への適応力を高めることを目的とした「就業体験」のことである。本講義は国内インターンシップを構成する3部のうち、実習と事後授業に相当し、約半年という比較的に長いスパンで受講生のキャリア支援を行っていく。

1. 実習：国内の企業などの現場で、インターンシップを通じてビジネス経験をする。
2. 事後授業：インターンシップ終了後、事後学習により報告書の作成を行い、報告をする。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ Students should follow lesson of Introduction to Domestic Internship.
- ・ Students should read the references (3.4) which are useful for Practice.
- ・ Students should summarize Author's opinion of the references (3.4) , and thinking how the summarize are going to help for Practice.
- ・ Students should prepare and review more than three hours before next Practice starts.
- ・ 実習前には、インターンシップ概論の講義内容について十分に理解をしておくこと
- ・ 参考文献は実習に役立つと思われることから出来る限り目を通しておくこと
- ・ 参考文献(3.4.)を読んで同文献の筆者の考え方をまとめ、そのまとめが本実習をする上で、どのように役に立つのかを考えてみる
- ・ 実習の復習と次回実習の準備には3時間以上の取組が必要

■ Textbook／教科書

Unspecified 特に指定はしない

■ Method of Evaluation／評価方法

Practice／実務：60%

Presentation／発表：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

Unspecified 特に指定はしない

■ Additional Information／留意点

Introduction to Domestic Internship is a prerequisite for this course.

「国内インターンシップ概論」を修得済みであること

科目名：共通科目特別講義Ⅷ（進路のための学力アップ講座）

Course Title : Special Lectures for General Courses VIII

教員／Instructor：堂下 恵（Doshita, Megumi）

Division／分野	General／共通	Semester／開講学期	Spring Break Intensive
Grade／配当年次	3年のみ	Credits／単位	2単位
Office／研究室	207	E-mail	doshita@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

・大学卒業後の進路選択に必要な基礎的な学力を身につける
Students will gain the essential knowledge for their future career.

■ Course Description／講義の概要

本科目は3年生を対象とした大学卒業後の進路のための学力アップ講座である。大学卒業後の進路選択にかかる就職活動等では、基礎学力を身につけているかを筆記試験で確認されることが多い。大学新卒向けの採用試験で出題頻度の高い問題を活用しながら、社会人として不可欠な基礎学力の向上を目指す。

This course is for the 3rd year students who will seek employment. In order to get an offer from companies and organisations, students should pass one of the tests which evaluate applicants' essential knowledge. By using questions from these tests, students will gain this essential knowledge.

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・小テストに向けた復習（毎回 1.5 時間）Review for mini-tests (1.5 hour per class)
- ・応用問題の宿題（毎回 1 時間）Homework (1 hour per class)
- ・最終テスト準備（毎回 1-2 時間程度）Preparation for the final examination (1-2 hours per class)

■ Textbook／教科書

SPI ノートの会編著『これが本当の SPI3 だ！』2023 年度（最新）版

■ Method of Evaluation／評価方法

平常点：10% In-class contribution：10%
 復習テスト：40% Review questions：40%
 最終テスト：40% Final examination：40%
 キャリア支援関連プログラムの利用状況：10% Participation of career support programmes：10%

■ Prerequisite／事前履修科目等

3 年生対象キャリア支援講座に出席すること。 Students must attend Career Support Programme regularly.
 連動するキャリア支援プログラムに参加すること。 Students must attend career support programmes.

■ Additional Information／留意点

授業は全て日本語で実施する。This course will offer in Japanese.
 大学卒業後の進路のためではなく、単位取得のみを目的とした学生の履修は認めない場合がある。The students who only would like to get a credit might not be allowed to take this course.
 キャリア支援講座をはじめとするキャリア支援プログラムへの参加が無い場合は、履修を認めない場合がある。The students who do not attend career support programmes will probably not be allowed to take this course.
 履修者の学力、意欲・要望に応じて、レベル分けしたクラスを複数開講する可能性がある。Students might be designated to different classes depending on their level.

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：中国語Ⅰ

Course Title : Chinese I

教員／Instructor：呉 燕 (Wu, Yan)

Division／分野	General／共通（外国語）	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	wuyan@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

In completing this course, you will not only be able to recognize and correctly pronounce Chinese phonemes through Pinyin (the Romanized Chinese phonetic system), but also will be able to carry out simple conversations in general social situations (e.g., to greet, introduce, give thanks, etc.).

1. 中国語の発音を正確に聞き分け、正しくきれいに発音できるようにする。
2. 中国語の音声表記（ピンイン）によって発音できる。
3. ピンインと簡体字を書けるようになる。台湾・香港などの地域に使われる繁体字も同時に紹介する。
4. あいさつ言葉や基本の文型を理解しながら、簡単な会話力を身につける。

■Course Description／講義の概要

This course is a beginners' course designed to introduce the correct pronunciation and intonation, basic grammatical principles of modern Mandarin Chinese. This course aims to teach basic language skills in speaking, reading and writing of modern Chinese. It also aims to deepen your understanding towards the culture behind the language as well. You are expected to participate actively in teaching activities (repetitive reading, dictation, role-play, etc.) during teaching hours and your performances will contribute to the final grading. There will be quizzes given relatively once a week by the instructor to make sure the content being taught before has been mastered.

ゼロからスタートする学生を対象とする中国語の入門クラスである。中国語に慣れ親しむことに重点を置き、「読み・書き・聞き・話す」ための、バランスのとれたコミュニケーション能力を身につけることを目指す。発音練習・会話練習・短文の暗唱などの練習を通じ、声調を含めた中国語の発音をしっかりマスターし、中国語独自のローマ字表記（「ピンイン」）により発音ができるようになり、ごく基本的な文法や文型を理解した上で、実用で使える会話表現を身につけるようになることを目標とする。なお、授業中に中国本土及び台湾・香港地域に関する動画や音楽も用意され、文化に対する理解を深めることを目指す。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ Download the attached audio file for each lesson and listen to it for reviewing after class. (0.5 hours)
- ・ Read all the new words loud and clear. Then write them down. (0.5 hours)
- ・ Review and confirm the "ear training" part again after each lecture. (0.5 hours)
- ・ Read the "extended expression" part out loud and then write them down. (0.5 hours)
- ・ Remember all the new words by heart (its writing, pronunciation and meaning) before the next lecture. (0.5 hours)
- ・ 音声ファイルをダウンロードして毎回授業後振り返って聞くこと。(0.5 時間)
- ・ テキストに出た言葉を全部朗読してから写すこと。(0.5 時間)
- ・ 「耳トレ」の部分を講義後もう一度復習して確かめること。(0.5 時間)
- ・ 「拡張表現」の部分を朗読してから写すこと。(0.5 時間)
- ・ 次回講義をする前に新出単語（字形・字音・字義）のすべてを暗記すること。(0.5 時間)

■Textbook／教科書

沈 国威 監修、氷野 善寛など 著、『中国語でコミュニケーション』、朝日出版社 2020 年

■Method of Evaluation／評価方法

1. For on-site classes : Class participation : 10% Quiz/assignment : 30% Final exam : 50% (oral exam + written exam)
2. For online classes : Final evaluation = Class participation (30%) + Quiz/Assignments (30%) + Final oral examination (40%)
 - ・ Class participation : Comprehensive evaluation from online quizzes and presentations during class
1. 面接授業の場合：平時点：10% 小テスト・課題：30% 期末試験：50%（口頭試問＋筆記試験）
2. オンライン授業の場合：最終評価＝平時点（30%）＋課題（30%）＋期末口頭試問（40%）
 - ・ 平時点：オンライン練習・授業中の口頭練習からの総合評価

■Prerequisite／事前履修科目等

特になし。

■Additional Information／留意点

1. In order to become familiar with the foreign language you are learning for the first time, it is important to attend classes without taking a break and to be enthusiastically involved in the classes. During class, you are expected to actively participate in multiple

activities, including presentations and skit performing. Therefore, it is recommended that you do enough preparation and review at home and listen carefully to the CD attached to the textbook to practice on your own.

2. Since there are many handwriting exercises for Simplified Chinese and Pinyin, it is recommended to prepare a notebook solely for this class.

3. A textbook is essential for this class. Please note that students must purchase a textbook and bring it with them every time.

1. 初めて学ぶ外国語に早めに親しむようになるために、一回も休まず授業に出るほか、授業に意欲的に関与するのは大切である。授業中に、朗読や模擬会話など練習活動が多く行われますが、自宅でも十分な予習復習をしてくること、また教科書についている CD をよく聞いて、自ら練習することが望ましい。

2. 簡体字やピンインの手書き練習がたくさんあるため、この授業専用のノートを用意しておく方がおすすめ。

3. この授業には教科書は必須である。履修者は必ず教科書を購入し、そして毎回必ず持参することをご注意ください。

語 E

学 P

選
択
必
須
C
o
r
e上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
テ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：中国語Ⅱ

Course Title : Chinese II

教員／Instructor：呉 燕 (Wu, Yan)

Division／分野	General／共通（外国語）	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	wuyan@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

On completion of this course, you will have increased your vocabulary and understood more grammatical structures. You will also be able to carry on conversations using expressions and phrases which are actually used by nowadays Chinese people. And the various scenarios in the textbook will provide you with understandings of the difference between Chinese and Japanese cultures.

1. 中国語Ⅰで学んだ文法や文型を確認した上、より多く文法や文型を習得する。（中国語検定4級に準ずる）
2. 今の中国の実生活に用いられるトピックや表現を習得する。

■Course Description／講義の概要

This course is a continuation of Chinese I. It is designed to both confirm the content studied in Chinese I, and help you improve your basic conversational skills in Mandarin, complete your study of basic Mandarin grammar, while at the same time enlarging your Chinese character vocabulary. It also aims to deepen your understanding towards the culture behind the language as well. You are expected to participate actively in teaching activities (repetitive reading, dictation, role-play, etc.) during teaching hours and your performances will contribute to the final grading. There will be quizzes given relatively once a week by the instructor to make sure the content being taught before has been mastered.

中国語Ⅰから継続する授業である。発音と基本的な文法を理解している学生が、さらにしっかりした語学力を身につけるために全般的基礎固めを行う初級クラスである。中国語に慣れ親しむことに重点を置き、「読み・書き・聞き・話す」ための、バランスのとれたコミュニケーション能力を身につけることを目指す。会話練習・短文の暗唱などの練習を通じ、日常生活で使える必要な語彙と表現力を身につけるだけでなく、平易な文章を読み、書くことのできる総合的なコミュニケーション能力の育成を目標とする。なお、日中文化の差異に対する理解にも目を配る。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ Download the attached audio file for each lesson and listen to it for reviewing after class. (0.5 hours)
- ・ Read all the new words loud and clear. Then write them down. (0.5 hours)
- ・ Review and confirm the "ear training" part again after each lecture. (0.5 hours)
- ・ Read the "extended expression" part out loud and then write them down. (0.5 hours)
- ・ Remember all the new words by heart (its writing, pronunciation and meaning) before the next lecture. (0.5 hours)
- ・ 音声ファイルをダウンロードして毎回授業後振り返って聞くこと。(0.5 時間)
- ・ テキストに出た言葉を全部朗読してから写すこと。(0.5 時間)
- ・ 「耳トレ」の部分を講義後もう一度復習して確かめること。(0.5 時間)
- ・ 「拡張表現」の部分を朗読してから写すこと。(0.5 時間)
- ・ 次回講義をする前に新出単語（字形・字音・字義）のすべてを暗記すること。(0.5 時間)

■Textbook／教科書

沈 国威 監修、氷野 善寛など 著、『中国語でコミュニケーション』、朝日出版社 2020 年

■Method of Evaluation／評価方法

1. For on-site classes : Class participation : 10% Quiz/assignment : 30% Final exam : 50% (oral exam + written exam)
2. For online classes : Final evaluation = Class participation (30%) + Quiz/Assignments (30%) + Final oral examination (40%)
 - ・ Class participation : Comprehensive evaluation from online quizzes and presentations during class
1. 面接授業の場合：平時点：10% 小テスト・課題：30% 期末試験：50%（口頭試問＋筆記試験）
2. オンライン授業の場合：最終評価＝平時点（30%）＋課題（30%）＋期末口頭試問（40%）
 - ・ 平時点：オンライン練習・授業中の口頭練習からの総合評価

■Prerequisite／事前履修科目等

中国語Ⅰ

■Additional Information／留意点

1. This course will be mainly conducted in Japanese with main points emphasized in English as well. この授業は主に日本語で行われるが、文法の肝心な部分は英語の構文と照らし合わせて説明する。
2. Regular attendance, thorough preparation and active participation in class are crucial to your language learning. 外国語を習得するために、一回も休まず授業に出るほか、授業に意欲的に関与するのは大切である。
3. Students are expected to review what they have learnt after each week of study. Listening to the CD whenever possible is a good way of mastering Chinese pronunciation. 授業中に、朗読や模擬会話など練習活動が多く行われるが、自宅でも十分な予習復習をしてくる、また教科書についている CD をよく聞いて、自ら練習することが望ましい。
4. Preparing a notebook just for this course is highly recommended as there will be multiple writing practices for each class. 簡体字やピンインの手書き練習がたくさんあるため、この授業専用のノートを用意しておく方がおすすめ。
5. Textbook is a must for this course. Please make sure you have it with you for each class. この授業には教科書は必須である。履修者は必ず教科書を購入し、そして毎回必ず持参することをご注意ください。

科目名：韓国語 I

Course Title : Korean I

教員／Instructor：朴 ソンヨン (Park, sun-young)

Division／分野	General／共通（外国語）	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	park@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

本講義では、文字としてのハングルの学習に始まって、韓国語における基礎文法と簡単な日常会話を学ぶ。さらに高いレベルの韓国語の学習に備えて、韓国語の基礎の土台作りを目標とする。具体的な目標は以下の通りである。

- ・ ハングル文字の仕組みを理解し、正しく読む・書くことできる
- ・ 韓国語の基本的な文法構造及び日本語との違いを把握する
- ・ 挨拶など韓国語で簡単な日常会話ができる

In this course, students will learn basic grammar and simple daily conversation in Korean, starting with learning Hangeul as letters. The goal is to master basic level of Korean for a higher level of learning Korean. The specific goals are as follows.

- ・ Understand Hangeul characters and be able to read and write correctly
- ・ Understand the basic grammar of Korean
- ・ Students can have simple daily conversations in Korean such as greetings.

■ Course Description／講義の概要

本講義は初めて韓国語を学ぶ人を対象とする入門レベルの講義である。文字としてハングルの読み・書きから日常会話に必要な基礎文法や表現などを指定教科書に基づき学習する。また、自然に韓国語を習得できるように教員と又は学生同士の会話練習などの実践的な活動を実施する。韓国語に対する理解をさらに深めるため、言語のみではなく、その背景となる韓国文化についても解説する。

This course is a basic level course for those who are learning Korean for the first time. Students will learn basic grammar and expressions necessary for daily conversation from reading and writing Hangeul as characters based on the designated textbook. In addition, Students will do practical activities such as conversation practice with an instructor and between students so that they can learn Korean naturally. In order to understand more of Korean, Students will learn not only the language but also the Korean culture.

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

各回に該当する教科書の内容について予習・復習を行うこと。

- ・ 予習：各週授業に該当する課の本文内容をスムーズに読めるように予習すること。（1時間程度）
- ・ 復習：各週授業で学習したハングル（文字）及び韓国語表現を復習し覚えること。（1.5時間程度）

Prepare and review the contents of the textbook that corresponds to each session.

- ・ Preparation：Prepare to read the text of the textbook that you will study each week smoothly. (About 1 hour)
- ・ Review：Study the Hangeul (characters) and Korean expressions learned in each week's class. (About 1.5 hours)

■ Textbook／教科書

- ・ ベル出版『本気で学ぶ韓国語—発音・会話・文法の力を基礎から積み上げる』チョ・ヒチョル 著

■ Method of Evaluation／評価方法

平常点／Class Participation：30%

小テスト・課題／Quiz・Assignment：30%

期末試験／Final exam：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

なし

■ Additional Information／留意点

- ・ 全ての授業に出席し、積極的に授業に参加すること。
- ・ 能動的に予習・復習をすること。
- ・ Students should attend all classes and actively participate in the classes.
- ・ Students should do preparation and review.

科目名：韓国語Ⅱ

Course Title : Korean II

教員／Instructor：朴 ソンヨン (Park, sun-young)

Division／分野	General／共通（外国語）	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	park@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

本講義では、初級レベルの韓国語文法や表現を学ぶ。本講義を受講することでハングル検定5級レベルの表現・語彙を身につけることを目標とする。具体的には下記の通りである。

- ・初級レベルの韓国語文法を理解し、文章作成や話すことができる。
- ・日常生活における多様な場面で必要な語彙、表現などを取得し、応用できる。
- ・韓国語の発音ルールを理解し、より正確に発音することができる。

In this course, Students learn Korean grammar and expressions at the beginner level. The goal is to study expressions and vocabulary at the 5th level of the Korean test. Specifically, it is as follows.

- ・ Understand beginner-level Korean grammar, and be able to write and speak sentences.
- ・ Study vocabulary and expressions required in various situations in daily life.
- ・ Understand Korean pronunciation rules and be able to pronounce more accurately.

■ Course Description／講義の概要

本講義は初級レベルの韓国語の文法や表現を指定教科書に基づき学習する。また、自然に韓国語を習得できるように教員と又は学生同士の会話練習などの実践的な活動を実施する。さらに理解を深めるため、言語だけではなく韓国文化についても紹介する。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

本講義は初級レベルの韓国語の文法や表現を指定教科書に基づき学習する。また、自然に韓国語を習得できるように教員と又は学生同士の会話練習などの実践的な活動を実施する。さらに理解を深めるため、言語だけではなく韓国文化についても紹介する。

In this course, students learn Korean grammar and expressions at the beginner level based on a designated textbook. In addition, students will do practical activities such as conversation practice with an instructor and between students so that they can learn Korean naturally. In order to understand more of Korean, Students will learn not only the language but also the Korean culture.

■ Textbook／教科書

- ・ ベル出版『本気で学ぶ韓国語—発音・会話・文法の力を基礎から積み上げる』チョ・ヒチョル 著

■ Method of Evaluation／評価方法

平常点／Class Participation：30%

小テスト・課題／Quiz・Assignment：30%

期末試験／Final exam：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

「韓国語Ⅰ」を修得していることが望ましい。

■ Additional Information／留意点

- ・ 全ての授業に出席し、積極的に授業に参加すること。
- ・ 能動的に予習・復習をすること。
- ・ Students should attend all classes and actively participate in the classes.
- ・ Students should do preparation and review.

科目名：日本語初級

Course Title : Japanese Language beginners Course

教員 / Instructor : 山口 花英 (Yamaguchi, Hanae)

Division / 分野	General / 共通 (日本語)	Semester / 開講学期	Fall
Grade / 配当年次	1年以上	Credits / 単位	2単位
Office / 研究室	301, 302	E-mail	yamaguchi-hanae@tama.ac.jp
Work Experiences / 実務経験			

■ Course Goals / 到達目標

To reach the level of JLPT N3. To understand Japanese used in everyday situations to some extent.

Listening : Able to listen to a conversation and understand the content of the conversation and the relationships between people.

Speaking : Able to converse with Japanese people and speak smoothly about what you want to say.

Writing : Able to write long sentences using kanji.

Learn about : Japanese culture (letters, games, traditions, etc.) Deepen your knowledge of Japan's tourist attractions.

日本語能力試験 N3 合格水準に達する。日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。

聞く : 会話を聞き、話の内容や人物の関係などを理解できるようになる。

話す : 日本人と会話をし、伝えたいことをスムーズに話すことができる。

書く : 長い文を漢字を使って書くことができる。

知る : 日本の文化 (手紙・遊び・伝統など) 日本の観光地について知識を深める。

■ Course Description / 講義の概要

In this course, students will learn late beginner to early intermediate sentence patterns and acquire the ability to apply and use them freely.

- Develop listening and speaking skills through discussion and debate.

- Write and present a relatively long sentence. Strengthen listening skills by listening to the presentations.

- Learn how to use honorific expressions and how to choose the right way to speak to others.

- Learn to take advantage of many opportunities to experience Japanese culture.

Deepen their interest and knowledge by learning how to write New Year's cards and letters, introduce sightseeing spots they would like to visit in Japan, and experience traditional Japanese games.

※ Homework is given in every class, including extensive review.

このコースでは初級後半～中級前半文型を学習し、それらを応用し、自由に運用できるようになる力を身に着ける。

- ディスカッションやディベートを通して聞く力、話す力を養う。

- 比較的長めの文を書き、発表する。発表を聞くことでリスニング力の強化を図る。

- 敬語の運用、相手に合わせた話し方の選択などを学ぶ。

日本文化に触れる機会を多く取り入れ学ぶ。年賀状や手紙の書き方、日本で行ってみたい観光地の紹介や、日本の伝統的な遊びを体験するなど、興味を持って知識を深める。

※宿題は復習も含め幅広く毎授業出す。

■ Preparation study time Specific content / 準備学習時間・具体的内容

A quiz will be given at the beginning of each class to confirm the contents of the previous class, so each student is expected to review the quiz. Organize your notes well and memorize new words. (1.0 hours required)

Prepare for the next week's class. If you don't understand a word, you should prepare for it and look it up. (0.5 hours required)

- 毎回授業冒頭で、前回の内容を確認する小テストを実施するので、各自、復習をしておくこと。

- しっかりノートを整理し、新しい単語を覚えること。(1.0 時間を要する)

- 次週の授業の予習をすること。わからない単語は予習をして調べておくこと。(0.5 時間を要する)

■ Textbook / 教科書

TRY! 日本語能力試験 N3 文法から伸ばす日本語 アスク出版

※ Be sure to purchase the textbook. 教科書は必ず購入すること。

■ Method of Evaluation / 評価方法

Active Participation / 積極的な授業参加度 : 10% Class participation / 授業参加態度 : 10%

Preparation / Homework / 予習・宿題 : 10% Quizzes / 小テスト : 10%

Composition / Presentation / 作文・発表 : 30% Final examination / 期末試験 : 30%

■ Prerequisite / 事前履修科目等

In this class, students will learn Kanji, vocabulary, grammar, and reading comprehension necessary to pass JLPT N3.

- Able to read and write hiragana, katakana, and simple kanji.

- Able to conjugate verbs (ta-form, te-form, lexical form, nai-form), adjectives and nouns.

- Expected to have completed "Minna no Nihongo Elementary II".

本授業は、JLPTN3 合格を目指すために必要な漢字・ごい・文法・読解を学びます。

- ひらがな、カタカナ、簡単な漢字の読み書きができること。

- 動詞の活用 (た形・て形・辞書形・ない形)、形容詞や名詞の活用ができること。

- 「みんなの日本語初級Ⅱ」終了程度のレベルであること。

■ Additional Information / 留意点

None. 特になし

科目名：日本語中級

Course Title : Japanese Language Intermediate Course

教員／Instructor：佐久間 聡子 (Sakuma, Satoko)

Division／分野	General／共通（日本語）	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	301、302	E-mail	sakuma@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

初級レベルの復習をしながら、中級レベルの文法と語彙を増やして、実際に使えることを目指す。
自分の意見を述べたり、相手の意見を聞いて質問したりするコミュニケーション能力の向上を目指す。
日本語能力試験 N2 合格を目指す。
Review of N3-4 level and aim to improve intermediate level grammar, vocabulary and communicative competence.
Goal : To obtain JLPT N2

■Course Description／講義の概要

各課の文法解説を踏まえ、教室内では本文の内容理解を中心に学習し、語彙や関連する事項を学習する。
また、簡単な要約や同タイプの文章を読むなどの活動も取り入れたり、リスニングの練習をしたりする。
Comprehension of text
Acquire more words and Kanji related to the text
Exercises for summarization, listening skills and more.

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・予習：各課の文法解説に目を通しておくこと。
- ・復習：授業内で指示した箇所の練習問題に取り組み、特に文法項目を理解し、使えるようにしておくこと。

(予習と復習を合わせて、おおよそ 1,5 時間)
Preparation for grammar explanation of each chapter
Review of grammar explanation and exercises of each chapter
Total 1h and half

■Textbook／教科書

TRY！日本語能力試験 N2 文法から伸ばす日本語 アスク出版

■Method of Evaluation／評価方法

Active Participation／積極的な授業参加度：20%
Preparation・Homework／宿題：20%
Class performance(Composition・Presentation, etc.)／課題・作文等のパフォーマンス：10%
Middle examination／中間試験 20%
Final examination／期末試験：30%

■Prerequisite／事前履修科目等

日本語初級履修済み、又は日本語能力試験 N3 合格者
Finish elementary-beginner level Japanese or JLPT N3 level

■Additional Information／留意点

(A = 春学期)
2021 年 7 月または 12 月に日本語能力試験 N2 受験を考えている「日本語を母語としない学生」または「日本の高等学校を卒業していない学生」対象です
For non native Japanese language students or students graduated from overseas high school who intend to try JLPT N2 in July or December 2021.
(B = 秋学期)
2021 年 12 月または 2022 年 7 月に日本語能力試験 N2 受験を考えている「日本語を母語としない学生」または「日本の高等学校を卒業していない学生」対象です
For non native Japanese language students or students graduated from overseas high school who intend to try JLPT N2 in December 2021 or July 2022 .
春学期の日本語中級 (A) と同じ内容です
Same contents of Intermediate Japanese (A) spring term

科目名：日本語上級

Course Title : Japanese Language Upper Course

教員／Instructor：佐久間 聡子 (Sakuma, Satoko)

Division／分野	General／共通（日本語）	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	301、302	E-mail	sakuma@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

N1 レベルの文法・語彙の意味用法を身につけ、日本語の総合運用能力を向上させる。
Improve communicative competence by learning high level (N1) grammar and vocabulary

■Course Description／講義の概要

長文読解に時間を割き、内容の理解だけにとどまらず、簡単な要旨を作成できるように練習していく。

Comprehension of text and make summary.

現代の日本社会をより理解できるよう、音声・文書等のサポート資料を用いて時事問題を読み解く。

意見交換することで自分の意見を述べる方法を身につけていく。

Study about current affairs in Japanese society by audio and written document.

Acquire skills for discourse in Japanese.

日本語能力試験 N1 合格を目指す

Goal : To obtain JLPT N1

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

・予習：各課の文法解説に目を通しておくこと。また、時事問題で扱うテーマについて、インターネットで調べたりして、自分の考えや意見をまとめておく。

・復習：テキストの指定箇所の練習問題など
(合わせて 2 時間)

Preparation for grammar explanation of each chapter, research for topic via Internet and organize your ideas around a topic.

Review of grammar explanation and exercises of each chapter.

Total 2 hours.

■Textbook／教科書

TRY！日本語能力試験 N1 文法から伸ばす日本語 アスク出版
時事問題に関する資料は授業中に配布

■Method of Evaluation／評価方法

Active Participation／積極的な授業参加度：20%

Preparation Homework／予習・宿題：20%

Class performance／課題・作文などのパフォーマンス：10%

Middle examination/ 中間テスト：20%

Final examination／期末試験：30%

■Prerequisite／事前履修科目等

日本語中級履修済み、又は日本語能力試験 N2 合格程度

Finish intermediate level Japanese or JLPT N2 level

■Additional Information／留意点

2021 年 12 月または 2022 年 7 月に日本語能力試験 N1 受験を考えている「日本語を母語としない学生」または「日本の高等学校を卒業していない学生」対象です

For non native Japanese language students or students graduated from overseas high school who intend to try JLPT N1 in December 2021 or July 2022.

科目名：Travel and Tourism Workplace English I

Course Title：Travel and Tourism Workplace English I

教員／Instructor：油木田 美由紀（Yukita, Miyuki）

Division／分野	Elective／選択（HM）	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	yukita@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

This course aims to acquire and develop English communication skills required in a variety of jobs in tourism-related industries. Students will learn and expand their vocabularies and phrases used in such job situations. The course will also explore the current situation and issues of tourism industries in Japan. The course can help students acquire Kanko Eiken grade 3 and 2.

この科目は、観光関連産業のさまざまな業種における英語コミュニケーション能力の習得と伸長を図ることを目的とする。観光関連の仕事に従事する中で使われる語彙やフレーズの習得・伸長を図ると同時に、日本の観光業の現状とその課題について探る。観光英語検定3級及び2級取得にも役立つ。

■Course Description／講義の概要

Using a textbook designed to prepare to take "Tourism English Proficiency Test", classes consist of lectures, role-plays, conversation exercises, and presentations. Worksheets will be assigned every week to ensure the acquisition of vocabularies and basic phrases used in the travel and tourism industry. Furthermore, through presentations, students will learn some basic skills to introduce and analyze recent news on tourism in Japan.

観光英語検定取得準備用のテキストを使う。授業は講義、ロールプレー、会話練習、プレゼンテーションなどにより運営していく。観光業で使われる基本的なボキャブラリーとフレーズの確実な習得を図るために、毎週課題が出される。また、プレゼンテーションを通して、最近の観光関連のニュースを紹介し、分析するスキルを学ぶ。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

1. Do the exercises (e.g. dictation, reading comprehension, and writing) in the textbook before class (30 minutes every week).
テキストの指定の範囲を学習しておくこと。学習は、ディクテーション、読解、英作文など。（毎週 30 分）
 2. Prepare for vocabulary tests and mock presentations (15 minutes every week)
毎週授業に沿って課題（単語テストや発表の模擬練習）が出されるので、準備しておくこと。（毎週 15 分）
 3. Search and read recent news related to tourism in Japan (15 minutes every week).
日本の観光業における最近のニュースに目を向け、発表に向けてリサーチしておくこと（毎週 15 分）
 4. Prepare for a presentation following the steps a)~g) below (30 minutes every week).
プレゼンテーションに向けて、各自発表日に合わせて、その前後で段階的に以下 a)～g) の準備をしておくこと。（毎週 30 分）
- a) Choose a recent article on tourism.
日本の観光業における過去 1 年以内のニュースの中で、クラスに紹介したいものを選ぶ。
- b) Summarize and analyze the impacts the news may have on the tourism industry. Write a draft by 2 weeks prior to your presentation day.
そのニュースの要約と、それが日本の観光業に及ぼす影響を分析する。発表の 2 週間前までにドラフトを仕上げる。
- c) Make a vocabulary list.
専門用語の単語リストを作る。
- d) Make presentation slides.
発表に使うスライドを作る。
- e) Look at the comments from the instructor carefully and edit your draft.
教員のチェック後、戻されたドラフトをさらに推敲して書き直す。
- f) Complete a reflection sheet on your presentation.
発表が終わったら、振り返りシートを作成する。
- g) Submit your final report.
発表後の原稿をさらに見直して、レポートを完成させる。

■Textbook／教科書

"English for Tourism：Basic" (Sanshusha) will be used.

「English for Tourism：Basic ベーシック観光英語」観光英検センター編（三修社）を使用する。

■Method of Evaluation／評価方法

Weekly Assignments／毎週の課題：40% Vocabulary test／単語テスト：10% Presentation／発表：20%
Report／レポート：20% End-term test／期末テスト：10%

■Prerequisite／事前履修科目等

Nothing in particular 特になし

■Additional Information／留意点

- Every student must have the textbook, "English for Tourism Basic" (Sanshusha), when attending class.
すべての学生がテキスト「ベーシック観光英語」（三修社）を持っていることが履修条件である。

- In I, Japanese will be used when needed.

I では必要に応じて日本語も使用する。

- You are required to finish certain tasks (exercises, research and presentation preparation, reports, etc.) before attending class.

毎週課題（エクササイズ、リサーチ、発表準備、レポートなど）が出されるので、それを済ませて授業に臨むことが必須。

科目名：Travel and Tourism Workplace English II

Course Title：Travel and Tourism Workplace English II

教員／Instructor：油木 美由紀 (Yukita, Miyuki)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	yukita@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

This course aims to acquire and develop English communication skills required in a variety of jobs in tourism-related industries. Students will learn and expand their vocabularies and phrases used in such job situations. The course will explore the current situation and issues of tourism industries in a certain World Heritage site and its local area. The course can help students acquire Sekai Isan Kentei grade 3 and 2.

この科目は、観光関連産業のさまざまな業種における英語コミュニケーション能力の習得と伸長を図ることを目的とする。観光関連の仕事に従事する中で使われる語彙やフレーズの習得・伸長を図ると同時に、世界遺産とその地域における観光業の現状と課題について探る。II は世界遺産検定3級及び2級取得にも役立つ。

■Course Description／講義の概要

Using a textbook designed to learn about World Heritage sites in II, classes consist of lectures, role-plays, conversation exercises, and presentations. Worksheets will be assigned every week to ensure the acquisition of vocabularies and basic phrases used to introduce a variety of World Heritage sites. Furthermore, through presentations, students will learn some basic skills to introduce a World Heritage site and analyze it from a certain aspect.

世界遺産を紹介するテキストを使う。授業は講義、ロールプレー、会話練習、プレゼンテーションなどにより運営していく。さまざまな種類の世界遺産を紹介するために必要となる基本的なボキャブラリーとフレーズの確実な習得を図るために、毎週課題が出される。また、プレゼンテーションを通して、世界遺産の基本情報（評価基準、地理的位置、歴史など）を紹介すると同時に、一つのトピックに焦点を当てて分析するスキルを学ぶ。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

1. Do the exercises (e.g. dictation, reading comprehension, and writing) in the textbook before class (30 minutes every week).
テキストの指定の範囲を学習しておくこと。学習は、ディクテーション、読解、英作文など。(毎週 30 分)
2. Prepare for vocabulary tests and mock presentations (15 minutes every week)
毎週授業に沿って課題 (単語テストや発表の模擬練習) が出されるので、準備しておくこと。(毎週 15 分)
3. Search and read recent news related to World Heritage sites. (15 minutes every week).
世界遺産に関する最近のニュースに目を向け、発表に向けてリサーチをしておくこと (毎週 15 分)
4. Prepare for a presentation following the steps a)~g) below (30 minutes every week).
プレゼンテーションに向けて、各自発表日に合わせて、その前後で段階的に以下の準備 a)~g) をしておくこと。(毎週 30 分)
 - a) Choose a World Heritage site.
クラスで紹介したい世界遺産をひとつ選ぶ。
 - b) Introduce the basic information of the site and do further research on one certain aspect that interests you. Write a draft by 2 weeks prior to your presentation day.
その遺産の基本情報を紹介し、一つのトピックに絞ってさらにリサーチをする。発表の2週間前までにドラフトを仕上げる。
 - c) Make a vocabulary list.
専門用語の単語リストを作る。
 - d) Make presentation slides.
発表に使うスライドを作る。
 - e) Look at the comments from the instructor carefully and edit your draft.
教員のチェック後、戻されたドラフトをさらに推敲して書き直す。
 - f) Complete a reflection sheet on your presentation.
発表が終わったら、振り返りシートを作成する。
 - g) Submit your final report.
発表後の原稿をさらに見直して、レポートを完成させる。

■Textbook／教科書

“CLIL World Heritage” (Sanshusha) will be used.
「CLIL World Heritage」 Sasajima, Nakaya, Yukita & Kosugi 著 (三修社) を使用する。

【Hospitality Management／ホスピタリティ・マネジメント】

語 E

学 P

選 c
択 o
必 r
須 e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホスピタリティ・
マネジメント

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

■ Method of Evaluation／評価方法

Weekly Assignments／毎週の課題：40%

Presentation／発表：20%

Report／レポート：20%

Vocabulary test：10%

End-term test／期末テスト：10%

■ Prerequisite／事前履修科目等

Those who will register II of this course are expected to have acquired the credits for I. However, those who have EIKEN grade 2 or equivalent English proficiency may take only II of this course.

当科目 II の履修は I の習得を前提とするが、英検 2 級程度以上の英語力がある学生については II からの履修でも受け入れたい。

■ Additional Information／留意点

- Every student must have the textbook, "CLIL World Heritage" (Sanshusha), when attending class.

すべての学生がテキスト「CLIL World Heritage」（三修社）を持っていることが履修条件である。

- In II, the course will be conducted only in English.

当科目 II は英語だけで授業が行われる。

- You are required to finish certain tasks (exercises, research and presentation preparation, reports, etc.) before attending class.

毎週課題（エクササイズ、リサーチ、発表準備、レポートなど）が出されるので、それを済ませて授業に臨むことが必須。

科目名：癒しの文化論

Course Title : Healing and Culture

教員／Instructor：韓 準祐 (Han, Junwoo)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	206	E-mail	han@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

After taking this course, student should be able to:

1. Be familiar with concepts of healing and culture.
2. Explain the origin of term such as hospitality and settai.
3. Achieve an understanding of healing and culture, especially actors and practices in tourism.

この科目を通じて、

1. 癒しと文化の概念を理解する。
2. ホスピタリティや接待の語源を説明できる。
3. 観光の場において、癒しの文化にかかわる主体とその実践を理解する。

■Course Description／講義の概要

This course is designed to introduce a concept of healing and culture in the context of tourism. In this course, students will study about 'healing' in contemporary Japanese society and a space-time of healing with various topics and cases such as religion, pilgrimage, resorts, hot springs and participant of Honolulu marathon.

本科目では、「癒しの文化」という概念を観光の文脈から紹介する。受講生は、現代日本社会における「癒し」に加え、宗教、聖地巡礼、リゾート、温泉観光地、ハワイ・ホノルルマラソン参加者の実践を含む多様なトピックおよび事例を通して、癒しの時空間について学習する。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Preparation and review are required to understand this course. Read related books and articles before and after class. (preparation : 2 hours per week, review : 1 hour per week)

・講義テーマに対する事前学習、講義後の学習を行うこと。授業前と授業後に関連する文献を読むこと。(予習：2時間／週、復習：1時間／週を要する)

■Textbook／教科書

Handouts 授業で配布する資料を利用する。

■Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude／学修態度：10%

Assignment／課題：40%

Mid-term Test／中間試験：20%

Final Exam／期末試験：30%

■Prerequisite／事前履修科目等

None なし

■Additional Information／留意点

・ Students who would like to register for this course must attend the class in Week 1.

履修希望者は第1週の授業に必ず出席すること。

・ Students should behave appropriately in class and must not break any rule that is announced in Week 1.

授業中は適切な振る舞いや行動をすること。また、第1週に提示される履修上のルールを厳守すること。

語 E

学 P

選 C
択 O
必 r
須 e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：観光 I

Course Title : Tourism I

教員／Instructor：李 崗 (Li, Gang)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	213	E-mail	li@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

Course objectives are:

- To understand the basic academic discussions of tourism studies and the basic perspectives on tourism phenomenon
- To understand the meanings of tourism studies through the current topics of tourism
- To learn the current status and trends of tourism in Japan
 - ・観光学の基礎を学び、観光について考えるための基本的な視座を身につけることができる。
 - ・具体的事例をととして、観光学を学ぶ意味を理解することができる。
 - ・日本の観光の現状を知ることができる。

■ Course Description／講義の概要

This course provides the basic academic discussions of tourism studies using the basic textbook, 『新現代観光総論』 ch1~ch5. The course will introduce today's topics of tourism in the world to understand the contents of the textbook experimentally. In addition, students will study thoroughly their local area, Fujisawa City, and inbound tourism in Japan to which Japanese tourism policy gives the priority. Through both individual and group activities, students can not only enhance their knowledge from the textbook but also use the knowledge in order to examine the current tourism phenomenon.

本講義は、観光学の入門的教科書（『新現代観光総論』第1章～第5章）を用いて、観光について考える際に必要な視座を学ぶ。教科書の内容を具体的に理解するために、世界で生じている観光現象を紹介する。また、多摩大学グローバルスタディーズ学部の在る藤沢市や、現在日本の観光政策において重要となっているインバウンド観光についても重点的に取り上げる。教科書の内容を覚えるだけでなく、学んだ知識を用いて具体的事象を捉えられるよう、個人やグループでのアクティビティを取り入れる。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- Preparation and review of the textbook (about 1 hour per week)
- Preparation for the presentation (5~10 hours for one presentation)
- Preparation for the midterm and final tests (1-2 hours per week)
- Review related literature. (1 hour per week)
 - ・教科書の予習・復習（1時間程度／週）
 - ・プレゼンテーションの準備（プレゼンテーションごとに5-10時間）
 - ・中間・期末試験の準備（1-2時間／週）
 - ・関連文献を読む（1時間程度／週）

■ Textbook／教科書

前田勇編著『新現代観光総論—第3版』学文社、2019年

■ Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude／学修態度：10%

Project and Presentation／プロジェクト・発表：45%

Midterm and End-of-Term Examinations／中間・期末試験：45%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし。None.

■ Additional Information／留意点

- ・ The student who missed 7 lessons of the course can not take the final examination.
- ・ 授業を7コマ以上欠席した学生は、期末試験の受験資格を失うものとする。

科目名：観光Ⅱ

Course Title : Tourism II

教員 / Instructor : 韓 準祐 (Han Junwoo)、李 崗 (Li, Gang)

Division / 分野	Elective / 選択 (HM)	Semester / 開講学期	Spring・Fall
Grade / 配当年次	2年以上	Credits / 単位	4単位
Office / 研究室	206、213	E-mail	han@tama.ac.jp、li@tama.ac.jp
Work Experiences / 実務経験			

■ Course Goals / 到達目標

1. Students will explore the basic academic discussions of tourism studies.
 2. Students will be able to evaluate international tourism practices critically.
- この科目を通じて、
1. 履修者は観光学の基礎的な学術論議を知る。
 2. 履修者は、観光実践について学術的な視座で分析することができるようになる。

■ Course Description / 講義の概要

Tourism is a social, cultural and economic phenomenon, and the tourism industry is expected to be a leading industry in the world in the 21st century. In this course, students will study the basic understandings and theories of tourism studies. Precisely, this course will cover a wide range of themes such as economy, information, environment, local community, transportation and tourism business.

観光は、社会的、文化的、経済的な現象であり、「21世紀のリーディング産業」としても大きな期待が寄せられている。この科目では、履修者は観光学の基礎や主要な理論を学ぶ。具体的には、経済、情報、環境、地域社会、交通、観光ビジネス等、幅広い項目についての知識を習得する。

■ Preparation study time Specific content / 準備学習時間・具体的内容

Preparation and review of textbook (about 1 hour per week)

- ・教科書の予習・復習 (1時間程度/週)

Preparation for presentation (10-20 hours)

- ・プレゼンテーションの準備 (10-20時間)

Preparation for midterm and final tests (1-2 hours per week)

- ・中間・期末試験の準備 (1-2時間/週)

Reading related books and articles (about 1 hour per week)

- ・関連文献を読む (1時間程度/週)

■ Textbook / 教科書

前田勇編著『新現代観光総論 第3版』学文社、2019年

■ Method of Evaluation / 評価方法

Class Participation / 平常点 : 10%

In-class Activities / 授業中の課題 : 40%

Mid-term Test / 中間試験 : 20%

Final Exam / 期末試験 : 30%

■ Prerequisite / 事前履修科目等

None なし

■ Additional Information / 留意点

- ・ Students who would like to register for this course must attend the class in Week 1.
- 履修希望者は第1週の授業に必ず出席すること。
- ・ Students should behave appropriately in class and must not break any rule that is announced in Week 1.
- 授業中は適切な振る舞いや行動をすること。また、第1週に提示される履修上のルールを厳守すること。
- ・ Basically, this course will be conducted in Japanese, but Students can conduct presentation in English.
- この授業は基本的に日本語で行うが、受講生は英語でプレゼンテーションを行うこともできる。

科目名：キリスト教の世界観

Course Title : Christian Views on the World

教員／Instructor：小松 加代子 (Komatsu, Kayoko)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	211	E-mail	komatsu@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

- To develop the knowledge and understand key Christian beliefs
- To understand different ways in which Christian observe and consider the significance of special days
- To know and understand the beliefs, organization, sources of authority, worship and practices of different denominations
- To consider the importance of the Bible
- ・キリスト教の主要な信念を学び、理解する
- ・キリスト教の特別な祝祭日の意義を理解する
- ・キリスト教や様々な宗派の歴史的な展開を学ぶ
- ・聖書の重要性を考える

■ Course Description／講義の概要

This is an introductory course for understanding core beliefs of Christianity. Stories from the Bible, core beliefs, special days, worships will be introduced. Students are also encouraged to investigate various groups and many divisions based on Christianity. It is important to realize that Christianity includes a range of people, from nominal members to devout followers who make their beliefs the focus of their lives. Therefore, it is also important to try to avoid stereotypes and generalizations.

キリスト教の基本的な思想とその世界観を学ぶ。聖書の物語、中心的な信念、特別な記念日、礼拝の方法を学んだあと、キリスト教のさまざまな歴史的展開、および思想的展開に目を向け、カトリック、プロテスタント、新しいキリスト教グループなど、キリスト教の中の多様な世界観に触れることを目指す。キリスト教の信者個人は、キリスト教に名目上所属しているだけの人から、生活の中心にその信念がある人まで、さまざまな人がいることに注意払うことが重要である。単純なステレオタイプ化や一般化を避けるためにも、十分な知識を養いたい。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Since quizzes will be conducted every time, prepare the designated range and read the textbook in advance each time. (It takes 3 hours)

毎回小テストを実施するので、指定された範囲を準備しておくこと、また毎回教科書を事前に読んでおくこと。(3時間を要する)

■ Textbook／教科書

Kolka, Diane (2011). Christianity : Religions to Inspire. Hodder Education.
必ず授業に持ってくること。Be sure to bring it to class.

■ Method of Evaluation／評価方法

Class Participation／平常点：10%

Assignment／小テスト：30%

Mid-term test／中間試験：30%

End-term test／学期末試験：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None. 特になし

■ Additional Information／留意点

Classes will be conducted in Japanese.
授業は日本語で行う。

科目名：言語心理学

Course Title : Psycholinguistics

教員／Instructor：テレンス ジョイス (Joyce, Terence)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	209	E-mail	terry@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

Develop an appreciation for the amazing complexity and power of human language. Understand the mental processes involved in language acquisition, by studying phonological, syntactic and semantic development and reflecting on the critical period hypothesis. Understand the mental processes involved in language usage, by studying language comprehension and production. Understand models of the mental lexicon, which seek to account for the organization of words within the mental dictionary. Understand the relationship between language and thinking, by studying issues in linguistic relativism. Of the academic objectives of SGS's diploma policy, this course is particularly related to the objectives of (1) knowledge and understanding and (2) critical thinking and judgment.

言語の複雑さと効能を知る。音韻、意味、統語の発達過程を学習することにより、言語獲得には臨界期があるか否かを検討し、言語獲得に関わる心的過程を理解する。言語理解（聴解・読書の処理）と言語産出の過程を学習し、言語使用に関わる心的過程を理解する。単語が頭の中の辞書（心的語彙）でどのように整理されているかという問題を説明しようとする心的語彙のモデルを理解する。使用している言語が、自分の考え方に影響を及ぼしているか否かを検討し、言語と思考の関係を理解する。本学のディプロマポリシーに関しては、このコースは、特に（1）知識と理解及び（2）思考と判断に関連している。

■ Course Description／講義の概要

Language is unquestionably a defining feature of the human species. Language is the incredibly powerful symbol system that makes it possible for us to think and, more importantly, to communicate our ideas to other people. Psycholinguistics is concerned with comprehending the amazing complexity and power of human language, by understanding the mental processes involved in acquiring and using language. This psycholinguistics course draws on research findings, such as insights from priming experimentation, connectionism and neural imaging techniques.

言語は、疑う余地なく人間の特徴である。言語は、思考とコミュニケーションを支える、きわめて有効な記号システムである。心理言語学は、言語の獲得と使用に伴う心的な過程を検討することによって、言語の複雑さと効能とを理解しようとする学問である。この「言語心理学」コースでは、プライミング方法を使用する実験、コネクショニスト・モデル、神経科学などからの最新の研究成果を紹介する。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ Weekly preparation : Depending on student English proficiency, recommend reading lecture materials (lecture text + presentation slides) in advance (approx. 1 hour).
- ・ 毎週の準備：個人の英語能力レベルに従って、予め講義の教材（講義のテキストとパワーポイントスライドの PDF ファイル）を読んだ方が望ましい（約 1 時間を要する）。
- ・ Weekly review : Read the lecture materials, complete weekly assignment (WA) quizzes on Sakai, and submit answers to practice problems (Lectures 4~7, 10~12, and 13) (approx. 3 hours).
- ・ 毎週の復習：講義の教材（講義のテキストとパワーポイントスライドの PDF ファイル）を読んで、サカイ上の「週ごとの課題」をして、練習問題（講義 4~7、10~12 及び 13）の答えを提出する（約 3 時間を要する）。
- ・ Key concept review : Most lectures conclude with a list of key concepts that student will be expected to explain at the start of following class (approx. 1 hour).
- ・ キーコンセプトレビュー：ほとんどの講義にはキーコンセプトのリストがあるので、次回の授業の始まりには、そのキーコンセプトを説明する（約 1 時間を要する）。
- ・ Report assignments : After Lecture 6, students should steadily work on drafting and revising their report assignment 1 to submit by the submission deadline (Sunday of week 10) (approx. 10 hours spread over 3 weeks). After Lecture 12, students should steadily work on drafting and revising their report assignment 2 to submit by the submission deadline (Sunday of week 14) (approx. 10 hours spread over 3 weeks).
- ・ レポート課題：6 週目の講義後に、提出締切日（第 10 週の日曜日）に間に合うように、レポート課題 1 を下書きして、修正して終える（3 週間に渡って約 10 時間を要する）。11 週目の講義後に、提出締切日（第 14 週の日曜日）に間に合うように、レポート課題 2 を下書きして、修正して終える（3 週間に渡って約 10 時間を要する）。
- ・ Examination preparation : Students are expected to revise all course materials in preparation for the end of semester examination (approx. 5 hours).
- ・ 期末試験の準備：講義教材の全部を復習する（約 5 時間を要する）。

【Hospitality Management／ホスピタリティ・マネジメント】

■Textbook／教科書

See Course readings 指定図書参照（Web シラバス参照）

■Method of Evaluation／評価方法

Active participation (key concept reviews, discussion)／主体的な授業参加：10%

Weekly assignments (read materials and do weekly assignment on Sakai)／教材を読んだ上で週ごとの課題：20%

Reports (write two reports that appropriately answer assigned questions)／レポート：30%

Final examination (multiple-choice format examination of course material)／学期末試験：40%

■Prerequisite／事前履修科目等

Students are recommended to Introduction to Psychology Core Course prior to taking this course.

Moreover, because the course is conducted in English, students with TOEIC scores below 350 may find it challenging.「心理学入門」というコア・コースを履修済みであることを推奨する。

さらに、この講義は英語で行うので、TOEIC が 350 点以下の学生にとっては、本講義は難しいことが予想されるので留意すること。

■Additional Information／留意点

No addition information なし

語 E

学 P

選択
必修
必須

上級
英語

留学
科目

共通
一般

外国
語

日本
語科目

ホスピタリティ・
マネジメント

国際
教養

ゼミ
ナール

教

職

科目名：質的調査方法論

Course Title : Qualitative Research Methods

教員／Instructor：堂下 恵 (Doshita, Megumi)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	207	E-mail	doshita@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

1. Students will understand research methods such as questionnaire and interview.
 2. Students will be able to plan and conduct their own research projects by using different research methods.
 3. Students will be able to analyse qualitative data.
1. 履修学生はアンケートやインタビューといった調査手法が理解できる。
 2. 履修学生は、異なる調査手法を活用して、自分自身の調査を計画し実施することができるようになる。
 3. 履修学生は、質的データを分析することができるようになる。

■ Course Description／講義の概要

In this course, major research methods, such as questionnaire and interview, will be explained. Qualitative research methods are important and effective when we would like to understand complicated human activities which cannot be expressed statistically. In this course, students are asked to attend a series of seminars to obtain basic knowledge of research methods, and to conduct their own questionnaire survey and interview.

この授業では、アンケートやインタビューなどの主要な調査手法について、幅広く学ぶ。質的調査手法は人々の多様な言動を理解するのに効果的であり重要である。この科目では、学生は講義を聞いて調査手法を理解し、その上で、習得した調査手法を用いて実際にアンケートやインタビューをおこなう。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ アンケート調査準備のためのドラフトの作成 (2種類、各ドラフト3-6時間) Drafts of questionnaires (two types, 3-6 hours each)
- ・ インタビュー調査準備のためのドラフト作成 (3-4種類、各ドラフト2-5時間) Drafts of interview schedules (3-4 types, 2-5 hours each)
- ・ アンケート調査練習後のデータまとめ (5-8時間) Data of questionnaire (5-8 hours)
- ・ インタビュー調査練習後のデータまとめ (10-15時間) Data of interviews (10-15 hours)
- ・ インタビュー調査練習後のデータ分析 (5-8時間) Analysis of interviews (5-8 hours)
- ・ レポートの作成 (各レポート8-10時間)

■ Textbook／教科書

None なし

■ Method of Evaluation／評価方法

Class participation／平常点：10%

Assignments for questionnaire (questionnaire and essay)／アンケートに関する課題・レポート：40%

Assignments for interview (interview plan, transcripts and essay)／インタビューに関する課題・レポート：40%

Assignments for focus group (planning, conducting and essay)／フォーカスグループに関する課題：10%

■ Prerequisite／事前履修科目等

なし None

■ Additional Information／留意点

- ・ Students who would like to register for this course must attend the first class in Week 1.
- 履修希望者は第1週第1回目の授業に必ず出席すること。
- ・ Students should behave appropriately in class and must not break any rule that is announced in Week 1.
- 授業中は適切な振る舞いや行動をすること。また、第1週に提示される履修上のルールを厳守すること。
- ・ The course is conducted in Japanese (80%) and English (20%). All students should conduct a questionnaire survey in English.
- この科目は日本語 (80%) と英語 (20%) で実施する。アンケートの課題は全員英語で実施する。

科目名：地球社会とアジア I

Course Title : Global Community and Asia I

教員／Instructor：横田 浩一 (Yokota, Koichi)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	yokota-k@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

- (1) To be able to understand the diversity and complexity of Chinese society and culture from the perspective of cultural anthropology.
- (2) To be able to have a general understanding of the social structure and current state of Chinese society.
- (1) 中国の社会と文化の多様性、複雑さを文化人類学の観点から理解できるようになること。
- (2) 中国社会の成り立ちと現状について大まかに把握できるようになることを目標とする。

■Course Description／講義の概要

In this course, I will focus especially on the society and culture of modern China. The course will start with the basic knowledge to be able to think about Chinese society and culture based on facts rather than fragmented knowledge and impressions.

Students will be recommended to take the examination for the “中国百科検定”.

Student interaction and participation are a part of this course. This will help to develop skills for discussion and presentation.

本科目では、特に現代中国の社会と文化に焦点を当てる。断片的な知識や印象ではなく、事実に基づいて中国の社会や文化について考えることができるように基本的な事柄から学習する。

受講者には「中国百科検定」の受験を推奨する。

本科目はグループワークやディスカッションなど、受講生による授業参加を行いながら展開する。具体的な事例や自分の身近な問題・経験を通して現代社会の事象を捉えることで、自分の言葉で自分の考えを表現する力を高めることができる。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Students are expected to have a thorough understanding of the contents of the previous lecture before class. At least three hours of study is required to review the lecture content and prepare for the next lecture.

授業前には、前回の講義内容について十分に理解をしておくこと。講義内容の復習と次回講義の準備には、3時間以上の学習が必要。

■Textbook／教科書

No specific textbook. 特に指定しない。

■Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude／学修態度：10%

Presentation／発表：30%

Quiz／小テスト：30%

Final report／期末レポート：30%

■Prerequisite／事前履修科目等

None なし

■Additional Information／留意点

None なし

科目名：地球社会とアジア II

Course Title : Global Community and Asia II

教員／Instructor：韓 準祐 (Han, Junwoo)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	206	E-mail	han@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

After taking this course, student should be able to:

1. Figure out socio-cultural characteristics of Korea.
2. Explore the academic discussions of tourism studies.
3. Explain similarity and difference of tourism phenomenon in Korean and Japan.

この科目を通じて、

1. 韓国の社会・文化的特徴を知る。
2. 観光研究の基礎的理論を理解し応用できる。
3. 日本と韓国における観光現象を比較しながら、共通点と相違点を説明できる。

■Course Description／講義の概要

This course is designed to introduce socio-cultural characteristics of Korea and tourism phenomenon in Korea and Japan. Precisely, this course will cover themes and topics such as tourism and culture policy, tourism bound for Korean peninsula, image and representation, dark tourism, Korean tourists' interest of gourmet in Japan, Hanryu in Japan and Korean town in Japan.

本科目では、韓国の社会・文化に関する基礎的知識と韓国と日本における観光現象を紹介する。具体的には、韓国の観光および文化政策、「朝鮮／韓国」への観光、イメージと表象、ダークツーリズム、日本を訪れる韓国人観光客の食への関心、韓流、コリアンタウン等、多様なテーマ及びトピックを取りあげる。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Preparation and review are required to understand this course. Read related books and articles before and after class. (preparation : 2 hours per week, review : 1 hour per week)

・講義テーマに対する事前学習、講義後の学習を行うこと。授業前と授業後に関連する文献を読むこと。(予習：2時間／週、復習：1時間／週を要する)

■Textbook／教科書

Handouts 授業で配布する資料を利用する。

■Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude／学修態度：10%

Assignment／課題：40%

Mid-term Test/ 中間試験：20%

Final Exam／期末試験：30%

■Prerequisite／事前履修科目等

None なし

■Additional Information／留意点

・ Students who would like to register for this course must attend the class in Week 1.

履修希望者は第1週の授業に必ず出席すること。

・ Students should behave appropriately in class and must not break any rule that is announced in Week 1.

授業中は適切な振る舞いや行動をすること。また、第1週に提示される履修上のルールを厳守すること。

語 E

学 P

選 C
択 O
必 R
須 E

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：地球社会とアメリカ

Course Title : Global Community and America

教員／Instructor：三吉 美加（Miyoshi, Mika）

Division／分野	Elective／選択（HM）	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	miyoshi@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

1. To be familiar with the history of the Americas
 2. To understand the cultural and historical background of the dynamic migration in the Americas
 3. To learn about Latino communities in the USA and the Caribbean.
 4. To improve communication skills
1. アメリカ大陸の歴史を理解する。
 2. アメリカ大陸における移住とその歴史的、文化的背景を理解する。
 3. 米国やカリブ海におけるラティーノのコミュニティについて学ぶ。
 4. コミュニケーション力を向上する。

■ Course Description／講義の概要

The US society can be regarded as a miniature model for the global community in the 21st century, exerting its immense influence over other societies around the globe. In exploring the many contradictions of this society, we will focus on the coexistence of Latino and Caribbean immigrants from different cultural backgrounds (Mexican, Puerto Rican, Salvadoran, Cuban, Dominican, etc.), fully considering their conflicts. Films and literature will be central in our investigations.

米国社会は21世紀の地球社会の縮図であり、しかも地球上の多くの国々に影響を与えている。この講義では、アメリカ社会の様々な矛盾を検証し、異なる文化背景を持つラティーノと呼ばれる人たち（メキシコ系、プエルトリコ系、サルバドル系、キューバ系、ドミニカ系など）が葛藤しながらも共生へと向かう様をとらえる。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Read the textbook and handouts provided before coming to the class. Also, check all the visuals and images on the internet as requested in class. (3 hours)

・教科書および配布するプリントを事前に読んでおくこと。また、指定されたインターネット上の画像および動画を確認しておくこと。（3時間を要する）

■ Textbook／教科書

三吉美加『米国のラティーノ』大学教育出版、2014年

■ Method of Evaluation／評価方法

Quizzes／小テストを頻繁に行います：70%

Essay Writing／課外学習後のレポート：10%

Class Participation／積極的発言、コメントペーパー、グループワーク内でのリーダーシップなど：10%

Presentation／発表：10%

■ Prerequisite／事前履修科目等

N/A 特になし

■ Additional Information／留意点

Most of the class materials will be written in English. This class involves group works and a fieldwork, and students are expected to improve their communication skills throughout them.

授業で使用するレジュメや資料はほとんど英語を使用する。グループワークを取り入れ、わかりやすく書く、話すなどのコミュニケーション技術も高めていきます。課外学習が1回あります。

科目名：地球社会とオーストラリア マックフェイル コンラッド (McPhail, Conrad)

Course Title : Global Community and Australia

教員／Instructor：マックフェイル コンラッド (McPhail, Conrad)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	conrad@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

- 1) To learn about the diversity of cultures and experiences of the people of Oceania.
 - 2) To gain an understanding of the history, cultures, societies and people of Oceania with a particular focus on Australia.
 - 3) To appreciate the historical and contemporary experiences of Aboriginal peoples.
 - 4) To engage with modern day issues of Oceania.
- 1) オセアニアの人々の文化と経験の多様性について学ぶこと。
 - 2) オーストラリアを中心に、オセアニアの歴史、文化、社会、人々を理解する。
 - 3) アボリジニーの人々の歴史と現代の体験を評価する。
 - 4) オセアニアの現代の問題に取り組むこと。

■Course Description／講義の概要

This course is an introduction to the study of Oceania, its people, cultures, history, economy and institutions. An overview of the region's history, development and contemporary issues is explored, with particular focus on Australia, in terms of its history, diversity of cultures, economy, government, regional role and social issues. As the largest political and economic entity in the greater Oceanic region, this course examines Australia's significance, both in historical and contemporary contexts. In order to gain a deeper appreciation of Oceania and its role within the broader context, students will explore the key issues and challenges facing this region.

このコースはオセアニアの人々、文化、歴史、経済、制度などの研究入門です。オーストラリア地域の歴史、発展および現代の問題を探究しつつ、オーストラリア特有の文化多様性、経済、政治、オセアニア地域における役割および社会問題について取り扱います。このコースでは、オセアニア地域で最大の政治的および経済的実体として、歴史的および現代的な両方の意味合いでオーストラリアの重要性を検証します。オセアニアとより広い視野でのオセアニアの役割を深く理解するために、学生はこの地域が直面している主要な問題と課題を勉強します。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・Preparing for lessons (1 hour)
- ・Recommended readings (1 hour)
- ・Assessment preparation (1 hour)
- ・授業の準備 (1 時間)
- ・推奨読書 (1 時間)
- ・アセスメントの準備 (1 時間)

■Textbook／教科書

None なし

■Method of Evaluation／評価方法

Attendance／授業参加：10% Active Learning／アクティブ・ラーニング：20% Speech／スピーチ：30%

Presentation #1／プレゼンテーション #1：20% Presentation #2／プレゼンテーション #2：20%

■Prerequisite／事前履修科目等

N/A

■Additional Information／留意点

- ・ This course welcomes students from any field of study, on condition of meeting the minimum English language proficiency requirements.
- ・ English is the main language of instruction. This course is recommended for students with at least an upper intermediate proficiency in English.
- ・ This course would be of value to students wishing to gain an overview of Oceania and a deeper understanding of Australia's role in the region.
- ・ このコースは、最低限の英語能力の要件を満たせば、両コースおよび教職課程の学生の受講が可能です。
- ・ 英語が主な指導言語です。このコースは、少なくとも中級以上の英語能力を持つ学生に勧めます。
- ・ このコースは、オセアニアの概要を学び、地域におけるオーストラリアの役割をより深く理解したい学生向きです。

科目名：地球社会とオーストラリア 竹峰 誠一郎 (Takemine, Seiichiro)

Course Title : Global Community and Australia

教員／Instructor：竹峰 誠一郎 (Takemine, Seiichiro)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	takemine@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

- ①オセアニア地域の歴史、文化、社会を総合的に理解することができる。
- ②オセアニアの地域のなかを掘り下げるだけではなく、「グローバル」な視点を持ち、地球社会におけるオセアニアが直面する現代の問題に気がつき、理解することができる。
- ③オセアニアと日本との歴史的かつ現代的なつながりに気がつき、理解することができる。

■ Course Description／講義の概要

- ①オセアニア地域の歴史、文化、社会を基礎から総合的に学ぶ。
 - ②オセアニアの地域のなかを掘り下げるだけではなく、「グローバル」な視点を持ち、地球社会におけるオセアニアが直面する現代の問題を探究していく。
 - ③オセアニアと日本との歴史的かつ現代的なつながりを探究していく。
- * 本授業はオーストラリアのみならず、オセアニア全般を扱う。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- 1) 口頭発表に向けた準備 (予習：平均週3時間程度)
 - ・グループで協力して、指定文献を読解し、まとめて、発表資料を用意し、発表の練習が必要です。各自1回です。
 - ・グループで調整し、授業のテーマにひきつけて、歌、踊り、ニュースなどの関連する話題をみつけて、発表資料を用意し、発表の練習が必要です。各自1回です。
- 2) 授業後の感想 (復習：平均週30分程度)
 - ・授業内容を復習し、授業の感想を T-Next に提出します。毎週1回です。
- 3) 学期末課題
 - ・授業内容を復習し、別途資料収集を行い、学期末課題に取り組みます。

■ Textbook／教科書

特定の教科書は使用しません。
授業に関連する資料は授業回ごとに T-Next を通じて配布します。

■ Method of Evaluation／評価方法

授業参加 (授業の感想、グループワーク、司会、質疑応答など) : 20%
口頭発表 (文献発表、地域紹介、話題提供) : 50%
学期末レポート : 30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■ Additional Information／留意点

- ・教員の話をつただ一方的に聞くだけの授業ではありません。授業時の発表や発言、授業後のリアクションペーパー、授業前の発表準備や予習など、学生の主体的な参加が強く求められる授業です。グループごとにわけて分担して進めます。司会進行も学生でおこないます。
- ・授業は Zoom 上でおこないます。
- ・正解をつただ覚える授業ではありません。必ずしも正解が一つではないこと、まだわからないこと、すぐには解決しないことを扱います。これらのことをあなたはとう向き合うのか、考えることが求められる授業です。

科目名：地球社会と日本

Course Title : Global Community and Japan

教員 / Instructor : 堂下 恵 (Doshita, Megumi)

Division / 分野	Elective / 選択 (HM)	Semester / 開講学期	Spring・Fall
Grade / 配当年次	2年以上	Credits / 単位	4単位
Office / 研究室	207	E-mail	doshita@tama.ac.jp
Work Experiences / 実務経験			

■ Course Goals / 到達目標

1. Students will study the basic understandings of globalisation
 2. Students can understand diverse forms of Japanese cultures spreading to the world
 3. Students will be able to evaluate the power of Japanese culture in the context of international politics, economy and society.
- 履修者はこの授業を通して、
1. グローバリゼーションの意義を学ぶ。
 2. 日本文化が現代社会においてどのように表象されているのか理解できる。
 3. 国際政治、経済、社会における日本文化の有するパワーを分析することができる。

■ Course Description / 講義の概要

In this course, students study the nature of globalisation and the power of Japanese culture. Specifically, the basic theories and understandings of globalisation will be offered, and several case studies concerning Japanese culture in the world are examined in depth. Through this course, students will have an opportunity to examine the way Japanese cultures are interpreted, shared, consumed and conserved in the world.

この科目では、グローバリゼーションの意義と日本の文化が持つ力について学ぶ。具体的には、グローバリゼーションについての理論や解釈について学び、その後、複数の日本の文化が世界に広がっている事例を深く学ぶ。この科目を通じて、履修者は国内外において日本の文化がどのような形で語られ、共有され、消費され、そして保護されているかを考える。

■ Preparation study time Specific content / 準備学習時間・具体的内容

- ・ 英語で記した講義ノートの翻訳あるいは内容の理解 (2 時間 / 週) Translation of lecture notes (2 hours a week)
- ・ プレゼンテーション課題の準備 (0.5 から 1 時間 / 週) Preparation for presentations (0.5-1 hour a week)
- ・ 中間・期末試験の準備 (0.5 から 1 時間 / 週) Preparation for examinations (0.5-1 hour a week)

■ Textbook / 教科書

なし None

■ Method of Evaluation / 評価方法

Class participation / 平常点 : 10%
 In-class activities / 授業中の課題 : 20%
 Presentations / プレゼンテーション : 30%
 Mid-term Examination / 中間試験 : 20%
 Final-examination / 学期末試験 : 20%

■ Prerequisite / 事前履修科目等

特に無し None

■ Additional Information / 留意点

- ・ Students who would like to register for this course must attend the class in Week 1.
- 履修希望者は第 1 週の授業に必ず出席すること。
- ・ Students should behave appropriately in class and must not break any rule that is announced in Week 1.
- 授業中は適切な振る舞いや行動をすること。また、第 1 週に提示される履修上のルールを厳守すること。
- ・ This course will be conducted in Japanese (70%) and English (30%).
- この授業は日本語 (70%) と英語 (30%) で実施する。

語 E

学 P

選 C
択 O
必 r
須 e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：地球社会とヨーロッパ I

Course Title : Global Community and Europe I

教員／Instructor：木村 真 (Kimura, Makoto)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	kimura-m@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

1. To be familiar with modern and contemporary history of Europe
 2. To understand historical background of the diversity of Europe
 3. To acquire knowledge of relations between the Global community and Europe
1. 近現代のヨーロッパの歴史を理解すること。
 2. ヨーロッパ地域の多様性を歴史的視点から理解すること。
 3. 地球社会とヨーロッパの諸関係についての知見を獲得、豊かにすること。

■ Course Description／講義の概要

Europe has played an important role in shaping the world in which we now live. In this course, we trace back the history of Europe and its relationship with the global community especially in the modern and contemporary era.

The class meets weekly for two consecutive periods; a lecture is followed by a seminar centred on in-class reading of materials and preparing for presentations. For a successful completion of the course, students are required to submit a weekly reaction paper, to give a ten-minute presentation, and to send a final report. Those who fail to attend the lecture or the seminar six times or more will be disqualified from sending the report.

ヨーロッパは、わたしたちが現在住んでいる世界を形作る上で重要な役割を果たしてきた。本コースでは、主に近現代のヨーロッパの歴史を振り返りつつ、ヨーロッパと地球社会の関係について学ぶ。

本コースは講義とセミナーによって進行する。講義に引き続き、文献講読と研究発表を中心としたセミナー形式の授業を行う。成績評価は、期末レポート課題提出の他、週毎のリアクション・ペーパーや、10分程度の研究発表によって行う。講義かセミナーを6回以上欠席した場合は、期末レポート課題の提出を認めない。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Before class, thoroughly review and understand the contents of the previous class. Review of previous class and preparation work for research presentation. (3 hours)

・授業前には前回の授業内容について十分復習し理解をしておくこと。前回授業の復習と研究発表の準備作業など（3時間）。

■ Textbook／教科書

特に指定しない。

■ Method of Evaluation／評価方法

Class Participation (Reaction Paper)／授業内活動（リアクション・ペーパー）：40%

Presentation／研究発表：30%

Final Report／期末レポート：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特に指定しない。

■ Additional Information／留意点

There is a possibility that lesson methods, lesson contents, and the distribution of evaluation methods may change depending on the situation of the learning and education environment.

・学修教育環境の状況に対応して、授業方法や授業内容、評価方法の配分に変更が生じる可能性もあります。

科目名：通訳概論

Course Title : Introduction to Interpretation

教員／Instructor：小松原 宏子 (Komatsubara, Hiroko)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	komatsubara@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

1. Introduction to interpretation.
 2. Develop the skills to speaking and listening
 3. Develop the skills to translate English accurately and effectively in natural Japanese.
1. 「通訳」の基本概念を理解する。
 2. 英語の聴き取り能力とスピーキング能力を向上させる。
 3. 通訳技術の養成。

■ Course Description／講義の概要

This course is designed to advance the students' English language skills, especially listening comprehension and translation, through learning and practicing the basic methods of interpreting. The main focus will be on developing listening comprehension and the skills to select the important information and take accurate and effective notes for interpreting. Through intensive practice in various verbal dialogues and voice training, the students will improve their listening skills and comprehension.

本講座は、通訳の基礎技能の学習と練習を通して学生たちの英語の語学力、特に聴解力と伝達能力の向上を目的に構成されています。さまざまな素材による聴き取り練習と発音練習によって、特に重要なヒアリングと英語の理解力の向上を目指します。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Remember the news articles and daily conversation models given in class by the next lesson. Voice recording will be required at the first of the lessons every week.

授業であつかわれるニュース英語 (NHK「高校生からはじめる現代英語」) を次週までに暗記してくる。毎回講義のはじまりに吹き込みをするので練習してくる (2 時間を要する)。授業であつかわれる日常会話のフレーズを次週までに覚えてくる。毎回口頭でのテストがある。また、期末テストでも出題される。(1.5～2 時間を要する)

■ Textbook／教科書

特になし

■ Method of Evaluation／評価方法

Participation in the class : attend class and take part in translation with the goal of the course in mind／授業参加：10%

Practice of interpretation／中間テストおよび毎週の授業態度と課題実践：60%

Final Examination／期末テスト：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■ Additional Information／留意点

- This course will be mainly conducted in Japanese.
 - ・この授業は主として日本語で行うが、英検 3 級以上の英語力が望ましい。
 - No tablets linked the Internet will be allowed.
 - ・授業中はインターネットに繋がっているすべての端末の使用を禁止します。
- 使用の場合は単位をさしあげられません。

語 E

学 P

選 C
択 O
必 r
須 e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：認知心理学

Course Title : Cognitive Psychology

教員／Instructor：テレンス ジョイス (Joyce, Terence)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	209	E-mail	terry@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

Highlight the integrated nature of human cognition. Understanding basic questions in the area of knowledge acquisition, by studying key elements, such as the processes of perception and attention. Understanding basic questions in the area of knowledge retention, by studying the processes of memory and the role of language. Understanding basic questions in the area of knowledge application, by studying the utilization of knowledge in problem-solving and creativity, and decision-making and reasoning.

Of the academic objectives of SGS's diploma policy, this course is particularly related to the objectives of (1) knowledge and understanding and (2) critical thinking and judgment.

人間の認知の統合性を強調する。注意と知覚の過程などの重要な構成要素を学習し、情報獲得に関する基礎問題を理解する。記憶の過程と言語の役割などの重要な構成要素を学習し、情報保持に関する基礎問題を理解する。問題決定、創造、思考決定と推論などの重要な構成要素を学習し、情報応用に関する基礎問題を理解する。

本学のディプロマポリシーに関しては、このコースは、特に (1) 知識と理解及び (2) 思考と判断に関連している。

■ Course Description／講義の概要

Cognitive psychology is all about trying to understand the processes that enable us to know about ourselves and the world around us. The principle components of human cognition include perception, encoding, remembering, comprehension, thinking, reasoning, problem-solving, and creativity. This cognitive psychology course reflects the highly interdisciplinary nature of cognitive science, drawing on experimental psychology, computer science, and neuroscience.

認知心理学は、人間が自分と世界に関する情報を得る過程を理解しようとする学問である。人間の認知の構成要素は、知覚、符号化、記憶、理解、思考、推論、問題解決と創造などである。この「認知心理学」コースでは、実験心理学、コンピューター科学、認知神経科学などからの洞察を紹介しながら、認知科学の学際的な特徴を反映させる。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

・ Weekly preparation : Depending on student English proficiency, recommend reading lecture materials (lecture text + presentation slides) in advance (approx. 1 hour).

・ 毎週の準備：個人の英語能力レベルに従って、予め講義の教材（講義のテキストとパワーポイントスライドの PDF ファイル）を読んだ方が望ましい（約 1 時間を要する）。

・ Weekly review : Read the lecture materials and complete weekly assignment (WA) quizzes on Sakai (approx. 3 hours).

・ 毎週の復習：講義の教材（講義のテキストとパワーポイントスライドの PDF ファイル）を読んで、サカイ上の「週ごとの課題」をする（約 3 時間を要する）。

・ Key concept review : Most lectures conclude with a list of key concepts that student will be expected to explain at the start of following class (approx. 1 hour).

・ キーコンセプトレビュー：ほとんどの講義にはキーコンセプトのリストがあるので、次回の授業の始まりには、そのキーコンセプトを説明する（約 1 時間を要する）。

・ Report assignments : After Lecture 6, students should steadily work on drafting and revising their report assignment 1 to submit by the submission deadline (Sunday of week 10) (approx. 10 hours spread over 3 weeks). After Lecture 11, students should steadily work on drafting and revising their report assignment 2 to submit by the submission deadline (Sunday of week 14) (approx. 10 hours spread over 3 weeks).

・ レポート課題：6 週目の講義後に、提出締切日（第 10 週の日曜日）に間に合うように、レポート課題 1 を下書きして、修正して終える（3 週間に渡って約 10 時間を要する）。11 週目の講義後に、提出締切日（第 14 週の日曜日）に間に合うように、レポート課題 2 を下書きして、修正して終える（3 週間に渡って約 10 時間を要する）。

・ Examination preparation : Students are expected to revise all course materials in preparation for the end of semester examination (approx. 5 hours).

・ 期末試験の準備：講義教材の全部を復習する（約 5 時間を要する）。

■ Textbook／教科書

See Course readings 指定図書参照 (Web シラバス参照)

■ Method of Evaluation／評価方法

Active participation (key concept reviews, discussion)／主体的な授業参加：10%

Weekly assignments (read materials and do weekly assignment on Sakai)／教材を読んだ上で週ごとの課題：20%

Reports (write two reports that appropriately answer assigned questions)／レポート：30%

Final examination (multiple-choice format examination of course material)／学期末試験：40%

■Prerequisite／事前履修科目等

Students are recommended to Introduction to Psychology Core Course prior to taking this course.

Moreover, because the course is conducted in English, students with TOEIC scores below 350 may find it challenging. 「心理学入門」というコア・コースを履修済みであることを推奨する。

さらに、この講義は英語で行うので、TOEIC が 350 点以下の学生にとっては、本講義は難しいことが予想されるので留意すること。

■Additional Information／留意点

No addition information なし

語 E

学 P

選
択
必
須
C
o
r
r
e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：ホスピタリティ・マネジメントⅠ

Course Title : Hospitality Management I

教員／Instructor：張 陽子（Chang, Yoko）

Division／分野	Elective／選択（HM）	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	chang@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■Course Goals／到達目標

The course objectives are:

1. To understand SDGs and how to integrate it into your job/work
2. To enable students to understand their perspective as an international student
3. To improve skills to express their character

授業の目的は次の通りである：

1. SDGsを理解しそれを活かして仕事に結びつけられる様にする
2. 国際人としての自覚・理解
3. 自己アピール能力を高める

■Course Description／講義の概要

In this course, we will learn different kinds of hospitality and consider how to materialize into practice. To have a deeper understanding of the term "hospitality", it is necessary to comprehend the characteristics and relevance between the airline and service industry.

The course will consist of the following interactive approaches and activities:

- a) Discussions on related newspaper articles.
- b) Lectures using PowerPoint.
- c) Small group discussions.
- d) Submission of reports and giving feedbacks.

By doing so, students will have a better understanding on the concept of hospitality.

この講義では様々な事例を見ながら「ホスピタリティー」とは何かを考え、その答えを見出して行動に移すことを目指す。同時におもてなし、マナーへの理解を深めながらサービス産業関連会社の仕事内容と特性について学んでいく。講義の流れとしては、毎週の新聞記事の紹介、パワーポイントでの講義、小グループでの意見交換、レポート作成およびフィードバックを行う。ホスピタリティーの概念について考え、最終的に自ら定義できるように導く。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・毎週課せられる宿題を必ずこなす（1時間）
- ・毎回授業終了後、授業で学んだ内容を提出する（0.5時間）
- ・シラバスを読み、その週の講義テーマの内容を予習してくる
- ・日々国内外の日々のニュースを把握し、自分の見解を述べられる様に準備してくる
- ・Complete weekly homework assignments
- ・Complete a survey on what they learned in class (complete after every class)
- ・Check syllabus every week and prepare for upcoming topics
- ・Check world news and prepare to share your opinions

■Textbook／教科書

無し

■Method of Evaluation／評価方法

Learning attitude／学習態度：40% Homework・Presentation／宿題・発表：40%

Class argument／討議：10% Final exam／期末テスト：10%

■Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■Additional Information／留意点

It is mandatory to attend the first class if you would like to take this course. Those who attend the class in the first week have guaranteed spots.

受講希望者は第1回の授業に必ず出席すること。第1回の授業に出席した学生に受講の優先権がある。

科目名：ホスピタリティ・マネジメントⅡ

Course Title : Hospitality Management II

教員／Instructor：藤本 正俊 (Fujimoto, Masatoshi)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	fujimoto@tourism.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■ Course Goals／到達目標

Course objectives are:

- To learn the basic theory of hospitality and the service marketing
- To understand the whole of tourism business and travel agency
- To develop the ability to problem recognition, hypothesis setting for solution and planning, presentation
- To gain valuable job hunting experience
 - ・ホスピタリティ、サービス・マーケティングの基礎的な理論を学ぶ。
 - ・観光事業全般と旅行業について理解する。
 - ・実践の場を通じて、課題の発掘、仮説設定、企画立案、プレゼンテーションスキルを身につける。
 - ・就職活動時に役立つ「経験」をする。

■ Course Description／講義の概要

To understand the tourism industry as a whole and characteristics of the business travel industry.

- To learn the basic theory of Hospitality and service marketing
- In fact, doing fieldwork in specific region, excavation of the issue, hypothesis setting, planning, training to make a presentation.
 - ・観光産業の全体像を把握した上で、旅行業の業務内容と特性について理解する。
 - ・ホスピタリティ、サービス・マーケティングの基礎的な理論を学ぶ。
 - ・実際に、特定エリアのフィールドワークを行って、課題の発掘、仮説設定、企画立案、プレゼンテーションまでのトレーニングを行う。

【Supplementary Explanation】 Presentation Training

"Tourism development planning contest that student makes" In this contest, each team plans the tourism development of the specific region, and it announces. The judge of this contest is done by the JTB employee.

【補足説明】 プレゼンテーション実習

「学生が作る観光まちづくりコンテスト」

チーム毎に地域の経済を活性化する企画を作成し発表する。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Read the lecture materials posted on T-Next in advance (1.5 hours)

Create an out-of-class assignment sheet as a review of the lecture content (1.5 hours)

T-Next にアップされている講義資料を事前に読んでおくこと (1.5 時間)

講義内容の復習として授業外課題シートを作成する (1.5 時間)

■ Textbook／教科書

None 特になし (テーマに応じて紹介します)

■ Method of Evaluation／評価方法

Active Participation／積極的な授業参加度：10% Presentation／発表：20%

Group Work／グループワーク：30% Report／レポート：10%

Planning & Presentation at the week 15th class stage／企画発表 (第 15 週)：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None 特にありません。

■ Additional Information／留意点

Indispensable Participation of Fieldwork and competition.

フィールドワーク及びコンテストの出席が必須。

Fieldwork may be changed to a web survey depending on the status of Covid19 countermeasures.

Covid19 対策の状況によりフィールドワークは Web 調査に変更することがあります。

科目名：ホスピタリティ・マネジメントⅢ

Course Title : Hospitality Management III

教員／Instructor：森 紀人（Mori, Norihito）

Division／分野	Elective／選択（HM）	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	ana-soken@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■ Course Goals／到達目標

Taking a global perspective on the airline business, one of the hospitality industries, we will analyze the maturity and development of the industry from various angles, and reach "one's own" realization in airline management, that is to cultivate the ability of problem finding and solving as well as value creation.

The course is also designed to offer an introduction to the theory and practice of hospitality management.

この講義は、ホスピタリティ産業の一つである航空産業（エアライン）をグローバルな視点から取り上げ、産業としての成熟・発展を多角的に分析し、航空会社経営を実務的に「我がこと」として体得する。

即ち、課題の発見・解決能力の涵養や価値創造力を修得することを目的とする。

また、この科目はホスピタリティ・マネジメントの理論と実践を学ぶ入門編としても構成されている。

■ Course Description／講義の概要

In this course, we examine the history and development of international aviation, in particular, under the influence of airline deregulation, how the worldwide competition has been furiously promoted. As a vehicle to survive the fierce competition among airlines, we will discuss the characteristics of alliance, networks, revenue strategies and customer satisfaction, as well as commodity and brand strategies unique to airline business considering the future of airline industry.

We also study the actual implementation of hospitality in the course of airline services.

この講義では国際航空を中心に、航空の歴史と発展、とりわけ規制産業と言われてきた航空の枠組みが緩和・撤廃されることで世界レベルでの競争がますます激化する中で、熾烈な競争を勝ち抜く必要条件として、航空会社に特有なアライアンス／ネットワーク戦略、レベニュー戦略、CS・商品／ブランド戦略の仕組みをオムニバスの的に解説し、これからの航空産業を考えます。

また、エアラインの運航サービスの実態を学び、ホスピタリティの実際を学修します。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

・ Since a worksheet (WS) is imposed almost every time, you can study the materials uploaded in advance (1 hour) and fill in the blanks.

Prepare for completion (0.5 hours) Complete the WS during／after the lecture (1.5 hours) and submit it by the specified date.

・ For the times when the quiz is conducted, study the up materials in advance (1.5 hours).

・ Preparation for the day in charge of the short presentation (1.5 hours)

・ ほぼ毎回ワークシート（WS）を課すので、事前にアップされた資料を学習し（1時間）、穴埋めをしたり完成の準備をすること（0.5時間）講義中／講義後 WS を完成し（1.5時間）、所定の期日までに提出すること。

・ 小テストを実施する回については、特に念入りにアップ資料を事前学習すること（1.5時間）

・ ショートプレゼンの担当日の準備（1.5時間）

■ Textbook／教科書

None／なし。

Lecture materials are projected／electronically distributed each time.／講義資料は毎回、投影／電子配布。

■ Method of Evaluation／評価方法

Class Participation (Work Sheet, Short Presentation, Mini Test)／平常点：40%

Active Participation／主体的な授業参加度：10%

Mid-Term, Term-End Report／中間・期末レポート：30%

In Class Final Test／学期末試験：20%

■ Prerequisite／事前履修科目等

なし None／なし

■ Additional Information／留意点

None／なし

科目名：ホスピタリティ・マネジメントⅣ

Course Title : Hospitality Management IV

教員／Instructor：齋藤 享子 (Saito, Kyoko)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	k.sai10.1998@gmail.com
Work Experiences／実務経験	○		

■ Course Goals／到達目標

In this subject, students will acquire both "knowledge" and "experience knowledge", and each person will gain the consciousness of "being able to", enhance "self-efficacy", and "relationship between oneself and the hospitality industry". The goal is to be able to explore positively and look at the future path. In addition, through these things, we aim to foster the awareness of "Tama Glocal Human Resources" that our university is aiming for.

- ・ Understand "total image of hospitality industry" and "basic industrial structure and characteristics"
- ・ I was able to understand the "basic organization／structure, characteristics" of the hotel industry and the restaurant service industry.
- ・ "Hospitality mind" & "competency／ability" required for hotel industry, restaurant service industry, etc.

I was able to understand and cultivate "requirements"

- ・ I was able to understand and carry out the roles and activity requirements for the "project" required for work.
- ・ About "problem solving" required for work, "how to extract problems, how to analyze, how to set hypotheses" through practice
- I gained experience and knowledge by understanding "how to make a plan, how to make a presentation"
- ・ I was able to practice "active learning"

- ・ I was able to understand and have a sense of globality and aspirations as a "Tama glocal human resource"

この科目は、「知識」と「経験知」双方の修得を図り、一人ひとりが「～できた」という意識を得て「自己効力感」を高め、「自分自身とホスピタリティ産業との関係性」をポジティブに探究し今後の道筋を見つめることができるようになることを目標とする。また、それらのことを通して、本学が目指す「多摩グローバル人材」という意識の醸成を目標とする。

- ・「ホスピタリティ産業のトータルイメージ」と「基礎的な産業構造、特性」等を理解できた
- ・ホテル産業、外食サービス産業の「基礎的な組織・構造、特性」等を理解できた
- ・ホテル産業、外食サービス産業等に求められる「ホスピタリティ・マインド」&「コンピテンシー／能力要件」が理解でき醸成できた
- ・仕事で必要になる「プロジェクト」についての役割・活動要件を理解し遂行できた
- ・仕事で必要になる「問題解決」について、実践を通して「問題抽出の仕方、分析の仕方、仮説設定の仕方、企画立案の仕方、プレゼンテーションの仕方」を理解し、経験知を得られた
- ・「アクティブに学ぶ（アクティブ・ラーニング）」ということが実践できた
- ・「多摩グローバル人材」としての志やグローバル意識を理解し持つことができた

■ Course Description／講義の概要

This course focuses on the "hotel industry" and "restaurant service industry" with a bird's-eye view of the hospitality industry as a whole, and specifically learns the key factors. In addition, in order to emphasize not only the general logical solution but also the exploration of "the relationship between oneself and the industry", one thinks and investigates oneself, discusses with others, and embodies one's thoughts. Practice learning. To that end, we will manage classes with a large weight on group work, project learning, fieldwork, and opportunities for consideration.

この科目は、ホスピタリティ産業全体の俯瞰イメージを持ったうえで、「ホテル産業」と「外食サービス産業」に焦点を当て、そのキーファクターについて具体的に学ぶ。また、概論理解だけではなく「自分自身と、その産業の関係」を探求していくことを重要視するため、自分自身で考え・調べ、他者と討議し、自分の思考を具現化していく学修を実践する。そのために、グループワーク、プロジェクト学修、フィールドワーク、考察機会等の比重を大きくとった授業運営を行う。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ Read the textbook in advance as a preliminary study for the lecture theme (1.5 hours).
- ・ Be sure to work on and prepare for the assignments submitted as homework and bring them to the designated class (1.5 hours).
- ・ If the issue is to make a plan and announce it in a group, be sure to share it with the group and prepare (1.5 hours).
- ・ 講義テーマに対する事前学習として教科書を事前に読んでおくこと (1.5 時間)。
- ・ 宿題として提出された課題に取り組み準備し、必ず指定された授業回に持参してくること (1.5 時間)。
- ・ グループで立案発表することが課題である場合は、必ずグループで共有して準備してくること (1.5 時間)

【Hospitality Management／ホスピタリティ・マネジメント】

■Textbook／教科書

『ホスピタリティ・マネジメントⅣ 2021年版』NKS 能力開発センター、2021年（授業内で配布します）

■Method of Evaluation／評価方法

「授業への出席及びレポートの提出」で出席とし、下記評価を行う（出席のみ、レポートのみ、では評価しない）。

Class Participation／平常点：15%

Active Participation／主体的授業参加度：30%

Report／レポート：30%

Planning & Presentation／発表：25%

■Prerequisite／事前履修科目等

It is not required, but I would like to take "Hospitality Management I"

できれば「ホスピタリティ・マネジメントⅠ」の履修を望む。

■Additional Information／留意点

- ・ Please note that "attendance at class and submission of report" (attendance only, report only, not considered attendance).
- ・ Please note that "Problem-based learning／participation in PBL is required" (if you do not participate in problem-solving learning／PBL, you will not be evaluated).
- ・「授業への出席及びレポートの提出で出席とする」ので注意すること（出席のみ、レポートのみ、では出席とみなさない）。
- ・「問題解決学修/PBLへの参加が必須」なので注意すること（問題解決学修/PBLに参加していない場合は評価しない）。

語 E

学 P

選
択
必
須
e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：ホスピタリティ・マネジメント特別講義Ⅰ（観光地域の管理と運営）

Course Title：Special Lectures for Hospitality ManagementⅠ

教員／Instructor：李 崗（Li, Gang）

Division／分野	Elective／選択（HM）	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	213	E-mail	li@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

1. Students will understand current issues related to tourism in Japan, and explore the relationship between tourism and local community.
 2. Students will obtain the appropriate knowledge of Destination Management & Marketing.
 3. Using methods presented in class, students will be able to analyze the issues tourism destination is facing nowadays in Japan and discuss the solutions for them.
- この科目を通して、履修者は
1. 日本における観光地域づくりの現状を把握し、観光と地域社会との関係性を理解する。
 2. 観光地域の管理と運営をめぐる基本的視点を理解する。
 3. 授業で紹介されるアプローチを用いて、日本の観光地域の諸課題を分析し、解決方法について議論する。

■Course Description／講義の概要

In this course, while introducing examples of efforts in tourism destinations in Japan and overseas, students will learn basic perspectives on destination management and marketing and deepen their understanding through group work. Tourism destinations in Japan are facing a series of challenges, such as the declining birthrate, aging population, the rapid increase in inbound tourism, etc. This course offers an opportunity for students to think about the significance of tourism for local communities, its potential, and solutions to tourism issues.

本講義では、国内外の観光地域づくりの取り組み事例を紹介しながら、観光地域の管理と運営をめぐる諸視点について学習し、グループワークを通して理解を深める。少子高齢化、インバウンドの急増、情報化の進展など、地域をめぐる環境が急激に変化する現在、地域にとっての観光の意義や、可能性および観光課題の具体的な解決方法について一緒に考えていく。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- Review handouts and preparation for the class (1.5h per week).
- Preparation for the group presentations(10~20 hours for one presentation).
 - ・ 次回の講義テーマについて事前学習を実施する（1.5時間／週）。
 - ・ 授業でのグループプレゼンテーションを準備する（一つのプレゼンテーションあたり 10～20 時間）

■Textbook／教科書

None, handouts will be provided in class.
特に指定しない。授業で関連資料を配布する。

■Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude／学修態度：10%
Participation in the group work／グループワークへの参加度：20%
Presentations in the class／授業内での発表：50%
Final report／期末レポート：20%

■Prerequisite／事前履修科目等

None なし

■Additional Information／留意点

- ・ Students should behave appropriately in class and must not break any rule that is announced in week 1.
- ・ 第1週に提示される履修上のルールを厳守すること。

科目名：ホスピタリティ・マネジメント特別講義Ⅲ（接客・おもてなし英語）

Course Title : Special Lectures for Hospitality Management III

教員／Instructor：堂下 恵（Doshita, Megumi）

Division／分野	Elective／選択（HM）	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	207	E-mail	doshita@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

1. おもてなし英語を学び、観光・サービス業での基礎的な外国人対応ができるようになる
 2. おもてなし英語を学ぶことを通じて、基礎的な英単語を習得する
 3. おもてなし英語を学ぶことを通じて、基礎的な英文法を習得する
1. Students learn English expressions in the hospitality industry and will be able to deal with foreign customers.
 2. Students use a number of basic English words through learning English expressions in the hospitality industry.
 3. Students master basic English grammar through learning English expressions in the hospitality industry.

■ Course Description／講義の概要

学生は本科目を履修することによって、外国人へのおもてなしを想定した英語を学び、観光・サービス業での基本的な接客ができるよう準備する。また、接客英語を通して、基礎的な英単語と英文法の習得をする。具体的には、グループワークやロールプレイングをおこなって、学生自ら英語を活用して英語力の向上を目指す。

Students who register for this course will learn English expressions in the hospitality industry and will be able to deal with foreign customers in the tourism and hospitality industries. In addition, through learning English expressions in the hospitality industry, students will use basic English words and master basic English grammar. In this course, students will be required to contribute to group work and role playing activities in order for them to use and improve their English knowledge.

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・授業中に使用した英単語ならびに英文法の復習（1時間／週）Review of words and grammar (1 hour a week)
- ・授業中に習得した接客英語を用いたスクリプトの作成（1.5時間／週）Preparation of scripts (1.5 hour a week)

■ Textbook／教科書

デイビット・セイン『接客英語 基本の『き』』南雲堂

■ Method of Evaluation／評価方法

Class participation／平常点：10%
Vocabulary tests／単語テスト：30%
Demonstrations／英語での接客実演：60%

■ Prerequisite／事前履修科目等

なし None

■ Additional Information／留意点

ホスピタリティ・マネジメントコースを専攻する TOEIC450 点未満の学生でも理解できるように授業をおこなう予定である。履修者の英語力は問わないが、比較的英語力の高い学生には本科目ではなく上級英語等の科目を履修することを勧める。

遅刻や欠席については多摩大学のルールに則りつつ、厳しく対処する。

This course is suitable for the students whose TOEIC score is lower than 450. The students who are good at English can also take this course, yet it is better for them to challenge other courses. Students must not be late or absent unless they have a sensible reason.

科目名：ホスピタリティ・マネジメント特別講義Ⅴ（世界遺産検定 3 級対策講座）

Course Title : Special Lectures for Hospitality Management V

教員／Instructor：根本 潤子（Nemoto, Junko）

Division／分野	Elective／選択（HM）	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	sekaken@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■ Course Goals／到達目標

- ・世界遺産を学ぶ事で「地球上の多様な価値観」を理解し、環境保全や国際平和の重要性を認識する。
- ・世界遺産検定での 3 級資格取得を目指す。（別途申込要）
- ・ to understand “divers values” and to recognize the importance of international peace and environmental conservation through studying about world heritage.
- ・ To pass the Test of World Heritage Study Grade 3.

■ Course Description／講義の概要

世界遺産検定 3 級の対策講座です。世界の有名な遺産 100 件と日本の遺産全 23 件（2021 年 4 月現在）の中から、テキストとスライド画像を用いて講義を進めていきます。古代遺跡やヨーロッパの建築、大自然の絶景や神話にまつわる地域など、世界旅行をしているような気分を味わいながら、資格取得のためのポイントをおさえて各回を進めていきます。

The purpose of this class is to pass the Test of World Heritage Study Grade 3.

We will study all 23 world heritage sites in japan and the ones picked up from world famous 100 world heritage sites.

We will study like we are traveling around world since this course will be done by using photos and power point slide of beautiful world heritage sites.

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・授業後には当日実施した内容を振り返り、知識を深めること。（1 時間を要する）
- ・毎回小テストを実施するので、指定された範囲を準備しておくこと（1 時間を要する）

■ Textbook／教科書

きほんを学ぶ世界遺産 100〈第 3 版〉世界遺産検定 3 級公式テキスト

■ Method of Evaluation／評価方法

確認テスト／review test：40%

毎回提出の小テスト／assignment：30%

平常点／attendance：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■ Additional Information／留意点

世界遺産検定 3 級（団体受検料金 4400 円）の申込方法は別途、授業内で案内します。

成績に関して、世界遺産検定受検で 5%、合格者にはさらに 10% を別途加点する。（※検定が中止になった場合は別途課題で対応する。）

Way to apply to the Test of World Heritage Study will be announced in the class.

Additional point will be added to the evaluation by applying the Test of World Heritage Study (5%), by passing the Test of World Heritage Study (10%).

科目名：ホスピタリティ・マネジメント特別講義Ⅵ（世界遺産検定 2 級対策講座）

Course Title : Special Lectures for Hospitality Management Ⅵ

教員／Instructor：根本 潤子（Nemoto, Junko）

Division／分野	Elective／選択（HM）	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	sekaken@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■ Course Goals／到達目標

- ・世界遺産を学ぶ事で「地球上の多様な価値観」を理解し、環境保全や国際平和の重要性を認識する。
- ・世界遺産検定での 2 級資格取得を目指す。（別途申込必須）
- ・ to understand “divers values” and to recognize the importance of international peace and environmental conservation through studying about world heritage.
- ・ To pass the Test of World Heritage Study Grade 2.

■ Course Description／講義の概要

世界遺産検定 2 級の対策講座です。世界の有名な遺産 300 件と日本の遺産全 23 件（2021 年 4 月現在）の中から、テキストとスライド画像を用いて講義を進めていきます。古代遺跡やヨーロッパの建築、大自然の絶景や神話にまつわる地域など、世界旅行をしているような気分を味わいながら、資格取得のためのポイントをおさえて各回を進めていきます。

The purpose of this class is to pass the Test of World Heritage Study Grade 2.

We will study all 23 world heritage sites in japan and the ones picked up from world famous 300 world heritage sites.

We will study like we are traveling around world since this course will be done by using photos and power point slide of beautiful world heritage sites.

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・授業後には当日実施した内容を振り返り、知識を深めること。（1 時間を要する）
- ・毎回小テストを実施するので、指定された範囲を準備しておくこと（1 時間を要する）

■ Textbook／教科書

くわしく学ぶ世界遺産 300〈第 4 版〉世界遺産検定 2 級公式テキスト

■ Method of Evaluation／評価方法

確認テスト／review test：40%

毎回提出の小テスト／assignment：30%

検定試験／result of the Test of World Heritage Study：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

なし

■ Additional Information／留意点

世界遺産検定 2 級（団体受検料金 5500 円）の申込方法は別途、授業内で案内します。

Way to apply to the Test of World Heritage Study will be announced in the class.

科目名：ホスピタリティ・マネジメント特別講義Ⅶ（ヒロシマ・ナガサキと観光）

Course Title：Special Lectures for Hospitality Management VII

教員／Instructor：桐谷 多恵子（Kiriya, Taeko）

Division／分野	Elective／選択（HM）	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	kiriya@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

本講義は、戦前から現代まで広島と長崎において取り組まれてきた観光について学び、地域における観光をめぐる諸課題を考察するための基礎的手法を身に付けることを目標とする。この目標達成までの過程において受講生は、観光を考えるうえで基本的視点となる地域の歴史と文化も学ぶこととなる。

■ Course Description／講義の概要

本講義では、ヒロシマ・ナガサキをめぐる観光の取り組み事例を紹介しながら、地域史における観光を学習し、グループワークを通して理解を深める。具体的には以下の流れとなる。戦前の広島市や長崎市の歴史・文化・観光、そして戦争末期の原爆被害、敗戦と復興、戦後初期の市政と観光政策、修学旅行、原爆ドーム、被爆建物、被爆遺構、被爆樹木、ダークツーリズムやピースツーリズムの進展等、地域をめぐる環境が急激に変化する中、観光の意義や可能性および観光課題の具体的な解決方法について議論し、共に考察していく。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・毎回の講義で、リアクションペーパーに記入して提出すること。
- ・講義テーマに対する事前学習として、指定図書の該当ページを事前に読んでおくこと（1時間を要する）。
- ・講義後の内容の復習を行うこと（1時間）。
- ・授業前には、前回の講義内容について十分に理解をしておくこと。講義内容の復習と次回講義の準備には、およそ2時間の取り組みが必要。
- ・グループワークを経て、授業内（14回目の講義）で報告会を開催する。報告前には準備をしっかりと行うこと（3時間を要する）。

■ Textbook／教科書

授業内容に合わせて適宜配布する。

■ Method of Evaluation／評価方法

授業への取り組み態度：10%
グループワークへの参加度：20%
授業内での発表：30%
期末レポート：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

観光関連の基礎科目の事前履修をお勧めする。

■ Additional Information／留意点

- ・グループワークを多く取り入れる講義内容構成のため、グループへの貢献度が評価対象となり、授業への積極的な参加が求められる。
- ・第1週に提示される履修上のルールを厳守すること。
- ・遅刻や欠席については多摩大学のルールに則り、対処する。

科目名：ホスピタリティ・マネジメント特別講義Ⅷ（地球社会と環境・開発・平和——観光を見据えて）

Course Title：Special Lectures for Hospitality Management VIII

教員／Instructor：竹峰 誠一郎（Takemine, Seiichiro）

Division／分野	Elective／選択（HM）	Semester／開講学期	Spring Break Intensive
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	takemine@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

- 1) 環境・開発・平和に関する課題をグローバルな視点をもってとらえ、かつ足元にもひきつけて考えることができる。
- 2) 環境・開発・平和という観点から観光をとらえることができる。
- 3) 環境・開発・平和に関する地球社会の課題を発表したり、議論したり、論述することができる。

■Course Description／講義の概要

- 1) 地球社会の環境・開発・平和に関する課題を基礎から総合的に学んでいきます。
- 2) 観光にも引き付けて、環境・開発・平和に関する課題への理解を深めていきます。
- 3) 「グローバル」な視点を持つとともに、足元にもひきつけて、地球社会の環境・開発・平和とわたしたちのかかわりを探求していきます。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- 1) 受講生による発表を組み合わせる授業は展開します。指定文献を購読して、その内容をまとめて、授業で発表する準備が必須です。口頭発表は1回担当します。（予習：平均週換算2時間）
- 2) 授業内容を復習して感想を4回提出してもらいます。（予習：平均週換算30分）
- 3) 全授業終了後に授業内容を復習して、関連文献を読んで調査をしたうえでまとめる、学期末課題に取り組んでもらいます。

■Textbook／教科書

以下のものから一つを選んで読んだり、鑑賞したりして、まとめて考察して発表してもらいます。

（書籍）

『大量廃棄社会——アパレルとコンビニの不都合な真実』（光文社）

『経済成長がなければ私たちは豊かになれないのだろうか』（平凡社ライブラリー）

『広島のおばあちゃん』（シフトプロジェクト）

『調査報告 地球核汚染——ヒロシマからの警告』（NHK 出版）

『核兵器はなくせる』（岩波ジュニア新書）

『新・先住民族の「近代史」』（法律文化社）

『オーバーツーリズム 観光に消費されないまちのつくり方』（学芸出版社）

『原爆ドーム』（朝日文庫）

『ホロコーストを次世代に伝える——アウシュヴィッツ・ミュージアムのガイドとして』（岩波ブックレット）

『ダークツーリズム 悲しみの記憶を巡る旅』（幻冬舎新書）ほか

（映像）

『3つの暴力～見える暴力 見えない暴力』（ビープロダクション）

『消極的平和・積極的平和』（ビープロダクション）

『世界でいちばん貧しい大統領』（アルバトロス・フィルム）

■Method of Evaluation／評価方法

授業参加（グループワーク、ディスカッション、授業の感想）：20%

プレゼンテーション：40% 学期末レポート：40%

■Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■Additional Information／留意点

・教員の話をつただ一方的に聞くだけの授業ではありません。授業時の発表やディスカッション、授業前の発表準備、授業後の感想など、学生の主体的な参加が強く求められる授業です。

・この授業はオンラン授業です。Zoom と T-NEXT を活用して実施します。

・正解をつただ覚える授業ではありません。必ずしも正解が一つではないこと、まだわからないこと、すぐには解決しないことを扱います。これらのことをあなたはどうか向き合うのか、考えることが求められる授業です。

科目名：翻訳概論

Course Title : Introduction to Translation

教員／Instructor：小松原 宏子 (Komatsubara, Hiroko)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	komatsubara@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

1. Learn the fundamental means and methods of translation.
2. Develop the skills to identify the essence of what is written.
3. Develop the skills to translate English accurately and effectively in natural Japanese.
1. 基本的な翻訳技術と翻訳方法を習得する。
2. 行間のニュアンスも含めて英語の読解力を深め、内容のエッセンスを特定できる技術を養成する。
3. 英語を自然な日本語文に翻訳する技術の養成。

■Course Description／講義の概要

This course is designed to develop the students' ability to understand English and identify the essence of what is written and translate that into a clear and well-written Japanese. The focus will be on translating accurately as well as understanding and identifying what the original writer intended and wanted to convey and translate that into each student's style. We will cover various texts and study the various styles of translating. There will be homework assignments or workshop to improve the skill of translation.

この講座は、英語の読解力を深め、書かれている内容のエッセンスを認識し、優れた日本語文に翻訳する技術を習得することを目的とします。正確に翻訳することと共に、原作者の意図と伝えたかったことを理解し、認識し、それを各自のスタイルで翻訳することにも重点を置く。さまざまな英語の原文を用いて課題や実践練習を行い、翻訳技術向上を目指す。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Translate English sentences assigned in class (require 2 or 3 hours).

Read as much as materials, such as classic pieces, biographies, newspapers (require 2 or 3 hours).

授業で配布される英文の指定箇所を翻訳してくる。(2～3時間を要する)

語彙をふやし、知識を深めるため、古典的名作や偉人の伝記、新聞など多くの活字を読む。(2～3時間を要する)

■Textbook／教科書

Kaguya 三恵社

Hiroko Komatsubara／Ginny McKnight／hiroko

■Method of Evaluation／評価方法

Participation in the class : attend class and take part in translation with the goal of the course in mind／授業参加：10%

Practice of weekly translation／平常点 (毎週の翻訳課題および授業態度)：30%

Mid-term Translation Assignment／翻訳課題提出物および中間テスト：30%

Final Translation Assignment／期末試験：30%

■Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■Additional Information／留意点

This course will be mainly conducted in Japanese.

・この授業は日本語および英検3級程度の英語を使って行う。

-No tablets linked the Internet will be allowed.

・授業中はインターネットに繋がっているすべての端末の使用を禁止します。使用の場合は単位をさしあげられません。

科目名：地球社会と中東

Course Title : Global Community and Middle East

教員／Instructor：佐藤 真紀 (Sato, Maki)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	sato-maki@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

中東の中でも、紛争が続く地域（パレスチナ、イラク、シリア、イエメン）を取り上げ、基礎的な知識を身に付ける。また、紛争の問題を学習することで、問題解決に向け積極的に解決しようとする意欲をはぐくみ、市民として、他人事で終わらせない人材育成を目指す。

傍ら、テロや戦争という負のイメージで語られることの多い地域であるが、古代から文明が発展した地域であり、「中東にかかわることの楽しさ」を感じてもらう。

This course is focusing on conflict-prone area in middle east, such as Palestine, Iraq, Syria, and Yemen to study basic history as a common sense and mechanism of conflict.

Our goals are following

1) After learning basic knowledge about each country, students are educated as a citizen who can not end with indifference and can make difference.

2) To be able to feel the fun of being involved in the middle east.

Those countries are often talked about with the negative image of terrorism and war ... , but those region where civilization has developed since ancient times, and still they have fruitful culture.

■ Course Description／講義の概要

紛争が続くパレスチナ、イラク、シリア、イエメンは、世界最悪、今世紀最悪と呼ばれるほどの人道危機に陥っている。講義では、これらの国々の現代史を学び、トルコやイラン、サウジアラビア、イスラエルなどの戦争への関与を俯瞰し、平和的な解決を考える。

一方、これらの国は、メソポタミア文明や、ローマ時代の遺跡、中世の十字軍の城などの観光資源も豊富であり、食や、娯楽なども紹介し、中東を好きになってもらう。

また、国際協力に関して学生という立場でできることは何かを自ら考え、ボランティア等に参加することを奨励する。身近な問題として、日本国内の難民問題も取り上げる。

Area such as Palestine , Iraq, Syria ,and Yemen are suffering from human crisis, sometimes so called as The worst human crisis in the world or in this century. This course is to study history of those area and countries and also involving of Turkey, Iran, Saudi Arabia and Israel to discuss on how to solve conflict as peacefully.

At the same time, those area are rich for touristic sites of Mesopotamian era, Roman ruins, crusaders castles.

Through food culture or music or another entertainment, to have interest of those area is most important thing.

To try to think what we can do as students for international cooperation is also important. Participating into volunteer activities are recommended.

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

予習：毎授業前にインターネット等でパレスチナ、イラク、シリア、イエメンに関するニュースを調べておく（1.5 時間）
復習：授業で詳しく説明しないが重要なポイントを指摘するので、テキストを参照して簡単なレポートを書くことで理解を深める（1.5 時間）

Pre: Through internet, to check news on middle east and pick up whatever you feel interesting, then introduce in the class (1.5 house)

After: key point will be noticed in each class, students check on the text book then submit report briefly for well understanding.

■ Textbook／教科書

池上彰の世界の見方 中東：混迷の本当の理由（小学館）
地図で見る中東ハンドブック ピエールブラン（原書房）

■ Method of Evaluation／評価方法

平常点／class participation：30% 小テスト／assignment：10%

発表／presentation：20% 学期末試験／End-term test：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None なし

■ Additional Information／留意点

None なし

科目名：アジアの宗教

Course Title : Religions in Asia

教員／Instructor：小松 加代子 (Komatsu, Kayoko)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	211	E-mail	komatsu@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

To develop the knowledge and understand key beliefs of different religions in Asia; Shintoism, Buddhism, Taoism, Hinduism, Sikhism, Islam, Judaism, Christianity

To know and understand the beliefs, organization, sources of authority, worship and practices of each religions

To consider the importance of the religions in various areas and countries in Asia

アジア地域で信仰されている諸宗教（仏教、道教、イスラム、ヒンドゥー教、シーク教など）の基本的な教えや歴史などの知識をそれぞれ身につける。

アジア諸国の、地域ごとあるいは国ごとの宗教の様態を知り、その重要性を考察する。

■ Course Description／講義の概要

The boundaries of Asia are traditionally determined as that of Eurasia which is not Europe. Most of the major religions originated in Asia and they are still worshipped in Asia now. In this course, the students will learn major beliefs, history of the major religions which are seen in Asia now in the first half part, using the articles in BBC archives. In the second half of the course, the students will learn the religious dynamics in various areas and countries in Asia. The students are supposed to choose one area and search for the religious lives in that area and make a report in the class.

アジアを広義にとらえれば、ユーラシア大陸のほとんどを指すことになる。世界の中の信者数の多い宗教のほとんどがアジアを起源とし、その多くの宗教が今も信仰されているのを見ることができる。この授業では、主な宗教の基礎知識を学び、それぞれの宗教がどのように広まり、どのように変化していったのかを考える。前半は宗教の基本的な知識を学ぶために、BBC Archive から、Buddhism, Taoism, Hinduism, Sikhism, Islam の基本的な概念や儀式などについて英語で読みながら、確認していく。後半は、現代を中心に、アジアの地域ごとに担当を決め、その地域または国の宗教を調べる。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

The 15 weeks will be a combination of the following elements.

Read and explain the specified text which will be shown in advance about the content of the lecture

When conducting a quiz, prepare the specified range

When giving a presentation, search for and collect materials, create a handout by putting them together, and make presentation materials.

It takes 3 hours each.

15週は次の要素の組み合わせで行われる。

講義内容について、指定されたテキストを事前に読んで、説明できるようにする

小テストを実施する場合は、指定された範囲を準備しておく

プレゼンテーションを行う際には、資料を探して集めること、それらをまとめてハンドアウトを作成し、発表材料を作る。

以上、それぞれ3時間を要する。

■ Textbook／教科書

BBC : Religions <http://www.bbc.co.uk/religion/religions/>

■ Method of Evaluation／評価方法

Class Participation／平常点：10% Assignment／小テスト：40%

Presentation／発表：20% End-term test／学期末試験：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None.

■ Additional Information／留意点

Classes will be conducted in Japanese. Students are expected to read a lot of English text.

授業は日本語で行います。英語の文献を多く読みます。

科目名：観光Ⅲ

Course Title : Tourism III

教員／Instructor：古川 勇気（Furukawa, Yuki）

Division／分野	Elective／選択（HM）	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	furukawa-y@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

Course objectives are:

- To understand the basic academic theories and perspectives of tourism anthropology.
- To develop critical thinking skills based on tourism anthropology through the current topics of tourism
- To learn the current status and trends of tourism phenomenon in the various countries
 - ・観光人類学の基礎を学び、観光について考えるための基本的な理論や視座を身につけることができる。
 - ・具体的事例をととして、観光人類学に基づく柔軟な思考を培うことができる。
 - ・世界各地の観光の現状を知ることができる。

■Course Description／講義の概要

This course provides the basic academic discussions of tourism anthropology using the basic textbook, 『観光文化学』. The course will introduce today's topics of tourism in the world to understand the academic perspectives of the textbook concretely. Through both individual and group activities, students will study flexible thinking skills based on tourism anthropology.

本講義は、観光人類学の入門的教科書（山下晋司（編）『観光文化学』）のトピックを利用して、観光について考える際に必要な理論や視座を学ぶ。教科書の内容を具体的に理解するために、世界で生じている観光事例を紹介する。また、授業中にグループや個人でのアクティビティを取り入れることで、観光人類学に基づく柔軟な思考法を養ってもらう。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- Textbook preparation／review (1 hour／a week)
- Preparing for the presentation (5-10hours／a presentation)
- Preparing for the midterm／end-of-term presentation (1-2hours／a week)
- Reading related literatures (1hour)
 - ・教科書の予習・復習（1時間程度／週）
 - ・プレゼンの準備（5～10時間／1プレゼンテーション）
 - ・中間、期末プレゼンテーション準備（1～2時間／週）
 - ・関連文献の読書（1時間）

■Textbook／教科書

山下晋司（編）『観光文化学』新曜社、2007年

■Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude／授業態度：20%
 Group Discussion and Presentation／グループワーク：20%
 Midterm Presentation／中間プレゼン：30%
 End-of-Term Presentation／期末プレゼン：30%

■Prerequisite／事前履修科目等

Completed Tourism I or II．観光Ⅰ、或いはⅡを習得していること。

■Additional Information／留意点

- ・ The student who missed 7 lessons of the course cannot take the final examination.
- ・ 授業を7コマ以上欠席した学生は、期末テストの受験資格を失うものとする。

科目名：コミュニケーション

Course Title : Communication

教員／Instructor：萩原 浩一 (Hagiwara, Hirokazu)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	hagiwara@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■ Course Goals／到達目標

To help students understand and learn the issues below and acquire 'enhanced powers of expression', and then learn to give appealing presentations.

- Self-expression---how to express himself/herself
- The power of speech represents the lifestyle
- The words of speech can appeal to listeners
- Respect is the basics of communication
- Communication with which people feel happy
- People can foster rich humanity by way of communication

この講義の目的は、

- ・自己表現力、自分をどのように表現できるか。
- ・話す力は、人間の生き方（人生）をあらわしている。
- ・話し手の言葉は、聴き手の心に訴える。
- ・人への敬意が、コミュニケーションの基本。
- ・それぞれが幸福を感じるコミュニケーション。
- ・コミュニケーションを通じ、人間性を磨くことができる。
- ・日本のことに興味をもつ。
- ・正しい日本語能力を高める。

などを学び、理解し、「鍛えられた表現力」を身につけ、魅力的なプレゼンテーションができることを目指す。

■ Course Description／講義の概要

In our current global society, sophisticated communication skills are needed today more than ever. It is important to build a good and positive human relation in order to enhance communication ability. This course will provide an introduction of communication and then explore it with an emphasis on practice and in-class performance. It also aims to enhance students' communication ability in Japanese language.

This course will focus on lectures by communication professionals such as radio DJs, TV DJs, and Events MCs.

グローバル社会の現代ほど、コミュニケーションの技術が求められている時代はない。コミュニケーション力を高めるために大切なことは、質の高い素晴らしい人間関係を築いていくことである。コミュニケーションの基礎から発展し、実技・実践を伴いながら進めていく。併せて、日本語の表現力を高める。

・ラジオ番組のDJ & パーソナリティー、テレビ番組のキャスター&ナビゲーター、イベントなどのMCから学ぶコミュニケーション講座。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・教科書は、事前に読んでおくこと。(1時間)
- ・毎日、日本国内&海外のニュースなどの出来事を必ずチェックして、現在社会の状況について知っておくこと。(スマホなどの情報ではなく、地上波のテレビ番組、ラジオ番組でチェックする)(1.5時間)
- ・発音・発声練習 (0.5時間)

■ Textbook／教科書

櫻井弘著【人を巻き込むコミュニケーション技術～その気にさせる仕事のさばき方～】

■ Method of Evaluation／評価方法

平常点 (出欠席・遅刻、授業態度、忘れ物、発言力、発表力など) : 50%

提出物 (大レポート、小レポートなど) : 50%

■ Prerequisite／事前履修科目等

無し

■ Additional Information／留意点

This course will be conducted in Japanese.

【Hospitality Management／ホスピタリティ・マネジメント】

語 E

学 P

選
択
必
須
c
o
r
e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

本科目の講義は日本語で行う。

アナログ形式の授業で行う。

- ・どんな理由でも、プレエントリーをしていないと履修できません。
 - ・初日の授業の出席（週に1曜日に2コマある場合）、または最初の週に1コマずつ2曜日ある場合は、両曜日出席しないと、履修できない。
 - ・履修者は35名までとする。（授業時間内に全員にスピーチの時間が取れないため。）
 - ・欠席は原則としてしないのが当たり前ですが、3日まで可能ではなく、30回の授業の内、【3回まで】とします。
 - ・遅刻は、欠席扱いになる。
 - ・私語は厳禁。（まわりの学生に迷惑をかけること。）
 - ・居眠りする学生は退室させます。
 - ・授業中、スマホ、携帯電話の使用禁止、バックの中にしまうこと。（これ守れないと不合格）
 - ・試験は行いません。授業でのスピーチの点数、小レポート（毎回予定）と大レポートを3回提出と、ゲスト講師（2回予定）の感想文を提出、全部提出しないと不合格。
 - ・教科書は必ず購入のこと。毎回持参。購入無い場合は、不合格。
 - ・テレビ番組、ラジオ番組、新聞、雑誌などの内容・詳細については、その都度指示する。
 - ・約束事を守る。
 - ・ゲスト講師の特別講義も予定。
 - ・授業中の退室は禁止。（体調不良の場合のみ許可制）
 - ・礼儀マナーを守ること。
- ★筆記用具、ノートを必ず用意してください。
- ★オンライン授業、またはオンライン授業・対面式授業併用の場合は、週の授業計画が変更になります。

科目名：消費社会と日本の大衆文化

Course Title : Japanese Society through Its Pop Culture

教員／Instructor：太田 哲 (Ota, Satoshi)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	306	E-mail	ota@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

The goals of this course are:／本講座の目的は：

1. To examine Japanese society and contemporary Japan through the lens of its popular culture, leisure and entertainment
 2. To provide a survey of the historical development, contemporary status and social, cultural and economic dimensions of important forms of popular culture, leisure and entertainment in Japan
 3. To explore the complex relationships between production and consumption of popular culture in Japanese society, with reference to specific case studies
 4. To consider how social parameters such as gender, class and generation, contemporary issues such the environment or the role of technology in society and wider themes such as Japan's relationship to modernization and tradition are expressed and mediated through its popular culture
1. 大衆文化、娯楽、エンターテインメントの視点から、日本社会と現代日本を検証する
 2. 日本の大衆文化、娯楽、エンターテインメントに関して、その歴史的発展、現状、社会・文化・経済的側面を考察する。
 3. 個々のケース・スタディを参照し、日本社会における大衆文化の生成と消費という複雑な関係を検討する
 4. 性別、階級、世代などの社会的要素、環境や社会におけるテクノロジーの役割など現代の問題、近代化と伝統の葛藤というテーマが、大衆文化を通じてどのように表現、伝達されているか検討する

■ Course Description／講義の概要

This course provides an examination of contemporary Japan through a survey of its popular culture, past and present. Drawing from music, film, television, comics, animation, fashion and popular trends and focusing on Japanese youth - the principle consumers of popular culture - the course examines how popular cultural forms reflect issues related to gender, the generation gap, class, and the tension between modernization and tradition, with thematic focuses placed on "culture in everyday life", "culture in the era of mass-production and through mass-media", and "popular culture and globalization".

本コースは、過去から現在における日本の大衆文化を検証し、現代日本を考察することを目的とする。音楽、映画、テレビ、コミック、アニメ、ファッション、最新のトレンドなどを題材に、大衆文化の主要な消費者である日本の若者にスポットを当てる。また、「日常の中の文化」「マスプロダクションの時代の文化、マスメディアが作る文化」「大衆文化とグローバリゼーション」のテーマに沿って、大衆文化の形態が、性別、ジェネレーションギャップ、階級、近代化と伝統の葛藤などに、どのような影響を及ぼすかを概観する。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ This course requires a presentation about street fashion in Tokyo. The preparation of the presentation requires at least 15 hours including fieldwork.
- ・ Students are requested to write 1500 word essay based on the presentation. It requires at least 20 hours to complete the essay especially for those whose first language is not English.
- ・ In addition, students are expected to read course readings and it will take around 4 to 5 hours for those whose first language is not English.
- ・ 本講座の受講生は東京のストリートファッションについてフィールドワークを行い、それについて英語でプレゼンテーションを行う。フィールドワーク、プレゼンテーションの準備などを含めると最低でも15時間を必要とする。
- ・ プレゼンテーションを基に英文1500 word レポートを提出してもらうが、英語が第一言語ではない者にとっては20時間は必要である。
- ・ その他、授業毎に課題図書があり、課題図書を読むには4、5時間、英語が得意ではない者はそれ以上の時間が必要とする。

■ Textbook／教科書

No specific text book is required, but reading materials will be provided in the class.／特になし。しかしながら、課題図書等は必要に応じて適宜授業中に配られる。

■ Method of Evaluation／評価方法

Presentation／発表：30% Essay／エッセー：40% Reaction Paper／リアクションペーパー：15%
Class Participation／授業参加：10% Other／その他：5%

■ Prerequisite／事前履修科目等

This course does not require prerequisite courses.／本講座の履修に際して事前に履修しなければならない科目は設けていない。

■ Additional Information／留意点

The class will be conducted in English, but there is no minimum requirement of TOEIC score.
授業は英語で行うがTOEICのスコアは特に要求しない。ただし、英語文献を多く読むので英語力は必要とする。

科目名：消費主義の比較文化論

Course Title : Consumption in Cross-cultural Perspective

教員／Instructor：太田 哲 (Ota, Satoshi)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	306	E-mail	ota@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

The goals of this course are: /本講座の目的は：

1. to introduce students to key theories, themes and issues in the study of consumption and consumerism
 2. to examine these themes with reference to both historical and contemporary case studies in different countries.
 3. to explore not only the economic, but the social, cultural and historical dimensions of consumption and consumerism in society
1. 消費と消費主義の主な理論、テーマ、事項について、その概論を学ぶ
 2. 歴史のおよび世界における現代のケーススタディーを用いて、これらのテーマを検証する
 3. 消費と消費主義に関して、経済のみならず社会・文化・歴史的側面を考察する

■Course Description／講義の概要

Consumption and consumerism are not only a means of obtaining necessary goods and services, but also an important form of leisure and an activity through which people establish individual and social identities and define their lifestyles via association with particular products and brands. In this course, we examine consumption and consumerism as culturally constructed practices, which reflect social norms, values and behavior. The course provides an overview of important approaches to understanding and theorizing consumption, grounded in case studies of consumption and consumer behavior in different societies. Topics covered include gifts, commodities, branding, consumption and identity and the relationship between consumption and social markers such as class, gender and generation. 消費と消費主義とは、単に必要な物やサービスを購入するだけでなく、特定の商品やブランドによって、個人・社会的アイデンティティを確立し、生活様式を決定付ける重要な娯楽または活動である。本コースでは、社会規範、価値、行動に反映する、文化的に作られた行為として消費と消費主義を検討する。またこれと並行して、様々な社会における消費と消費者の行動に関するケーススタディーを用いて、消費の理解と理論化への重要なアプローチを概観する。講義では、ギフト、商品、ブランド、消費とアイデンティティ、消費および階級・性別・世代などの社会的要素の関係をとり上げる。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ This course requires to give presentations regarding consumer cultures. Each presentation requires at least 6 to 7 hours for preparation, and for those who are not confident in English proficiency need more than 10 hours for preparation. A total of 20 hours is required for the preparation of presentation.
- ・ Students are requested to write 1500 word essay based on the presentation. It requires at least 20 hours to complete the essay especially for those whose first language is not English.
- ・ In addition, students are expected to read course readings and it will take around 4 to 5 hours for those whose first language is not English.
- ・本講座の受講生は消費文化についての英語でプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションの準備には最低でも6,7時間は必要とし、英語力が高くない者であれば10時間以上は必要とする。
- ・プレゼンテーションを基に英文1500 word レポートを提出してもらうが、英語が第一言語ではない者にとっては20時間は必要である。
- ・その他、授業毎に課題図書があり、課題図書を読むには4、5時間、英語が得意ではない者はそれ以上の時間が必要とする。

■Textbook／教科書

No specific text book is required, but reading materials will be provided in the class./特になし。しかしながら、課題図書等は必要に応じて適宜授業中に配られる。

■Method of Evaluation／評価方法

Presentation／発表：30% Essay／エッセー：40% Class Participation／授業参加度合い：10%
Reaction Paper／授業後のリアクションペーパー：15% Other／その他：5%

■Prerequisite／事前履修科目等

This course does not require prerequisite courses./本講座の履修に際して事前に履修しなければならない科目は設けていない。

■Additional Information／留意点

The class will be conducted basically in English, but there is no minimum requirement of TOEIC score.
授業は基本的に英語で行う。TOEIC のスコアの要求はないが、英語文献を多く読むので英語力を必要とする。必要に応じて適宜日本語で補助を行う

科目名：地球社会とヨーロッパⅡ

Course Title : Global Community and Europe II

教員／Instructor：木村 真 (Kimura, Makoto)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	kimura-m@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

1. To be familiar with a history of integration of Europe
2. To understand historical background of the diversity of Europe
3. To acquire knowledge of relations between the Global community and Europe
 1. ヨーロッパ統合の歴史を理解すること。
 2. ヨーロッパ地域の多様性を歴史的視点から理解すること。
 3. 地球社会とヨーロッパの諸関係についての知見を獲得、豊かにすること。

■ Course Description／講義の概要

Europe has played an important role in shaping the world in which we now live. In this course, we trace back the history of Europe and its relationship with the global community from the nineteenth century, paying special attention to the issues related to the integration of European countries under the European Union, taking account of its impact on the world.

The class meets weekly for two consecutive periods; a lecture is followed by a seminar centred on in-class reading of materials and preparing for presentations. For a successful completion of the course, students are required to submit a weekly reaction paper, to give a ten-minute presentation, and to send a final report. Those who fail to attend the lecture or the seminar six times or more will be disqualified from sending the report.

ヨーロッパは、わたしたちが現在住んでいる世界を形作る上で重要な役割を果たしてきた。本コースでは、19世紀以降のヨーロッパの歴史やヨーロッパと地球社会の関係について振り返り、とくにヨーロッパ諸国の欧州連合への統合に関連する諸問題について、それが世界に与えた影響を考慮しながら学ぶ。

本コースは講義とセミナーによって進行する。講義に引き続き、文献読解と研究発表を中心としたセミナー形式の授業を行う。成績評価は、期末レポート課題提出の他、週毎のリアクション・ペーパー提出、10分程度の研究発表によって行う。講義かセミナーを6回以上欠席した場合は、期末レポート提出を認めない。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Before class, thoroughly review and understand the contents of the previous class. Review of previous class and preparation work for research presentation. (3 hours)

・授業前には前回の授業内容について十分復習し理解をしておくこと。前回授業の復習と研究発表の準備作業など(3時間)。

■ Textbook／教科書

特に指定しない。

■ Method of Evaluation／評価方法

Class Participation (Reaction Paper)／授業内活動 (リアクション・ペーパー)：40%

Presentation／研究発表：30%

Final Report／期末レポート：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特に指定しない。

■ Additional Information／留意点

There is a possibility that lesson methods, lesson contents, and the distribution of evaluation methods may change depending on the situation of the learning and education environment.

・学修教育環境の状況に対応して、授業方法や授業内容、評価方法の配分に変更が生じる可能性もあります。

科目名：日本人と他者

Course Title : Japanese and Others

教員／Instructor：杉下 かおり (Sugishita, Kaori)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	307	E-mail	kaori@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

Learn about past and present relationships between Japanese and other peoples so as to envisage a better future for all.
過去および現在における日本人と他者との関係について学び、皆にとってより良い未来を構想して下さい。

■ Course Description／講義の概要

We always define ourselves in relation to 'other' peoples, societies and cultures. This course looks at the relationship between the people who define themselves as 'Japanese' and their various 'others'. We firstly trace back the history of Japan as a nation in order to see how the Japanese have defined themselves and interacted with other peoples in the world. Secondly, we explore contemporary issues relating to foreigners and minorities in Japan, with a special interest in Asian, African and South American peoples.

The class meets weekly for two consecutive periods; a bilingual lecture is followed by a seminar centred on in-class reading of English materials. For a successful completion of the course, students are required to submit a weekly reaction paper, to give a twenty-minute presentation, and to sit for a final, written exam. The students may use either English or Japanese in completing the coursework and the final exam. Those who fail to attend the lecture or the seminar six times or more will be disqualified from taking the exam.

私達は常に「他の」人々と文化、社会との関連で私達自身を定義します。本コースでは、自らを「日本人」と定義する人々と、彼らにとっての「他者」との関係について考察します。まず、国家としての日本の歴史を学び、日本人が自分達をどのように定義し、世界の他の人々とどのように関わって来たのかを探ります。次に、アジア人やアフリカ人、南アメリカ人等、現代日本に居住する外国人やマイノリティについて学び、彼らに関わる問題について考察します。本コースは講義とセミナーによって進行します。バイリンガル講義に引き続き、英文読解を中心としたセミナー形式の授業を行います。成績評価は、論述式の期末試験の他、週毎のリアクション・ペーパーや、20分程度のプレゼンテーションによって行います。これらのコースワークと期末試験に用いる言語は、英語か日本語を選択できます。講義かセミナーを6回以上欠席した場合は、期末試験の受験を認めません。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

各回授業の復習とリアクション・ペーパーの作成のほか、発表の準備（リサーチ、スライド作成、スクリプト作成）と最終試験に備えた学習のため、毎週平均3時間程度が必要。

Students are expected to spend an average of three hours a week to review a class, to write a reaction paper, to prepare a slide presentation, and to study for the final exam.

■ Textbook／教科書

使用しません。 n/a

■ Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude／学修態度：10%

Presentation／発表：20%

Reaction Paper／リアクション・ペーパー：20%

Final Exam／学期末試験：50%

■ Prerequisite／事前履修科目等

ありません。 n/a

■ Additional Information／留意点

There will be no seminar in the first week; an introductory lecture will be given in the second period as well. Students wishing to take this course MUST attend either the first or the second session.

第1週目はセミナーを行いません。同じ内容の導入講義を2回行います。本コースの履修を希望する者は、1限目か2限目の講義に必ず出席して下さい。

科目名：日本の宗教

Course Title : Religions in Japan

教員／Instructor：小松 加代子 (Komatsu, Kayoko)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	211	E-mail	komatsu@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

- To understand the major religious traditions in Japan
- To consider Japanese concepts of worship
 - To visit some temples and shrines in the local area and experience religious rituals
 - To consider whether the general world view exists and describe what it is
 - ・日本における主要な宗教的伝統を理解する
 - ・日本人の祈りの概念を考える
 - ・藤沢周辺の寺院や神社を訪れ、その宗教的な体験をする
 - ・日本的な世界観というものがあるのか考察し、説明できるようになる

■Course Description／講義の概要

We will learn how Japanese people understand the religious dimensions of our cultural identity. We will pay attention to the ways in which religious ideas, values, and practices are integrated into the common forms of Japanese culture and make out what religion means in Japan.

In this course, the students will be asked to read the textbook which was written by an American researcher about Japanese religion who tried to show that many religious traditions in Japan lead to one sacred way. The students are also asked to make research into Japanese religious traditions in deep.

This course will offer the time to visit the temples and shrines in Fujisawa area and to experience some of the religious activities we usually see as Japanese.

日本人が日本の宗教的次元をどのように理解してきているのかについて、日本の文化の中に取り込まれた宗教思想、宗教的価値、宗教的实践などに注意を払いながら、その意味を考える。

授業では、創唱宗教とは異なる日本宗教の世界観について資料を読む。学生は日本の様々な生き方について、具体的な内容を深く調べながら、検証することが要求される。

また、授業内で藤沢近辺の寺や神社を訪問することや、宗教的实践を体験することを含む。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

The 15 weeks will be a combination of the following elements.

Read the materials in advance about the content of the lecture

When conducting a quiz, prepare the specified range

When giving a presentation, look for materials and put them together to make presentation materials.

It takes 3 hours each.

15週は次の要素の組み合わせで行われる。

講義内容について、資料を事前に読んでくる

小テストを実施する場合は、指定された範囲を準備しておく

プレゼンテーションを行う際には、資料を探し、それらをまとめて発表材料を作る。

以上、それぞれ3時間を要する。

■Textbook／教科書

To be announced.

■Method of Evaluation／評価方法

Class Participation／平常点：20% Assignment and report／課題（レポートを含む）：40% Quiz／小テスト：40%

■Prerequisite／事前履修科目等

None. 特になし。

■Additional Information／留意点

Students are expected to actively participate in group discussions. Classes are conducted in Japanese.

グループディスカッションに積極的に参加すること。授業は日本語で行う。

科目名：美術論

Course Title : Theory of Arts

教員／Instructor：深松 亮太（Fukamatsu, Ryota）

Division／分野	Elective／選択（HM）	Semester／開講学期	Summer Break Intensive
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	fukamatsu@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

- To know Image studies.
- To understand relationship between image and history.
- To understand social influence of image.
- To understand different cultures through art and image.
 - ・イメージ研究について知る。
 - ・イメージと歴史の関係について理解する。
 - ・イメージの社会的影響力について理解する。
 - ・美術とイメージを通じて異なる文化について理解する。

■ Course Description／講義の概要

This is an introductory course on Image Studies. The course will focus on relationship between Image and History, the difference between fine arts and caricature and social influence of image. The course will lecture on theory of art history and interpretation of image. Then, we will explore specific topics of image and arts. We will discuss about topics (nationalism, propaganda, racism and xenophobia) through image studies. "Presentation on public art" is imposed on students for assignment.

イメージ研究の入門編である。特にイメージと歴史との関係、風刺画と純粋芸術の違い、イメージの社会的影響力をテーマとする。講義では、美術史の理論、イメージ解釈の方法について学び、その後、具体的なイメージと美術に関わるトピックについて探求していく。ここでは、ナショナリズム、プロパガンダ、人種主義、外国人嫌いなどのトピックに関してイメージ研究を通じて議論していく。本講義では、公共芸術に関するプレゼンテーションが課題として課される。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Pre class and post class-learning (two hours each), Two exams and Presentation (10 hours each)

- ・講義テーマに対する事前・事後学習（2時間）。2回の試験、プレゼンテーションの準備（それぞれ10時間）。

■ Textbook／教科書

None. 指定しない。

■ Method of Evaluation／評価方法

授業中に課すプレゼンテーション 20%、中間試験 30%、期末試験 40%、リアクション・ペーパー 10% の割合で評価する。Students will be evaluated according to presentation (20%), Mid-term Exam (30%), Final Exam (40%) and reaction paper (10%).

■ Prerequisite／事前履修科目等

None. なし。

■ Additional Information／留意点

None. なし。

科目名：仕事と若者論

Course Title : Japanese Work Environment and Young People

教員 / Instructor : 太田 哲 (Ota, Satoshi)

Division / 分野	Elective / 選択 (HM)	Semester / 開講学期	Spring
Grade / 配当年次	3年以上	Credits / 単位	4単位
Office / 研究室	306	E-mail	ota@tama.ac.jp
Work Experiences / 実務経験			

■ Course Goals / 到達目標

The aims of this course are :

1. To understand the job environment of young people in Japan.
 2. To be able to analyse the structure of Japanese society and to understand various issues occurring in Japan.
 3. To understand historical changes of job environment in Japan.
 4. To understand the changes of job environment of women in Japan and look at the changes of life course.
 5. To look at working class youth in Japan and study the relationship between social class and taste.
1. 現在の日本における若者の就労状態を理解する。
 2. 日本の社会構造を理論的に分析し、現在起こっている様々な事象に対し理解する力を養う。
 3. 労働環境の変化が日本においてどのように語られてきたかを時系列的に理解する。
 4. 女性の労働環境の変化を理解し、それに伴う女性の生き方の変化について目を向ける。
 5. 日本における労働者階級の若者に目を向け、社会階層と趣向の関係についての意識を高める。

■ Course Description / 講義の概要

This course is to discuss Japanese young people and their working environment and to understand industrial structure and economic situation. Drawing from academic sources and research conducted in a wide range of Japanese industries, this course traces the development of the modern Japanese economy, employment system(s) and the evolution of labour relations. The course examines patterns of recruitment, training, job rotation and career development in Japanese companies, as well as the ideal of permanent or lifetime employment with reference to differences in both sector and company size. The course also considers the structure and organization of the workplace, including human relationships, interpersonal dynamics and the role of gender. Finally, broader theoretical issues such as convergence/divergence hypotheses and the relationship between 'culture' and 'economy' are assessed with reference to Japanese economic organizations and a Japanese economy in transition.

本コースは日本の若者が働くということに対しどう向き合っていくか受講者一人一人が考察し、今後の学生生活や進路について考えていく。それにあたって、日本の産業構造、労働環境、経済状況などを理解する。アカデミックな文献や日本の様々な産業について成された研究を参照し、現代の日本経済、雇用システム、労働関係の発展を概観する。具体的には、日本企業における雇用、訓練、職務の異動、キャリア開発の状況、およびセクターと企業規模の相違に着目し、生涯雇用の仕組みと問題点について考察する。その他、人間関係、人間関係力学、性別による役割の違いなど、職場のシステムと構造について検討する。集合 / 分散仮説や「文化」と「経済」の関係など、広範囲な理論的事項について、変わりつつある日本の経済構造と日本経済を鑑み検討していく。本コースはマクロ的な現状把握のみならず、受講者一人一人の生活経験と照らし合わせながら、現在日本で起こっている現象が自分にどのように影響しているのかを考え、それにあたって今後の進路を考える上での参考となることを目指したい。

■ Preparation study time Specific content / 準備学習時間・具体的内容

- ・ Students are expected to read the course readings in advance and prepare presentation based on these readings. The preparation of each assignment takes at least 4 to 5 hours.
- ・ The course requires to study at least 3 hours in advance to participate the discussion for students who are not in presentation turn.
- ・ Students are requested to write a term paper and it will take at least 7 to 8 hours to complete.
- ・ 本講座は課題図書をもとめプレゼンテーションを行うことを基本としている。その際には最低でも4、5時間の準備を要する。
- ・ プレゼンテーションがない回においても講義・ディスカッションの予習復習等で3時間の学習時間は必要となる。
- ・ レポート作成の課題を提出してもらうが、その準備のために最低でも7、8時間を必要とする。

■ Textbook / 教科書

The course does not require particular text books but course readings are provided in the class.
特になし。しかしながら、課題図書等は必要に応じて適宜授業中に配られる。

■ Method of Evaluation / 評価方法

Presentation / 発表 : 40% Essay / エッセイ : 30% Class Participation / 授業参加度 : 10%
Reaction Paper / 授業後のリアクションペーパー : 10% Other / その他 : 10%

■ Prerequisite / 事前履修科目等

No prerequisite classes are needed to take this course.

本講座の履修に際して事前に履修しなければならない科目は設けていない。

■ Additional Information / 留意点

The course is conducted in Japanese, but students are expected to read an English academic paper. Students are also assigned to give group presentations based on course readings, therefore substantial hours of group works outside class room are required. The attendance will be counted from week 1 and the attendance rule is applied according to Tama University's regulation.

授業は日本語で行うが、シラバスにある本以外に授業中に適宜本を紹介し、課題図書として読んでもらう。読んだ本の内容をグループで発表してもらうことが多くなると思われるので、授業外での学習や他の学生とのグループワークなどが発生するので学生は留意しておくこと。出席に関しては初回の授業からカウントし、多摩大学の規定に準ずる。

科目名：地球社会とアジアⅢ

Course Title : Global Community and Asia III

教員／Instructor：太田 哲 (Ota, Satoshi)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	306	E-mail	ota@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

The goals of this course are:／本講座の目的は：

1. to explore the general knowledge of south Asian countries／南アジアの国々の概要について知識を深める
2. to examine tourism in south Asia／南アジアの国々の観光事情について見識を深める
3. to study the history of south Asia／南アジアの歴史について概要を知る
4. to understand the religion of south Asia／南アジアにおけるヒンズー教やイスラム教などについて理解する
5. to explore the social issue of south Asia, such as poverty and caste system.／貧困やカースト制度など南アジアにおける社会問題について知る。

■ Course Description／講義の概要

This course will explore south Asian countries especially India. India is attracting attention because of its economic growth, and mass consumption society is growing among emerging middle class youths. The purpose of this course is to familiarize students with south Asian region by studying its culture, society, religion, history, economy, and politics. The course also covers tourism of its region, and looks at not only tourist spots but also the views of people of this region on the tourism. The class will consist of lecture and seminar style learning. Students are expected to participate the class actively, and to read books and journals as much as possible.

本講義は南アジア、特にインドを中心とした地域について学んでいく。インドは昨今経済成長が著しく、世界的にも注目されている国であり、中間層の伸びと共に若者を中心とした消費社会も着実に成長している。本講義はそのようなインドを中心とした南アジアの国々の社会や文化、歴史、宗教などを学ぶことによって、その地域が少しでも馴染みがあるようになってくれればと考えている。また、本講義では現地での観光についても学び、その地域の魅力のみならずその地域に人々が観光についてどのように考え、取り組んでいくかについても学んでいく。本講座は講義形式の授業も行われるが、学生が主体となって文献を読むなど調査をし、発表を行うので、学生は主体的に学習することが望まれる。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ This course requires at least two presentations regarding tourism in South Asia and religions in South Asia. Each presentation requires at least 6 to 7 hours for preparation, and for those who are not confident in English proficiency need more than 10 hours for preparation. A total of 20 hours is required for the preparation of presentation.
- ・ Students are requested to write 1500 word essay based on the presentation. It requires at least 20 hours to complete the essay especially for those whose first language is not English.
- ・ In addition, students are expected to read course readings and it will take around 4 to 5 hours for those whose first language is not English.
- ・ 本講座の受講生は南アジアの観光、南アジアの宗教についての英語でプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションの準備には最低でも 6,7 時間は必要とし、英語力が高くない者であれば 10 時間以上は必要とする。2 つのプレゼンテーションで 20 時間程度の準備が必要となる。
- ・ プレゼンテーションを基に英文 1500 word レポートを提出してもらおうが、英語が第一言語ではない者にとっては 20 時間は必要である。
- ・ その他、課題図書があり、課題図書を読むには 4、5 時間、英語が得意ではない者はそれ以上の時間が必要とする。

■ Textbook／教科書

No specific text book is required, but reading materials will be provided in the class.／特になし。しかしながら課題図書等は必要に応じて適宜授業中に配られる。

■ Method of Evaluation／評価方法

Presentation／発表：30% Essay／エッセー：40% Reaction Paper／リアクションペーパー：15%

Class Participation／授業参加：10% Other／その他：5%

■ Prerequisite／事前履修科目等

This course does not require prerequisite courses. 本講座の履修に際して事前に履修しなければならない科目は設けていない。

■ Additional Information／留意点

The class will be conducted basically in English, but there is no minimum requirement of TOEIC score.

授業は基本的に英語で行う。TOEIC のスコアの要求はないが、英語文献を多く読むので英語力を必要とする。

科目名：地球社会とアフリカ I

Course Title : Global Community and Africa I

教員／Instructor：杉下 かわり (Sugishita, Kaori)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	307	E-mail	kaori@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

Learn about the historical relationship between Africa and the global community so as to gain critical insights into the present world. 地球社会とアフリカの歴史的な関係について学び、現代世界に対する批判的な洞察力を得て下さい。

■ Course Description／講義の概要

While Africa has nurtured diverse peoples, cultures and societies, this barely features in the history of humanity as long as we recount it from a dominant, West-centred perspective. As a counterbalance to such a tendency, this course looks at Africa as the locus of world history, with its relations to the global community, including Japan, taken into full account. As we trace the rich, often sad history of this continent from its ancient past to the postcolonial present, we aim to challenge the unfair stereotype of Africa as 'nature', as opposed to 'civilization', wherein humanity remains 'primitive'.

The class meets weekly for two consecutive periods; a bilingual lecture is followed by a seminar centred on in-class reading of English materials. For a successful completion of the course, students are required to submit a weekly reaction paper, to give a twenty-minute presentation, and to sit for a final, written exam. The students may use either English or Japanese in completing the coursework and the final exam. Those who fail to attend the lecture or the seminar six times or more will be disqualified from taking the exam.

アフリカ大陸は実に多様な人々と文化、社会を育んできました。しかし、私達の多くは西洋を世界の中心と見なす傾向にあるため、人類の歴史を語る上でアフリカに注目することは殆どありません。本コースでは、逆に、アフリカと地球社会（日本を含む）との結びつきを最大限に考慮し、世界史が展開する場としてアフリカを捉えます。古代から植民地時代を経て現代に至るまで、時に悲しくも豊かなその歴史を学ぶことにより、「文明」とかけ離れた「自然」あるいは「未開の地」といった、アフリカに関する不当な固定観念からの脱却を図ります。

本コースは講義とセミナーによって進行します。バイリンガル講義に引き続き、英文読解を中心としたセミナー形式の授業を行います。成績評価は、論述式の期末試験の他、週毎のリアクション・ペーパーや、20分程度のプレゼンテーションによって行います。これらのコースワークと期末試験に用いる言語は、英語か日本語を選択できます。講義かセミナーを6回以上欠席した場合は、期末試験の受験を認めません。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

各回授業の復習とリアクション・ペーパーの作成のほか、発表の準備（リサーチ、スライド作成、スクリプト作成）と最終試験に備えた学習のため、毎週平均3時間程度が必要。

Students are expected to spend an average of three hours a week to review a class, to write a reaction paper, to prepare a slide presentation, and to study for the final exam.

■ Textbook／教科書

使用しません。 n/a

■ Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude／学修態度：10% Presentation／発表：20%

Reaction Paper／リアクション・ペーパー：20% Final Exam／学期末試験：50%

■ Prerequisite／事前履修科目等

ありません。 n/a

■ Additional Information／留意点

There will be no seminar in the first week; an introductory lecture will be given in the second period as well. Students wishing to take this course MUST attend either the first or the second session.

第1週目はセミナーを行いません。同じ内容の導入講義を2回行います。本コースの履修を希望する者は、1限目か2限目の講義に必ず出席して下さい。

科目名：地球社会とアフリカⅡ

Course Title : Global Community and Africa II

教員／Instructor：杉下 かおり (Sugishita, Kaori)

Division／分野	Elective／選択 (HM)	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	307	E-mail	kaori@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

Learn lessons for humanity (especially Japanese) from the history of the Republic of South Africa.
南アフリカ共和国の歴史から、人類（とりわけ日本人）のための教訓を学んで下さい。

■ Course Description／講義の概要

While Africa has nurtured diverse peoples, cultures and societies, this barely features in the history of humanity as long as we recount it from a dominant, West-centred perspective. As a counterbalance to such a tendency, this course looks at Africa as the locus of history-in-the-making, with a special reference to the Republic of South Africa. We will trace its turbulent past from the first contact between Africans and Europeans to the end of a policy of racial segregation called apartheid. We will also explore some aspects of contemporary South Africa in the midst of post-apartheid reconstruction.

The class meets weekly for two consecutive periods; a bilingual lecture is followed by a seminar centred on in-class reading of English materials. For a successful completion of the course, students are required to submit a weekly reaction paper, to give a twenty-minute presentation, and to sit for a final, written exam. The students may use either English or Japanese in completing the coursework and the final exam. Those who fail to attend the lecture or the seminar six times or more will be disqualified from taking the exam.

アフリカ大陸は実に多様な人々と文化、社会を育んできました。しかし、私達の多くは西洋を世界の中心と見なす傾向にあるため、人類の歴史を語る上でアフリカに注目することは殆どありません。本コースでは、逆に、歴史が刻々と生成する場としてアフリカ大陸を捉え、特に南アフリカ共和国について詳しく学びます。アフリカ人とヨーロッパ人の出会いからアパルトヘイト（人種隔離政策）の廃止に至るまで、同国の激動の歴史を振り返ると共に、再構築が進む現代南アフリカ社会の諸相を探访します。

本コースは講義とセミナーによって進行します。バイリンガル講義に引き続き、英文読解を中心としたセミナー形式の授業を行います。成績評価は、論述式の期末試験の他、週毎のリアクション・ペーパーや、20分程度のプレゼンテーションによって行います。これらのコースワークと期末試験に用いる言語は、英語か日本語を選択できます。講義かセミナーを6回以上欠席した場合は、期末試験の受験を認めません。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

各回授業の復習とリアクション・ペーパーの作成のほか、発表の準備（リサーチ、スライド作成、スクリプト作成）と最終試験に備えた学習のため、毎週平均3時間程度が必要。

Students are expected to spend an average of three hours a week to review a class, to write a reaction paper, to prepare a slide presentation, and to study for the final exam.

■ Textbook／教科書

使用しません。 n/a

■ Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude／学修態度：10%

Presentation／発表：20%

Reaction Paper／リアクション・ペーパー：20%

Final Exam／学期末試験：50%

■ Prerequisite／事前履修科目等

「地球社会とアフリカⅠ」を履修していることが望ましい。

It is advisable to complete 'Africa and the Global Community I' before taking this course.

■ Additional Information／留意点

There will be no seminar in the first week; an introductory lecture will be given in the second period as well. Students wishing to take this course MUST attend either the first or the second session.

第1週目はセミナーを行いません。同じ内容の導入講義を2回行います。本コースの履修を希望する者は、1限目か2限目の講義に必ず出席して下さい。

科目名：英語学Ⅰ

Course Title：English LinguisticsⅠ

教員／Instructor：山田 大介（Yamada, Daisuke）

Division／分野	Elective／選択（IS）	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	104	E-mail	yamada-d@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

From phonetics and phonological aspects, students are going to understand how to pronounce English consonants and vowels correctly, and to understand phonological phenomena such as linking, elision and assimilation, by adding training sessions hold on the second classes. Also, from the historical and social aspects of English, they learn its historical transition and its international status as a lingua franca as well. This course is also designed for obtaining English teacher's certificates at schools in Japan.

まずは音声学・音韻論を進める。子音・母音の発音を理解し、音の連結・脱落・同化といった音韻現象の理解を深めていくことを目標とする。1時間目の講義後に2時間目でトレーニングを行い、さらに理解を深める。後半では音声学・音韻論の知識を利用しながら、英語史や社会言語学的側面から英語学の諸領域を理解することが目的となる。本科目は教職免許状（英語）取得のための科目であり、語学力を活用したコミュニケーション能力とグローバルな問題を解決できる能力を持ち、国際基準の知識とこれを支える教養とともにグローバルな舞台上で活躍できる人材を育成することを目的とする。

■Course Description／講義の概要

This course focuses on English phonetics and phonology, and the history of the English language and English as an international languages. From Week 1 to 10, the first class of the week is planned to introduce some basic knowledge of phonetics and phonology. The second class is designed to have students learn how to pronounce English sounds. From Week 11 to 15, students learn the history of English, that is; from its birth, through the various changes on the Middle Ages, and then to its modern status, and also learn the current status of English as an international English.

この講義では11週までは音声学・音韻論の入門的な内容を扱い、それ以降は英語史や国際語としての英語とはどのようなものか理解する。11週までの1時間目では、音声学・音韻論の理論的理解を目的とし、2時間目では正確な発音やイントネーションの習得を目指すために、実際に口頭演習を行う。演習を通して英語の発音や音韻が日本語のそれとどう異なるのかを理解することが求められる。12週目以降では、英語の誕生から、中世から現代までの変遷や他の言語文化との影響を学習しながら、国際共通語としての英語の立場を理解する。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・教科書やワークブックの内容の事前に熟読しておくこと（1時間を要する）
- ・毎回（Week12まで）の音声現象は授業後に教科書CDと共に反復トレーニングを行う（2時間以上）
- ・Week12-13においては、（指定した）関連書籍を読みながら講義で配布したレジュメの復習を行うこと（2時間以上）

■Textbook／教科書

竹林 滋、斎藤弘子『新装版 英語音声学入門』大修館書店、2008年

今井由美子他『英語音声学への扉～発音とリスニングを中心に～』英宝社、2010年

■Method of Evaluation／評価方法

Midterm Exam／中間試験：20%（オーラル・筆記試験）、Final Exam／学期末試験：40%（筆記試験）、Pronunciation Test／発音試験 複数回：30%、In-class Presentations and Class Participation／発表及び授業参加：10%

■Prerequisite／事前履修科目等

Completed English LinguisticsⅡ or it is preferable to Complete English LinguisticsⅡ in next semester.／「英語学Ⅱ」を修得済みまたは、次学期に履修することが望ましい。

■Additional Information／留意点

Reading preparation for every class and assigned presentations are required. 講義個所の事前リーディングと、指定されたプレゼンテーション準備が必要

科目名：英語学Ⅱ

Course Title : English Linguistics II

教員／Instructor：山田 大介 (Yamada, Daisuke)

Division／分野	Elective／選択 (IS)	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	104	E-mail	yamada-d@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

On the first class of the week, students will give a presentation on English grammar by reading an English grammar book. On the second class, which is the lecture sessions, students will check the contents of the first classes and understand how a variety of English sentences are structured. This will further enhance their knowledge of grammar. This course is also designed for obtaining English teacher's certificates at schools in Japan.

1 時間目は学生が文法項目のプレゼンテーション授業を行い、2 時間目は担当者の講義を通して文法知識の構築を目指す。学習文法の理解を基本として、英語の文法の理解を目的とする。また前半で得た知識と共に心理言語学的側面から英語学の諸領域を理解するも求められる。本科目は教職免許状（英語）取得のための科目であり、つまり語学力を活用したコミュニケーション能力とグローバルな問題を解決できる能力を持ち、国際基準の知識とこれを支える教養とともにグローバルな舞台で活躍できる人材を育成することを目的とする。

■ Course Description／講義の概要

This course deals with English syntax and descriptive grammar of English. The first class of the week is designed to have students understand syntactic structures of English sentences, and to also have students understand the syntactic structures of English sentences by reading a grammar book written in English carefully and thoroughly and then by having them make presentations. The second class is held to enhance the knowledge of descriptive English grammar by lectures. The students making the presentation are required to make a small quiz to understand the topic for next classes.

この講義は、まずは統語論的側面から英語学の基本的理解として、学校文法を基本とした英語文法の理解を目的とする。言語学でのグラマーとは何なのかという導入から統語論の基本的立場を理解し、履修者が今まで学習してきた学校文法を、他の英語学の諸領域を考慮に入れながらより詳細に理解してもらう。1 時間目では、履修者が指定の文法事項をプレゼンテーションすることで理解を深め、2 時間目において、講義を通じて当該内容の理解を強固なものにする。発表者は翌週にプレゼンテーションを行った事項の小テストを作成し、それを履修者全員で解答しながら文法的側面を中心とした出題方法に関しても確認する。これら様々な活動を通じ、英語文法の理解を深めていくことが目的である。最終週には、上記内容の理解をもとに、第二言語習得や心理言語学の導入を行いながら、日本語母語話者に困難となる文法事項などの意識化を図る。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・教科書の指定内容を事前に熟読しておくこと（2 時間以上）
- ・授業後の復習として、教科書や授業中に配布したレジュメを利用して次回の小テストの準備を行う（1 時間以上）

■ Textbook／教科書

江川泰一郎『改訂三版 英文法解説』金子書房、1991 年

■ Method of Evaluation／評価方法

Midterm Exam／中間試験：20%、Final Exam／学期末試験：40%、Presentation／発表：20%、Class Participation／授業参加：20%

■ Prerequisite／事前履修科目等

Completed English Linguistics I or it is preferable to Complete English Linguistics I in next semester.／「英語学Ⅰ」を修得済みまたは、次学期に履修することが望ましい。

■ Additional Information／留意点

Reading preparation for every class and assigned presentations are required／講義個所の事前のリーディングと指定されたプレゼンテーションの準備が必要

科目名：英米文学 I

Course Title : English and American Literature I

教員／Instructor：田中 ちよ子 (Tanaka, Chiyoko)

Division／分野	Elective／選択 (IS)	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	tanaka-c@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

This course is an overview of British literature from the Middle Ages to the present. Reading original texts in English, students will learn to find the enjoyment of English literature and its close relation to society.

英文学の導入として、中世から現代までの文学の流れを大まかに把握する。実際の作品の原文に触れて、英文学を味わい、文学と社会の密接さを学ぶことを目標とする。

■ Course Description／講義の概要

In this course, reading some representative pieces from different generations of writers, students deepen their understanding of the themes of texts and their pertaining characters by touching upon the actual texts. In so doing, students will learn some basic knowledge such as historical, cultural, social, and political movements and issues, familiarizing themselves with the original texts and developing language skills to read them in English.

この講義では、各時代の代表的な作品に触れながら、作品のテーマや人物造形などについて理解を深める。あわせて、基礎的な知識として歴史・政治・文化などの社会的背景を学び、作品に親しみつつ、作品を読む英語力を養っていく。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

1) Before the class, students should read the textbook to have a better understanding of the outline of the lecture, picking up the authors and their noted works to learn (1.5 hour).

授業の流れの理解を深めるため、事前に教科書を読んでおくこと。その際、学習する予定の著者、及び著書名を抜き出しておくこと (1.5 時間)

2) It is preferable to read works on the reading list in advance. Or, look up in the Course Readings, referring to the authors and their works which students picked up in Step 1.

事前に諸作品を読んでおくことが望ましい。あるいは指定図書で、1) で事前に抜き出しておいた著者と諸作品について下調べしておくこと。(1.5 時間)

■ Textbook／教科書

神山妙子彦『はじめて学ぶイギリス文学史』ミネルヴァ書房、1989 年

Additional reading materials are provided to students during the course.

追加の読書物などの教材は授業でプリントを配付する。

■ Method of Evaluation／評価方法

Active Participation／授業参加度：10%

Weekly Quizzes／毎週、小テストを実施：40%

Group Presentation：20%

Term-end Exam／試験：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None 特になし

■ Additional Information／留意点

Have your own copy of the textbook.

教科書を必ず持参すること。

Do not use the mobile phone in class.

授業中は携帯電話の使用禁止。

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：英米文学Ⅱ

Course Title : English and American Literature II

教員／Instructor：田中 ちよ子（Tanaka, Chiyoko）

Division／分野	Elective／選択（IS）	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	tanaka-c@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

This course is an overview of American literature from its beginnings to the present. Reading original texts in English, students will learn to find the enjoyment of English literature and its close relation to society.

米文学の導入として、植民地時代から現代までの文学の流れを大まかに把握する。実際の作品の原文に触れて、米文学を味わい、文学と社会の密接さを学ぶことを目標とする。

■Course Description／講義の概要

In this course, reading some representative pieces from different generations of writers, students deepen their understanding of the themes of texts and their pertaining characters by touching upon the actual texts. In so doing, students will learn some basic knowledge such as historical, cultural, social, and political movements and issues, familiarizing themselves with the original texts and developing language skills to read them in English.

この講義では、各時代の代表的な作品に触れながら、作品のテーマや人物造形などについて理解を深める。あわせて、基礎的な知識として歴史・政治・文化などの社会的背景を学び、作品に親しみつつ、作品を読む英語力を養っていく。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

1) Before the class, students should read the textbook to have a better understanding of the outline of the lecture, picking up the authors and their noted works to learn (1.5 hour).

授業の流れの理解を深めるため、事前に教科書を読んでおくこと。その際、学習する予定の著者、及び著書名を抜き出しておくこと（1.5時間）

2) It is preferable to read works on the reading list in advance. Or, look up in the Course Readings, referring to the authors and their works which students picked up in Step 1.

事前に諸作品を読んでおくことが望ましい。あるいは指定図書で、1) で事前に抜き出しておいた著者と諸作品について下調べしておくこと。（1.5時間）

■Textbook／教科書

板橋好枝／高田賢一 編著『はじめて学ぶアメリカ文学史』ミネルヴァ書房、1991年

Additional reading materials are provided to students during the course.

追加の読書物などの教材は授業でプリントを配付する。

■Method of Evaluation／評価方法

Active Participation／授業参加度：10%

Weekly Quizzes／毎週、小テストを実施：40%

Group Presentation：20%

Term-end Exam／試験：30%

■Prerequisite／事前履修科目等

None, but it is preferable to complete English and American Literature I in the spring semester.

特にないが、春学期に英米文学Ⅰを修了していることが望ましい。

■Additional Information／留意点

Have your own copy of the textbook.

教科書を必ず持参すること。

Do not use the mobile phone in class.

授業中は携帯電話の使用禁止。

科目名：金融論

Course Title : Theory of Finance

教員／Instructor：エリック ホノベ (Honobe, Erik)

Division／分野	Elective／選択 (IS)	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	202	E-mail	honobe@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■ Course Goals／到達目標

Our main goal in Theory of Finance is to understand the financial situation of a firm from the point of view of funding from banks and stockholders. Other goals include to acquire basic concepts regarding financial markets, such as common stock, long-term bonds, currency exposure and others, and to apply our understanding of these concepts to financial examples of actual companies. 金融論は会社の経営状態を資金の観点から把握する学問である。基礎知識の習得と実際の証券市場及び証券市場からみた経済について理解することにある。株式・債券・為替など証券金融市場について基礎知識を習得し、経済活動や企業行動の実際の動きに対する理解を深め基本的な概念を身につける。

■ Course Description／講義の概要

In this course, students are introduced to the financial world. We learn how financial markets work, how corporate bonds and stocks are issued, and how large companies aim at finding a balance between large profits and the risk of going bankrupt. Also, we learn how large companies manage their money and debt, and how companies decide to invest in new projects such as modernizing their equipment, building new branches and new factories, or starting a new line of products. Finally, we look at how companies attempt to attract more stockholders by giving them high dividend payments and other such benefits.

本講義は金融市場の構成、社債券や株式発行等の金融の基礎を学習する。大手企業の資産と負債の管理方法、設備投資や新支店・工場の建設、新商品の生産などの企画に投資する意思決定を学び、大手企業がどのような方法で高利益と倒産のリスク回避のバランスを見極めるか等も学ぶ。講義後半には、株主からの継続的な資金投資を受けるための高い配当金や株主の特別待遇の方針を学習する。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Before each class, students are to read the textbook, assigned readings and others (3 hours needed).

・教科書や指定図書、等を事前に読んでおくこと (3時間を要する)

■ Textbook／教科書

本合巻詩『英語で学ぶコーポレートファイナンス入門』第2版、中央経済社、2019年

■ Method of Evaluation／評価方法

Participation／授業参加：20%

Assignments／課題：20%

Midterm Exam／中間試験：30%

Final Exam／期末試験：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None in particular. 特になし

■ Additional Information／留意点

None in particular. 特になし

語 E

学 P

選 C
択 O
必 R
須 E

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：国際会計論

Course Title : International Accounting

教員／Instructor：エリック ホノベ (Honobe, Erik)

Division／分野	Elective／選択 (IS)	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	202	E-mail	honobe@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■Course Goals／到達目標

Internationalization is a current of modern society. It permeates, needless to say, politics and culture, and has repercussions in the world of accounting. In this course, our main goal is to master principles involved in preparing and presenting financial statements based on international standards. Also, we aim at becoming aware of the role and importance of such financial statements when considering concepts such as accuracy in financial reporting and its regulatory systems, efficient capital markets, and the information flow in market economies.

国際化は現代社会の潮流である。この流れは、政治や文化は言うに及ばず、会計の世界にも及んでいる。本授業では、国際基準の財務諸表の作成が要請される背景や作成原理、表示方法をマスターすることを目標とする。授業目標は財務諸表制度が公正かつ健全な資本市場の形成とともに市場経済基盤の確立のため、いかに重要な役割を担っているかを受講者が認識するように努力するところにある。

■Course Description／講義の概要

In this course, students develop skills necessary to assess the business performance of international companies by analyzing and interpreting their financial statements. We focus on cash liquidity, inventory turnover, income tax shield, investment in assets, issuance of debt, and other key factors in assessing a company's management efficiency and profitability. In particular, we learn not only how financial statements are generated, but also, and more importantly, how differences in accounting methods can affect a company's reported financial condition, results of operations, cash flows and profitability ratios.

本講義では、学生が企業の財務諸表を的確に分析・解釈し、その企業の業績を評価するための必要なスキルを身につける。具体的に、「貸借対照表」「損益計算書」「キャッシュフロー計算書」の分析を実際の会社の財務諸表を用いながら学びます。企業の効率や収益性を評価するための主な要因、例えば、支払能力、在庫回転率、所得税、資産投資、社債発行などに焦点を当てる。また、財務諸表の作成方法だけではなく、会計方法の違いがいかに経営業績、収益性比率、キャッシュフロー等に影響を与えるかという事も学習する。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Before each class, students are to read the textbook, assigned readings and others (3 hours needed).

・教科書や指定図書、等を事前に読んでおくこと (3時間を要する)

■Textbook／教科書

財務会計・入門〔第14版〕桜井久勝 (著)、須田一幸 (著) 出版社：有斐閣第14版 (2021)

■Method of Evaluation／評価方法

Participation／授業参加：20%

Assignments／課題：20%

Midterm Exam／中間試験：30%

Final Exam／期末試験：30%

■Prerequisite／事前履修科目等

None in particular. 特になし

■Additional Information／留意点

None in particular. 特になし

科目名：国際関係論：南・東南アジア

Course Title : International Relations of South and Southeast Asia

教員／Instructor：アイグル クルナザロバ (Kulnazarova, Aigul)

Division／分野	Elective／選択 (IS)	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	208	E-mail	kulnazarova@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

Learning objectives include but are not limited to／学習目標には次のものが含まれますが、これらに限定されません：

1. helping students understand the international relations in South and Southeast Asia／学生が南アジアと東南アジアの国際関係を理解するのを助ける；
2. deepening students' knowledge about the issues and dynamics of South and Southeast Asian IR since 1945／1945 年以来、南アジアと東南アジアの IR の問題とダイナミクスに関する学生の知識を深める；
3. integrating knowledge of South and Southeast Asian foreign policies into a global perspective／南アジアと東南アジアの外交政策に関する知識を世界の視点の範囲に統合する；
4. developing students' new study and research skills through drafting country policy papers, writing book review essays, etc.／国の政策文書の起草、書評エッセイの執筆などを通じて、学生の新しい学習スキルを開発します。

■ Course Description／講義の概要

The course consists of three parts — Introduction, Country Studies, and Issue Studies. In the first part, we will explore independence-era foreign policies and the impact of the Cold war on the two regions. In the second part, we will look at the foreign policies of selected states — India, Pakistan, Sri Lanka, Bangladesh, Indonesia, Malaysia, Thailand, and Vietnam. In the final part, we will discuss contemporary international/ regional issues, particularly regional conflicts and their resolution mechanisms, as well as postconflict peacebuilding processes in the regions. The teaching methodology for this course will combine both theoretical and practical approaches, including videogames, etc.

このコースは、「はじめに」、「国別研究」、「問題研究」の3つのパートで構成されています。最初の部分では、独立時代の外交政策と冷戦が2つの地域に与える影響について探ります。第2部では、インド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュ、インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナムなど、選択された州の外交政策について見ていきます。最後の部分では、現代の国際的/ 地域的問題、特に地域紛争とその解決メカニズム、および地域における紛争後の平和構築プロセスについて議論します。このコースの教授法は、ビデオゲームなどを含む理論的アプローチと実践的アプローチの両方を組み合わせます。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

This course will meet 3 hours per week in the classroom. In addition, students MUST spend at least 3 hours on weekly self-study preparation to read and analyze book chapters from designated textbooks and journal articles, to answer critical and discussion questions that accompany weekly readings, to complete weekly assignments, midterm and final term projects, etc.

このコースは週に3時間 (2コマ) 開催されます。さらに、学生は、指定された教科書、記事、人権条約を読んで分析するために、毎週の自習準備に少なくとも3時間を費やす必要があります。また、毎週の読書に伴う重要なディスカッションの質問に答え、中間および学期末のプロジェクトを完了します。

■ Textbook／教科書

Jamil Ahmad (2012). The Wandering Falcon. Riverhead Books Publishing (must-to-read novel *final term project).

■ Method of Evaluation／評価方法

Attendance and Participation／出席と参加：30%

(Participation does not mean only attendance; participation includes weekly readings and their presentations, group work, individual class activities, analytical presentations, critical issue discussions, etc.)

(参加は出席だけを意味するものではありません。参加には毎週の朗読とそのプレゼンテーション、グループワーク、個別のクラス活動、分析プレゼンテーション、重要な問題の議論などが含まれます)

Midterm Project／中期プロジェクト：30%

Final Term Project／最終学期プロジェクト：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

There are no course prerequisites. However, since this course will be taught in English, students should have at least 450 TOEIC score and high level of motivation towards improvement. It is important that students understand the content of lectures, be able to participate in class activities and complete weekly assignments, midterm and final term projects by due dates.

コースの前提条件はありません。ただし、このコースは英語で行われるため、TOEIC スコアが450点以上であり、改

善意欲が強いことが必要です。学生は講義の内容を理解し、クラス活動に参加し、毎週の課題、中間および学期末プロジェクトを時間どおりに完了することができることが重要です。

■Additional Information／留意点

English language requirements／英語の要件：

Since this course will be taught in English, students are required to have at least 450 の TOEIC score.

このコースは英語で行われるため、学生は少なくとも 450 点の TOEIC スコアを取得している必要があります。

Class attendance policy／クラス出席ポリシー：

Students are required to attend all weekly classes. In total, a student may be absent up to two times, intended to cover sickness, family emergency, etc. With the documented proof of evidence, such as doctor's certificate, these absences will not be penalized. But each subsequent absence will lead to make-up classes of all (obligatory, not subject to negotiation). Any absence (medical or family-related) must be reported to me in writing via e-mail before the missing class. 学生は毎週すべてのクラスに出席する必要があります。合計すると、病気、家族の緊急事態などをカバーするために、学生は最大 2 回欠席することが出来ます。医師の証明書などの証拠書類があれば、これらの欠席は罰せられません。しかし、3 回 もしくはそれ以上授業を欠席した場合は、欠席した分の課題を終わらせる必要があります（義務です。交渉の対象外）。欠席（医療または家族関連）をする場合は、欠席の前に、電子メールで報告する必要があります。

Rules of classroom conduct／授業のルール：

- No sleeping, napping and other disruptive activity is permitted during classes／授業中の睡眠、昼寝、その他の授業妨害行為は禁止されています。

- No phone calls, incoming or outgoing are allowed／電話を発着信で使用することは許可されていません。

- No smart phone or other digital devices may be used during class unless you use them for study purposes／勉強目的で使わない限り、授業中にスマートフォンやその他のデジタル機器を使用することはできません。

- No late coming to class (points will be deducted otherwise)／遅刻してはいけません（遅刻した場合はポイントが差し引かれます）。

Course syllabus／コースシラバス：

The present syllabus may be subject to change. The final version will be circulated after the course registration. Therefore students are advised to use this version for general reference only. 現在のシラバスは変更される場合があります。最終版はコース登録期間終了後に配布されます。したがって、学生は一般的な参照のためのためにこのバージョンを使用することをお勧めします。

科目名：国際教養特別講義Ⅱ（国際政治）

Course Title : Special Lectures for International Studies Ⅱ

教員／Instructor：新美 潤（Niimi, Jun）

Division／分野	Elective／選択（IS）	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	学科長室	E-mail	niimi@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■ Course Goals／到達目標

The goals are, firstly, to obtain basic understanding of the current important issues on international politics and diplomacy. Secondly, to nurture ability to analyze daily international issues by oneself.

国際政治上の主要問題の概要、並びに背後の外交について基礎的理解を有し、日々の国際社会の動きについて、自ら考察・判断する能力を養うことを目指す。

■ Course Description／講義の概要

In the first part of the class, a lecture will be given, based upon the experience of the lecturer in diplomacy, for the understanding of the current important issues such as the nuclear development of Iran and North Korea. In second part, a discussion or debate will be held under some theme related to the class.

授業の前半は、イラン・北朝鮮の核開発問題等、国際政治上の主要問題について、外交に従事した経験を踏まえ、解説する。後半は、講義の内容に関連したテーマを設定し、全員で討論する。討論の形式は、受講生の数等に応じ決定。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Pre-class preparation : A summary will be distributed for each class in advance. Please read it through and check on key issues with internet and so on (3 hours)

講義概要を事前に配布するので、これに目を通し、重要事項についてウィキペディア、外務省ホームページ等で事前に調べておく（予習。3時間）

■ Textbook／教科書

None. Instead a summary will be distributed for each class. It is desirable that students bring world atlas for class.

なし。代わりに講義概要を配布する。また、世界地図帳を常時授業に持参することが望ましい。

■ Method of Evaluation／評価方法

Class participation／平常点：30%

Mid-term examination or report／中間考査：30%（考査の形式を筆記試験、レポート等どのような形式にするかは、受講生の受講形態等に応じて決定）

Final examination or report／学期末考査：40%（同上）

■ Prerequisite／事前履修科目等

None なし

■ Additional Information／留意点

The course emphasizes active learning not only for lecture but also discussion. Please be prepared to speak.

授業前半の講義においても、アクティブ・ラーニング、すなわち双方向で開講されることから、履修生は一方的に聴講するだけでなく、発言も求められることを想定のこと。

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
テ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：国際法と国際機関

Course Title : International Law and Organizations

教員／Instructor：新美 潤 (Niimi, Jun)

Division／分野	Elective／選択 (IS)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	学科長室	E-mail	niimi@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■ Course Goals／到達目標

国際法の基礎について学び、今日の様々な分野における国際条約が日本の政策、国益、国民の生活にどのように関わっているか、理解・判断する能力を養う。

The goals are, firstly to obtain basic understanding of international law. Secondly, to nurture ability to understand how international treaties affect the policies, national interest and the people's daily life of Japan.

■ Course Description／講義の概要

授業の前半は、国際法の基礎事項、並びに、安全保障、経済等様々な分野における重要な条約について、外交に従事した経験を踏まえ、解説する。後半は、講義の内容に関連したテーマを設定し、グループ討論、もしくは小論文作成を行う。

In the first part of the class, a lecture will be given, based upon the experience of the lecturer in diplomacy, for the basic understanding of international law and important treaties in various areas such as security and economy. In the second part, students will engage in active learning such as group discussion and writing short essays under some theme related to the class.

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

教科書を事前に予習し、必要に応じ、インターネット等で重要事項を調べておく（予習。3時間）

Please read the textbook in advance and check on key issues with internet and so on (3 hours)

■ Textbook／教科書

玉田大・水島朋則・山田卓平『国際法』有斐閣ストゥディア

Yuuhikaku Sutudhia "Kokusaihou"(Yuuhikaku)

■ Method of Evaluation／評価方法

Class participation／平常点：30%

Mid-term examination or report／中間考査：30%（考査の形式を筆記試験、レポート等どのような形式にするかは、受講生の受講形態等に応じて決定）

Final examination or report／学期末考査：40%（同上）

■ Prerequisite／事前履修科目等

None なし

■ Additional Information／留意点

The course emphasizes active learning not only for lecture but also discussion. Please be prepared to speak.

授業前半の講義においても、アクティブ・ラーニング、すなわち双方向で開講されることから、履修生は一方的に聴講するだけでなく、発言も求められることを想定のこと。

科目名：情報処理Ⅰ

Course Title : Information Processing I

教員／Instructor：張 琪 (Zhang, Qi)

Division／分野	Elective／選択 (IS)	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	212	E-mail	zhangqi@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■ Course Goals／到達目標

This course aims to nurture global human resources who can respond quickly to the development of global information society, with strong execution abilities and skills. The goal of this course is to acquire the efficient skills of word processing software which is one of the basic tools required for the academic studies and various business purposes. Students will acquire the ability of passing the MOS (Microsoft Office Specialist) exam of Word on the general specialist level.

本科目はグローバル化、情報化社会の進展に即応して、強い実行力・スキルを備えたグローバル人材を育成することを目的としている。到達目標は、大学の学習生活に不可欠、かつ社会に出てからも活用できる情報処理の基本ツールとされる文書処理ソフトウェアの基本的な操作方法を習得し、さまざまな機能を効果的に使いこなすスキルが身に付けることにより、表現力がある文書を効率よく作成できることである。世界で通じる国際資格 MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）試験の Word スペシャリストレベル（一般レベル）に合格できるレベルに達する。

■ Course Description／講義の概要

This course focuses on the literacy of information processing, which is necessary not only in the academic studies during the student lives, such as writing reports or graduation theme, but also for various business activities after students graduate and enter the business society. In this course, students will acquire the skills of using word processing software. They are trained to understand the basic processing methods and acquire the practical skills of Microsoft Word, such as changing sizes and font types of characters, creating and editing tables, printing documents, and so on.

この科目では、学生生活でのレポートや卒業論文の作成などに不可欠、かつ社会に出てからもビジネス活動で活用できる情報処理のリテラシー能力を身につける。文書処理ソフトでの情報処理の具体的な操作手法を学ぶ。文字サイズやフォントの変更、表の作成・編集、作成した文書の印刷など、ワードソフトウェアの基本的な編集機能を理解し、スキルを習得する。講習や演習を通じて、MOS 資格取得に欠かせない知識を獲得して活用できるように、より深く掘り下げた学習を行う。資格取得することにより、学生がスキル、自信、効率がアップし、学生生活や将来のビジネス日常業務における生産性が高まることにつながる。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Before class, make sure you fully understand the contents of the previous lecture. It takes at least 3 hours to review the lecture contents, complete the assignments, and prepare for the next lecture.

授業前には、前回の講義内容について十分に理解をしておくこと。講義内容の復習、課題の完成及び次回講義の準備には、3 時間以上の取組が必要。

■ Textbook／教科書

『よくわかるマスター MOS Word 365&2019 対策テキスト & 問題集』, FOM 出版, 2020 年。

■ Method of Evaluation／評価方法

Participation and assignments／授業参加及び課題：30%

Review tests／復習テスト：30% Final Exam／学期末試験：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

The "Introduction to Computers" course is a prerequisite for this course.

「コンピューター入門」の単位を取得済みであること。

■ Additional Information／留意点

The score of each review test and the final exam should be more than the passing score.

単位を取得するには、復習テスト及び学期末試験はすべて合格点以上取れること。

Students who would like to register for this course must attend the class in Week 1.

履修希望者は第 1 週の授業に必ず出席すること。

Students who would remotely take the course should use a Windows PC, on which "Microsoft Office Professional Plus 2019" has been installed.

オンライン受講する場合は、Windows PC を使用し、「Microsoft Office Professional Plus 2019」がインストールされていること。

科目名：情報処理Ⅱ

Course Title : Information Processing II

教員／Instructor：張 琪（Zhang, Qi）

Division／分野	Elective／選択（IS）	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	212	E-mail	zhangqi@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■Course Goals／到達目標

This course aims to nurture global human resources who can respond quickly to the development of global information society, with strong execution abilities and skills. The goal of this course is to acquire the efficient skills of spreadsheet software which is one of the basic tools required for the academic studies and various business purposes. Students will acquire the ability of passing the MOS (Microsoft Office Specialist) exam of Excel software on the general specialist level.／本科目はグローバル化、情報化社会の進展に即応して、強い実行力・スキルを備えたグローバル人材を育成することを目的としている。到達目標は、大学の学習生活に不可欠、かつ社会に出てからも活用できる情報処理の基本ツールの一つとされる表計算ソフトウェアの基本的な操作方法を習得し、さまざまな処理・分析方法を使いこなすスキルが身に付けることにより、データを効率よく処理・分析、及びグラフなどで表現できるようになることである。世界で通じる国際資格 MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）試験の Excel スペシャリストレベル（一般レベル）に合格できるレベルに達する。

■Course Description／講義の概要

Spreadsheet is a necessary tool not only for academic studies but also for business society. The ability of summarizing data efficiently, processing them properly, and presenting the results with graphs to make them easy to be understood, is the basic ability for us to live in the formation society. In this course, students will acquire the literacy skills of information processing through learning the usage of spreadsheet software. Students are trained to understand the basic processing methods and acquire the practical skills of Microsoft Excel, such as creating formula and basic functions, setting formats of cells, creating graphs, and so on.／表計算は学生生活だけではなく、ビジネス社会に必須なツールになっている。データを効率よく纏め、適切に処理した上、グラフなどで分かりやすく表現する能力は情報社会で生きるための基本能力である。この科目では、表計算ソフトでの情報処理の具体的な操作手法を学ぶ。数式や基本的な関数の作成、セルの書式設定、グラフ作成など、エクセルソフトウェアの基本的な操作を理解し、スキルを習得する。講義や演習を通じて、MOS 資格取得に欠かせない知識を獲得して活用できるように、より深く掘り下げた学習を行う。資格取得することにより、学生がスキル、自信、効率がアップし、学生生活や将来のビジネス日常業務における生産性が高まることにつながる。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Before class, make sure you fully understand the contents of the previous lecture. It takes at least 3 hours to review the lecture contents, complete the assignments, and prepare for the next lecture.／授業前には、前回の講義内容について十分に理解しておくこと。講義内容の復習、課題の完成及び次回講義の準備には、3 時間以上の取組が必要。

■Textbook／教科書

『よくわかるマスター MOS Excel 365&2019 対策テキスト & 問題集』, FOM 出版, 2020 年.

■Method of Evaluation／評価方法

Participation and assignments／授業参加及び課題：30%

Review tests／復習テスト：30% Final Exam／学期末試験：40%

■Prerequisite／事前履修科目等

The “Introduction to Computers” course is a prerequisite for this course.
「コンピューター入門」の単位を取得済みであること。

■Additional Information／留意点

The score of each review test and the final exam should be more than the passing score.

単位を取得するには、復習テストと学期末試験はすべて合格点以上取れること。

Students who would like to register for this course must attend the class in Week 1.

履修希望者は第 1 週の授業に必ず出席すること。

Students who would remotely take the course should use a Windows PC, on which “Microsoft Office Professional Plus 2019” has been installed.

オンライン受講する場合は、Windows PC を使用し、「Microsoft Office Professional Plus 2019」がインストールされていること。

科目名：多国籍企業会計

Course Title : Accounting for Multinational Firms

教員／Instructor：エリック ホノベ (Honobe, Erik)

Division／分野	Elective／選択 (IS)	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	202	E-mail	honobe@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■ Course Goals／到達目標

With the increasing number of firms expanding their overseas operations and the continuing unification of capital markets from countries around the world, there is a growing need for corporate information with better transparency and clearer criteria of comparison across countries. The goals of this course are to analyze how financial reporting standards employed by multinational firms are part of a process aiming for global corporate standards of a higher quality overall, as well as to understand financial risk and its underlying principles for portfolio management, derivative products, and option pricing.

企業の海外事業展開や各国資本市場の統合によって、より比較可能で、透明性の高い情報が要求されるようになった。当講義の目標は多国籍企業に適用される財務報告基準が、高品質のグローバル基準に向けて調整過程であることを解説し、金融のリスクについて理解し、ポートフォリオ理論、金融派生商品、オプション価格決定についての基礎を理解することである。

■ Course Description／講義の概要

In this course, we learn about the theory, reasoning, application and quantitative aspects of accounting problems and financial management issues faced by multinational firms. In particular, we analyze international accounting standards in relation with basic items crucial to multinational firms such as tangible fixed assets, inventory and financial products, as well as accounting for process in international management such as currency conversion. Finally, currency options and currency swaps are also covered.

多国籍企業が直面し解決しなければならない会計問題や財務管理課題に関する理論・学説及び実務・計数的手法を身に付ける。特に、外貨換算会計、国際管理会計に伴い、多国籍企業にとって基本的重要項目である有形固定資産・棚卸資産・金融商品に関する国際会計基準を分析する。また、通貨の選択権取引とスワップ取引も網羅される。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Before each class, students are to read the textbook, assigned readings and others (3 hours needed).

・教科書や指定図書、等を事前に読んでおくこと (3時間を要する)

■ Textbook／教科書

財務会計・入門〔第14版〕桜井久勝 (著)、須田一幸 (著) 出版社：有斐閣第14版 (2021)

■ Method of Evaluation／評価方法

Participation／授業参加：20%

Assignments／課題：20%

Midterm Exam／中間試験：30%

Final Exam／期末試験：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None in particular. 特になし

■ Additional Information／留意点

None in particular. 特になし

語 E

学 P

選 C
択 O
必 r
須 e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：人間安全保障

Course Title : International Protection of Human Rights

教員／Instructor：アイグル クルナザロバ (Kulnazarova, Aigul)

Division／分野	Elective／選択 (IS)	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	208	E-mail	kulnazarova@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

Learning objectives include, but are not limited to／学習目標には次のものが含まれますが、これらに限定されません：

1. Enhancing students' understanding of the scope, nature and development of international human rights law／国際人権法の範囲、性質および発展についての学生の理解を高める；
2. Helping students gain substantive knowledge of international human rights instruments／学生が国際人権文書についての実質的な知識を得るのを助ける；
3. Familiarizing students with modalities for the implementation of human rights at national and international levels／国内および国際レベルでの人権の実施のためのモダリティを学生に理解させる；
4. Elaborating on actual field difficulties faced in the implementation and protection of human rights／人権の実施と保護において直面する実際の現場の困難について詳しく説明する；
5. Assisting students in developing their analytical skills to question and appraise human rights policies and practices／人権の方針と慣行に疑問を投げかけ、評価するための分析スキルの開発において学生を支援する。

■Course Description／講義の概要

After introducing the historical, philosophical, conceptual, political, legal, biological, social and cultural developments of human rights (part 1), the course will focus on the analysis and synthesis of various mechanisms created for the advancement, protection and implementation of international human rights law (part 2). The course will combine lectures, discussions, case studies, group work in the examination of purposes, structures, and functions of human rights protection at the global, regional and national levels. 人権の歴史的、哲学的、概念的、政治的、法的、生物学的、社会的、文化的発展を紹介した後（パート1）、コースは国際人権の進歩、保護、実施のために作成されたさまざまなメカニズムの分析と統合に焦点を当てます人権法（パート2）。このコースでは、講義、ディスカッション、ケーススタディ、グループワークを組み合わせ、グローバル、地域、および国レベルでの人権保護の目的、構造、および機能を検討します。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

This course will meet 3 hours per week (2 komas). In addition, students MUST spend at least 3 hours for weekly self-study preparation to read and analyze designated textbooks, journal articles and human rights conventions and treaties, answer critical discussion questions that accompany weekly readings and complete midterm and final term projects.

このコースは週に3時間（2コマ）開催されます。さらに、学生は、指定された教科書、記事、人権条約を読んで分析するために、毎週の自習準備に少なくとも3時間を費やす必要があります。また、毎週の読書に伴う重要なディスカッションの質問に答え、中間および学期末のプロジェクトを完了します。

■Textbook／教科書

None

■Method of Evaluation／評価方法

Attendance and Participation／出席と参加：30%

(Participation does not mean only attendance; participation includes weekly readings and their presentations, group work, individual class activities, analytical presentations, critical issue discussions, etc.)

(参加は出席だけを意味するものではありません。参加には毎週の朗読とそのプレゼンテーション、グループワーク、個別のクラス活動、分析プレゼンテーション、重要な問題の議論などが含まれます)

Midterm Project／中間プロジェクト：30%

Final Term Project／学期末プロジェクト：40%

■Prerequisite／事前履修科目等

There are no course prerequisites. However, since this course will be taught in English, students should have at least 450 TOEIC score and high level of motivation for improvement. It is important that students understand the content of lectures, be able to participate in class activities and complete weekly assignments, midterm and final term projects by due dates.

コースの前提条件はありません。ただし、このコースは英語で行われるため、TOEIC スコアが450 点以上であり、改善意欲が強いことが必要です。学生は講義の内容を理解し、クラス活動に参加し、毎週の課題、中間および学期末プロジェクトを時間どおりに完了することができることが重要です。

■Additional Information／留意点

English language requirements／英語の要件：

Since this course will be taught in English, students are required to have at least a 450 TOEIC score.

このコースは英語で行われるため、学生は少なくとも 450 点の TOEIC スコアを取得する必要があります。

Class attendance policy／クラス出席ポリシー：

Students are required to attend all weekly classes. In total, a student may be absent up to two times, intended to cover sickness, family emergency, etc. With the documented proof of evidence, such as doctor's certificate, these absences will not be penalized. But each subsequent absence will lead to make-up classes of all (obligatory, not subject to negotiation). Any absence (medical or family-related) must be reported to me in writing via e-mail before the missing class. 学生は毎週すべてのクラスに出席する必要があります。合計すると、病気、家族の緊急事態などをカバーするために、学生は最大 2 回欠席することが出来ます。医師の証明書などの証拠書類があれば、これらの欠席は罰せられません。しかし、3 回 もしくはそれ以上授業を欠席した場合は、欠席した分の課題を終わらせる必要があります（義務です。交渉の対象外）。欠席（医療または家族関連）をする場合は、欠席の前に、電子メールで報告する必要があります。

Rules of classroom conduct／授業のルール：

- No sleeping, napping and other disruptive activity is permitted during classes／授業中の睡眠、昼寝、その他の授業妨害行為は禁止されています。

- No phone calls, incoming or outgoing are allowed／電話を発着信で使用する事は許可されていません。

- No smart phone or other digital devices may be used during class unless you use them for study purposes／勉強目的で使わない限り、授業中にスマートフォンやその他のデジタル機器を使用することはできません。

- No late coming to class (points will be deducted otherwise)／遅刻してはいけません（遅刻した場合はポイントが差し引かれます）。

Course syllabus／コースシラバス：

The present syllabus may be subject to change. The final version will be circulated after the course registration. Therefore students are advised to use this version for general reference only. 現在のシラバスは変更される場合があります。最終版はコース登録期間終了後に配布されます。したがって、学生は一般的な参照のためのためにこのバージョンを使用することをお勧めします。

語 E

学 P

選
択
必
r
須
e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：簿記

Course Title : Bookkeeping

教員／Instructor：林 雄一郎 (Hayashi, Yuichiro)

Division／分野	Elective／選択 (IS)	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	hayashi@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■Course Goals／到達目標

This course aims to acquire knowledge which levels at "Nissho Boki 3rd Grade".

The goals of this course are:

- To understand bookkeeping-process flow, for instance, journal entries, posting an item in the general ledger, preparing trial balances, closing adjustment, preparing working sheets and financial statements and procedure of closing the books.
- To be able to do basic accounts processing in business.

日商簿記検定試験3級程度の知識の修得を目指す。具体的には、「取引の仕訳」、「総勘定元帳への転記」、「試算表の作成」、「決算整理」、「精算表の作成」、「財務諸表の作成」、「帳簿の締め切り」といった、一連の簿記の流れをマスターし、経理実務における基本的な処理が行えるようになることが目標となる。

■Course Description／講義の概要

In the world, there are many organizations carrying out various activities, for instance, famous companies, schools, temples, hospitals, NPOs and retail stores and restaurants, etc. All of these organizations prepare financial statements for their own management and fulfilling accountability about their track record to stakeholders (a country, a local government, a bank, a stockholder, a client) surrounding them. The financial statements must be made in accordance with the rules, as many people can understand easily. The method for preparing the financial statements by the rules is "bookkeeping". If you master bookkeeping, you can understand the outline of the track record of organizations. This course helps you understand the whole picture of bookkeeping on a premise for a merchant and prepare a simple financial statement. In other words, this course deals with the bookkeeping-process flow, and it also enhances students' skills in basic accounts processing by doing exercises.

世の中には、いろいろな活動をしている数多くの組織がある。すぐに思い浮かぶような有名な会社、学校、お寺、病院やNPO、また身近にある小売店や飲食店など実に様々なものがある。これらの組織は必ず財務諸表(いわゆる決算書)を作り、自らの経営に役立てるとともに、組織を取り巻く利害関係者(国や地方自治体、銀行、株主、取引先など)に自らの業績を説明する責任を負っている。財務諸表は多くの人が見て分かるように、決められたルールにより作成されることになっている。この決められたルールにより財務諸表を作る技術が簿記である。逆の見方をすると、簿記を習得すれば、財務諸表を見て組織の業績がある程度分かるようになる。この講義では、小さな商人を前提とした、簿記の全体像を理解し、簡単な財務諸表を作成できるように支援する。すなわち、簿記の始めから終わりまでの一連の流れにつき、順を追って説明するとともに、それぞれの項目に関連する問題を解くことで理解を深め、基本的技術をマスターできるようにする。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ You are expected to review the lessons and do exercises in the textbook as a review. (Three hours)
- ・ 講義後の内容の復習、教科書の問題演習など (3時間)

■Textbook／教科書

滝澤ななみ『みんなが欲しかった簿記の教科書 日商3級商業簿記 第9版』TAC出版、2021年
滝澤ななみ『みんなが欲しかった簿記の問題集 日商3級商業簿記 第9版』TAC出版、2021年

■Method of Evaluation／評価方法

Active Participation／主体的(積極的)な授業参加度: 20% Quiz／小テスト: 30% Final Exam／学期末試験: 50%

■Prerequisite／事前履修科目等

None 特になし

■Additional Information／留意点

1. Bring a calculator with you.
 2. This course will be conducted in Japanese.
1. 授業には電卓を持参のこと
 2. 本科目の講義は日本語で行う。

科目名：ポストモダニズムと社会

Course Title : Postmodernism and Society

教員／Instructor：ポール マーサー (Mercer, Paul)

Division／分野	Elective／選択 (IS)	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	203	E-mail	mercerc@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

To give students an appreciation of the history of ideas from the enlightenment onwards, and in particular the meanings of modernism and postmodernism. To offer a basic grounding in Sociological notions of Society, Culture and Social Change. For course members to question their role in the contemporary world.

啓蒙思想以降の歴史、特にモダニズムおよびポストモダニズムの意味について理解する。社会・文化・社会的変化に対する社会学的概念の基礎を学ぶ。現代社会における我々の役割について検討する。

■ Course Description／講義の概要

Postmodernism is a set of ideas covering many different areas. What they have in common is the idea that the world is a radically different place than it was in the "Modern Times" of the 1900s. The course will look at the radical changes brought to the world by the modern thinking of the enlightenment and the end of the medieval world and then suggest we are going through a similar revolution in the way people live. The course considers the ideas of the main Postmodern thinkers and their views of how life is changing thanks to an explosion of information and electronic media. Central to these ideas are ideas of how reality might be reconsidered in Postmodern times. The course also looks at modern and postmodern architecture as the area where the term "postmodernism" first took hold. We will also look at films that represent modernism and postmodernism as well as the media that have been dubbed postmodern by critics. All teaching is conducted in English and assignments must be completed in English.

ポストモダニズムとは、多様な分野で興った一連の思想を指す。これらの思想に共通しているのは、今や世界は、1900年代の「モダンタイムズ」の時代とは根本的に異なるという点である。本コースでは、近代的な啓蒙思想と中世世界の終焉により世界にもたらされた根本的な変化を考察し、現在の生活様式にも起こりうる同様の改革についても考えていく。本コースでは、ポストモダニズムの主要な思想家の思想、および情報と電子メディアの発達による生活変化に対する思想家の思想について考察する。これらの思想の中核となるのは、現実がどのようにポストモダン・タイムズで再考されるかという点である。また、本コースでは、「ポストモダニズム」という言葉が最初に誕生した分野としてモダンおよびポストモダン建築について考察していく。この他、モダニズム、ポストモダニズムを象徴している映画、およびポストモダニズムと批評されているメディアについても分析する。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Week 1 Watch : <https://www.khanacademy.org/partner-content/big-history-project/expansion-interconnection/expansion/v/crash-course-big-history-modernity>

Week 2 Read : <https://www.history.com/topics/industrial-revolution/industrial-revolution>

Read and watch: <https://brewminate.com/important-inventions-of-the-industrial-revolution/>

Week 3 Watch : https://www.youtube.com/watch?v=4wqcBx_do7w

Week 4 Watch : https://www.youtube.com/watch?v=T_ke-MOT1mI

Week 5 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=Ym2CGp69oBQ>

Week 6 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=FWcH9iOm-h8>

watch: https://www.youtube.com/watch?time_continue=350&v=c3O-gj2ArSE&feature=emb_logo

Week 7 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=0ZpF-IF9NzE>

Week 8 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=KNd-qSF698A>

Week 9 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=kXNLXz8ohWs>

Week 10 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=2Au9zuCWMM>

Week 11 Read : <https://ardfilmjournal.wordpress.com/2009/06/17/postmodernity-and-the-concept-of-the-cyborg/>

Week 12 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=qA1efwoHb20>

Week 13 Watch : <https://www.youtube.com/watch?v=1LvRoyXxwC4>

Week 14 Watch : https://www.youtube.com/watch?v=qebm_7gGSKw

※それぞれ、約3時間の予習復習を要する。

■ Textbook／教科書

特になし

■ Method of Evaluation／評価方法

平常点／Class Participation : 10% 小テスト／Assignment : 90%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■ Additional Information／留意点

授業はすべて英語で行われ、提出物等もすべて英語であることを留意すること。

語 E

学 P

選 C
択 o
必 r
須 e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：マクロ経済学

Course Title : Macroeconomics

教員／Instructor : 西井 賢太郎 (Nishii, Kentaro)

Division／分野	Elective／選択 (IS)	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	303	E-mail	nishii@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

To know how to assess the economic activities

- To understand the determinants of macroeconomic variables and the relationships among them
- To realize how the governments can affect the economy by using fiscal and monetary policies
 - ・どのように経済活動を評価するかを知ること
 - ・マクロ経済変数を決定する要因とそれらの間の関係を知ること
 - ・財政政策や金融政策によってどのように政府が経済に影響を与えることができるかを知ること

■ Course Description／講義の概要

This lecture is intended to give you the fundamental knowledge of macroeconomics, and the way to use economic data. Macroeconomics treats relationships between aggregated variables in the whole economy and includes the concepts, such as GDP, unemployment, and general prices. More specifically, questions such as, "What determines GDP?", "How does deflation affect the economy?" and "What can the governments do in order to decrease unemployment?" have relevance to macroeconomics. By understanding the basic macroeconomic theories on the course, students are expected to deepen their understanding of the economic phenomena observed every day in the world.

この講義では、マクロ経済学の基本と関連する経済統計の見方を学習する。マクロ経済学は、経済全体で集計される変数間の関係を扱う分野であり、GDP、失業、物価、などの概念を扱う。より具体的には、GDP はどのように決定されるのか、デフレが経済にどのような影響を与えるのか、失業を減らすために政府ができることは何か、などはすべてマクロ経済学分野に関わる問題である。当科目でマクロ経済学の基礎理論を理解することで、履修者は日々世界中で見られる経済現象をより深く理解することが期待できる。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Students are required to read the applicable chapter before each lecture. It will take three hours to read it through.

- Students are required to complete assignments given in each lecture. It will take over an hour to finish them.
- Since a quiz is given in each lecture, students should listen carefully to the lecture and fully understand it.
- Students are advised to have interest in the news on economic issues and to try to understand what it means.
- Students are required to consider the economic issues happening in the world by relating them to economic theories.
 - ・教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと (3 時間を要する)
 - ・授業後の課題を完全に行うこと。(1 時間以上を要する)
 - ・毎回、授業終了前に小テストを行うので、授業をよく聴き疑問点を解消しておくこと。
 - ・平素より経済関係のニュースに接し、その言わんとするところを理解しようとする習慣をつけることが望ましい。
 - ・経済学の理論と、世界で実際に起きている経済事象を結びつけて考えることが求められる。

■ Textbook／教科書

Mankiw, G (2019). Mankiw Economics II Macroeconomics (4th ed.), Toyo Keizai Inc.

グレゴリー・マンキュー『マンキュー経済学Ⅱ マクロ編 第4版』東洋経済新報社、2019 年

■ Method of Evaluation／評価方法

Online Review Quizzes／復習小テスト (given in every lecture／毎回実施) 25%

Online Review Assignments／復習課題 (given in every lecture／毎回実施) 25%

Midterm Report／中間レポート 20% Final Exam／期末試験 30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■ Additional Information／留意点

Classes will be conducted mainly in Japanese. 授業は主に日本語で行われる。

Some basic mathematics will be occasionally needed on the course. 当科目では基本的な数学が必要とされることがある。

Since online quizzes and assignments will be given every week on the course, students are required to get their laptop computer or smart phone ready in every class. 当科目ではオンラインによる小テストや課題が毎週課されるため、各自パソコンやスマホなどのオンライン・ツールを用意すること。

科目名：アフリカの時事問題

Course Title : Current Issues in Africa

教員／Instructor：杉下 かおり (Sugishita, Kaori)

Division／分野	Elective／選択 (IS)	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	307	E-mail	kaori@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

Learn about current African issues, understand their historical background, and think about their relevance to your life.
アフリカの時事問題を学び、その歴史的背景を理解すると共に、自らの生活との関係を考察して下さい。

■ Course Description／講義の概要

Africa is a vast continent that currently consists of 54 independent countries. Endowed with abundant labour and natural resources, Africa has greatly contributed to the development of the rest of the world. At the same time, however, Africa has been the victim of colonial and postcolonial exploitations, thereby embodying the centuries-old global inequalities. By taking these points into account, this course explores current issues selected from different African countries, with emphasis on their historical contexts and relevance to our lives.

The class meets weekly for two consecutive periods; a bilingual lecture is followed by a seminar centred on in-class reading of English materials. For a successful completion of the course, students are required to submit a weekly reaction paper, to give a twenty-minute presentation, and to sit for a final, written exam. The students may use either English or Japanese in completing the coursework and the final exam. Those who fail to attend the lecture or the seminar six times or more will be disqualified from taking the exam.

アフリカは、現在 54 ヶ国が構成する広大な大陸です。豊富な労働力と天然資源に恵まれ、アフリカ大陸は世界の他の地域の発展を大いに支えてきました。しかし同時に、アフリカは植民地的搾取の対象となり続け、何世紀にも渡る世界的格差を体現しています。これらの点を踏まえ、本コースでは、アフリカ諸国が直面する現代的な諸問題について学び、その歴史的背景や我々の生活との関わりについて理解を深めます。

本コースは講義とセミナーによって進行します。バイリンガル講義に引き続き、英文読解を中心としたセミナー形式の授業を行います。成績評価は、論述式の期末試験の他、週毎のリアクション・ペーパーや、20 分程度のプレゼンテーションによって行います。これらのコースワークと期末試験に用いる言語は、英語か日本語を選択できます。講義かセミナーを 6 回以上欠席した場合は、期末試験の受験を認めません。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

各回授業の復習とリアクション・ペーパーの作成のほか、発表の準備（リサーチ、スライド作成、スクリプト作成）と最終試験に備えた学習のため、毎週平均 3 時間程度が必要。

Students are expected to spend an average of three hours a week to review a class, to write a reaction paper, to prepare a slide presentation, and to study for the final exam.

■ Textbook／教科書

使用しません。 n/a

■ Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude／学修態度：10%

Presentation／発表：20%

Reaction Paper／リアクション・ペーパー：20%

Final Exam／学期末試験：50%

■ Prerequisite／事前履修科目等

ありません。 n/a

■ Additional Information／留意点

There will be no seminar in the first week; an introductory lecture will be given in the second period as well. Students wishing to take this course MUST attend either the first or the second session.

第 1 週目はセミナーを行いません。同じ内容の導入講義を 2 回行います。本コースの履修を希望する者は、1 限目か 2 限目の講義に必ず出席して下さい。

科目名：エネルギーと環境

Course Title : Energy and Environment

教員／Instructor：橋詰 博樹（Hashizume, Hiroki）

Division／分野	Elective／選択（IS）	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	204	E-mail	hashizume@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

今後の社会・経済における最大の課題の一つは、気候変動問題であり、それはエネルギー問題でもある。以下により課題を把握し、対策を検討する科学的アプローチを身に付ける。特に低炭素社会を、地球／国／地方／コミュニティ規模で実現するための対策の企画者／推進者／実践者として自覚的に考える能力を身に付ける。

- ・ 環境汚染、特に地球温暖化の現状と課題。
- ・ エネルギーの供給、使用の現状と将来見通し及び課題。
- ・ 環境保全のための科学的検討手法の基礎。
- ・ 今後一層の発展が期待されるグリーン／クリーン技術。
- ・ 目指されるべき社会等（持続可能な社会、低炭素社会）

One of the most important problems in the coming decades is climate change which is energy problem as well. This course is to understand the following issues and scientific approach to identify environmental problems and to plan countermeasures as well as to develop ability to spontaneously formulate, implement and practice policies to establish a low carbon society at global, national, local and community level.

- Present situation and issues of environmental management, climate change in particular.
- Present situation, future prospect and remaining issues of supply and use of energy.
- Basic knowledge of scientific research tools for environmental management.
- Emerging green and clean technologies
- A society to be realized (sustainable society, low-carbon society)

■ Course Description／講義の概要

持続可能な社会の構築が最大の政策課題となっている今日、世界の資源状況を注視するとともに、廃棄物の再利用・リサイクルを含めた持続可能な資源の利用、すなわち循環型社会を形成することは、特に大量の天然資源や食糧を輸入に頼る我が国にとって決定的に重要である。本コースは、今日の資源問題を概説するとともに、解決策として資源の有効利用・循環利用に関し、世界の潮流及び我が国の制度、技術の現状及び方向性を論じるものであり、「環境保全入門」の資源・廃棄物・リサイクル特論という性格を持つ。

配布資料・スライド等を用いた講義、対策の実践を体験するための自治体や関係業界からの外部講師の招聘、関連する施設見学等（日本語で行う場合がある）の他、特に、近年、大きく変りつつあるリサイクル諸制度については、学生による発表により、関係者の役割分担等、新たな社会経済的意味を理解し、持続可能な社会への道筋を考える。

We are facing serious problems for mankind, depletion of resources and energy, deterioration of global environment due to explosion of population and economic activities, and regional disputes due to widening economic discrepancy. Creation of a sustainable society has become the key when we think about the 21st century.

Now, it is widely recognized that mitigation of and adaptation to climate change, and international cooperation for that purpose are one of the biggest challenges ahead. While the Paris Agreement was put into effect, there is a long way to go to create a low carbon society including saving energy and developing new energy.

This course deals with current environmental pollution issues, climate change in particular from science and technological view points, among major challenges in the 21st century. It is scientific and technological development of "Introduction to Environmental Protection".

It uses reference books, papers, handouts, slides, etc. with frequent discussion in the class. In the latter half of the semester, students are required to give presentations on the assigned literature. In order to touch actual practice, the course includes invitation of guest speakers and study visits to places of interest. Guest presentations and study visits may be conducted in Japanese.

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ①事前配布（又は T-next に掲載する配布予定）の handout 等を事前に読んでおくこと（1 時間を要する）。
- ②講義後の振り返りシート reaction paper の作成と内容の復習（2 時間を要する）

- (1) Read handouts provided physically or electronically on T-next in advance (needs 1 hr)
- (2) Review the class using a reaction paper sheet provided (needs 2 hr)

■Textbook／教科書

なし（ハンドアウトを毎回用意する）
Nothing (handouts are provided for each class)

■Method of Evaluation／評価方法

小テスト／Quizzes：20％
討議／Discussion/debate：20％
発表／Presentation：25％
学期末試験（多人数の場合）又はレポート提出／Semester-end exam (if large class) or report/essay assignment：35％

■Prerequisite／事前履修科目等

なし。ただし「環境保全入門」の単位を取得していることが望ましい。
None. However, it is desirable to have the credit of "Introduction to Environmental Protection" to take this course.

■Additional Information／留意点

・履修学生の構成が日本語を母国語とする者のみでない限り、基本的には英語で行う（英語8：日本語2程度）が、議論は、学生の便宜のため英語又は日本語で行う。外部講師による講義と施設見学は日本語で行われることがある。発表は、英語での視覚資料の利用等、英語で理解できるものでなければならない。
（春学期実施の科目については基本的に対面授業とするが、一部にZoomを用いた遠隔授業も併用する。）秋学期実施の科目については未定。

The course will be conducted primarily in English (ENG 8 : JPN 2) unless all students prefer class in Japanese. However, discussion in the class may be either in English or in Japanese for easier communication among students. Guest presentations and study visits may be conducted in Japanese. Presentation must be understandable for English speakers, maybe with visual aids in English.

(Classes in spring semester will be conducted on-campus (if needed) with on-line remoted using Zoom system.) Not decided as to the fall class.

語 E

学 P

選 C
択 o
必 r
須 e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：経営戦略論

Course Title : Strategic Management

教員／Instructor : 東 史恵 (Higashi, Fumie)

Division／分野	Elective／選択 (IS)	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	higashi@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

1. To understand basic concepts of strategic management
 2. To understand how you can apply strategic management to business
 3. To get familiar with strategic management to explain business problems of companies
1. 経営戦略論の基礎的な概念を理解する
 2. 企業の経営活動に、どのように経営戦略論を応用できるかを理解する
 3. 経営戦略論を身につけ、企業の経営活動における問題を説明する
- Learning basic concepts of strategic management and application of them in order to get ability to think logically and contribute for development of society through business.
 - 経営戦略論の基礎概念と応用力を学ぶことで、考え抜く力と企業の経営活動を通じた社会の発展に貢献する素養を身に付ける。

■ Course Description／講義の概要

This course is intended to offer fundamental knowledge of strategic management and how the theory can be applied to business. Strategic management is necessary because companies achieve sustainable development. Recently, environment surrounding companies is changing drastically and consumer's needs become diversity. That's why competition among many companies is much harder than ever. In this course, we learn basic concepts of strategic management, analyze current situations of companies, and think about the direction of some companies through case study and discussion.

このコースでは経営戦略の基礎知識と理論の応用について学ぶ。

経営戦略は企業が持続的な成長を成し遂げるためには欠かせない。なぜなら、今日の企業の環境変化は激しく、消費者ニーズの多様化が進み、企業間の競争が激しくなっているためである。本講義では、経営戦略の基礎知識を学び、その知識から企業の現状を分析し、企業がとるべき将来の戦略の方向性についてケーススタディやディスカッションを通して学ぶ。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ Read the textbook and handouts and thoroughly review the contents of the previous lecture (1 hour required).
- ・ Read the textbook and handouts before the class (1 hour required).
- ・ Read the newspaper and research the management activities of companies (1 hour required).
- ・ Prepare a presentation (1 hour required)
- ・ 前回の講義内容について教科書と配布資料を読み、十分に復習をしておくこと (1時間を要する)
- ・ 授業前には、教科書や配布資料の指定された範囲を事前に読んでおくこと (1時間を要する)
- ・ 新聞を読み、企業の経営活動について調べてくる (1時間を要する)
- ・ プレゼンテーションの準備 (1時間を要する)

■ Textbook／教科書

十川廣國編著 (2013)『経営学イノベーション 2：経営戦略論 (第2版)』中央経済社。

■ Method of Evaluation／評価方法

Class Participation／平常点評価

Evaluation based on following 3 items. 以下の3項目に基づいて平常点評価をおこなう

1. Active Participation／積極的な授業参加度：50%，
2. Presentation／プレゼンテーション：30%
3. Report／レポート：20%

■ Prerequisite／事前履修科目等

“Introduction to Management” is recommended. 「経営学入門」の履修を推奨する。

■ Additional Information／留意点

It's needed to cooperate with classmates for group work.

グループワークをおこなうため、グループのメンバーと協力することを求める。

科目名：国際経済学

Course Title : International Economics

教員／Instructor：渡邊 泰典 (Watanabe, Yasunori)

Division／分野	Elective／選択 (IS)	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	201	E-mail	y-watanabe@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

To read international situation from data and news media.

- To understand the economic thinking for analyzing the international economy.

- To acquire ability to compile a report on the outlook for the international economy based on data and news.

- ・データやニュースメディアから国際事情を読み取る。
- ・国際経済を分析するための経済学的な考え方を理解する。
- ・データやニュースをもとにして国際経済に対する見通しをレポートにまとめることができるようになる。

■ Course Description／講義の概要

In the modern society, various economic activities are carried out across the border, and even a mere consumer cannot escape from the impact of the international economy.

The purpose of this lecture is to understand the movement of the international economy using data and news media, and to acquire the economical approach for grasping the movement.

This lecture includes not only classroom study but also group discussions based on the actual data and news media.

It is necessary that the student who participates in the lecture reads the designated teaching material in advance and submits the preparatory note.

In addition, students are required to submit a book report to deepen their knowledge of the international economy during the semester and a term paper at the end of the semester.

現代社会においては、様々な経済活動が国境を越えて行われており、単なる消費者であっても国際経済の影響から逃れることはできない。

この講義では、データやニュースメディアを用いて国際経済の動きをとらえると共に、その動きを見通すための経済学的な考え方を身につけることを目的とする。

講義では座学だけではなく、指定されたニュース記事などを参考にしたグループディスカッションを行う。

講義に参加する学生はあらかじめ指定の教材を読み、予習ノートを作成しておく必要がある。

加えて、学期中には国際経済に対する知識を深めるためのブックレポート、学期末には期末レポートの提出が要求される。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

To read the designated area of a textbook in advance before class and make preparation notes (takes three hours)

授業前に教科書の指定範囲をあらかじめ読み、予習ノートを作成すること (3時間を要する)

■ Textbook／教科書

宮崎勇・田谷禎三 (2020) 『世界経済図説 第四版』、岩波書店

伊藤元重 (2016) 『どうなる世界経済 入門 国際経済学』、光文社

■ Method of Evaluation／評価方法

予習ノート／Preparation : 20%

講義参加／Class Participation : 40%

ブックレポート／Book reports : 20%

期末レポート／Term report : 20%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■ Additional Information／留意点

Students are encouraged to complete the following courses, "Introduction to Economics", "Macroeconomics" and "Microeconomics" to take "International Economics."

「国際経済学」の履修のためには「経済学入門」、「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」の修得を奨励する。

科目名：資源と環境

Course Title : Resource and Environment

教員／Instructor：橋詰 博樹（Hashizume, Hiroki）

Division／分野	Elective／選択（IS）	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	204	E-mail	hashizume@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

以下を理解し、持続可能な社会の建設の中でも典型的なグローバル課題である持続可能な資源利用／循環型社会実現に向けた対策の企画者／推進者／実践者として自覚的に考える能力を身につける。

- ・日本と世界の資源の生産／供給／利用の現状、将来見通しと課題。
- ・循環型社会形成、廃棄物の適正処理／リサイクルの基本的考え方。
- ・各種リサイクル制度とその課題。
- ・関係者の役割分担。
- ・循環資源／廃棄物の越境移動。

To understand the following issues and to develop ability to spontaneously formulate, implement and practice policies to promote sustainable resource use and to establish a sound material-cycle society, which is a typical global issue.

- Present situation and issues of production, supply and use of resources and its future in Japan and in the world.
- Basic approach to establish a sound material-cycle society, sound waste management and recycling.
- Systems of various waste recycling.
- Roles of stakeholders
- Transboundary movement of recyclables and waste

■ Course Description／講義の概要

持続可能な社会の構築が最大の政策課題となっている今日、世界の資源状況を注視するとともに、廃棄物の再利用・リサイクルを含めた持続可能な資源の利用、すなわち循環型社会を形成することは、特に大量の天然資源や食糧を輸入に頼る我が国にとって決定的に重要である。本コースは、今日の資源問題を概説するとともに、解決策として資源の有効利用・循環利用に関し、世界の潮流及び我が国の制度、技術の現状及び方向性を論じるものであり、「環境保全入門」の資源・廃棄物・リサイクル特論という性格を持つ。

配布資料・スライド等を用いた講義、対策の実践を体験するための自治体や関係業界からの外部講師の招聘、関連する施設見学等（日本語で行う場合がある）の他、特に、近年、大きく変わりつつあるリサイクル諸制度については、学生による発表により、関係者の役割分担等、新たな社会経済的意味を理解し、持続可能な社会への道筋を考える。

持続可能な社会の構築が最大の政策課題となっている今日、世界の資源状況を注視するとともに、廃棄物の再利用・リサイクルを含めた持続可能な資源の利用、すなわち循環型社会を形成することは、特に大量の天然資源や食糧を輸入に頼る我が国にとって決定的に重要である。本コースは、今日の資源問題を概説するとともに、解決策として資源の有効利用・循環利用に関し、世界の潮流及び我が国の制度、技術の現状及び方向性を論じるものであり、「環境保全入門」の資源・廃棄物・リサイクル特論という性格を持つ。

配布資料・スライド等を用いた講義、対策の実践を体験するための自治体や関係業界からの外部講師の招聘、関連する施設見学等（日本語で行う場合がある）の他、特に、近年、大きく変わりつつあるリサイクル諸制度については、学生による発表により、関係者の役割分担等、新たな社会経済的意味を理解し、持続可能な社会への道筋を考える。

Creation of a sustainable society has become the key of today. It is vitally important particularly for Japan which heavily depends on import of natural resources, foods, etc. to closely watch situations of resources in the world, to sustainably use resources including reuse and recycling of waste and to establish a sound material-cycle society.

This course outlines issues of global demand and supply of resources, followed by the introduction of world trend and institutional and technical situations in Japan and future directions of efficient and cyclical use of resources. This is an advanced course of Introduction to Environmental Protection, specializing in resources, waste management and recycling.

This course uses various materials and PPT presentations, having study visits to environmental organizations and facilities and guest lecturers from local governments and industry in order to experience actual practices. (Study visits and lectures by guest speakers may be conducted in Japanese.) Also, students are requested to make presentation on rapidly changing recycling schemes to understand their socioeconomic implication including stakeholders' new roles to establish a sustainable society.

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ①事前配布（又は T-next に掲載する配布予定）の handout 等を事前に読んでおくこと（1 時間を要する）。
 - ②講義後の振り返りシート reaction paper の作成と内容の復習（2 時間を要する）
- (1) Read handouts provided physically or electronically on T-next in advance (needs 1 hr)
- (2) Review the class using a reaction paper sheet provided (needs 2 hr)

■Textbook／教科書

なし（ハンドアウトを毎回用意する）
Nothing (handouts are provided for each class)

■Method of Evaluation／評価方法

Quizzes／小テスト：20%
Discussion/debate／討議：20%
Presentation／発表：25%
Semester-end exam (if large class) or report/essay assignment／学期末試験（多人数の場合）又はレポート提出：35%

■Prerequisite／事前履修科目等

なし。ただし「環境保全入門」の単位を取得していることが望ましい。
None. However, it is desirable to have the credit of "Introduction to Environmental Protection" to take this course.

■Additional Information／留意点

・履修学生の構成が日本語を母国語とする者のみでない限り、基本的には英語で行う（英語 8：日本語 2 程度）が、議論は、学生の便宜のため英語又は日本語で行う。外部講師による講義と施設見学は日本語で行われることがある。発表は、英語での視覚資料の利用等、英語で理解できるものでなければならない。
・春学期実施の科目については基本的に対面授業とするが、一部に Zoom を用いた遠隔授業も併用する。（秋学期実施の科目については未定。）

The course will be conducted primarily in English (ENG 8 : JPN 2) unless all students prefer class in Japanese. However, discussion in the class may be either in English or in Japanese for easier communication among students. Guest presentations and study visits may be conducted in Japanese. Presentation must be understandable for English speakers, maybe with visual aids in English.

The class in spring semester will be conducted on-campus (if needed) with on-line remoted using Zoom system. (Not decided as to the fall class.)

語 E

学 P

選
択
必
須
C
o
r
r
e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：多文化共生論

Course Title : Multiculturalism

教員／Instructor：杉下 かおり (Sugishita, Kaori)

Division／分野	Elective／選択 (IS)	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	307	E-mail	kaori@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

Learn extensively about multiculturalism in different countries so as to explore its possibilities in Japan.
様々な国における多文化共生について広く学び、その日本における可能性を探ってください。

■ Course Description／講義の概要

Contemporary societies are largely multiethnic and hence multicultural, composed of different groups of people with different cultural backgrounds and identities. Although such human diversity is often celebrated as a source of social development, it is also blamed for creating divisions and conflicts within societies. In elaborating these points, this course explores multiculturalism as an idea and a practice, introducing actual cases from different countries, including Japan, which many Japanese misconceive as a homogeneous nation.

The class meets weekly for two consecutive periods; a bilingual lecture is followed by a seminar centred on in-class reading of English materials. For a successful completion of the course, students are required to submit a weekly reaction paper, to give a twenty-minute presentation, and to sit for a final, written exam. The students may use either English or Japanese in completing the coursework and the final exam. Those who fail to attend the lecture or the seminar six times or more will be disqualified from taking the exam.

現代社会は概して多民族・多文化状況にあり、様々な文化的背景やアイデンティティを持つ人間集団によって構成されています。そのような人間の多様性は、社会的発展の素地として称賛されると同時に、社会の分断や軋轢の源として批判もされています。本コースはこれらの点について詳論し、「単一民族国家」と誤解されがちな日本を含め、様々な国における「多文化主義」の理念と実践を検証します。

本コースは講義とセミナーによって進行します。バイリンガル講義に引き続き、英文読解を中心としたセミナー形式の授業を行います。成績評価は、論述式の期末試験の他、週毎のリアクション・ペーパーや、20分程度のプレゼンテーションによって行います。これらのコースワークと期末試験に用いる言語は、英語か日本語を選択できます。講義かセミナーを6回以上欠席した場合は、期末試験の受験を認めません。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

各回授業の復習とリアクション・ペーパーの作成のほか、発表の準備（リサーチ、スライド作成、スクリプト作成）と最終試験に備えた学習のため、毎週平均3時間程度が必要。

Students are expected to spend an average of three hours a week to review a class, to write a reaction paper, to prepare a slide presentation, and to study for the final exam.

■ Textbook／教科書

使用しません。 n/a

■ Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude／学修態度：10%

Presentation／発表：20%

Reaction Paper／リアクション・ペーパー：20%

Final Exam／学期末試験：50%

■ Prerequisite／事前履修科目等

ありません。 n/a

■ Additional Information／留意点

There will be no seminar in the first week; an introductory lecture will be given in the second period as well. Students wishing to take this course MUST attend either the first or the second session.

第1週目はセミナーを行いません。同じ内容の導入講義を2回行います。本コースの履修を希望する者は、1限目か2限目の講義に必ず出席して下さい。

科目名：日本近代史

Course Title : History of Modern Japan

教員／Instructor：藤田 賀久 (Fujita, Norihisa)

Division／分野	Elective／選択 (IS)	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	fujita-n@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

Course objectives are;

- To understand the historical experiences of Japanese politics since Meiji period to the present.
- To understand issues and problems of contemporary Japan with their historical backgrounds.
- To develop oral and written analytical skills through the practice of academic argumentation.
- ・ 明治時代より現在に至る日本政治の軌跡を理解する。
- ・ 現代日本の諸問題を歴史的背景と共に理解する。
- ・ ディスカッションや学術論文の執筆を通じて分析能力を磨き、意見を構築し、他人に伝達する能力を養う。

■Course Description／講義の概要

This course covers history of Japanese politics from the late Edo period to the present, with an emphasis on the political struggle over the direction of Japan's political and economic developments. The course will start with the 19th century transformation of Japan's feudal society into a modern state, and her rush to be a continental empire, which culminated in the disastrous defeat in the Pacific War. We will then discuss post-war Japan, such as Japan's rise back to great power status with its "economic miracle." Finally, we will consider many issues and problems of the contemporary Japan. This class also tries to focus lives and experiences of Japanese people in modern history..

本講義は、明治維新から現在に至る日本の近現代史を扱う。特に各時代の日本が、世界とどのように向き合ったのか、自分達をいかに認識したのかに注目したい。講義は、江戸末期から明治維新を経て近代国家へと目指す姿や、大陸国家への変貌過程、さらには太平洋戦争へ至る道のりを、国際関係に注意を払いつつ論じる。次に、敗戦の荒廃から国際社会への復帰、いわゆる「吉田路線」、そして奇跡的と呼ばれた経済発展とそれを支えた要因を考える。最後にバブル崩壊後から現在の日本が直面している様々な時代構造の変化を検討する。また、歴史を通じて日本人が経てきた様々な経験（戦争、移民、労働、外国との交渉……）についても可能な限り取り上げたい。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ 新聞・雑誌などで日本の政治経済、及び東アジア情勢を把握しておくこと。(1 時間)
- ・ シラバス掲載文献、及び授業で毎回紹介する文献を図書館で確認し、予習しておくこと。(1 時間)
- ・ ブックレビューやペーパーの準備。(2 時間)

■Textbook／教科書

特になし。

■Method of Evaluation／評価方法

Attendance and class participation／主体的な授業参加度：10%

Presentation／発表：10%

Paper (A book review or a research paper)／小論文：40% (ブックレビュー、もしくはリサーチペーパー)

Final Examination／学期末試験：40%

("Attendance" means students' active participation in the class discussion.)

■Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■Additional Information／留意点

Always be prepared for discussing contemporary international topics by reading newspapers/magazines every day.
毎週、時事問題の議論を行うので、新聞・雑誌等の読み込みを徹底すること。

科目名：比較経営論

Course Title : Comparative Management

教員／Instructor：ミハイル マリノフ（Marinov, Mihail）

Division／分野	Elective／選択（IS）	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	mihail@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

- To understand various business issues which corporations encounter when operating in a global society.
- To learn international business strategies and the role of resources.
- To assess the specific role of various functions in a multinational corporation.
 - ・グローバル経済下で企業活動が遭遇する様々なビジネス課題を理解する
 - ・資源をベースとして国際ビジネス戦略を学ぶ
 - ・国際企業内のさまざまな機能に特有の役割を評価する

■Course Description／講義の概要

In this course, we discuss issues related to international business in a globalized society from both corporate and individual perspectives. Multinational corporations are concerned with business issues such as national resource specificity, local production, and management strategies that are often distinct in different nations. Along with these business issues, we explore social issues such as the expatriate's role as a citizen in the host country, contribution to the local community, and sensitivity to environmental problems. At the individual level, we discuss such issues as communication, negotiation and flexible management, amongst others. グローバル化、大競争時代の中での、これからの国際ビジネスの諸課題を企業レベル、個人レベルで学ぶ。はじめに、現代における国際ビジネスの諸課題の諸課題を概観する。次に、グローバル化の中で、競争と協調の両立をめざしながら企業も個人も積極的に海外進出を行っている現状から、国際企業の戦略と構造を事例と共に理解する。企業レベルの課題としては、ヒト・モノ・カネといった資源の移動と海外生産に関する課題、多国籍企業が直面する課題、進出先企業市民としての役割と活動、進出先地域社会への貢献、環境問題への配慮、また、個人レベルでは、ヒトの移動に伴う課題として、現地マネジャーとのコミュニケーション能力、折衝能力、マネジメント能力、さらに国際ビジネスにおける倫理的問題、異文化への対応などについて議論する。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

教科書や指定図書等を事前に読んでおくこと、及び毎回の授業で扱うテーマに関連する問題や事例などを分析し、それらの内容を整理しておくこと。（3時間を要する）

Prepare for this course by reading the assigned textbook chapters for each week before the class begins. Also, as part of your preparation, try to find cases that reflect the theory presented in previous classes. Recommended time for preparation : 3 hours a week.

■Textbook／教科書

江夏 健一 編著、桑名 義晴 編著『理論とケースで学ぶ国際ビジネス』同文館出版、2012 年

■Method of Evaluation／評価方法

Learning attitude／学習態度：20%
Presentation／プレゼンテーション：50%
A 10-min test at the end of each class／小テスト：30%

■Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■Additional Information／留意点

特になし

科目名：マーケティング論

Course Title : Theory of Marketing

教員／Instructor：芦田 尚道 (Ashida, Hisamichi)

Division／分野	Elective／選択 (IS)	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	ashida@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■ Course Goals／到達目標

- To understand some basic concepts on marketing.
 To understand basic way of thinking for marketing.
 To understand the system and structure of Principle of marketing.
- ・マーケティングの基礎的な概念を理解すること。
 - ・マーケティングの基本的な考え方を理解すること。
 - ・マーケティング論の体系と構造を理解すること。

■ Course Description／講義の概要

In this course, we study method of thinking about market on marketing and theories of consumer behavior, enterprises' new product development, and strategic marketing. And, supposing customers in ongoing and specific relationship, we study marketing theories about structuring of bases of interaction. And this course introduces actual cases of organizations. And students make reports with logicity and concreteness supported by deep commitment to this course, and get overall comments about reports.

本講義ではまず、マーケティングにおける市場の捉え方、消費者行動や企業の新製品開発活動、戦略的マーケティングに関する理論について講義する。さらに、継続的な関係にある顧客を想定したうえで、販売側と顧客との相互作用の基盤づくりに関するマーケティング理論を学ぶ。また、企業などの組織の活動の具体的な事例についても紹介していく。なお受講生には授業期間内にレポートを作成していただく。レポートでは論理性と具体性、及び本講義へのコミットメントの深さが問われる。レポートには最後に全体講評を行なう。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

In this course, members need enough understanding about points of the last class on every class, and need more than 3 hours of review and preparation each week.

授業には、前回の講義内容について十分に理解をしたうえで臨んで下さい。講義内容の復習と次回講義の準備には、3時間以上の取組が必要となります。

■ Textbook／教科書

高嶋克義・桑原秀史『現代マーケティング論』有斐閣、2008年

■ Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude／学修態度：5%
 Report／レポート：25%
 Final-examination／学期末試験：70%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None. 特になし。

■ Additional Information／留意点

None. 特になし。

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：プロジェクトゼミ II

Course Title : Project Seminars II

教員／Instructor：安田 震一 (Yasuda, Shinichi)、橋詰 博樹 (Hashizume, Hiroki)、太田 哲 (Ota, Satoshi)

Division／分野	Elective／選択 (Seminar)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	Dean's Office,204,306	E-mail	bilshang@tama.ac.jp、hashizume@tama.ac.jp、ota@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

取得単位数が少ない、ゼミにも参加していない等、SGS生活に馴染み切れていないよう学生を対象に、担当教員との少人数グループでのコミュニケーションと、ボランティア活動への参加や、地域の特色ある施設の見学等の課外活動を含め、学生が能動的に参加する総合的な授業（アクティブラーニング）を実施する。これらにより、コミュニケーションや地域との関わりなど、学業に留まらないSGSの特色ある生活をより充実させる能力と経験を修得する。

This is a class for students who may not be well rooted to SGS life, with poor credit acquisition and without joining a seminar. It will be a comprehensive class (active learning) including communication in a small group with an instructor, volunteering activities, study-visits to unique local facilities, which may be extra-class. Students can acquire ability and experience to enrich SGS life through communication and interaction with the local communities, not limited to academics.

■Course Description／講義の概要

コミュニケーションや地域との関わりなど、学業に留まらないSGSの特色を踏まえ、単分野の専門的内容を扱う通常科目とは異なり、グローバル社会における幅広い今日の教養と、多面的、複眼的な思考を体験し身に付けるため、担当教員との少人数グループでのコミュニケーションと、ボランティア活動への参加や、地域の特色ある施設の見学等の課外活動を含め、学生が能動的に参加する総合的な授業（アクティブラーニング）を実施する。

Based on SGS policy featuring communication and interaction with the local communities in addition to academics, a comprehensive class (active learning) will be given, unlike ordinary single area course class. It provides students with experience to acquire contemporary knowledge and multidimensional and comprehensive perspective in global society. The class will particularly encourage students' participation in communication in a small group discussion with an instructor, volunteering activities, study-visits to unique local facilities.

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ①事前配布（又はT-nextに掲載する配布予定）のhandout等を事前に読んでおくこと（0.5～（通常の場合）1時間を要する）。
 - ②講義後の振り返りシート等の作成と内容の復習（0.5～（施設見学の場合）1時間を要する）
- (1) Read handouts provided physically or electronically on T-next in advance (needs 0.5 hr to 1 hr (in ordinary class))
- (2) Review the class using a reaction paper sheet provided (needs 0.5 hr to 1 hr (study visit))

■Textbook／教科書

なし None

■Method of Evaluation／評価方法

平常点／Ordinary class performance：80%
レポート等／Report, essay, assignment：20%

■Prerequisite／事前履修科目等

なし None

■Additional Information／留意点

一般ゼミに参加せず、また、前学期までの取得済み単位数の少ない等の2～3年生を対象とするため、該当する学生に各学期開始前に開講案内する。このため、初回が各学期開始の数週間後となることがある。
ボランティア活動や、地域の施設見学等を重視するため、基本的にオンライン形式ではなく、対面形式での実施とする。
At the beginning of each semester, a seminar notice will be sent to 2nd and 3rd year poor performance students without seminar participation, based on the credit acquisition status in the previous semesters. The first project seminar may be held a few weeks after the start of the semester.

Because the class puts emphasis on volunteering activities and study visits to local facilities, it will be principally conducted physically, not electronically.

科目名：プロジェクト・ゼミナールⅢ（藤沢湘南の戦争とその遺産）

Course Title : Project Seminar III

教員／Instructor：藤田 賀久（Fujita, Norihisa）

Division／分野	Elective／選択（Seminar）	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	fujita-n@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

This Project Seminar tries to discover Wartime experiences of our Shonan-Fujisawa so that we can understand invisible linkages of the past and the present, and our local area with the world. Our activities consist of reading materials and fieldworks, through which we will create a report that includes;

- 1) A map depicting locations of war remains in our area
- 2) Pictures and reports of major war remains
- 3) Report of interviews who experienced the war
- 4) Our report will be disseminated on the web, and other means.

「藤沢湘南の戦争とその遺産——私たちの住む地域の経験を振り返る」

本プロジェクトゼミでは、私たちの大学がある湘南藤沢エリアが経験した戦争を考える。これにより、過去と現在、そして私たちの住む地域と世界との間にある「つながり」を理解する。文献研究とフィールドワークを通じて、教員と学生が力を合わせて以下の情報を記した報告書を作成することを目標とする。

- ・藤沢湘南地域の戦争遺跡マップ
- ・主要な戦争遺跡の写真や現地訪問報告
- ・インタビュー記録

本成果は、ウェブでの公開、また他大学や関係機関（藤沢市）等におけるポスター展示など積極的な対外公開を考えている。これにより、世界の中から自分達と自分達の住む地域を捉えることが出来る「グローバル人材」を目指す。

■ Course Description／講義の概要

Wartime Shonan-Fujisawa was one of the critical strategic points for both Japan and the Allied Forces in the Asia Pacific theater of the World War II. For Japan, this area was crucially important for the defense of Tokyo. For the Allied Forces, our area was, they believed, the main point of invasion to the heart of Japan in order to attain the surrender of Japan.

In Shonan Fujisawa, there remains many war-related ruins, including monuments of airfields, entrenchments, and bases. In our Project, we will visit such places, find related documents at local libraries, and interview with those who know the past. To recreate what happened in the past is our goal.

私たちが学ぶ藤沢湘南エリアは、太平洋戦争（1941-1945年）当時、非常に重要な戦略拠点であった。たとえば湘南キャンパスの南北には日本海軍の飛行場があった。北側の厚木基地は今も存在するが、南側（藤沢市善行）にあった飛行場は今はずかな痕跡を残すのみである。さらに湘南海岸は、連合軍が日本本土に上陸する際の地点であった。日本側も、これに備えて各所に陣地を構築した。江の島には砲台が築かれ、稲村ヶ崎には特攻隊の基地も設けられた。こうした戦争の痕跡は今も藤沢市や茅ヶ崎市など私たちの身近なところに存在している。

本プロジェクトゼミでは、これらの戦争遺跡を実際に訪ねる。さらには、当時のことを知る現地の人達を探し当ててインタビューを行う。また、藤沢市図書館や藤沢市公文書館などを訪ねて資料を探す。この「文献研究とフィールドワーク」を通じて、藤沢湘南の戦時中を再現していく。これにより、世界史の中から自分達を位置づけるグローバル思考を養成する。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

In group research, students should understand each duties, and actively research in local libraries and archives, in addition to researches on the web. Fieldworks and interviews are strongly recommended.

1. In Preparing Field Research, library research, and research on the web are required (1.5~2 hours, each week)
2. In doing field research, in addition to works listed in the above, research at the city library and archives, visiting people for interviews are required. (2 hours, each week)
3. In the period for the preparation of the final report, writing draft, and work for the final presentation is required (2 hours, each week)

・本プロジェクトゼミでは班別によりサーチを行うので、班内における各自の役割を把握し、それぞれの調査研究を実施すること。

1) フィールドワーク準備期間に於いては、文献研究やウェブ上でのリサーチなどで毎週 1.5 時間～2 時間程度の実施が求められる。

2) フィールドワーク実施期間に於いては、自宅・大学図書館における文献研究に加えて、学外図書館や資料館における文献・資料研究、現場へのフィールドワーク、インタビューなどの活動が求められる。1 週間につき 2 時間以上～

【Seminar／ゼミナール】

が求められる。

3) 調査レポート作成期間においては、プレゼン準備、レポート作成などで1週間につき2時間以上が求められる。

■Textbook／教科書

特になし 藤沢市総合市民図書館（藤沢市湘南台 7-8-12）所蔵の郷土資料等を参考にする。

■Method of Evaluation／評価方法

- ・ Research activities : 50% (ex., fieldworks, interviews, libraries)
- ・ Discussion, Presentation, and final report : 50%
- ・ フィールドワークと文献研究 : 50% (調査・研究対象に関する資料収集や現地視察、インタビューなどのクラス外活動)
- ・ プレゼンテーションとディスカッション : 50% (クラスでの中間報告、他の班に対するコメントや調査方法の提言、最終報告書の作成とプレゼンテーションなどのクラス内活動)

■Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■Additional Information／留意点

Details vary according to the number of participants. Therefore, attending the first day of the class is required.

本プロジェクトゼミは、参加人数によって活動方針や役割分担、そして授業計画が変わる。また、フィールドワークの日程も決める必要があるので、第1回目の講義には必ず参加してほしい。

語 E

学 P

選
択
必
r
須
e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：プロジェクト・ゼミナールⅣ・Ⅴ（寺島実郎学長監修リレー講座）

Course Title : Project Seminar IV・V

教員／Instructor : 西井 賢太郎 (Nishii, Kentaro)

Division／分野	Elective／選択 (Seminar)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	303	E-mail	nishii@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

- To understand issues raised on a series of lectures and broaden students' viewpoints to find their own solutions.

- To understand the significance of 'rearming of knowledge' advocated by President TERASHIMA Jitsuro.

連続講座で提起される諸課題を理解し、自分自身の解決策を考える視座を養う。

寺島実郎学長が提唱する「知の再武装」の意義を理解する。

■ Course Description／講義の概要

This course consists of a series of lectures provided by President Terashima and experts from various fields such as international affairs, economy, administration, business, IT and history. As the topics provided by lectures and their names themselves tell, each lecture is full of suggestions to accurately recognize the time we live. Students are advised to obtain tips to live in the modern world by listening to the experts, being aware of the problems and understanding them further.

本科目は、寺島学長及び各界の専門家（国際情勢・経済・行政・ビジネス・IT・歴史など）による連続講座である。講師及び講義テーマ一覧から伺えるように、我々の生きている時代を的確に把握し認識するための示唆に溢れている。受講者は、時代に発信する識者の生の声を聞き、自らの問題意識を喚起し、より深化させることで、現代世界を生きるヒントを獲得してもらいたい。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- Before each lecture, students are required to examine key words on the course leaflet. (one hour)

- After each lecture, students are required to examine their own questions and problems on the topic, and to write their own notices and opinions on the right side of the 'Special Notebook.' (two hours)

講義前に、パンフレットのテーマに従いキーワードを調べる（1時間）。

講義後に、講義において生じた疑問、感じた問題点について調べた上で、気付きや自分なりの意見を専用ノートの右側のページに記述する（2時間）。

■ Textbook／教科書

寺島実郎『世界を知る力——日本創生編』PHP新書、2011年

■ Method of Evaluation／評価方法

平常点（「専用ノート」への講義メモ）／Class Participation (notes on the 'Special Notebook') : 50%

課題（中間レポート、最終レポート）／Assignment (Midterm Report and Final Report) : 50%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■ Additional Information／留意点

(1) Students MUST attend the orientation in the first class.

(2) Since the number of seats is limited, there will be a draw if there are too many applicants.

(3) Students MUST obey the rules not to disturb the participants from local areas.

(4) The 'Midterm Report' is evaluated by NISHII whilst the 'Final Report' is evaluated by President.

(1) 第1回目のガイダンスに出席しない場合、履修は認められない。

(2) 座席数が限られているため、履修希望者が多い場合は選抜を行う。

(3) 地域住民をはじめとする一般参加者も聴講するため、受講ルールを厳守すること。

(4) 中間レポートは科目担当講師が、最終レポートは学長が採点する。

※以上は昨年度までのものである。2020年12月現在、当「学長リレー講座（秋学期）」は、①E301教室スクリーンにて対面受講する学生と、②オンライン受講者に分かれている。オンライン受講の場合も多摩キャンパスでの講演がリアルタイムで中継されている。

科目名：プロジェクト・ゼミナール VI（日本伝統文化：いけばな理論と実践）

Course Title : Project Seminar VI

教員／Instructor：長田 祥男（Osada, Sachio）

Division／分野	Elective／選択（Seminar）	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	osada-s@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験	○		

■Course Goals／到達目標

The goal is to grasp Japanese traditional culture from a global perspective, learn theory and practical skills, and acquire knowledge and skills that can correctly convey Japan to the world. Credit holders are eligible to apply for the first transfer of 池坊鳳秀流. グローバルな視点で日本の伝統文化をとらえ、理論と実技を学び、世界に向け日本を正しく伝えられる知識と技術の習得を目標とする。単位認定者には池坊鳳秀流初伝位申請の資格が与えられる。

■Course Description／講義の概要

Lecture on life culture supported by the common people in the early modern period. Practical training for learning the basic skills of ikebana.

近世の庶民に支えられた生活文化についての講義。いけばなの基本技術習得に向け実技指導。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ Learn that you were instructed in the previous week to prepare for each historical theme. (Over 2 hours)
- ・ In the case of practical training, memorize the illustration of the basic format of ikebana distributed the previous week.
- ・ Review the history of the Muromachi period, Azuchi-Momoyama period, and Edo period, which were conducted in Japanese history classes up to high school before taking the course. (3 hours before each lecture)
- ・ In the practice of visiting the ikebana exhibition, submit a post-event report in line with history. (3 hours)
- ・ 各回の歴史的テーマに即した予習課題を前週に指示されたことを学習しておく。(2時間超)
- ・ 実技実習の場合は前週に配布したいけばなの基本形式の図解を暗記しておく。
- ・ 履修前に高校までの日本史の授業でおこなった室町時代・安土桃山時代・江戸時代の歴史を復習しておく。(各講義前に3時間)
- ・ いけばな展参観の実習では事後レポート提出を歴史に即して作成する。(3時間)

■Textbook／教科書

華道家必携 華道に関するアラカルト

■Method of Evaluation／評価方法

- ・ In-class activity／授業内活動：60%
- ・ Extracurricular activity report／学外活動レポート評価：20%
- ・ In-class practical skill test／授業内実技試験：20%

■Prerequisite／事前履修科目等

None／特になし

■Additional Information／留意点

None／特になし

科目名：プロジェクトゼミナールⅦ（藤沢ストーリー）

Course Title : Project Seminar VII

教員／Instructor：堂下 恵（Doshita, Megumi）

Division／分野	Elective／選択（Seminar）	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	207	E-mail	doshita@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

- ・グローバルスタディーズ学部のある藤沢市のことを深く理解できる
- ・藤沢の発展や問題解決の取り組みに携われるようになる
- ・藤沢のことをグローバルに発信できる

Students will understand Fujisawa City thoroughly.

Students will be able to involve themselves in activities which resolve problems and encourage development in Fujisawa.

Students will be able to share the information and news of Fujisawa with the people in the world.

■ Course Description／講義の概要

本科目はグローバルスタディーズ学部のある藤沢市についての造詣を深め、グローバルに発信することのできる人材を育成するための実践的な科目である。2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは藤沢市でセーリング競技がおこなわれる予定だったが、在学生には江の島や藤沢駅周辺に足を運んだことが無い者もいる。本科目では地元・藤沢のことを深く知り、藤沢市の国際交流やインバウンドの発展等についても学び、地域のことを広く世界へ発信する試みも検討する。

In this course, students will enhance the knowledge of Fujisawa City, ranging from the popular tourist site, Enoshima, to Inbound tourism and international exchange, and they will be able to send valuable messages about Fujisawa to the world.

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・藤沢についての予備知識の習得・確認（1.5時間／週）Check the basic information about Fujisawa (1.5 hour a week)
- ・授業内容の復習（1.5時間／週）Review (1.5 hour a week)
- ・プレゼン・ディスカッションの準備（1.5時間／週）Preparation for presentation and discussion (1.5 hour a week)

■ Textbook／教科書

なし None

■ Method of Evaluation／評価方法

学修態度 10% Learning attitude

授業中の態度・ワーク 45% In class activities

プレゼンテーション・ディスカッション 45% Presentations and discussions

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし Nothing in particular

■ Additional Information／留意点

本科目は、教室での座学、藤沢市内での実習、ならびに藤沢市の行政や観光をはじめとして地域で活躍されている方々の講義を予定しているが、コロナ禍の影響で変更の可能性が高い。

This course is planned to have seminars/lectures on campus, fieldwork in Fujisawa City and presentations by invited specialists from Fujisawa City. However, owing to COVID-19, the contents will possibly change.

語 E

学 P

選
択
必
須
C
o
u
r
s
e上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
テ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：プロジェクト・ゼミナールⅠ（教師力向上講座）

Course Title : Project Seminar I

教員／Instructor：廣田 敬則（Hirota, Takanori）

Division／分野	Elective／選択（Seminar）	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	305	E-mail	hirota@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

To enhance the basic competencies for teaching. Specifically, the course aims to achieve the following five goals : ① to understand the basic ideas and attitudes about teaching and the overall picture of a teacher's duties, ② to acquire skills in classroom practice and methodical skills in class analysis and research, ③ to understand students, ④ to improve expressive and interpersonal skills as a teacher, and ⑤ to prepare for the teacher employment examination.

教職に就くための基礎的な力量を高める。具体的には、①教職についての基本的な考え方や姿勢、教師の職務の全体像の把握、②授業実践スキルと授業分析・研究の方法的スキルの獲得、③児童生徒理解、④教師としての表現力や対人関係力のスキルの向上、⑤教員採用試験への対策の5点を到達目標とする。

■Course Description／講義の概要

The classes will be based on lecture and seminar format, but will be a place for students in the teaching program to deepen their knowledge and skills related to the teaching profession together with teachers. Based on the recognition that teachers are individuals who continue to learn and master their work, we want them to acquire the attitude to enhance their "humanity," "professionalism," and "social skills" as teachers. In addition, students will be prepared for the teacher employment examination.

講義と演習形式の授業を基本とするが、教職課程の学生が教員とともに教職に関する知識や技能を深めるための場とする。教師は、自ら学び続ける者として仕事を体得していく存在であるという認識のもとに、教師としての「人間性」「専門性」「社会性」を高めるための姿勢を身につけさせたい。また、教員採用試験の対策を行う。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Students are required to read the designated materials in advance as prior study for the lecture topics (1.5 hours). Preparation of a reflection sheet and review of the contents after the lecture (1.5 hours).

講義テーマに対する事前学習として、指定資料を事前に読んでおくこと（1.5時間）。講義後の振り返りシートの作成と内容を復習する（1.5時間）。

■Textbook／教科書

To be announced during the course.

講義中に紹介する。

■Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude／学習態度：20%

Class Participation／授業参加及び発表：50%

Assignments／課題：30%

■Prerequisite／事前履修科目等

None 特になし

■Additional Information／留意点

Students who are planning to take the teacher recruitment examinations are encouraged to take this course.

教員採用試験の受験を考えている学生は、履修することが望ましい。

科目名：プロジェクトゼミナールⅩ（被爆都市と観光を多面的に考えるⅠ広島）

Course Title : Project Seminar X

教員／Instructor：桐谷 多恵子（Kiriya, Taeko）

Division／分野	Elective／選択（Seminar）	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	kiriya@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

被爆都市の観光を取り扱うにあたり、多面的に検討するための基礎的な知識を習得し、当該の内容について議論する能力を獲得することを目標とする。この目標達成までの過程において受講生は、近年の学際的な成果、及び、広島の歴史と被爆体験について学ぶこととなる。

■ Course Description／講義の概要

本講義においては、次の3点について学ぶ。①観光に関する人文社会科学の近年の成果、②広島 of 歴史と証言、③広島と観光。これらを通して被爆都市の観光を多面的に考察する。具体的には、学術書や被爆体験の証言集等の文献を皆で読み込み、報告し、議論することになる。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・講義内容に対する事前学習として、指定図書の該当ページを事前に読んでおくこと（1時間を要する）。
- ・講義後の内容の復習を行うこと（1時間）。
- ・以上に加え、各回の報告者は、指定図書のまとめを行う。報告前には準備をしっかりと行うこと（3時間を要する）。詳細は授業のイントロダクションで説明する。

■ Textbook／教科書

授業内容に合わせて適宜配布する。

■ Method of Evaluation／評価方法

授業への取り組み態度：10%
 グループワークへの参加度：20%
 授業内での発表：30%
 期末レポート：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

ホスピタリティ・マネジメント特別講義Ⅶ（ヒロシマ・ナガサキと観光）の単位を修得済みであること。

■ Additional Information／留意点

- ・グループワークを多く取り入れる講義内容構成のため、グループへの貢献度が評価対象となり、授業への積極的な参加が求められる。
- ・第1週に提示される履修上のルールを守ること。
- ・遅刻や欠席については多摩大学のルールに則り、対処する。

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：プロジェクトゼミナール XI（被爆都市と観光を多面的に考えるⅡ長崎）

Course Title : Project Seminar XI

教員／Instructor：桐谷 多恵子（Kiriya, Taeko）

Division／分野	Elective／選択（Seminar）	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	kiriya@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

被爆都市の観光を取り扱うにあたり、多面的に検討するための基礎的な知識を習得し、当該の内容について議論する能力を獲得することを目標とする。この目標達成までの過程において受講生は、近年の学際的な成果、及び、長崎の歴史と被爆体験について学ぶこととなる。

■ Course Description／講義の概要

本講義においては、次の3点について学ぶ。①観光に関する人文社会科学の近年の成果、②長崎の歴史と証言、③長崎と観光。これらを通して被爆都市の観光を多面的に考察する。具体的には、学術書や被爆体験の証言集等の文献を皆で読み込み、報告し、議論することになる。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・講義内容に対する事前学習として、指定図書の該当ページを事前に読んでおくこと（1時間を要する）。
- ・講義後の内容の復習を行うこと（1時間）。
- ・以上に加え、各回の報告者は、指定図書のまとめを行う。報告前には準備をしっかりと行うこと（3時間を要する）。詳細は授業のイントロダクションで説明する。

■ Textbook／教科書

授業内容に合わせて適宜配布する。

■ Method of Evaluation／評価方法

授業への取り組み態度：10%
グループワークへの参加度：20%
授業内での発表：30%
期末レポート：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

ホスピタリティ・マネジメント特別講義Ⅶ（ヒロシマ・ナガサキと観光）の単位を修得済みであること。

■ Additional Information／留意点

- ・グループワークを多く取り入れる講義内容構成のため、グループへの貢献度が評価対象となり、授業への積極的な参加が求められる。
- ・第1週に提示される履修上のルールを守ること。
- ・遅刻や欠席については多摩大学のルールに則り、対処する。

科目名：ゼミナール アイグル クルナザロバ (Aigul Kulnazarova)

Course Title : Seminar

教員／Instructor：アイグル クルナザロバ (Kulnazarova, Aigul)

Division／分野	Elective／選択 (Seminar)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	208	E-mail	kulnazarova@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

This seminar is built on three aspirations : KNOWLEDGE, SKILLS and ATTITUDES. Therefore, the seminar has following objectives to aspire students :

- 1) to increase knowledge about the ideas and applications of war and peace in a historical context and with applications to contemporary political discourses;
 - 2) to develop new skills – empirical assessment and critical analysis through participation in designed fieldworks, both domestic and overseas;
 - 3) to develop values and attitudes about different peace perspectives and practices, applied in different countries around the world.
- このセミナーは、知識、スキル、態度の3つの目標に基づいて構築されています。したがって、このセミナーには、意欲的な学生のために次の目的があります。
- 1) 歴史的な文脈における戦争と平和の思想と応用、そして現代の政治的言説へのそれらの応用についての知識を増やすこと。
 - 2) 新しいスキルを開発するー国内外で設計されたフィールドワークに参加することにより、経験的評価と批判的分析を行います。
 - 3) 世界中のさまざまな国に適用される平和のさまざまな視点と実践に関する価値観と態度を開発すること。

■ Course Description／講義の概要

This seminar will focus on the causes and consequences of peace and war, primarily based on the analysis of twentieth century history and relevant readings. What is peace ? What is war ? What are their causes and consequences ? What is negative peace ? What is positive peace ? Can peace be perpetual ? These are some key questions that this seminar aims to address. Students will be engaged in theoretical study/ knowledge through weekly selected readings and practical research through domestic and overseas fieldworks.

Fieldworks are important components of this seminar, therefore students will need to participate in them (some possible sites include but are not limited to Hiroshima or Nagasaki Peace Memorials, Yushukan War Memorial Museum in Tokyo, Okinawa Peace Memorial Park; overseas war memory sites in Korea and Taiwan, genocide memorials and sites in Rwanda, etc.). However, it should be noted that overseas fieldworks will depend on the availability of school funds.

The methodology of the seminar will be based on weekly discussions and critical reflections of assigned readings, few brief lectures and invited talks by external speakers, as well as research fieldwork, videogames and film reviews.

このセミナーは、主に 20 世紀の歴史の分析と関連する読みに基づいて、平和と戦争の原因と結果に焦点を当てます。平和とは何ですか？ 戦争とは何ですか？ それらの原因と結果は何ですか？ ネガティブな平和とは何ですか？ ポジティブな平和とは何ですか？ 平和は永遠に続くことができますか？ これらは、このセミナーが取り組むことを目的とするいくつかの重要な質問です。学生は毎週選ばれた読書を通して理論的な研究／知識と国内外のフィールドワークを通して実践的な研究に従事します。フィールドワークはこのセミナーの重要な要素であるため、学生は参加する必要があります（広島または長崎平和記念館、東京の遊就館戦争記念博物館、沖縄平和記念公園、韓国の海外戦争記念サイトなどがありますが、これらに限定されません。と台湾、ルワンダの虐殺記念館とサイトなど）。ただし、海外のフィールドワークは学校の資金の利用可能性に依存することに注意する必要があります。

セミナーの方法論は、毎週のディスカッションと割り当てられた読み物の批判的考察、いくつかの簡単な講義と外部スピーカーによる招待講演、および研究フィールドワーク、ビデオゲーム、映画レビューに基づいています。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ Critical reflection of weekly texts, which takes about 3 to 4 hours every time／毎週のテキストの批判的な反映。毎回約 3 ～ 4 時間かかります
- ・ Domestic fieldwork in the last quarter of the semester will require on-campus preparation about 5-10 hours／学期の最後の四半期の国内フィールドワークでは、キャンパス内での準備が約 5 ～ 10 時間必要になります
- ・ Practical implementation will take about 3 to 5 hours／実際の実装には約 3 ～ 5 時間かかります
- ・ Report writing, including drafting, will require up to 10 hours／ドラフトを含むレポートの作成には、最大 10 時間かかります。

■ Textbook／教科書

None

【Seminar／ゼミナール】

語 E

学 P

選
択
必
r
須
e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

■ Method of Evaluation／評価方法

Seminar Attendance and Participation (weekly critical reflections, class discussions, group work) : 30%

Fieldwork Preparation and Implementation : 30%

Fieldwork Report and Presentation : 40%

セミナーへの出席と参加（毎週の批評的考察、クラスディスカッション、グループワーク）：30%

フィールドワークの準備と実施：30%

フィールドワークレポートとプレゼンテーション：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

1) Willingness to learn and challenge oneself while learning／学びながら自分自身を学び、挑戦する意欲

2) Good command of English／英語のレベルが良い

■ Additional Information／留意点

- The timing and schedule of fieldworks will depend on the availability of school funds and the current pandemic situation.

- The seminar will be conducted entirely in English language.

- The weekly schedule may be subject to change. Please use this version for your general reference only.

- フィールドワークのタイミングとスケジュールは、学校の資金の利用可能性と現在のパンデミックの状況によって異なります。

- セミナーはすべて英語で行われます。

- 毎週のスケジュールは変更される場合があります。このバージョンは、一般的な参照のみに使用してください。

科目名：ゼミナール エリック ホノベ (Honobe, Erik)

Course Title : Seminar

教員／Instructor : エリック ホノベ (Honobe, Erik)

Division／分野	Elective／選択 (Seminar)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	202	E-mail	honobe@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

The Three Kingdoms is a well-known book, not only in China and Japan, but around the world. In particular, it is said that the military strategies appearing in it were often employed in ancient China. In this seminar, we take an in-depth look at the military strategies used during the Three Kingdoms era, and we analyze them in the framework of the chronicles of the Three Kingdoms. The main objective of this seminar is to deepen our knowledge of the Three Kingdoms era and Chinese culture. For learning in this seminar to be useful, it is important to have an interest in the Three Kingdoms era and Chinese culture.

「三国志演義」は中国、日本ではともかく世界中に名著な書物である。特に古代中国ではその中の軍事計略はよく活用されていたとも言われる。このゼミでは三国時代に使われていた軍事計略を研究し、三国志の枠組みを踏まえて分析する。このゼミの主な目標は三国時代及び中国文化の知識を深めることである。このゼミで有用な学習するため、三国時代・中国文化への興味を持つことは大事な要素である。

■ Course Description／講義の概要

In this seminar, we study the Three Kingdoms era and take an in-depth look at its connection with Chinese culture. The study is based on Three Kingdoms and the Chronicles of the Three Kingdoms. The lectures of this seminar are conducted with participants taking turns in presenting assigned readings. For efficient use of lecture time, all participants need to actively participate by asking questions and voicing opinions focused on the topics. For this sake, participants other than the presenter are required to read the assigned readings beforehand and make reading notes.

このゼミでは、三国時代を学び、中国文化との関連を研究する。研究題材は「三国志」「三国演義」等である。講義は原則として、指定された課題を報告者が報告する輪読の形式で進める。講義時間を有効活用するために、参加者全員が集中し、質問や意見を述べるなど積極的に参加することが求められる。そのためにも、報告者以外の参加者もあらかじめ課題を読み、読書ノートを作成することを義務とする。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Before each class, students are to read the textbook, assigned readings and others (1.5 hours needed).

・教科書や指定図書、等を事前に読んでおくこと (1.5 時間を要する)

■ Textbook／教科書

None. なし

■ Method of Evaluation／評価方法

Participation／講義参加：50%

Presentations／発表：50%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None in particular. 特になし

■ Additional Information／留意点

None in particular. 特になし

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：ゼミナール 太田 哲 (Ota, Satoshi)

Course Title : Seminar

教員／Instructor：太田 哲 (Ota, Satoshi)

Division／分野	Elective／選択 (Seminar)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	306	E-mail	ota@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

Students are expected:

1. to understand culture and society of India and South Asian countries,
 2. to learn the influence of India in South Asia,
 3. to study the influences of two giants, India and China in each region and investigate possible conflicts between the two powers,
 4. to investigate the nature of nation-states by exploring nationalism movements among ethnic minorities,
 5. to understand ethnic minorities in India and try to understand the view from the people in marginal positions.
1. インドや南アジア全般に住む人々の社会や文化を知る。
 2. インドの南アジア地域における影響力について知る。
 3. インドを中心とした南アジア圏の勢力と中華圏の勢力という2つの大きな力を理解し、アジアにおける力学に対し鋭敏な視点を養う。
 4. インドの少数民族のナショナリズムに対して知識を深め、国民国家について考えを深める。
 5. インドにおける少数民族を学ぶことによって少数派の立場や視点を理解する。

■Course Description／講義の概要

This seminar will study cultures and societies of India and South Asian countries, and look at the world from their point of view. The seminar mainly focus on India, however it also covers Grater China. The purpose of this seminar is to understand Asia by examining Asian two giants, China and India, and foresee the world order for the next few decades. The seminar also looks at ethnic minorities living Northeast India, and investigates their nationalism movements. It will examine the nature of nation-states by exploring some ethnic groups' self-determination movements, and study about Japan as a nation-state by comparing the cases of Northeast India. In addition, students will study about people in marginal position through exploring Northeastern ethnic minorities, then extend their concern with people in marginal position in Japan. The seminar expects students to study actively and prepare presentations before attending classes. Students are expected to conduct fieldworks when necessary, and may go overseas for field-trip.

本ゼミは南アジアに住む人々の生活や文化を学び、彼／彼女らの視点からの世界の動きを概観する。講義はインドを中心に扱うが、南アジアのみならず、中華圏についても理解を深めていく。アジアにおける大きな勢力であるインドと中国を俯瞰することにより、アジアをより深く理解し、今後の世界情勢を考える指針とする。また、本ゼミではインド北東部に住む少数民族について理解を深め、ナショナリズム運動に対しても理解をする。少数民族の民族自決運動を通して国民国家とは何かということを考え、翻って日本国についても国民国家という視点で考える。少数民族を学ぶことによって社会におけるマージナルなポジションであるということはどういうことであるのかということを理解し、日本におけるマージナルな人々に対して理解を深めるきっかけとする。講義の形式は基本的には学生が中心となって文献を読み、レポートとしてまとめ、発表を行う。その他に適宜フィールドワークを行い、海外への調査研究についても視野に入れる。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ Read course readings (2 hours)
- ・ Preparation for presentation (1 hour)
- ・ Studying English (30 minutes everyday)
- ・ 課題図書の前読講読 (2 時間)
- ・ プレゼンテーションの準備等 (1 時間)
- ・ 英語学習 (毎日 30 分)

■Textbook／教科書

No specific text book is required, but reading materials will be provided in the class.／特になし。しかしながら、課題図書等は必要に応じて適宜授業中に配られる。

■Method of Evaluation／評価方法

Class participation／平常点：60% Presentations／プレゼンテーション：30% Assignments／課題提出：10%

■Prerequisite／事前履修科目等

特になし／No particular prerequisites

■Additional Information／留意点

TOEIC のスコア等に関しての基準は特に設けない。しかしゼミにおいて英文の資料を講読するため英語力向上のために相当量の時間と努力が必要となる旨を学生は心得ておくこと。

Minimum TOEIC score is not set to take this seminar, but students are expected to read academic books and articles written in English. Therefore, for those who have difficulty in English are strongly suggested to take good amount of time to improve their English skills.

科目名：ゼミナール 大場 智美 (Ohba, Tomomi)

Course Title : Seminar

教員／Instructor：大場 智美 (Ohba, Tomomi)

Division／分野	Elective／選択 (Seminar)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	102	E-mail	ohba-t@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

日本の英語教育を批判的に分析すると同時に、様々な形で行われている世界の英語教育に関して調査し研究する。Gain understanding on English language education in Japan and in other countries, and acquire basic skills for critical thinking and research.

■ Course Description／講義の概要

日本と外国における英語教育 (ESL/EFL/EGL/ELF/etc) を分析する (Analysing English language (ESL/EFL/EGL/ELF/etc) education in Japan and in Other Countries)。TOEIC 学習も含む。

主な内容や授業方法は次の通り (Brief contents of the course and activities)

- ・英語教育についてのテキストや文献を読み、クラスでディスカッションを行う。(Reading articles about English language education and discussing them)
- ・個人またはグループで英語村や英語教育に関する調査および発表を行う。(Conducting research on 'English Villages' in Japan, and also EL education and giving presentations)
- ・英語教育に関するフィールドワークなど。(Other activities including field work)

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・教科書やプリント等を事前に読んでおくこと (1 時間を要する) Students are required to read the given course materials in advance (for 1 hour)
- ・毎週出された課題を行うこと (1 時間を要する) Required to work for assignments given in class (for 1 hour)
- ・講義テーマに関するデータを収集し、レポートや発表用資料を作成する (1 時間) Collect data related to the seminar topic, write reports, and give presentations (For 1 hour)

■ Textbook／教科書

寺沢拓敬 (2016) 『日本人と英語』の社会学』 研究社

■ Method of Evaluation／評価方法

Presentation／プレゼンテーション：20%

Assignment & Reports／課題およびレポート：50%

Active participation in class discussions／ディスカッションなどの学習活動への積極性：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

ゼミナール I：特になし N/A

ゼミナール II：ゼミナール I を受講済であること Students must have taken Seminar I before taking this seminar (II).

ゼミナール III：ゼミナール I を受講済であること Students must have taken Seminar I before taking this seminar (II).

ゼミナール IV：ゼミナール I、II、III をすべて受講済みであること Students must have taken Seminar I, II, and III before taking this seminar (IV).

■ Additional Information／留意点

教職課程履修者以外でも履修可能。ゼミは基本的に日本語で行われる。This seminar is NOT in the teacher-training course, therefore any students are entitled to participate in it. This seminar is held mostly in Japanese language.

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
テ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：ゼミナール 韓 準祐 (Han, Junwoo)

Course Title : Seminar

教員／Instructor : 韓 準祐 (Han, Junwoo)

Division／分野	Elective／選択 (Seminar)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	206	E-mail	han@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

After taking this course, student should be able to:

- Figure out social phenomenon with comprehensive point of view.
- Analyze secondary data and select appropriate method to research their own theme.
- Conduct research and present their own perspective on the theme.

本ゼミナールを通じて履修学生は

- ・社会現象を俯瞰的視野で捉えることができる。
- ・2次データを分析し、自ら設定した研究テーマに対する適切な研究方法を選ぶことができる。
- ・研究を行い、設定したテーマに対する自分の視点を示すことができる。

■ Course Description／講義の概要

Practical study about 'tourism' and 'tourism-based community development' will be conducted in this course. Basically, students will participate research project of tourism in Fujisawa, Chigasaki and Samukawa. Further, students will select their own theme and conduct research.

「観光」、「観光まちづくり」をテーマにした実践的研究を行います。基本的にゼミ生は藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町の広域における観光研究プロジェクトに参画します。さらに、ゼミ生は自らテーマを設定し研究を行います。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Preparation for each class : reading related books and articles (1 hour and half per every week), review after the class (1 hour per every week)

- ・毎週のテーマ・トピックに関連する文献、資料等を事前にレビューし (1.5時間／毎週)、授業後にも復習を行う (1時間／毎週)。

Pick up tourism-related news, and present about the news in class (1 hour and half)

- ・「観光」に関連するニュースを選んで、ゼミで紹介する準備を行う (1.5時間)。

■ Textbook／教科書

handouts 随時、資料を配布します。

■ Method of Evaluation／評価方法

Class Participation／平常点 : 100%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None なし

■ Additional Information／留意点

Students who would like to register for this course need to study hard and learn sincerely.

履修希望者には、真摯に取り組むことが求められます。

科目名：ゼミナール 小松 加代子 (Komatsu, Kayoko)

Course Title : Seminar

教員／Instructor : 小松 加代子 (Komatsu, Kayoko)

Division／分野	Elective／選択 (Seminar)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	211	E-mail	komatsu@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

- ・日本各地で身近にみられる儀礼や慣習の根底にある世界観を歴史的な検証とともに深く考察することによって、日本の世界観を説明できるようになる。
- ・日本の宗教的多様性にも注意し、また他文化との類似性と差異に気づくことによって、宗教的世界観を見つめなおす。
- ・ achieve a basic knowledge of the characteristics, ideas and framework of practices in Japanese religion
- ・ develop an understanding of Japanese religion as a complex and inclusive phenomenon

■ Course Description／講義の概要

ゼミは、読んだ資料に基づいて、ディスカッションをすることを中心とする。学生は、ゼミまでに課題の資料を読んで問題点を指摘できるようにしてきてほしい。

資料のテーマとしては、次のようなものを扱う：霊の存在、墓参り、聖地、パワースポット、巡礼の位置づけ、行事と儀礼の意味、複数の宗教の混在

1年の終りにはゼミ論をまとめてゼミの冊子を作る。

また、神社や寺社、民間信仰などを理解するために、夏にはゼミ旅行を予定している。

This is a seminar based on readings. That means discussion rather than lecture will be dominant and in order for this to occur, each student is expected to read the text before coming to class and find out a discussion point.

Theme will be as follows; Existence and meaning of 霊 (soul, spirit, ghost, etc.), Grave visit, ancestor worship, Sacred space, Power Spots, pilgrimages, The meaning of rituals, The coexistence of different religious traditions.

At the end of the year, each student writes a research paper based on the topic of one's choice in Japanese religious culture, past or present. There will be a research trip in summer.

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・毎回課題に対する事前学習 (1.5時間)

指定された本を読んで、その内容をまとめ、自分の意見を言えるようにしてくる。また中旬からは、自分で課題を見つけるために、資料を探し、参考図書を見つける。

- ・ Preparation for each assignment (1.5 hours)

Read the designated book, summarize the contents, and be able to express your opinion. Also, students will find some issues and find reference books and materials for the issues.

■ Textbook／教科書

None. なし

■ Method of Evaluation／評価方法

平常点／Class Participatipn : 20%

レポート／Research paper : 80%

■ Prerequisite／事前履修科目等

ゼミナール I : None. 特になし

ゼミナール II : Seminar I ゼミナール I

ゼミナール III : Seminar II ゼミナール II

ゼミナール IV : Seminar III ゼミナール III

■ Additional Information／留意点

本を読んで発表することが多い。

People who are motivated to read books and give presentations are desirable.

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：ゼミナール 竹内 一真 (Takeuchi, Kazuma)

Course Title : Seminar

教員／Instructor：竹内 一真 (Takeuchi, Kazuma)

Division／分野	Elective／選択 (Seminar)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	304	E-mail	takeuchi-k@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

In this seminar, we will use the trend of restaurant use by foreigners visiting Japan as a case study to learn the knowledge of business administration and psychology on a practical basis. First, while conveying the basic knowledge of business administration, we will link this knowledge to the development of the ability to think through specific cases. In the seminar, students work in teams to complete assignments. When working as a team, each individual is assigned a role. In this way, the students will develop the ability to contribute to the achievement of organizational goals by sharing roles. By thinking about how the practical knowledge learned in this way can be applied in the region of Fujisawa, students will develop an understanding of global society and the ability to contribute to the development of society.

本ゼミナールでは訪日外国人の飲食店利用動向を事例として経営学と心理学の知識を実地で学ぶ。まず、経営学の基礎的な知識を伝えながら、その知識を具体的な事例を通じて考え抜く力の育成につなげる。また、ゼミナールではチームで課題を行っていく。チームで動く際には、各個人に役割を割り当てる。そのようにすることで、役割分担により組織目標の達成に貢献する力を育成する。このようにして学んだ実践的な知識を藤沢という地域にてどのようにして生かせるのかということを考えることで、グローバル社会に対する理解と社会の発展に貢献する力を育成する。

■Course Description／講義の概要

In this seminar, we will use the trends in restaurant use by foreign visitors to Japan as a case study to learn knowledge of business administration and psychology, and create our own knowledge through fieldwork and interviews. In the fieldwork, students will actually visit restaurants frequented by foreigners visiting Japan and analyze them using their knowledge of business administration. In the interviews, they will think about the questions to be asked and actually ask the questions themselves in order to interview foreigners visiting Japan in English. They will analyze the interview data and make a presentation. The data obtained through the interviews will be turned into a board game using the knowledge of educational psychology. The game is designed to enable participants to understand the trends of restaurant use by foreign visitors to Japan while having fun with multiple people, and will eventually be used by people in the Fujisawa area to contribute to the local community.

本ゼミナールでは訪日外国人の飲食店利用動向を事例として経営学や心理学の知識を学びながら、その知識をフィールドワークやインタビューを通じて自らが知識を生み出す。フィールドワークでは実際に訪日外国人が多く訪れる飲食店を訪れ、経営学の知識を使って分析する。インタビューでは訪日外国人に英語でインタビューするため、質問項目を考え、実際に各自で質問を行う。そして、そこで得たインタビューデータを分析し、発表を行う。インタビューを通じて得たデータを、教育心理学の知識を生かしてボードゲームにする。ゲームは、参加者が複数人で楽しみながら、訪日外国人の飲食店利用動向が把握できるようになるようなもので、最終的には藤沢地域の方に使っていただくことで、地域貢献を図る。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Read the relevant textbooks and designated books in advance (1.5 hours required).
関係する教科書や指定図書等を事前に読んでおくこと (1.5時間を要する)

■Textbook／教科書

None in particular 特に指定しない

■Method of Evaluation／評価方法

Active Participation／積極的な授業参加：10%
Weekly Assignments／週ごとの課題：20%
In class performance／授業内活動：30%
Final presentation／最終プレゼンテーション：40%

■Prerequisite／事前履修科目等

None in particular 特に指定しない

■Additional Information／留意点

None in particular 特に指定しない

科目名：ゼミナール 張 琪 (Zhang, Qi)

Course Title : Seminar

教員／Instructor : 張 琪 (Zhang, Qi)

Division／分野	Elective／選択 (Seminar)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	212	E-mail	zhangq@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

チャレンジ精神をもって新しいことに挑戦する気概を抱き、情報通信技術 (ICT) を駆使して、自ら問題を発見し、解決する能力を持った人材を育てる。

情報科学や脳科学の知識・実験手法を学びながら、実験データを収集・処理し、脳活動の仕組みの解明とその応用を目指す。

The students are expected to

- challenge and try new things, and be able to use the information and communication technology (ICT) to find and solve problems by themselves.
- learn the knowledge and experimental techniques in the information science and the brain science.
- collect and process the experimental data to elucidate the mechanism of brain activities.

■ Course Description／講義の概要

エンターテインメント作品を享受することは、私たちに楽しみであるだけでなく、生活の質を向上することにも繋がる。物語や映画、3D ゲームなどに夢中になっているとき、私たちの脳はどんな状態になっているのか。いろんなエンターテインメントコンテンツを使って、夢中になって楽しんでいるときの心の変化を、被験者の脳波や生理的変化を実際に計測することによって、科学的に明らかにすることにチャレンジする。

参加者は知識や実験手法を学びながら、お互いに被験者や計測者となって実際の実験を体験してもらう。

Entertainment is a happy activity for people, and could help people to improve the quality of their life. What is the status of our brain when we are absorbed in reading a story, watching a film, or playing a 3-D game? During this seminar, we will challenge to explore the answer of this question by conducting experiments to measure the brain activities and other physiological changes. We will use EEG (Electroencephalogram) and other physiological measuring methods trying to clarify the status of our mind when we are immersed in various entertainment contents.

The students will not only learn the knowledge and experimental techniques, but also conduct the practical experiments either as an experimenter or a subject.

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Review the contents of the previous seminar and complete the designated assignment. It takes at least 1.5 hours to review the seminar contents, complete the assignments, and prepare for the next seminar.

前回のゼミ内容を復習し、指定された課題を完成すること。ゼミ内容の復習、課題の完成及び次回ゼミの準備には、1.5 時間以上の取組が必要。

■ Textbook／教科書

特になし

■ Method of Evaluation／評価方法

Participation／参加状況：50%

Presentations and research results／発表及び研究成果：50%

■ Prerequisite／事前履修科目等

コンピュータの操作に慣れている必要があるので、「情報処理 I、II」を履修済みまたは 3 年次の春学期に履修予定していること。

Because the operations on computers are necessary, the completion or scheduled completion in the Spring Semester in the 3rd Grade for the course 'Information processing I, II' is required.

■ Additional Information／留意点

学生が自主性を持ち、自分の目標をはっきりし、意欲的に研究テーマに取り組むこと。

The students are expected to work actively and ambitiously on their research themes with clear goals.

- 実習、実験を行いますので、積極的に実験を考えたり、参加したりできる学生が望ましい。

Training and experiments will be conducted. The students are expected to be interested in them, consider over and take part in actively.

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：ゼミナール テレンス ジョイス (Joyce, Terence)

Course Title : Seminar

教員／Instructor：テレンス ジョイス (Joyce, Terence)

Division／分野	Elective／選択 (Seminar)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	209	E-mail	terry@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

To develop critical thinking skills by learning about (1) asking intelligent questions, (2) assessing the assumptions and biases within arguments, (3) considering alternative explanations and tolerating uncertainty, and (4) most importantly, maintaining a sense of skepticism while remaining open-minded. Reflecting the importance of psychology for understanding all human behaviour, this seminar has relevance for all of the academic objectives of SGS's diploma policy, particularly, the objectives of (1) knowledge and understanding and (2) critical thinking and judgment.

本ゼミの目的は、(1) 妥当な質問をしたり、(2) 議論に内在する前提やバイアスを精査したり、(3) 代替説明を考え、不確実性を容認したり、(4) より重要なことだが、新しい思想に耳を傾けながら懐疑感を維持することによって、批判的な思考能力を養うことである。人間行動の全ての側面を理解するために、心理学は重要な領域である。このゼミは本学のディプロマポリシーの全てに関連しているが、特に、(1) 知識と理解及び (2) 思考と判断に焦点をあてる。

■ Course Description／講義の概要

While seeking to understand human mind and language, primarily from the perspectives of psycholinguistics and cognitive psychology, this seminar strongly emphasizes the development of critical thinking skills. To that aim, the seminar encompasses a wide range of academic activities, from reading and evaluating literature, data analysis with R statistical program, and, in particular, the preparation of presentations and reaction reports about relevant TED Talks.

主に認知心理学と言語心理学の視点から人の心と言語を理解しようとしながら、このゼミは批判的な思考能力を養うことを強調する。従って、関係している書物を読み、評価し、R 統計言語でデータ分析をする。

特に関連する TED Talks について紹介発表と反応論文を書くことなどの幅広い学問活動を行う。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ Weekly preparation and revision activities vary across the semester schedule.
- ・ 週ごとの準備及び復習の内容は、週ごとの授業計画によって異なる。
- ・ In order to select three pairs TED-Talks of interest over the semester, students are expected to spend time watching a number of TED-Talks (approx. 2 hours each week).
- ・ 学期中に、関係がある TED Talks の組み合わせ 3 つ選択するために、いくつかの候補の TED-Talks を見る時間が必要 (週ごと約 2 時間を要する)。
- ・ In order to write three reaction papers for the three pairs of TED-Talks that student select over the semester, students are expected to spend time summarizing the TED-Talk contents and writing about their reactions to them (approx. 1 hour each week).
- ・ 学期中に、選択された TED Talks の対に関するリアクションペーパーを 3 つを書くために、選んだ TED-Talk の内容をまとめて、それらに対しての感想を書く時間が必要 (週ごと約 1 時間を要する)。

■ Textbook／教科書

特になし

■ Method of Evaluation／評価方法

Select, introduce and prepare reaction papers for 3 pairs of related TED Talks

関係がある TED Talks の組み合わせを 3 つ選択し、それらの紹介を用意して、各組み合わせをに関する感想文を書く：100%

■ Prerequisite／事前履修科目等

It is recommended that students have taken Introduction to Psychology core course and either Cognitive Psychology or Psycholinguistics. Moreover, as the course is conducted in English, students with TOEIC scores below 350 may find it challenging. コアコース「心理学への入門」、また「認知心理学」あるいは「言語心理学」を履修することが望ましい。さらに、この講義は英語で行われるので、TOEIC が 350 点以下の学生にとっては、本講義は難しいことが予想されるので留意すること。

■ Additional Information／留意点

No addition information 留意点ない

科目名：ゼミナール 堂下 恵 (Doshita, Megumi)

Course Title : Seminar

教員／Instructor：堂下 恵 (Doshita, Megumi)

Division／分野	Elective／選択 (Seminar)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	207	E-mail	doshita@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

堂下ゼミナールの到達目標は以下の3点である。

- ①語学力や観光学の知識を活用して、地域や国際社会に役立つ活動をする
- ②社会人基礎力を身につける
- ③ゼミで学んだことを卒業後も生かせるよう、自分の進路を確定する

There are three goals of this course.

1. Students should conduct useful activities for local and international communities by utilising their knowledge of tourism and language skills.
2. Students should understand the essential manners in the Japanese society.
3. Students should make their future career plan.

■ Course Description／講義の概要

堂下ゼミナール 2014 年度秋学期に開講して以来、藤沢市観光協会とつながりを持ち、観光を通じて地域に役立つ活動をおこなっている。2015 年度以降、藤沢市観光協会から外国人向けアンケート調査を受託し、実施している。今後も藤沢市や藤沢市観光協会等、地域や行政から依頼・相談を受けた案件について、ゼミナールで課題解決に向けて取り組んでいく予定である。ゼミの授業は、学内でのディスカッションやアクティビティが中心であるが、必要に応じて、藤沢市内などで学外実習や打ち合わせも行う。

Doshita Seminar group conducts on-going projects with a collaboration of Fujisawa City Tourist Association. For example, this seminar and Fujisawa City Tourist Association conduct a questionnaire survey concerning overseas visitors in Fujisawa City, funded by the local authority. This seminar continues to carry out these projects and students will do a variety of discussions and activities related to them on and off campus.

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

藤沢市内での実習や調査参加のための準備 (1 学期間で 22.5 時間) Preparation for fieldwork (22.5 hours)

学外発表のための準備 (1 学期間で 25 時間) Preparation for presentation(s) (25 hours)

■ Textbook／教科書

なし None

■ Method of Evaluation／評価方法

Class participation／平常点：10%

In-class Activities／授業中の課題：50%

Presentations / Essays / Examinations／成果発表／レポート／試験：0%

■ Prerequisite／事前履修科目等

観光関連科目を履修していることが望ましい。

Students should obtain some credits of tourism related courses.

■ Additional Information／留意点

- ・適切な理由のない遅刻・早退・欠席は認めない。就職活動等は配慮する。
- ・学外実習等では、活動費、交通費、昼食費等の実費が発生することが予想される。
- ・Students should not be late for or absent from classes without appropriate reasons.
- ・Students should pay for fees of activities and transport when they participate in off-campus activities.

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：ゼミナール 西井 賢太郎 (Nishii, Kentaro)

Course Title : Seminar

教員／Instructor : 西井 賢太郎 (Nishii, Kentaro)

Division／分野	Elective／選択 (Seminar)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	303	E-mail	nishii@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

To obtain English skills necessary to achieve one's goals.

- ・自分の目標を達成するために必要な英語力を身につける。

■ Course Description／講義の概要

This course aims at helping students obtain English skills necessary to achieve their goals, such as studying abroad or going on to graduate school, etc. Most importantly, students are expected to clearly show their goals by themselves, so that the instructor can effectively help them achieve their goals. To measure improvement in their English skills, students MUST take either the TOEIC-IP tests or the TOEIC-SP tests conducted during the semester. Please note that, to register for this course, students must have already completed all the AEP courses and the "TOEIC Preparation" course as a prerequisite.

当科目は、学生が留学や大学院進学などの目標を達成するために必要な英語力を身につけるためのものである。最も重要な点は、担当教員が効果的にその目標達成を助けるために、履修者自身が自分の目標をはっきりと示すことである。英語力の伸びを測るため、当該学期内に実施される TOEIC-IP テストまたは TOEIC 公開テスト（例：春学期～4月、7月実施の IP テストか、4月、5月、6月実施の公開テスト）（例：秋学期～10月、12月、1月実施の IP テストか、9月、10月、11月、12月実施の公開テスト）の受験は必須である。なお、当科目の履修者は、「AEP（全科目）」及び「TOEIC 演習」の単位取得済みの学生に限るので注意すること。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- Students are required to complete assignments given in each lecture. (It will take an hour to complete them.)
- Since students are required to take a phrase test in each lecture, they need to prepare for it. (It will take an hour to complete them.)
-

■ Textbook／教科書

Depending upon what the students in this seminar wish to study.

当ゼミの所属学生が学びたい内容によって決める。

■ Method of Evaluation／評価方法

平常点／Class Participation : 50%

課題／Assignment : 50%

■ Prerequisite／事前履修科目等

Students who want to be enrolled in this seminar MUST have already completed all the AEP courses and the "TOEIC Preparation" course.

『AEP（全科目）』及び『TOEIC 演習』の単位を取得済みであること。

■ Additional Information／留意点

Please note that 'seminars' completely differ from 'lectures' in many aspects. In this seminar, students are expected to clearly show their goals and make efforts so that the instructor can effectively help them achieve their goals.

様々な点で「ゼミ」は「講義」とは全く異なる。当ゼミに於いては、教員が効果的に学生の目標達成を助けられるよう、学生自身が自分の目標をはっきりと示し努力することが期待される。

科目名：ゼミナール ブライアン イングリッシュ (English, Brian)

Course Title : Seminar

教員／Instructor：ブライアン イングリッシュ (English, Brian)

Division／分野	Elective／選択 (Seminar)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	103	E-mail	english@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

ゼミナール I & II :

Become familiar with various theories of Second Language Acquisition

Learn various approaches to teaching English as a second or foreign language

Learn how to develop materials for teaching English

第二言語習得のさまざまな理論に精通する

第二言語または外国語として英語を教えるためのさまざまなアプローチを学ぶ

英語を教えるための教材を開発する方法を学ぶ

ゼミナール III & IV : Become familiar with various theories of Second Language Acquisition

Learn various approaches to teaching English as a second or foreign language

Learn how to develop materials for teaching English

Gain a greater understanding of Pragmatics in communication

Reflect on how language is learned and acquired (metalinguistics)

第二言語習得のさまざまな理論に精通する

第二言語または外国語として英語を教えるためのさまざまなアプローチを学ぶ

英語を教えるための教材を開発する方法を学ぶ

コミュニケーションにおける語用論の理解を深める

言語がどのように学習され、習得されるかを振り返る (メタ言語学)

■ Course Description／講義の概要

This seminar is designed for students interested in teaching English or another language. The course aims to familiarize future teachers, administrators and researchers with methodologies of teaching English as a Foreign Language. The focus of the course will be on developing various teaching materials for classroom use. In addition, the course has been structured with a secondary objective to help students hone their own language skills so that they may be better prepared to teach English in a classroom situation. Through doing the assignments, students should inductively learn and develop strategies for succeeding in the education profession.

このセミナーは、英語または他の言語を教えることに興味のある学生を対象としています。このコースは、将来の教師、管理者、研究者に外国語としての英語を教える方法論を理解することを目的としています。コースの焦点は、教室で使用するためのさまざまな教材の開発にあります。さらに、このコースは、生徒が教室で英語を教える準備ができるように、生徒が自分の言語スキルを磨くのを助けるという副次的な目的で構成されています。課題を実行することにより、学生は教育専門職で成功するための戦略を帰納的に学び、開発する必要があります。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Every week students need to review the notes from class, do assigned reading and do preparation work for in-class presentations. This should take about 1.5 to 2 hours per week.

毎週、生徒はクラスのメモを確認し、割り当てられた読書を行い、クラス内のプレゼンテーションの準備作業を行う必要があります。これには、1週間に約1.5～2時間かかります。

■ Textbook／教科書

The instructor will provide all materials. インストラクターがすべての資料を提供します。

■ Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude : 25% Assignment 1 : 25% Assignment 2 : 25% Final Project : 25%

学習態度 : 25% 課題 1 : 25% 課題 2 : 25% 最終プロジェクト : 25%

■ Prerequisite／事前履修科目等

なし

■ Additional Information／留意点

なし

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：ゼミナール 安田 震一 (Yasuda, Shinichi)

Course Title : Seminar

教員／Instructor : 安田 震一 (Yasuda, Shinichi)

Division／分野	Elective／選択 (Seminar)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	Dean's Office	E-mail	bilshang@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

To learn about sempai and kohai, the structure of Japanese society. 3rd year students will learn to get information from the 4th year students. The 4th year students will learn about leadership by leading the 3rd year students in events and projects. This year we will read Benedict Anderson's Imagined Communities to learn about nationalism.

日本社会での先輩・後輩の関係を学ぶ。3年次生は先輩から情報を入手する方法を考える。4年次生はイベントやプロジェクトなどを経て後輩をリードすることからリーダーシップを学ぶことに努力してもらう。今年はベネディクト・アンダーソンの『想像の共同体』を読み、ナショナリズム（国家）について学ぶ。

Furthermore, students will read materials concerning modern China and Asia in English. その他、近代中国やアジア諸国に関する英文資料を読むことになる。

■ Course Description／講義の概要

To learn and understand modern China. Also how China affects Asia in general will be part of the seminar.

今日の中国について学び、できれば理解することに述べる。また、アジアにおいて中国がどう影響を及ぼしているかについても本ゼミで学ぶ。

ゼミナール IV

秋学期に関して、コロナの感染状況を確認した上で、藤沢や湘南地域でのプロジェクトに参加することを最優先します。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

We will be reading Benedict Anderson's "Imagined Communities"

Be prepared to spend one to two hours for preparation.

For Fall semester, depending on COVID 19, hopefully students will be able to attend/take part in Fujisawa and Shonan area projects.

ベネディクト・アンダーソン『想像の共同体』準備時間：約1時間から2時間要する

秋学期に関しては、コロナの感染状況を確認し、藤沢市および湘南地域のプロジェクトに参加することになる

■ Textbook／教科書

Benedict Anderson : "Imagined Communities" Requires 1-2 hour (s) for preparation

ベネディクト・アンダーソン『想像の共同体』準備時間：約1時間から2時間要する

■ Method of Evaluation／評価方法

Attendance, be involved in discussions (10%), attend SGS events and Fieldwork (40%), Presentation (50%)

平常点、ディスカッションに参加（10%）、SGS イベントやフィールドワークに参加・出席（40%）、発表（50%）

■ Prerequisite／事前履修科目等

None なし

■ Additional Information／留意点

None なし

科目名：ゼミナール 山田 大介 (Yamada, Daisuke)

Course Title : Seminar

教員／Instructor : 山田 大介 (Yamada, Daisuke)

Division／分野	Elective／選択 (Seminar)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	104	E-mail	yamada-d@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

本ゼミナールで目標とするのは以下の3点である。

1. 言語学（英語学）の全般的な分野（音声学、音韻論、統語論、意味論、語用論、心理言語学、社会言語学、応用言語学など）基礎知識の理解をすること。
2. 専門的な英文の読解のトレーニングをすることで、より専門的な知識の理解の一助とすること。
3. 4年次（ゼミナールⅢ・Ⅳ）で行う研究の基礎知識（論文レポート作成法、英語教員になるための必要とする言語学的知識を含む）をこの場で身につけること。

The goal of this seminar class has mainly three aspects as below;

1. To understand the basic notion for every field of (English) linguistics, such as Phonetics, Phonology, Syntax, Semantics, Pragmatics, Sociolinguistics, and Applied Linguistics.
2. To obtain specialized knowledge and skills of linguistics through reading an English textbook.
3. To acquire the research skills needed in the final year (for working on their graduation essay), such as how to write essays and linguistic knowledge for English teachers.

■ Course Description／講義の概要

基本的には全て英文で書かれた使用書（教科書）を精読しながら、英語と日本語を中心とする言語学の各分野の知識を身につけていく。具体的には履修学生全員が毎回何らかの形で関わる（プレゼンテーション、日本語での説明等）こととし、言語学の諸分野の理解に努めていく。各章には問題が用意されているので、各章の終わりには各自で問題に取り組み、レポートとして提出する。そうすることで、「書く」というプロセスのトレーニング、「論じる」トレーニング、「言語学の諸領域の理解」を行う。

The methodology of the seminar will be based on students' intensive reading using an English textbook, several lectures from the lecturer, and students' answering several questions submitting as reports at the end of each chapter. To do so, students will be able to have training for academic writing and argumentation, and also understand all the field of linguistics.

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・使用書の内容の事前に十分に日本語で解釈しておくこと（2時間を要する）
- ・各章の終了後には付属のアクティビティを行い次回に提出する（1時間程度要する）

■ Textbook／教科書

George Yule. (2020) "The Study of Language." Cambridge University Press. 7th edition. [ISBN-13 : 978-1108730709]

■ Method of Evaluation／評価方法

毎回の授業内の活動（50%）、各章のアクティビティ（50%）の総合評価

Class participation (50%), Paper activities in every chapter (50%)

■ Prerequisite／事前履修科目等

「英語学Ⅰ・Ⅱ」は履修済み、もしくは並行履修のこと（「英語学Ⅰ・Ⅱ」での学修内容とはアプローチが異なること、また学習内容も異なるため）。

■ Additional Information／留意点

すべて英文で書かれているテキストを使用するので、しっかりとした予習が必要。専門用語に関しては、言語学辞典などを利用し専門用語の記述を行いながら、その理解を行うことを強く推奨する。

教職課程履修者には非常に強く履修を推奨するものではあるが、単純に「ことばの諸相」に興味があり論理的にアプローチしてみたいと思う学生は歓迎する。

科目名：ゼミナール 李 崗 (Li, Gang)

Course Title : Seminar

教員／Instructor : 李 崗 (Li, Gang)

Division／分野	Elective／選択 (Seminar)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	213	E-mail	li@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

- To understand and analyze social phenomena through critical reading and fieldwork.
- To develop skills of teamwork and independent research.
- To improve self-expression skills.
- ・ 文献調査やフィールドワークを通じて社会現象の実態を把握・理解すること。
- ・ ゼミメンバーとの共同作業で、協調性と主体性を養うこと。
- ・ 自己表現の力を向上させること。

■ Course Description／講義の概要

In this seminar, students will choose a theme associated with tourism in Japanese rural areas, and read academic papers related to the theme. Based on presentation and discussion in class, students will conduct fieldwork independently afterward. The significance of tourism for local communities and the possibility of tourism in Japan will be discussed.

国内の観光地域づくりについてゼミ生各人が関心のあるテーマを自ら見つけ、関連文献を調査し発表する。ゼミでの発表とディスカッションを踏まえたうえでフィールドワークを実施し、日本の地域社会にとっての観光の意義と可能性について考える。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- Review handouts (2 hours per week)
- Search and read related materials, and prepare for discussions in class. (1 hour per week)
- ・ 配布資料を事前に読んでおくこと (2時間/週)。
- ・ 発表テーマに関連する資料を調べて授業中のディスカッションに向けて準備すること (1時間)

■ Textbook／教科書

None. なし

■ Method of Evaluation／評価方法

- Commission to seminal management／ゼミ運営への貢献度：10%
- Participation in group activities／ゼミへの参加度：40%
- Presentation & Discussion／発表とディスカッション：50%

■ Prerequisite／事前履修科目等

Students are recommended to obtain some credits for tourism-related courses.

観光基礎科目の事前履修をお勧めします。

■ Additional Information／留意点

- ・ Students should pay for the fees of transportation, accommodation, and activities when they participate in the fieldwork tour (if available).

今後新型コロナの状況にもよりますが、フィールドワーク調査の一環として、日本の農山村地域への調査を実施する予定です。その際、交通費や宿泊費、プログラム参加費等が発生することがあります。

科目名：ゼミナール 渡邊 泰典 (Watanabe, Yasunori)

Course Title : Seminar

教員／Instructor：渡邊 泰典 (Watanabe, Yasunori)

Division／分野	Elective／選択 (Seminar)	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	201	E-mail	y-watanabe@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

- ・自ら意欲を持って学び続けることができる
- ・他のゼミ生と協力して学び合うことができる
- ・経済学および統計学で必要となる数的リテラシーおよびコンピュータリテラシーを身につける
- ・構造的なレポートやプレゼンテーションを作成できる
- To be self-motivated to continue learning.
- To be able to cooperate with other seminar students and learn from each other.
- To acquire the numerical and computer literacy required for economics and statistics.
- To be able to write structured reports and presentations.

■ Course Description／講義の概要

- ・複数の人々が関わる状況での意思決定を分析するゲーム理論と、ゲーム理論でも用いられる統計学について学ぶ
- ・理論を学ぶだけでなく、理論を応用することで、様々な状況での意思決定に役立てることができるようになることを目指す
- ・講義は原則として、指定された課題を全員が予習し、議論を行って理解を深める話し合いによる学習 (Learning through Discussion; LTD) という形式で行う
- ・コンピュータを用いた統計分析について学習し、データの収集からプレゼンテーションまでをプロジェクトとして行う
- Learn about game theory, which analyzes decision making in situations which involve multiple individuals, and statistics, which is also used in game theory.
- The goal of this seminar is not only to learn the theory, but also to be able to apply the theory to help make decisions in a variety of actual situations.
- In principle, lectures will be conducted in the form of Learning through Discussion (LTD), in which all students prepare for the assigned tasks and deepen their understanding through discussion.
- In this course, students will learn about statistical analysis using computers, and carry out projects from data collection to presentation.

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

授業前に教科書の指定範囲をあらかじめ読み、予習ノートを作成すること (3時間を要する)
Students are expected to read the textbook and make notes for preparation before each class (3 hours).

■ Textbook／教科書

講義中に指定する
To be specified during the lecture

■ Method of Evaluation／評価方法

予習ノート／Preparation : 10%
講義参加／Class Participation : 50%
期末レポート／Term Report : 40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

「経済学入門」・「統計学入門」を履修していることが望ましい
“Introduction to Economics” and “Introduction to Statistics” are recommended.

■ Additional Information／留意点

講義中に指定する
To be specified during the lecture

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
イ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：卒業研究

Course Title : Graduation Research

教員／Instructor : TBA

Division／分野	Elective／選択（Seminar）	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	4年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室		E-mail	
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

卒業研究を通して、情報収集、調査方法、論文の書き方、問題解決の手法を身につける。

Through graduation research, Learn how to solve problems, gathering information, writing treatises, and research methods.

■ Course Description／講義の概要

Graduate Research is a research project which a senior student conducts with the independent research theme as the capstone of his/her experience in the university. Under the supervision of a seminar professor, the student will develop a research plan, search for related studies, conduct fieldwork, and discuss with other students and professors. The student must present the result of the project in the form of undergraduate thesis and a verbal presentation. In order to register for this course, students are required to belong to a seminar and ask the seminar professor to be the research advisor.

卒業研究とは、大学で修得した専門知識の集大成として、学生が主体的に独自のテーマを設定して行う研究活動である。卒業研究を履修する学生は、研究活動の遂行のためにゼミ担当教員の指導の下で、研究計画の設定、関連研究の調査、フィールドワーク、ディスカッションなどを行う。卒業研究の成果は、最終的に卒業論文および口頭発表として報告されなければならない。この科目を履修するためにはゼミに所属し、ゼミ担当教員を研究アドバイザーとする必要がある。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

■ Textbook／教科書

各ゼミ指導教員の指示に従うこと。

■ Method of Evaluation／評価方法

各ゼミ指導教員の指示に従うこと。

■ Prerequisite／事前履修科目等

各ゼミ指導教員の指示に従うこと。

■ Additional Information／留意点

各ゼミ指導教員の指示に従うこと。

科目名：教育原理

Course Title : Educational Principle

教員／Instructor：山田 知代 (Yamada, Tomoyo)

Division／分野	教職に関する科目	Semester／開講学期	Spring Break Intensive
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	yamada-t@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

- ・教育の基本的概念を説明できる
- ・教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて説明できる
- ・これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを説明できる

■ Course Description／講義の概要

In this course, students learn basic concepts of Education. Education is one of the most familiar systems for human. But usually people cannot think about education deeply. The aim of this course is to think and discuss about education from two approaches. That is history of education and current education problem. Education has long history since human is born. Along the history, there are plenty of philosophy about education and viewpoint of child. We will learn the way to think about education sterically through understating the flow of history. In this modern society, education cause many problems in the process of improving the ability of children. Students acquire the ability to think about education when they learn problems which education cause

教育という営みは、人間にとってもっとも身近なものの一つであるが、意外と意識化できていない。そこで、できる限り各自の経験を意識化し、「教育」という営みについて客観的に理解できるようにしたい。特に本授業では教育を「歴史の理解」と「現状の理解」という二つの観点からとらえることを目的とする。教育は有史以来、洋の東西を問わず行われてきた。その過程において様々な思想があり、同時に多様な子どもの捉え方が提起されてきた。このような歴史の流れを理解することを通じて、教育を立体的に考える能力をつける。次に現状の問題理解という点であるが、現代社会において教育は生徒の能力を伸ばす中で様々な問題を引き起こしている。この教育が引き起こす問題を理解することで教育をより深く考える能力を身に着ける。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・予習として、講義テーマに関する事前学習を行うこと。復習として、授業中に配布した資料を整理・保存し、講義の内容を整理したノートと共によく見直すこと。(両方で3時間)

■ Textbook／教科書

坂田仰・黒川雅子・山田知代『学校現場の課題から学ぶ教育学入門』学事出版（2019年）

■ Method of Evaluation／評価方法

Participation／授業参加：10%
 I-nclass performance／授業内活動：40%
 Exam／試験：50%

■ Prerequisite／事前履修科目等

■ Additional Information／留意点

本講義は教職科目の中の一科目でもあるので、教職課程履修の者は必修の授業である。

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：教職概論

Course Title : Teaching Profession

教員／Instructor：廣田 敬則（Hirota, Takanori）

Division／分野	教職に関する科目	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	305	E-mail	hirota@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

This course comes under the category of "subjects concerning the meaning of teaching" provided for by the Teachers Licensing Act Enforcement Regulations. Therefore, the meaning of teaching, matters concerning teachers' roles, job content, etc. are taken up. Moreover, educational reform trends and present educational problems will be studied, and how schools grapple with or how teachers should respond to such problems will be considered using concrete themes. This goal of the course is to have those who want to be connected with the teaching think about what school education is, what is asked of teachers, etc.

本科目は、教育職員免許法施行規則に規定されている「教育の基礎理解に関する科目」にあたる。したがって教職の意義及び教員の役割や職務内容等に関する事項を取り扱う。また、近年の教育改革の動向、現在の教育問題については、具体的なテーマをあげて学校の取り組み方や教員の対応の在り方等に関して考えていくこととしたい。本講義は、教職に携わろうと考えている者が、学校教育とは何か、教員に求められるものは何か等について考えることを目的とする。

■ Course Description／講義の概要

Students will deepen their thoughts of class making, homeroom operation, group organization, and school making. Additionally, students will think about the open school in the community. Finally, this course includes basic issues regarding a teacher profession such as the significance of the teacher's profession, the role of the teacher and the work contents, and so on. A principle of a current teacher's education system and the political challenge, and demands for school teachers from the society is to establish an image of a teacher as profession while thinking about the quality and the ability of the school teacher demanded in recent political conditions. 授業づくり、学級経営、集団づくり、学校づくりを考察する。そして、地域に開かれた学校について考える。教職についての基本的事項（教職の意義、教員の役割、職務内容等）を知り、現行教員養成制度の原理や政策的な課題、社会の教師に向けての要求等についても理解する。また、近年の政策動向のなかで、新たに求められつつある教師の資質と力量について考えながら、自己の教職観・教師像の構築をはかる。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Students are required to read the textbook and assigned materials in advance as prior study for the lecture theme (1.5 hours). Preparation of post-lecture review sheets and summary of class content (1.5 hours). 講義テーマに対する事前学習として、指定教科書並びに課題資料を事前に読んでおくこと（1.5時間）。講義後の振り返りシートの作成と授業内容をまとめる（1.5時間）。

■ Textbook／教科書

佐藤春雄 著「教職概論 第5次改訂版」学陽書房、2018年

■ Method of Evaluation／評価方法

Attendance／学習態度：10%

Assignment／課題：30%

Presentation／発表：20%

Report or final examination／レポートまたは期末試験：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None 特になし

■ Additional Information／留意点

Students who would like to register for this course must attend the class in Week 1. 履修希望者は第1週の授業に必ず出席すること。

科目名：生徒指導・進路指導論

Course Title：Student and Career Guidance

教員／Instructor：関根 教博（Sekine, Norihiro）

Division／分野	教職に関する科目	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	1年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	sekine@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

- 1 生徒指導の意義と教師の役割について説明することができる。
- 2 進路指導の意義と教師の役割について説明することができる。
- 3 生徒指導・進路指導における学校組織の在り方や外部機関との連携について具体的な施策を提案できる。

■ Course Description／講義の概要

生徒指導は児童・生徒一人一人の人格を尊重し、社会的資質や行動力を身につけさせ、人格の完成を目指して教育活動全体を通じて行われるものである。生徒指導の理論及び方法について理解し、生徒集団全体に対する指導、個別の課題を抱える生徒への指導のあり方について考える。進路指導は、児童及び生徒が自ら、将来の進路を選択・計画し、その後の生活によりよく適応し、能力を伸長するように、教員が組織的・継続的に指導・援助する過程であり、長期的展望に立った人間形成を目指す教育活動である。進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身に付ける。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

予習

・教科書や指定図書等を事前に読み、自分の意見をまとめておくこと（1.5時間を要する）

復習

・講義後の振り返りシートの作成や授業毎のレポート作成を通じて理解を深める。（1.5時間を要する）

■ Textbook／教科書

講義ごとにプリントを配布する。

■ Method of Evaluation／評価方法

Active Participation／主体的な授業参加度：10%

Assignment／課題：30%

Presentation／発表：20%

Final Examination／期末試験：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■ Additional Information／留意点

- 1 出席についての留意点
 - (1) 出席については単位修得に関わるので特に留意すること。
 - (2) 課題についての留意点
 - (1) 各回振り返りを課題とし、内容や提出状況を評価対象とするので留意すること。
 - (2) 1000字程度のレポートを3回以上課題とし、評価をするので留意すること。
- 3 学習活動に関する留意点
 - (1) 特別活動の実践的学習としての特質を踏まえて、学外で授業を行う場合がある。

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：教育課程総論

Course Title : The Study of Curriculum

教員／Instructor：岡田 佐織（Okada, Saori）

Division／分野	教職に関する科目	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	okada-s@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

教育課程の設計のための基本的な知識及び技能を修得することで、以下の能力を獲得することを目指す。

- (1) 国際的・社会的な環境変化が、教育課程の編成にどのような影響をもたらしているのかを説明することができる。
- (2) 現在の学校がどのような教育課題を抱えているかについて、自身の意見を述べたうえで、その解決に向けて今後どのようなカリキュラム・マネジメントが必要になるかを論じることができる。
- (3) 教育課程編成の基本原則に基づいて、授業案を作成することができる。

The course goal is to get the basic knowledge and skills to do “curriculum design” at school. Students are desired to gain abilities to;

- (1) explain how international/social changes affect national and school curriculum.
- (2) identify the challenges facing modern schools and describe own opinions on curriculum management to overcome these challenges.
- (3) make appropriate teaching plans based on theories of curriculum design.

■Course Description／講義の概要

上記の到達目標を実現するため、この授業では、

- (1) 教育課程の理論と方法、(2) 学習指導要領の変遷、(3) 学校を基盤としたカリキュラム・マネジメントについて取り扱う。

This course has three sections; (1) theories and methods of curriculum design, (2) The history of the Japanese national curriculum, “course of study”, (3) school-based curriculum management.

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

・教科書や指定図書、プリント等を事前に読んで、理解できたこと・分からないことを明確にしておく（各回約1時間を要する）。

Read textbooks, designated books, supplementary materials, etc. in advance to clarify what you understand or do not understand. It takes about 1 hour each time.

・授業の節目で、理解度確認のための小テストを3回実施する。（小テストの準備のため、授業内容の復習に、各2時間を要する）

At the turning point of the lesson, we will hold three small tests to confirm understanding. It takes 2 hours to review the lesson contents in preparation for each small test.

・TIMSS, PISA, 全国学力・学習状況調査のテスト問題を解き、求められている能力の違いについて考察する（約2時間を要する）※第9週受講後

Compare the abilities required in the TIMSS, PISA and National Achievement Survey test. It takes about 2 hours. (After taking the 9th class)

・授業案を作成する（約5時間を要する）※第12週、第14週受講前

Create a lesson plan. It takes about 5 hours. (Before taking the 12th and 14th class)

・授業案のプレゼンテーション実施後、相互にディスカッションを行い、講評を受ける。

これをもとに、授業案について再考し、修正を行う（1時間を要する）※第15週終了後

After giving a presentation of the lesson plan, we will have a mutual discussion and receive a comment.

Based on this, reconsider and revise the lesson plan. It takes about 1 hours. (After taking the 15th class)

・これまでに学んだことをもとに、最終レポートを執筆する（6時間を要する）

Write a final report based on what you have learned so far. It takes about 6 hours.

■Textbook／教科書

(1) 細尾萌子・田中耕治編著 (2018) 『教育課程・教育評価』ミネルヴァ書房／Moeko Hosoo, Kouji Tanaka (2018) Curriculum design and educational evaluation, minervashobo.

(2) 時事通信出版局 (2017) 『授業が変わる！新学習指導要領ハンドブック 中学校英語編』時事通信出版局／Jijitsuusin Syuppanyoku (2017) Changing the Course of Study [English in Junior High School], Jijitsuusin Syuppanyoku.

■ Method of Evaluation／評価方法

単位認定は

- (1) 授業への参加態度（予習とディスカッションへの貢献、振り返りシートへの記入内容等）15%、
- (2) 小テスト（3回実施）30%、
- (3) 授業案の作成・プレゼンテーション・ディスカッション 30%、
- (4) レポート 25%、で評価する。

The method of evaluation is

- (1) learning attitude in the classroom (30%),
- (2) examination (15%),
- (3) making a teaching plan, presentation and discussion (30%)
- (4) course paper (25%).

■ Prerequisite／事前履修科目等

なし None

■ Additional Information／留意点

履修者数や履修生の理解度に応じて、授業内容を適宜変更することがある。Depending on the number of students and the degree of understanding of students, the contents of the lesson may be changed accordingly.

語 E

学 P

選 C
択 o
必 r
須 e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：教育制度論

Course Title : Educational System

教員／Instructor：廣田 敬則 (Hirota, Takanori)

Division／分野	教職に関する科目	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	305	E-mail	hirota@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

The course aims to learn the basic terminologies and concepts of school education systems, public administration, and laws.

学校教育に関する制度、行政、法規に関する基礎的な用語・事実など、教職に必須と考えられる知識を身に付けることを目標とする。

■ Course Description／講義の概要

This course takes a general view of the basic philosophy of education and of the laws concerning schools, students, etc. There are problems that occur at schools that are contested in court. Therefore, in this course, the relation between school education activities and the law is considered by looking at judicial precedents related to school accidents, school regulations, bullying, etc.

本講義は、教育の基本理念、学校の管理運営に関わる法規、教員の研修・服務規定などに関わる法規、児童・生徒に関わる法規について概観することをねらいとする。また、学校で発生した問題が法廷の場で争われるケースも存在する。したがって、学校事故をはじめとして、校則、いじめなどの判例からも学校教育活動と法の関係を考察する

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Students are required to read the textbook and assigned materials in advance as prior study for the lecture theme (1.5 hours). After the lecture, prepare a review sheet, review the contents, and summarize the contents of the designated textbook (1.5 hours).

講義テーマに対する事前学習として、指定教科書並びに課題資料を事前に読んでおくこと（1.5時間）。講義後の振り返りシートの作成と内容の復習、指定教科書の内容をまとめる（1.5時間）。

■ Textbook／教科書

坂田仰・河内祥子・黒川雅子・山田知代共著『新訂第3版 図解・表解教育法規』教育開発研究所、2017年

■ Method of Evaluation／評価方法

Attendance／学習態度：10%

Assignment／課題：30%

Presentation／発表：20%

Final Examination／期末試験：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None 特になし

■ Additional Information／留意点

Students who would like to register for this course must attend the class in Week 1.

履修希望者は第1週の授業に必ず出席すること。

科目名：教育方法

Course Title : Teaching Method

教員／Instructor：竹内 一真 (Takeuchi, Kazuma)

Division／分野	教職に関する科目	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	304	E-mail	takeuchi-k@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

There are two main goals of this course.

- 1) To acquire theoretical knowledge of teaching method
- 2) To acquire practical knowledge of teaching method in educational context

本講の目的は大きく2つある

- 1) グローバルな視点から現代の学校教育において求められる教育方法の理論的な知識を学ぶ
- 2) 理論的な知識を自らの教育実践において使えるようにし、社会の発展に貢献する力を育成する

■ Course Description／講義の概要

Along course goals, students are needed not only to learn general knowledge of teaching method, but also to ensure to use that knowledge in educational context. Therefore, this course offers many opportunities to improve practical knowledge of teaching through group activity, discussion, debate, mocked class. This course request students to participate in each class actively. Each class uses visual material such as video, picture to encourage students to learn real situations in a current school.

到達目標に沿って講義では知識を学びつつ、その知識を使って実践的な経験を培う場を設ける。そのため、授業全体を通じて、ただ座って聞くだけでなく、学生自らが主体的に参加することになる。グループワークやディスカッション、模擬授業など様々な形の中で、現在学生自身が持っている教育方法に関する知識や経験をふり返り、伸長を促していく。また、個々の講義では動画などの視覚資料も使いながら、急激に変化している教育現場をできるだけ生き生きと捉え、その中で自らがどのように教えたらいのかということを通して問題として考えることができるよう授業を進めていく。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Prior study is required to prepare lesson plans and materials for the mock class (3 hours required).

模擬授業に向けて授業案を作成したり、教材を作成したりと事前学習が必要となる（3時間を要する）

■ Textbook／教科書

None in particular 特になし

■ Method of Evaluation／評価方法

Report／レポート：10%

Trial lesson／模擬授業：60%

Final exam／テスト：30%

■ Prerequisite／事前履修科目等

None in particular 特になし

■ Additional Information／留意点

None in particular 特になし

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：特別活動

Course Title：Extra-Curricular Activities

教員／Instructor：関根 教博（Sekine, Norihiro）

Division／分野	教職に関する科目	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	2年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	sekine@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

- 特別活動の意義、目標及び内容を理解する。
 - 学習指導要領における特別活動の目標及び主な内容について理解している。
 - 教育課程における特別活動の位置付けと各教科等との関連を理解している。
 - 学級活動・ホームルーム活動の特質を理解している。
 - 児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の特質を理解している。
- 特別活動の指導の在り方を理解する。
 - 教育過程全体で取り組む特別活動の指導の在り方を理解する。
 - 特別活動における取組の評価・改善の重要性を理解する。
 - 合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導及び集団活動の意義や指導の在り方を例示することができる。
 - 特別活動における家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方を理解している。

■ Course Description／講義の概要

【講義を通じて「人間関係形成」・「社会参画」・「自己実現」の三つの視点を身に付ける】

特別活動は学校における様々な構成の集団での活動を通して、課題の発見や解決を行い、より良い集団や学校生活を目指して様々に行われる活動の総体である。本講義では特別活動が児童・生徒の人間形成上重要な教育活動であることを認識するとともに、その理論と実践的手法を獲得することを目指す。

本講義を通じて、学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」・「社会参画」・「自己実現」の三つの視点や「チーム学校」の視点を持つとともに、教育課程改革の経緯や学習指導要領の変遷をふまえて、特別活動の「なすことにより学ぶ」という本質から、教育的な意義と目標、特質、教員としての実践的な資質や指導力の習得を図る。自らの学級活動、生徒会活動、学校行事等を振り返り、特別活動の内容の理解を深め、他教科・他領域との関連を学習し、学級活動等における特別活動の指導案を作成することを目指す。

学習指導要領の理解、グループワーク、個人演習又はフィールドワーク等による体験的な活動を取り入れることで、理論と実践の往還を通じて特別活動についての理解を深める。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- 予習・指定図書や参考文献等を事前に読み、自分の意見をまとめておくこと（1.5時間を要する）
 復習・講義後の振り返りシートの作成や授業毎のレポート作成を通じて理解を深める。（1.5時間を要する）

■ Textbook／教科書

講義ごとにプリントを配布する。

■ Method of Evaluation／評価方法

Active Participation／主体的な授業参加度：10% Assignment／課題：30% Presentation／発表：20%
 Final Examination／期末試験：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし

■ Additional Information／留意点

- 出席についての留意点
 - 出席については単位修得に関わるので特に留意すること。
- 課題についての留意点
 - 各回振り返りを課題とし、内容や提出状況を評価対象とするので留意すること。
 - 1000字程度のレポートを3回以上課題とし、評価をするので留意すること。
- 学習活動に関する留意点
 - 特別活動の実践的学習としての特質を踏まえて、学外で授業を行う場合がある。

科目名：英語科教育法Ⅰ

Course Title : Teaching Method on Teaching English I

教員／Instructor：大場 智美 (Ohba, Tomomi)

Division／分野	教職に関する科目	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	102	E-mail	ohba-t@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

教育に関心を持ち、意欲的に他者とかがわることができる中学校英語教員として社会に貢献するために必要とされる知識と技術を習得し、中学校検定教科書を使用して授業を行えるレベルの実践力を身に付けることを目標とする。To learn knowledge required to become a licensed teacher of English at junior high school in Japan. To acquire basic skills for teaching English to junior high school students, using authorized English textbooks for junior high school.

■ Course Description／講義の概要

主な内容や授業方法は次の通り。(Brief contents of the course and activities)

- ・ 主な英語教授法および中学校学習指導要領についてテキスト、その他の文献を読み、クラスでディスカッションを行う。(A chronological overview of the Course of Study and main English teaching methodologies)
- ・ 中学校検定教科書を中心とした教材研究（学生が個人、またはグループによる）。(Study of authorized English textbooks for junior high school and other teaching materials)
- ・ 学習指導案の作成法を学び、学生自身がグループまたは個人で模擬授業を行う。(How to draw up a lesson plan and implement a model lesson including peer review)
- ・ テスト作成や評価法を学ぶ。(How to write tests, and also how to evaluate them)

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ 教科書、指定図書等を事前に読んで授業に臨むこと（1時間）Students are required to read the teaching materials before the class. (For 1 hour)
- ・ 復習として授業内での各回のテーマを復習し次回へのフィードバックを行う（具体的方法は毎回指示する）（1時間）Required to review the lessons and give feedback (the method is to be instructed in class) (For 1 hour)
- ・ 課題を仕上げる（1時間）Required to complete tasks. (For 1 hour)

■ Textbook／教科書

岡秀夫 編著（2020）『新・グローバル時代の英語教育』成美堂

■ Method of Evaluation／評価方法

- Presentation／プレゼンテーション（模擬授業など）：30%
- Report or/and Teaching plans／レポートおよび指導案：30%
- Quizzes or/and Assignments／小テストおよび課題：30%
- Performance of class activities／学習活動への積極性：10%

■ Prerequisite／事前履修科目等

教育実習を行う予定の学生に限る。

Only students in teacher-training course who expect to proceed to teaching practicum.

■ Additional Information／留意点

評価法については履修者人数により変更する可能性あり。

Evaluation may be subject to change according to the number of the students.

語 E

学 P

選 C
択 O
必 r
須 e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
イ
・
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：英語科教育法Ⅱ

Course Title : Teaching Method on Teaching English II

教員／Instructor：大場 智美 (Ohba, Tomomi)

Division／分野	教職に関する科目	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	4単位
Office／研究室	102	E-mail	ohba-t@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

教育に関心を持ち、意欲的に他者とかかわることができる高等学校英語教員になるために必要とされる知識と技術を習得し、高等学校検定教科書を使用して授業を行えるレベルの実践力を身に付けることを目標とする。また、小学校英語教育についての知識および技術も修得する。To learn knowledge required to become a licensed teacher of English at high school in Japan. To acquire basic skills for teaching English to high school students, using authorized English textbooks for high school, as well as to elementary school pupils.

■ Course Description／講義の概要

主な内容や授業方法は次の通り。(Brief contents of the course and activities)

- ・ 主な英語教授法および高等学校学習指導要領についてテキスト、その他の文献を読み、クラスでディスカッションを行う。(A chronological overview of the Course of Study and main English teaching methodologies)
 - ・ 個人またはグループで行う高等学校検定教科書を中心とした教材研究。(Study of authorized English textbooks for high school and other teaching materials)
 - ・ 学生自身がグループまたは個人で行う模擬授業、および peer review。(How to draw up a lesson plan and implement a model lesson, and peer review)
 - ・ テスト作成や評価法を学ぶ。(How to write tests, and also how to evaluate them)
- その他、英語で英語授業を行うための実技練習を含む。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・ 教科書、指定図書等を事前に読んで授業に臨むこと (1.5 時間以上) Students are required to read the teaching materials before the class. (For more than 1.5 hours)
- ・ 復習として授業内での各回のテーマを復習し次回へのフィードバックを行う、または模擬授業などのための教案 (teaching plan) の作成、テストの作成等 (具体的方法は毎回指示する) (2 時間以上) Required to review the lessons, give feedback, and write teaching plans as well as tests (the method is to be instructed in class). (For more than 2 hours)

■ Textbook／教科書

岡秀夫 編著 (2020) 『新・グローバル時代の英語教育』

■ Method of Evaluation／評価方法

- Presentation／プレゼンテーション (模擬授業、模擬問題、教案 複数回の提出)：30%
- Report or/and Teaching plans／レポートおよび指導案：30%
- Quizzes or/and Assignments／小テストおよび課題：30%
- Performance of class activities／学習活動への積極性：10%

■ Prerequisite／事前履修科目等

英語科教育法Ⅰが履修済みであること。

Students must take English Teaching Methodology I before studying in this class.

■ Additional Information／留意点

評価法については履修者人数により変更する可能性あり。

Evaluation may be subject to change according to the number of the students.

科目名：介護等体験実習事前事後指導

Course Title：The pre/post guidance for experience training／practicing (including nursing)

教員／Instructor：廣田 敬則（Hirota, Takanori）

Division／分野	教職に関する科目	Semester／開講学期	Spring
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	1単位
Office／研究室	305	E-mail	hirota@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

Teaching License Special Law (1997, Law No. 90) regulated experience training/practicing (including nursing) at the social welfare and special needs school.

The goal of this course is gaining a deeper understanding of the effects and significance of experience training/practicing (including nursing). Further, the students will gain clearer knowledge about experience training institutions and will be prepared to participate in experience training themselves.

教職免許特例法（平成9年法律90号）に定められた社会福祉及び特別支援学校における介護等体験の趣旨、及び意義を理解する。体験実習の施設についての認識を深め、参加のための準備を整える。

■Course Description／講義の概要

Through this course, students will learn the effects and significance of the experience training system. At the end of the semester, students should have a clear understanding of the manners and practice in terms of education, care and assistance within the special need schools and social welfare facilities. Further, students will acquire an understanding of social manners.

本講義では、介護等体験の制度と趣旨及び目的を学ぶ。特別支援学校及び社会福祉施設における教育や介助・介護の実際と守るべきマナー、および社会的常識等について理解する。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Prior study of lecture topics (1 hour). Preparation of post-lecture reflection sheets and review of content, etc. (1 hour)

講義テーマに対する事前学習（1時間）。講義後の振り返りシートの作成と内容の復習など（1時間）

■Textbook／教科書

- ・全国特別支援学校長会編『介護等体験ガイドブック フィリア インクルーシブ教育システム版』ジヤース教育新社
- ・東京都社会福祉協議会『介護体験マニュアルノート 改版』

■Method of Evaluation／評価方法

Attendance／学習態度：10%

Class Participation／授業参加及び発表：30%

Assignments／課題：30%

Report or final examination／レポートまたは期末試験：30%

■Prerequisite／事前履修科目等

None 特になし

■Additional Information／留意点

Following the junior high school teacher's license acquisition, this is a required course in terms of "the experience training of care / assistance in social welfare and special needs schools."

中学校教員免許状取得のために必要な「社会福祉及び特別支援学校における介護等体験の実習」には、本講座の履修が必須条件となっている。

科目名：教育相談

Course Title : Educational Counseling

教員／Instructor：石島 照代 (Ishijima, Teruyo)

Division／分野	教職に関する科目	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	ishijima@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

【全体の目標】本講義では、学校現場において求められる心理学や精神医学の基礎的な知識や基礎的なカウンセリング技能を学びます。カウンセリングの学習には自ら体験することが欠かせません。そのためこの授業ではさまざまなワークを通してカウンセリングや心理学のワークに親しみながら、コミュニケーションの相手はもちろん、自分自身をより深く理解することを目指します。

【個別の目標】

- ・教師として話を聞く姿勢を身につける。
- ・教育相談の果たす役割とその重要性について説明できる。
- ・カウンセリングの主要なアプローチの特徴と違いについて説明できる。
- ・現代の子どもが直面する精神的・社会的な困難に関して説明できる。
- ・基礎的な傾聴の技法を身につける。
- ・効果的な援助活動を行う上で必要となるセルフケアの方法を知る。

[Overall Goal] In this lecture, you will learn the basic knowledge of psychology and psychiatry and basic counseling skills required in school. It is essential to experience for yourself in learning counseling. Therefore, in this class, while familiarizing yourself with counseling and psychology work through various works, we aim to deepen our understanding of ourselves as well as our communication partners.

[Individual goals]

- ・Acquire the attitude of listening as a teacher.
- ・Explain the role played by educational counseling and its importance.
- ・Explain the characteristics and differences of the main approaches of counseling.
- ・Explain the mental and social difficulties faced by modern children.
- ・Learn basic listening techniques.
- ・Know the self-care methods required for effective support activities.

■ Course Description／講義の概要

【講義の内容】教育相談とは、さまざまな困難を抱えた生徒一人ひとりの状況に合わせて、その学生がより良い学校生活を送ることができるように、教師として助言、支援することです。そのため教育相談では、心理学の知見に基づくさまざまな理論や技法を活用することで、この目標を達成しようとしています。この授業では教育相談とはどのようなものかという基礎的な知識から始め、生徒が経験するさまざまな困難の実際とその支援方法について、理論的学習と体験的学習の両面から学んでいきます。

【講義の形式】講義とグループワーク（傾聴・自己理解のワーク、ロールプレイ）を中心とした形式で行います。

【受講上の注意】本講義では講義だけでなく小グループでのワークやロールプレイを行うため、遅刻や欠席はできる限り避けてください。

[Lecture content] Educational counseling is to give advice and support as a teacher so that each student who has various difficulties can lead a better school life according to the situation. Therefore, educational counseling seeks to achieve this goal by utilizing various theories and techniques based on psychological knowledge. In this class, we will start with a basic knowledge of what educational counseling is, and then learn about the various difficulties that students experience and how to support them, both theoretically and experientially.

[Lecture format] Lectures and group work (listening / self-understanding work, role-playing) will be the main format.

[Precautions for attending] This lecture will not only be a lecture but also work and role-playing in small groups, so please avoid being late or absent as much as possible.

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・準備学習時間 2 時間：教育相談に関する知識、相談スキルは今後の教員に授業力と同等に求められるものです。さらに、今後の学校現場においてはオンラインを用いた教育相談を行う必要が増加することが予想されます。そのため、本授業ではオンライン時代でも通用する教育相談の実践力養成を目指し小グループでのワークとロールプレイを多用する予定です。話す力、聞く力など、基本的なコミュニケーションスキルに不安がある人は、友人やご家族とテーマを決めて話す経験を毎週 1 時間程度するようにして、話すこと・聞くこと自体の苦手意識をなくすよう努めてください。
- ・Preparation study time 2 hours : Knowledge and counseling skills related to educational counseling are required of future

teachers as much as teaching ability. Furthermore, it is expected that the need for online educational consultation will increase in the future at school sites. Therefore, in this class, we plan to make heavy use of work and role-playing in small groups with the aim of developing practical skills for educational counseling that can be used even in the online age. For those who are worried about basic communication skills such as speaking ability and listening ability, please set a theme with friends and family and spend about an hour each week to eliminate the weakness of speaking and listening.

■Textbook／教科書

向後 礼子・山本 智子 (2019)。ロールプレイで学ぶ教育相談ワークブック〈第二版〉ミネルヴァ書房

■Method of Evaluation／評価方法

- ・主体的（積極的）な授業参加度／Active Participation：45%
- ・期末試験／Term Examination：55%（持ち込み不可）

【評価基準】A＋＝90点以上、A＝80－89点、B＝70－79点、C＝60－69点、F＝59点以下

■Prerequisite／事前履修科目等

特に無し N/A

■Additional Information／留意点

・本講義は基本的な心理学知識がある前提で行います。ロールプレイの時間が多く、基本的な心理学用語についての解説を行う時間がないためです。心理学の基礎用語について不安がある人は指定図書を購入し自学自習で知識の構築に努めてください。なお指定図書および参考図書の購入は必須ではありませんが、教科書は必ず購入してください。

・本講義は試験を行う前提ですが、社会状況の変化に伴い評価方法が変わることがあります。その点は事前に了承して履修してください。

・ This lecture is based on the premise that you have basic psychological knowledge. This is because I have a lot of role-playing time and I don't have time to explain basic psychological terms. If you are worried about the basic terms of psychology, please purchase a designated book and try to build your knowledge by self-study. It is not mandatory to purchase designated books and reference books, but be sure to purchase textbooks.

・ This lecture is premised on conducting an examination, but the evaluation method may change due to changes in social conditions. Please be aware of this in advance and take the course.

語 E

学 P

選 C
択 o
必 r
須 e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：総合的な学習の時間の指導法

Course Title : Teaching Method on Periods of Integrated Studies

教員／Instructor：北村 陽（Kitamura, Yo）

Division／分野	教職に関する科目	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	1単位
Office／研究室		E-mail	kitamura-y@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

総合的な学習の時間の意義と役割・目標について、資質・能力を育成する視点から理解する。また、各教科等との関連性を熟慮した指導計画の作成と、評価の在り方を理解することが目標となる。さらに、これらの学修を通じて履修者自身が主体的に現状を分析し、課題を発見する力、課題解決に向けた計画力および創造力と実行力を身につけることもねらいとしたい。

■ Course Description／講義の概要

自己の生き方を考えながら物事に柔軟で的確な対応をしていくためには、主体的に判断し行動できる資質や能力の育成が必要である。そこで、各教科等で育まれる見方や考え方を総合的に活用し、課題解決・横断的かつ探究型学習を実践するための指導計画と指導法および評価方法について検討する。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

- ・毎授業前に、教科書を用いて該当する単元を精読しておくこと。
- ・毎授業後に課すリアクションペーパーのテーマには、復習の要素も含まれるため必ず提出すること。

■ Textbook／教科書

- ・中学校 学習指導要領解説 総合的な学習の時間編（平成 29 年告示）文部科学省
- ・高等学校 学習指導要領解説 総合的な探究の時間編（平成 30 年告示）文部科学省

■ Method of Evaluation／評価方法

毎回提出のリアクションペーパー 24%（3%×8 回）、作文 6%、研究発表 30%、最終時のレポート 40% の割合で評価する。

■ Prerequisite／事前履修科目等

特記事項なし。

■ Additional Information／留意点

特記事項なし。

科目名：道德教育論

Course Title : Study of Ethics Education

教員／Instructor：廣田 敬則 (Hirota, Takanori)

Division／分野	教職に関する科目	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室	305	E-mail	hirota@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■Course Goals／到達目標

1. Understand the role and significance of "morality and moral education" in school education (public education), realize that it forms the basis of education, and develop the ability to put it into practice.
学校教育（公教育）の中における「道德・道德教育」の役割、意義を理解し、教育の根幹を成すもので在ることを実感し、実践に移せる能力を養う。
2. Understand the significance of "moral education" mainly from the perspective of "human rights education".
主として「人権教育」の視点から、「道德教育」の意義を理解する。
3. In this course, students will learn about the history of moral education, understand the content of moral education in special subjects in the new curriculum guidelines, and develop the ability to plan specific lessons.
「道德教育」の歴史的概要を知り、特に「新学習指導要領」の「特別の教科 道德」の内容を理解し、授業を具体的に計画する力をつける。
4. Develop the ability to create and present a "simulated lesson plan (teaching plan)" and exchange opinions.
「模擬授業案（指導案）」を作成、発表し、意見交換をする力をつける。

■Course Description／講義の概要

1. This is an opportunity to think about "what is moral education" and "morality in school education".
「道德教育とは何か」「学校教育の中での道德」について考える機会とする。
2. Morality involves the formation of personal values. Therefore, it should be noted that careful consideration is required.
「道德」は個人の価値観の形成に関わる。そのため、慎重な配慮が必要であることにも注意を促す。
3. To develop the ability to manage moral time for the whole school, the whole grade, and the class.
学校全体や学年全体、学級の中で道德の時間を運営する力量を育成する。
4. To understand how to create and teach moral education classes, and to conduct a simulated class after creating a lesson plan.
道德科の授業づくりや指導方法を理解し、学習指導案を作成した上で模擬授業を行う。
5. By reflecting on the simulated class, students will be able to self-evaluate and peer-evaluate to gain perspectives for improving the class.
模擬授業の振り返りにより、自己評価や相互評価を行い授業改善の視点を身につける。

■Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Students are required to read the textbook and assigned materials in advance as prior study for the lecture theme (1.5 hours).
Preparation of post-lecture review sheets and summarizing the contents of the materials (1.5 hours).
・講義テーマに対する事前学習として、教科書並びに課題資料を事前に読んでおくこと（1.5時間）。講義後の振り返りシートの作成と復習、資料の内容をまとめる（1.5時間）。

■Textbook／教科書

1. 文部科学省『中学校学習指導要領 特別の教科 道德』2018年3月
2. 貝塚茂樹・明伸編著『道德教育を学ぶための重要項目100』教育出版 2016年

■Method of Evaluation／評価方法

1. Attendance／学習態度：10%
2. Contents of the reflection sheet／振り返りシートの内容：20%
3. Completeness of the simulated lesson plan／模擬授業案の完成度：20%
4. Report and presentation／レポート及び発表（模擬授業）：50%

■Prerequisite／事前履修科目等

None 特になし

■Additional Information／留意点

None 特になし

語 E

学 P

選
択
必
須

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：特別支援

Course Title：Special Needs Education

教員／Instructor：三尾 真琴（Mio, Makoto）

Division／分野	教職に関する科目	Semester／開講学期	Summer Break
Grade／配当年次	3年以上	Credits／単位	2単位
Office／研究室		E-mail	mio-m@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

特別支援教育は、2007年に全国の公立小中学校を中心に導入された。児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、支援に結びつける教育理念であり政策である。本授業では、

- ・特別支援教育の歩みと理念を理解すること（視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱等を含む）
- ・発達障害の特質ならびに彼ら、彼女らの「困り感」を理解すること
- ・貧困や文化の違いなど、障害はないが特別の教育的ニーズのある児童生徒への支援の在り方を学ぶこと
- ・学校現場で求められる組織や制度を理解し参画する意識をもつこと
- ・「共生社会の実現」のために何ができるかを考えること（事例としてイスラームを取り上げます）、

加えて、本学のディプロマ・ポリシーにある、「それぞれの地域社会の可能性に対しての広い視野を持ち、自らを厳しく律することができる高い倫理観を備えた「志」の高い「多摩グローバル人材」の育成を目標の一つにおいている。

■ Course Description／講義の概要

本授業では、特殊教育から特別支援教育への足跡をたどり、特別支援教育で新たな支援対象になった発達障害（学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉スペクトラム症など）を本人の「困り感」を含め、その特質を理解する。また、貧困や・文化の違いなど特別の教育的ニーズをもつ児童生徒の状況を把握し、特別支援教育を推進するために、学校現場でどのような組織や取り組みが求められているのかを学ぶ。また、「共生社会の実現」を目指す視点から、異文化（イスラーム）に触れ、その特徴・相違を理解する。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

みなさんが小中学校で経験した特別支援教育（特別支援学級の様子、交流・共同学習）の振り返りをしてください。また、新聞（一般紙）を毎日読む習慣をつけてください。

本授業では、予習復習それぞれ1.5時間です。担当者から指示がない場合は、授業計画のテーマを自習し（予習）、授業内容を整理（復習）してください。

■ Textbook／教科書

とくに指定しない。必要に応じ資料等を配布する。

■ Method of Evaluation／評価方法

授業時のレポート（授業態度を含む）：40%

定期試験：60%

■ Prerequisite／事前履修科目等

特になし。

■ Additional Information／留意点

教職科目である。

科目名：教育実習Ⅰ

Course Title : Student Teaching I

教員／Instructor：廣田 敬則 (Hirota, Takanori)、山田 大介 (Yamada, Daisuke)

Division／分野	教職に関する科目	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	4年のみ	Credits／単位	3単位
Office／研究室	305、104	E-mail	hirota@tama.ac.jp、yamada-d@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

The teaching practicum is an opportunity to put into the practice theories and approaches explored during classes on campus. It strengthens the students' ability to determine what is appropriate in any given context and to assess strengths and weaknesses.

大学で学んだ理論と知識を背景に、教育現場で教育活動を体験することにより、教員としての能力や資質を高めることを目的とする。

■ Course Description／講義の概要

1) understanding activities at school, 2) learning classroom management, 3) teaching English, 4) participating in extracurricular activities, 5) understanding the teaching profession, and 6) assessing strengths and weaknesses.

1) 学校全体の教育活動がどのように計画され運営されているかを理解する 2) 学級全体の円滑な運営方法を学ぶ 3) 教科指導を実践する 4) 生徒とともに活動に参加しながら、生徒を適切に指導する方法を学ぶ 5) 教師としての職務、勤務内容を理解する 6) 教師としての適性を理解し、自己の資質向上のための目標を発見する

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Students will prepare teaching plans and prepare for mock classes. They will also read the assigned handouts in advance. In addition, students will reflect on their work after the mock class. (3 hours required)

指導案を作成したり、模擬授業の準備をしたりする。また、指定されたプリントを事前に読んでくる。さらに模擬授業後の省察を行う。(3時間を要する)

■ Textbook／教科書

Study guide and handouts

学習指導要領・プリント

■ Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude／学習態度：20%

Class Participation／授業参加及び発表：40%

Assignments／課題：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

The student must have obtained the required credits for the teaching courses to be taken prior to the educational training and must have permission for the educational training.

教育実習前に履修すべき教職科目の必要単位を取得し、教育実習許可者であること

■ Additional Information／留意点

Taking this course is a prerequisite for the "educational practice" required to obtain a junior or senior high school teaching license.

中学校・高等学校教員免許状取得のために必要な「教育実習」には、本講座の履修が必須条件となっている。

語 E

学 P

選
択
必
須
e

上
級
英
語

留
学
科
目

共
通
一
般

外
国
語

日
本
語
科
目

ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト

国
際
教
養

ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

科目名：教育実習Ⅱ

Course Title : Student Teaching II

教員／Instructor：廣田 敬則 (Hirota, Takanori)、山田 大介 (Yamada, Daisuke)

Division／分野	教職に関する科目	Semester／開講学期	Spring・Fall
Grade／配当年次	4年のみ	Credits／単位	2単位
Office／研究室	305、104	E-mail	hirota@tama.ac.jp、yamada-d@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

The teaching practicum is an opportunity to put into the practice theories and approaches explored during classes on campus. It strengthens the students' ability to determine what is appropriate in any given context and to assess strengths and weaknesses.

大学で学んだ理論と知識を背景に、教育現場で教育活動を体験することにより、教員としての能力や資質を高めることを目的とする。

■ Course Description／講義の概要

1) understanding activities at school, 2) learning classroom management, 3) teaching English, 4) participating in extracurricular activities, 5) understanding the teaching profession, and 6) assessing strengths and weaknesses.

1) 学校全体の教育活動がどのように計画され運営されているかを理解する 2) 学級全体の円滑な運営方法を学ぶ 3) 教科指導を実践する 4) 生徒とともに活動に参加しながら、生徒を適切に指導する方法を学ぶ 5) 教師としての職務、勤務内容を理解する 6) 教師としての適性を理解し、自己の資質向上のための目標を発見する

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Students will prepare teaching plans and prepare for mock classes. They will also read the assigned handouts in advance. In addition, students will reflect on their work after the mock class. (3 hours required)

指導案を作成したり、模擬授業の準備をしたりする。また、指定されたプリントを事前に読んでくる。さらに模擬授業後の省察を行う。(3時間を要する)

■ Textbook／教科書

Study guide and handouts

学習指導要領・プリント

■ Method of Evaluation／評価方法

Learning Attitude／学習態度：20%

Class Participation／授業参加及び発表：40%

Assignments／課題：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

The student must have obtained the required credits for the teaching courses to be taken prior to the educational training and must have permission for the educational training.

教育実習前に履修すべき教職科目の必要単位を取得し、教育実習許可者であること

■ Additional Information／留意点

Taking this course is a prerequisite for the "educational practice" required to obtain a junior or senior high school teaching license.

中学校・高等学校教員免許状取得のために必要な「教育実習」には、本講座の履修が必須条件となっている。

科目名：教職実践演習（中・高）

Course Title : Teaching Practice

教員／Instructor：廣田 敬則（Hirota, Takanori）

Division／分野	教職に関する科目	Semester／開講学期	Fall
Grade／配当年次	4年のみ	Credits／単位	2単位
Office／研究室	305	E-mail	hirota@tama.ac.jp
Work Experiences／実務経験			

■ Course Goals／到達目標

This course will provide you an opportunity to reflect on what you have learned in the teacher-training course and in the junior and senior high school teaching practicum.

4年次前期までに教職課程における各科目で習得してきた内容、及び教育実習で得てきた体験等を振り返り、自分の現在の到達点と補完を必要とする点を理解する。

■ Course Description／講義の概要

We will also explore practical ways to deal with multiple problems that schools and teachers currently face through role-playing and discussion.

現在、学校が抱えている教育課題に必要となる対応等についてロールプレイやディスカッション等を通じ、より具体的な考察を試みる。また、授業力の向上を目的とした模擬授業を実施し、よりよい授業力向上への方途を探究していく。

■ Preparation study time Specific content／準備学習時間・具体的内容

Prior study of lecture topics (1.5 hours). Preparation of post-lecture review sheets, review of content, and preparation of assignment reports (1.5 hours).

講義テーマに対する事前学習（1.5時間）。講義後の振り返りシートの作成と内容の復習、課題レポートの作成など（1.5時間）

■ Textbook／教科書

To be announced during the course.

講義中に紹介する。

■ Method of Evaluation／評価方法

Attendance／学習態度：20%

Assignment／課題：40%（レポートを含む）

Presentation／発表：40%

■ Prerequisite／事前履修科目等

Teaching courses (this course will be the final course)

教職課程の科目（本科目が最終履修科目となる）

■ Additional Information／留意点

In order to take this course, students must have a GPA of 2.0 or higher.

Each student will use his/her own course record.

本科目を履修するためには、通算 GPA が 2.0 以上であることが必須である。

各自の履修カルテを使用する。

語 E

学 P

選
択
必
須上
級
英
語留
学
科
目共
通
一
般外
国
語日
本
語
科
目ホ
ス
ピ
タ
リ
テ
ィ
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト国
際
教
養ゼ
ミ
ナ
ー
ル

教

職

